

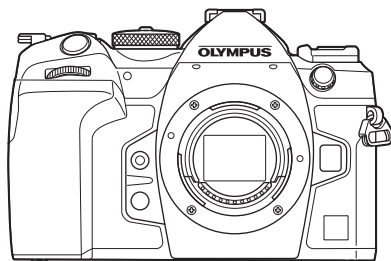


デジタルカメラ

OM SYSTEM OM-1

取扱説明書

Ver.1.7



もくじ

知りたいことの検索方法

1. 準備する
2. 撮影する
3. メニューの使い方
4. 撮影機能を設定する
5. 再生する
6. カメラをカスタマイズする
7. カメラ本体をセットアップする
8. 外部機器と接続する
9. ご注意
10. 資料
11. 安全にお使いいただくために
12. ファームアップによる追加・変更

Model No. : IM027

■デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

■「11. 安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

■ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

■取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

はじめにご確認ください

「11. 安全にお使いいただくために」をお読みください

誤った使い方をしたときに生じる人への危害や火災などの財産への損害を未然に防ぐために、製品をご使用になる前に「11. 安全にお使いいただくために」(P.339)をよくお読みください。

カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとも必ず保管してください。

このカメラを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

このカメラの無線LAN、Bluetooth®機能について

このカメラは、無線LANおよびBluetooth®機能を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがありますので、あらかじめご確認ください。当社では一切の責任は負えません。

使用が禁止されている場所では、無線LANおよびBluetooth®機能を停止させてください。☞「カメラの無線通信を停止する(機内モード)」(P.263)

電波法令により、W52、W53の帯域を利用した無線LAN機能の屋外での使用は禁止されています。屋内でのみご使用ください。

■ ユーザー登録について

お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

■ ソフトウェア／アプリケーションのインストール

OM Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

OM Image Share

カメラでシェア予約(P.193)した画像をスマートフォンに取り込むことができます。またスマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。アプリケーションについては当社ホームページをご覧ください。

本製品の説明書について

本製品では、付属の「取扱説明書」（本書）の他に、PDF版の取扱説明書をご用意しています。あわせてご利用ください。

取扱説明書（本書およびPDF版）

カメラの使い方と機能について説明しています。PDF版は、当社ホームページからダウンロードすることができます。

- PDF版については、スマートフォン用アプリ OM Image Share から直接ダウンロードもできます。



本取扱説明書について

知りたいことの検索方法

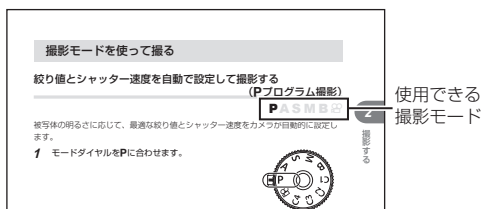
本書では、知りたいことを以下の方法で検索することができます。

探しかた	場所	🔍
やりたいことから探す	▶ もくじ	P.6
カメラのボタンや部位から探す	▶ 各部の名称	P.13
画面に表示されるメニューや用語から探す	▶ 機能と初期設定一覧	P.318
用語から探す	▶ 索引	P.349

本書の表記について

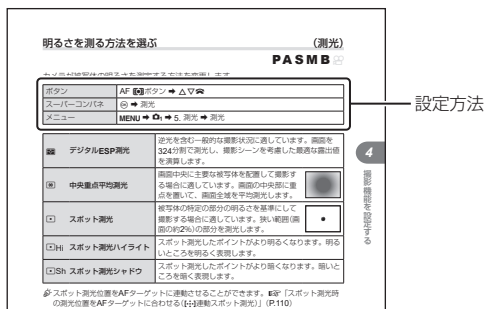
■ 機能を使用できる撮影モードについて

本書では、撮影機能の説明の冒頭で、その機能を使用できる撮影モードを記載しています。黒は使用可能なモード、グレーは使用不可能なモードを表します。










■ 機能の設定方法について

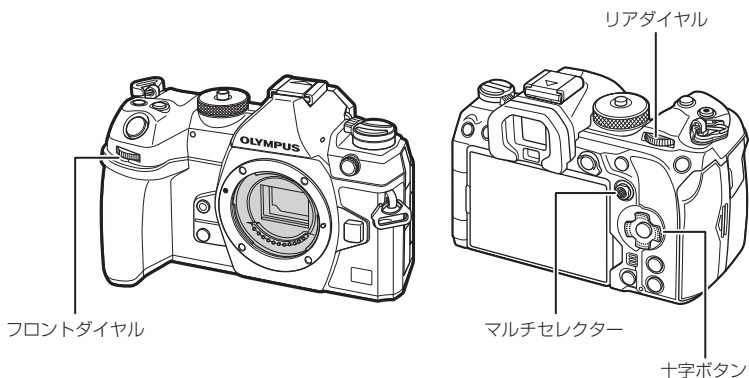
本書では、カメラの各機能の設定方法について、各機能の説明のはじめに記載しています。詳しくは「メニューの操作方法」(P.59)、「撮影機能の設定操作方法(ダイヤレクトボタン/スーパーコンパネ)」(P.62)をお読みください。



■ 本文中の記号について

本文中、以下の表記を使っています。

△▽◀▶	十字ボタンをそれぞれ上下左右に押す操作を示しています。
	フロントダイヤルの操作を示しています。
	リアダイヤルの操作を示しています。
	マルチセレクターに軽く指をあてて、目的の方向に倒して操作することを示しています。
	マルチセレクターの中央をボタンのように押すことを示しています。
	注意事項や制約事項を記載しています。
	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。



■ 本文中の画面イラストについて

このカメラは、初期設定ではモニターにスーパーコンパネ(P.65)が表示されますが、本文中の説明はモニターに撮影画面が表示された状態(ライブビュー表示)の画面を使用しています。

モニターに撮影画面を表示させる方法は、P.32を参照してください。

もくじ

はじめにご確認ください	2	■ 静止画を撮る	35
本製品の説明書について	3	撮影モードの種類	35
本取扱説明書について	4	タッチパネルを使って撮る	37
知りたいことの検索方法	4	撮影直後に画像を表示する時間を設定する (撮影画像の確認時間)	38
本書の表記について	4	■ 撮影モードを使って撮る	39
各部の名称	13	絞り値とシャッター速度を自動で設定して 撮影する(P プログラム撮影)	39
1. 準備する	15	絞りを決めて撮影する(A 絞り優先撮影)	41
■ カメラと付属品を確認する	15	シャッター速度を決めて撮影する (S シャッター優先撮影)	43
ストラップを取り付ける	16	絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影 する(M マニュアル撮影)	45
ケーブルプロテクターを取り付ける	17	長秒時撮影を行う (B BULB/TIME 撮影)	47
■ 電池を入れる／取り出す	18	比較明合成撮影を行う (B ライブコンポジット撮影)	49
電池を入れる	18	■ 任意の設定をモードダイヤルに登録 する(C1/C2/C3/C4 カスタムモード)	51
電池を取り出す	19	残しておきたい設定内容を登録する (カスタム登録)	51
■ 付属のUSB-ACアダプターで電池を 充電する	20	カスタムモードを使う(C1/C2/C3/C4)	53
■ USB機器で充電する	21	■ ムービーを撮る	55
■ カードを入れる／取り出す	22	ムービーモードを使って撮る()	55
カードを入れる	22	静止画撮影時にムービーを撮る	57
カードを取り出す	23	タッチ操作で設定する(静音操作)	58
カードを2枚使用するとき	23	3. メニューの使い方	59
カードについて	23	■ メニューでできること	59
■ レンズを取り付ける／取り外す	24	■ メニューの操作方法	59
レンズを取り付ける	24	4. 撮影機能を設定する	62
レンズを取り外す	25	■ 撮影機能の設定操作方法(ダイレクト ボタン/スーパーコンパネ)	62
■ モニターを操作する	26	ダイレクトボタンでの設定方法	62
■ 電源を入れる	27	スーパーコンパネ/ LV スーパーコンパネ での設定方法	65
カメラのスリープ動作について	27	■ ピント合わせの基本機能	68
■ 初期設定をする	28	ピントの合わせ方を設定する ( AF方式/  AF方式)	68
■ 言語の表示がおかしい/設定した言 語が表示されないときは	29		
2. 撮影する	30		
■ 撮影時の情報表示	30		
■ 表示の切り換え	32		
情報表示を切り換える	33		

ピント合わせの位置を自分で決める (AFターゲット位置)	72
ピント合わせの範囲を選ぶ (AFターゲットモード)	73
☑AFターゲットモードの選択肢を設定する (☑AFターゲットモード設定)	76
拡大枠AF / 拡大AFを使う (スーパースポットAF)	77
ピント合わせの操作方法を設定する機能	79
AFとMFを併用する(☑AF+MF)	79
シャッターボタンでのオートフォーカス動作を設定する(☑=半押し時のAF)	80
AF-ONボタンでオートフォーカスする...80	
マニュアルフォーカス中にオートフォーカスを使う(MF時のAF-ON動作)	81
非合焦時の動作を設定する (レリーズ優先)	81
星空AFの設定を変更する(星空AF設定) ..82	
被写体に合わせたAF動作をカスタマイズする機能	83
C-AF動作時に中央優先でピント合わせをする(☑C-AF中央優先)	83
C-AF動作時のピント合わせの感度を設定する (☑C-AF追従感度 / ⚙C-AF追従感度)	84
C-AF動作時のピント合わせの速さを設定する(⚙C-AF動作速度)	84
顔優先AF / 瞳優先AFを使う (顔・瞳検出)	85
特定の被写体を検出してピント合わせをする(被写体検出)	87
瞳を検出したときの枠の表示を設定する (瞳検出枠表示)	88
ピント合わせに関するカメラの動作を設定する機能	89
オートフォーカス時のレンズの動作範囲を設定する(☑AFリミッター)	89
C-AF動作時のレンズのスキャン動作を設定する(☑AFスキャン)	91
AFによるピント位置を微調整する (☑AF微調節)	92
オートフォーカス動作時に補助光を使う (AF補助光)	93
AFターゲットの表示方法を選択する (AFターゲット表示)	93
ピントを合わせる位置を設定する機能	94
AFターゲットの設定を横位置/縦位置で変える(☑[::]縦位置/横位置切換)	94
AFターゲットのホームポジションを設定する(☑[::]Home登録)	95
AFターゲット選択設定時の操作方法を設定する([::]選択画面設定)	96
AFターゲットの循環方法を設定する ([::]循環設定)	97
ファインダー撮影時にタッチ操作でAFターゲットを操作する (AFターゲットパッド)	98
その他のピントを合わせるときに便利な機能	99
マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する(MFアシスト)	99
輪郭の強調表示についての設定をする (ピーキング表示設定)	100
プリセットMFの距離を設定する (プリセットMF距離)	101
MFクラッチを無効にする (MFクラッチ)	101
レンズのフォーカスリングの回転方向を設定する(フォーカスリング)	101
電源オフ時のレンズの動作を設定する (レンズリセット)	102
露出・測光の機能	103
画像の明るさを変えて撮影する (露出補正)	103
露出設定時の変更ステップを設定する (露出ステップ)	105
露出の基準を微調整する(露出基準調整) 105	
LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する(☑フリッカースキャン / ⚙フリッカースキャン)	106
明るさを測る方法を選ぶ(測光)	107
露出を固定する(AEロック)	107
AEロック動作時の測光方式を設定する (AEL時の測光モード)	108
撮影後に露出の固定を自動で解除する (AELの撮影後解除)	108
シャッターボタンの半押しで露出を固定する(=半押し時のAEロック)	109
連写中の測光動作を設定する (連写中の測光)	110
スポット測光時の測光位置をAFターゲットに合わせる([::]連動スポット測光) ... 110	

感度を変更する(ISO感度)	111	■ 手ぶれ補正機能	132
ISO感度設定時の変更ステップを設定する (ISO感度ステップ)	112	手ぶれを抑えて撮影する(☑手ぶれ補正/ ☒手ぶれ補正)	132
ISO感度の[Auto]の範囲を設定する (☑ ISOオート上限/基準値 / ☒mISO オート上限/基準値)	113	手ぶれ補正の効きを調整する (☒手ぶれ補正強度)	134
自動でISO感度を上げるシャッター速度を 設定する(☑ ISOオート低速限界)	113	シャッターボタン半押し中の手ぶれ補正動 作を設定する(半押し中手ぶれ補正)	134
ISO感度の[Auto]を有効にする撮影 モードを設定する(☑ ISOオート有効/ ☒mISOオート有効)	114	連写中の手ぶれ補正の動作を設定する (連写中手ぶれ補正)	134
ISO感度が高感度時のノイズ低減を設定す る(☑高感度ノイズ低減 / ☒高感度ノイ ズ低減)	114	手ぶれの状態を画面に表示する (手持ち撮影アシスト)	135
撮影時の画像処理の方法を設定する (低感度画像処理)	115	手ぶれ補正機能搭載レンズ使用時の手ぶれ 補正設定(レンズ手ぶれ補正優先)	135
長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする (長秒時ノイズ低減)	115	■ 色・画質の機能	136
■ フラッシュ撮影機能	116	静止画とムービーの画質を設定する (☑画質モード / ☒画質モード)	136
フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)	116	JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ (☑画質モード詳細設定)	139
フラッシュ発光モードを設定する	118	ムービーの記録コーデックを選ぶ (☒記録コーデック)	140
発光モードを設定する (フラッシュモード設定)	121	アスペクト比を設定する (アスペクト比設定)	140
フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ補正)	121	レンズの周辺減光を補正する (シェーディング補正)	140
ワイヤレスRCフラッシュ撮影をする (☒RCモード撮影)	121	画像の仕上がりを設定する(☑ピクチャー モード / ☒ピクチャーモード)	141
フラッシュ使用時のシャッター速度の上限 を設定する(☒同調速度)	122	ピクチャーモード選択の表示設定をする (☑ピクチャーモード表示)	145
フラッシュ使用時のシャッター速度の下限 を設定する(☒低速制限)	122	画像の色合いを調整する (ホワイトバランス)	145
フラッシュ発光量補正に露出補正値を加算 する(☒+☒連動)	122	ムービーモードでホワイトバランスをロッ クする (☒ボタン機能: WBオートロック)	149
TTL調光時の露出バランスを設定する (バランス調光設定)	122	ホワイトバランスを微調整する(☑全WB モード補正 / ☒全WBモード補正)	149
■ 連写/セルフタイマー機能	123	WBオート設定で電球の色合いを残して 撮影する(☑ WBオート 電球色残し/ ☒WBオート 電球色残し)	150
連写する/セルフタイマーを使う	123	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設 定する(☒+WB連動)	150
連写モードを設定する(連写設定)	126	色の再現方式を設定する(色空間)	151
セルフタイマーを設定する (セルフタイマー設定)	127	[☒ピクチャーモード]時のモニター表示 を設定する(☒☒ビューアシスト)	151
シャッター動作時の振動を防いで撮影する (低振動[☒]撮影設定)	128	■ 特殊撮影機能	
シャッター音を立てずに撮影する (静音[☒]撮影設定)	129	(コンピュータショナル撮影)	152
リリースタイムラグを防いで撮影する (プロキャプチャー撮影)	130	より解像度の高い静止画を撮影する (ハイレゾショット)	152
シャッターが切れるタイミングを設定する (フリッカーレス撮影)	131		

明るい環境下でスローシャッター撮影をする(ライブND撮影).....	154	情報表示を切り換える.....	183
被写界深度の深い写真を撮影する(深度合成撮影).....	157	撮った画像／ムービーを見る.....	184
HDR(ハイダイナミックレンジ)撮影をする(HDR撮影).....	159	静止画を見る.....	184
複数の画像を重ね合わせて撮影する(多重露出撮影).....	160	ムービーを見る.....	185
被写体を拡大して記録する(📷デジタルテレコン／📷デジタルテレコン).....	162	画像をすばやく探す(インデックス再生／カレンダー再生).....	186
一定時間ごとに自動的に撮影する(インターバル撮影).....	163	画像を拡大して見る(拡大再生).....	186
台形補正をする／遠近感を強調する(デジタルシフト撮影).....	165	タッチパネルを使って見る.....	187
フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する(フィッシュアイ補正撮影).....	167	1コマ再生で使う.....	187
バルブタイム/コンポジット撮影時の設定をする(BULB/TIME/COMPの設定).....	169	インデックス再生/カレンダー再生で使う.....	188
露出を変えた画像を複数枚記録する(AE BKT).....	170	その他の機能.....	188
ホワイトバランスを変えた画像を複数枚記録する(WB BKT).....	171	再生機能を設定する.....	189
フラッシュの発光量を変えた画像を複数枚記録する(FL BKT).....	172	画像を回転する(回転).....	189
ISO感度の変更により露出を変えた画像を複数枚記録する(ISO BKT).....	173	画像を保護する(プロテクト).....	189
複数のアートフィルターの設定を適用した画像を同時に記録する(ART BKT).....	174	画像をコピーする(1コマコピー).....	190
ピント位置を変えた画像を複数枚記録する(Focus BKT).....	175	全ての画像をコピーする(全コマコピー).....	190
ムービー専用の機能.....	177	画像を消去する(1コマ消去).....	191
録音の設定をする(録音の設定).....	177	全画像を消去する(全コマ消去).....	191
ヘッドホンの音量を設定する(ヘッドホン音量).....	178	画像消去のときに確認をしない(ワンタッチ消去).....	192
記録するタイムコードを設定する(タイムコード設定).....	178	RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定する(RAW+JPEG消去).....	192
HDMI機器への出力設定をする(📺HDMI出力).....	179	画像の転送予約をする(シェア予約).....	193
ムービー撮影時、画面の中央に+を表示する(センターマーカー).....	180	RAW+JPEGで記録した画像をシェア予約する(RAW+JPEGシェア予約).....	193
ムービー撮影時、明るい部分にゼブラパターンを表示する(ゼブラパターン表示).....	180	画像にレーティングを設定する(レーティング).....	194
ムービー撮影中に画面に赤枠を表示する(動画撮影中の赤枠表示).....	181	レーティングで使用するレートを設定する(レーティング設定).....	194
5. 再生する.....	182	複数の画像を一括で処理する(選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去).....	195
再生時の情報表示.....	182	プリント予約(DPOF).....	196
再生画像情報.....	182	プロテクト・シェア予約・プリント予約・レーティングを一括解除する(全コマ一括解除).....	197
		記録した画像に音声をつける(録音).....	198
		撮影した画像を加工する(編集).....	199
		画像を合成する(画像合成).....	202
		ムービーをトリミングする(トリミング).....	203
		ムービーから静止画を作る(静止画切り出し).....	204
		再生時の🔍(☑️ボタン)ボタンの機能を変える(🔍🔍ボタン機能).....	204

再生時のダイヤルの機能を変える (ダイヤル機能).....	204
画像再生時の拡大倍率を設定する (再生拡大倍率設定).....	205
縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する (回転再生).....	205
再生時の情報画面の設定をする (Info表示).....	205
拡大再生時の表示を設定する(Info 表示).....	206
インデックス表示の設定をする (表示).....	206

6. カメラをカスタマイズする 207

■ 操作方法を設定する機能	207
ボタンの機能を変える(ボタンの設定) ..	207
フロント/リアダイヤルの機能を変える (ダイヤル機能/ダイヤル機能) ..	215
フロント/リアダイヤルの操作方向を変 える(ダイヤル方向).....	217
マルチセレクターの機能を変える (マルチセレクターの設定).....	217
Fnレバーの機能を変える (Fnレバーの設定).....	218
電動ズームレンズを使って撮影する (電動ズームの設定).....	222
ボタンの操作をロックする(ロック)	223
拡大ライブビュー中にシャッターボ タンを押したときの動作を設定する (LV拡大モード).....	223
プレビューボタンの動作を設定する (ロック).....	224
ボタン長押し操作のときの操作時間を設定 する(ボタン長押し時間調整).....	224
■ ライブビューの設定に関する機能 225	
画面の見え方を変える (LV表示モード).....	225
暗いところで画面を見やすくする (ナイトビュー).....	225
ファインダー撮影時の表示速度を設定する (フレームレート).....	225
アートフィルター撮影時のライブビュー表 示の設定をする(アートLVモード).....	226
撮影時の画面表示のちらつきを抑える (フリッカーレスLV).....	226
自分撮りに合わせた表示をする (自分撮りアシスト).....	227
■ 情報表示を設定する機能	228

ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF表示スタイル).....	228
機能設定アイコンの表示内容を変える (Info表示/Info表示).....	230
シャッターボタン半押し中の情報表示を設 定する(半押し中の表示).....	232
ファインダーの情報表示を設定する (Info表示).....	233
シャッターボタン半押し中に水準器を表示 する(半押し中水準器表示).....	234
撮影時に表示するガイド線を設定する (ガイド線表示設定/ガイド線表示 設定).....	235
ファインダーにガイド線を表示する (ガイド線表示設定).....	236
マルチFnで選べる機能を選択する (マルチFn表示設定).....	237
ヒストグラム表示の警告レベルを設定する (ヒストグラム警告設定).....	238
■ メニューに関する操作/表示の設定	239
メニュー画面のカーソルに関する設定をす る(メニューカーソル設定).....	239
リアダイヤルによるページの循環方法を設 定する(メニュータブ内循環).....	240
[実行/中止]画面のカーソルの初期位置を 設定する(実行優先設定).....	240
■ マイメニューの設定	241
マイメニューを使う.....	241

7. カメラ本体をセットアップする 243

■ カード/フォルダ/ファイルの設定 243	
カードを初期化する(カード初期化).....	243
記録先カードを設定する(カードスロ ット設定/カードスロット設定).....	244
撮影した画像を記録するフォルダを指定す る(記録フォルダ指定).....	246
ファイル名の付け方を設定する (ファイルネーム).....	246
ファイル名を変える (ファイルネーム編集).....	247
■ ユーザー情報記録の設定	248
レンズ情報を登録する (レンズ情報登録).....	248
プリント出力時の解像度を設定する (dpi設定).....	249
著作権情報を設定する (著作権情報記録).....	249

■ モニター /音/接続の設定 251	カメラの無線通信を停止する (機内モード) 263
タッチパネル機能を無効にする (タッチパネル設定) 251	■ スマートフォンと接続する 263
モニターの色合い・明るさを調整する (モニター調整) 251	スマートフォンとの接続設定をする (Wi-Fi接続) 264
ファインダーの明るさや色合いを調整する (EVF調整) 252	電源オン時の無線接続常時受け付けを設定 する(Bluetooth) 265
アイセンサーの機能を設定する (アイセンサーの設定) 253	電源オフ時の無線接続設定をする (バックグラウンド通信) 266
合焦音を消す(電子音) 254	スマートフォンに画像を転送する 267
外部モニターへの出力設定をする (HDMI接続設定) 254	カメラの電源オフ時に自動で画像を転送す る 267
USBケーブル接続時の動作を設定する (USBの設定) 255	スマートフォンからリモート撮影する (ライブビューリモコン) 268
■ 電池/スリープの設定 256	スマートフォンからリモート撮影する (ワイヤレスリリースリモコン) 268
電池の状態を表示する (ステータス表示) 256	画像に位置情報をつける 269
電池の使用順序を設定する (使用順序設定) 256	スマートフォン接続設定を初期化する (スマートフォン接続設定リセット) 269
ムービー撮影時の電池残量の表示を変える (残量表示) 256	パスワードを変更する (スマートフォン接続パスワード) 270
モニターのバックライトを減光する (バックライト時間) 257	■ パソコンと接続する(Wi-Fi) 270
スリープ(省電力)モードを設定する (スリープ時間) 257	ソフトウェアのインストール 270
自動的に電源を切る設定をする (自動電源Off) 257	WindowsOSのパソコンで、Wi-Fiでパソ コンと接続するための準備 271
カメラの電力を抑えて使う設定をする (低消費電力撮影) 258	接続するパソコンをカメラに登録する (新規ペアリング) 272
■ リセット/日時/言語/その他の設定 260	Wi-Fi接続の設定をする(Wi-Fi接続) 274
カメラの設定を初期状態に戻す (リセット/カメラ初期化) 260	撮影しながらパソコンに画像を転送する 279
日付・時刻を設定する(日時設定) 260	アクセスポイントとの接続を終了する 281
カメラで表示する言語を設定する (言語切り換え) 260	■ リモコンを使う 282
水準器の調整をする(水準器調整) 261	各部の名称 282
画像処理機能をチェックする (ピクセルマッピング) 261	接続する 282
ファームウェアのバージョンを確認する (バージョン) 261	リモコンからリモート撮影する 284
各種認証マークを表示する (認証マーク表示) 261	リモコンのMACアドレスについて 285
	リモコンの使用上のご注意 285
	■ パソコンと接続する(USB) 286
	ソフトウェアのインストール 286
	撮影しながらパソコンに画像を転送する (RAW/Control) 287
	カメラをパソコンに接続し高速にRAW編 集する(RAW/Control) 288
	パソコンに画像を取り込んで保存する (ストレージ/MTP) 289
	■ USB機器から給電する(USB PD) 291
8. 外部機器と接続する 262	
■ Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いの ときのご注意 262	

■ 外部モニター（テレビ）と接続する（HDMI）.....	292
カメラの画像やムービーをテレビで見る（HDMI）.....	292

9. ご注意 294

■ 本製品の防塵/防滴性能について ..	294
■ 電池についてのご注意	295
■ 海外での使用について	296

10. 資料 297

■ 交換レンズについて	297
■ MFクラッチを搭載したレンズについて	298
■ SET機能/CALL機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示.....	299
■ 別売品を使う.....	300
充電器（BCX-1）を使う	300
パワーバッテリーホルダー（HLD-10）を使う.....	301
パワーバッテリーホルダーの使用上のご注意.....	302
専用外部フラッシュ.....	303
ワイヤレスRCフラッシュ撮影	304
市販のフラッシュについて	306
主なアクセサリーについて	307
■ システムチャート	308
■ カメラのお手入れと保管.....	310
カメラのお手入れ.....	310
カメラの保管	310
撮像素子のクリーニングとチェック.....	311
画像処理機能をチェックするーピクセルマッピング	311
■ アフターサービス	311
■ こんなときは?.....	312
■ エラーコード.....	315
■ 機能と初期設定一覧	318
LVスーパーコンパネ.....	318
☑ ₁ タブ	320
☑ ₂ タブ	323
AFタブ	324
🔍タブ	326
▶タブ	327

*タブ	328
↓タブ	331
■ 画質設定と記録枚数/記録時間 ...	333
■ 仕様	336

11. 安全にお使いいただくために

339

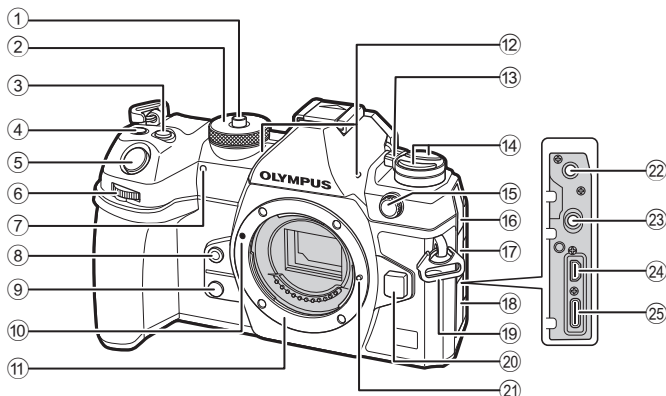
■ 安全にお使いいただくために.....	339
■ 使用上のご注意	342
■ その他のご注意	343

12. ファームアップによる

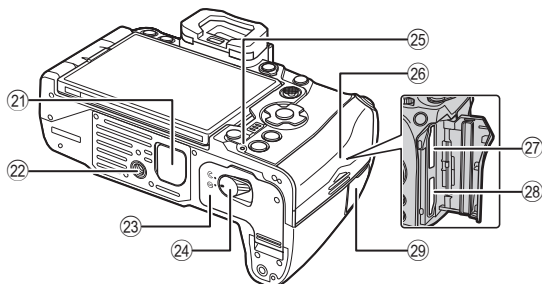
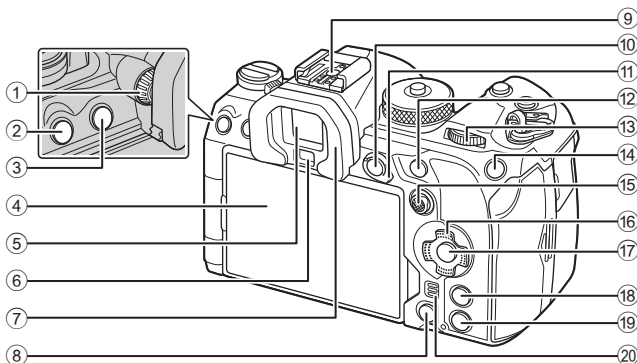
追加・変更 346

索引 349

各部の名称



- | | |
|---|---|
| ① モードダイヤルロックP.35 | ⑬ ON/OFF レバーP.27 |
| ② モードダイヤルP.35 | ⑭ 電源 ボタンP.223 |
| ③ 露出補正 ボタン
.....P.39, 41, 43, 46, 103 | ⑮ AF ボタン (AF / 測光モード)ボタン
.....P.107 |
| ④ AE-L/AF-L / ハイレスショット /
選択 ボタン
..... P.55 / P.152 / P.195 | ⑯ 外部フラッシュ端子P.117 |
| ⑤ シャッターボタンP.35 | ⑰ マイク端子カバー
.....P.178 |
| ⑥ フロントダイヤル (AF)
.....P.39-46, 59, 184, 204, 215, 217 | ⑱ コネクタカバー
.....P.16 |
| ⑦ セルフタイマーランプ /
AF補助光 P.123 / P.93 | ⑲ ストラップ取り付け部P.16 |
| ⑧ ワンタッチホワイトバランス ボタン
.....P.148 | ⑳ レンズ取り外しボタンP.25 |
| ⑨ プレビュー ボタンP.224 | ㉑ レンズロックピン |
| ⑩ レンズ合わせマークP.24 | ㉒ マイク端子 (市販のマイクを接続できます。
φ3.5ステレオミニジャック)P.177 |
| ⑪ マウント (ボディキャップを外してから
レンズを取り付けます。) | ㉓ ヘッドホン端子 (市販のヘッドホン
を接続できます。φ3.5ステレオミニジャック)
.....P.178 |
| ⑫ ステレオマイクP.177, 198 | ㉔ HDMI端子 (タイプD)P.179, 292 |
| | ㉕ USB端子 (タイプC)
.....P.20, 21, 286, 291 |



- | | |
|--|---|
| ① 視度調整ダイヤル.....P.32 | ⑮ マルチセレクター (● / ○) P.72, 217 |
| ② MENU ボタン.....P.59 | ⑯ 十字ボタン(△▽◀▶).....P.184 |
| ③ LV ボタン.....P.32 | ⑰ OK ボタン.....P.59, 65, 184 |
| ④ モニター (タッチパネル)
.....P.30, 32, 37, 98, 187 | ⑱ INFO ボタン.....P.33, 61, 183 |
| ⑤ ファインダー.....P.32, 228 | ⑲ ▶ (再生) ボタン.....P.184 |
| ⑥ アイセンサー | ⑳ スピーカー |
| ⑦ アイカップ.....P.307 | ㉑ パワーバッテリーホルダー (PBH) カバー
..... P.301 |
| ⑧ ☒ (消去) ボタン.....P.191 | ㉒ 三脚穴 |
| ⑨ ホットシュー.....P.117, 306 | ㉓ 電池カバー.....P.18 |
| ⑩ AEL / O-n (プロテクト) ボタン
.....P.107 / P.189 | ㉔ 電池カバーロック.....P.18 |
| ⑪ Fn レバー.....P.39-45, 218 | ㉕ バッテリーチャージランプ.....P.20 |
| ⑫ AF-ON ボタン.....P.80, 81 | ㉖ カードカバー.....P.22 |
| ⑬ リアダイヤル(☺)
.....P.39-46, 59, 184, 204, 215, 217 | ㉗ カードスロット1.....P.22 |
| ⑭ ISO / ★ (レーティング) ボタン
..... P.111, 194 | ㉘ カードスロット2.....P.22 |
| | ㉙ リモートケーブル端子カバー
(リモートケーブル端子).....P.282 |

1 準備する

カメラと付属品を確認する

お買い上げの商品には、カメラ本体と以下の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



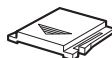
カメラ



ボディキャップ*



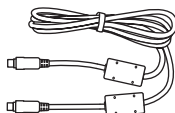
アイカップ
EP-18*



ホットシュー
カバー*



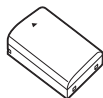
ストラップ



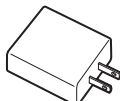
USBケーブル
CB-USB13



フラッシュ
FL-LM3



リチウムイオン
電池
BLX-1



USB-ACアダプ
ター
F-7AC



ケーブルクリップ
CC-1



ケーブルプロテクター
CP-2



取扱説明書(本書)

• 保証書

* ボディキャップ、アイカップ、ホットシューカバーは、あらかじめカメラ本体に取り付けられています。

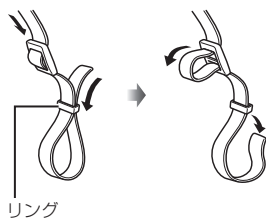
① ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に充電を行ってください(P.20)。

ストラップを取り付ける

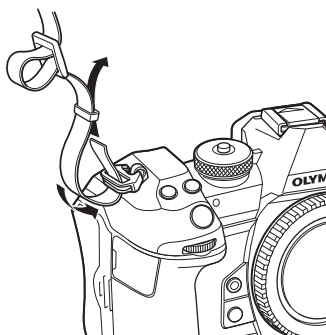
1

準備する

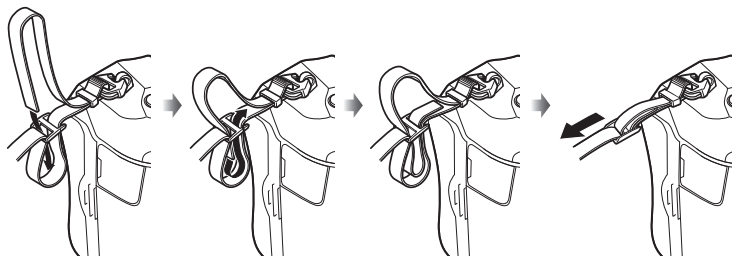
- 1 カメラに取り付けるために、一度リングから外してほどきます。



- 2 ストラップの端をカメラのストラップ取り付け部に通してから、再度リングに通します。



- 3 ストラップの端を留め具に通して固定します。

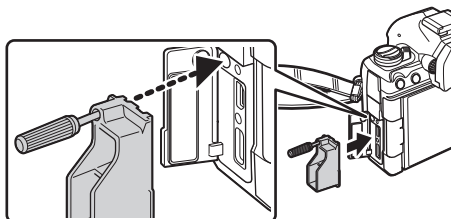


- 同様に逆側も取り付けます。
- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

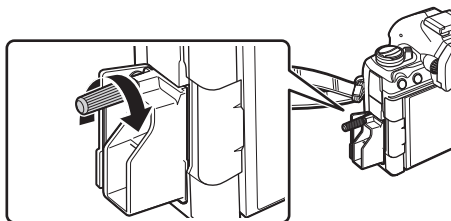
ケーブルプロテクターを取り付ける

USBケーブルやHDMIケーブルをカメラに接続して使用するときには、付属のケーブルプロテクターを使用してください。使用中のケーブルの抜けや端子の破損を防ぎます。

1 ケーブルプロテクターをカメラに取り付けます。

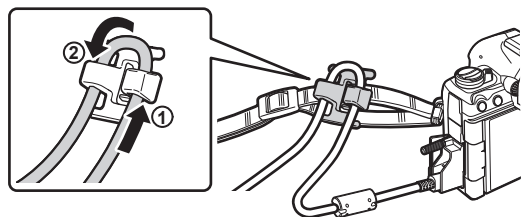


2 スクリューを回して固定します。



3 ケーブルクリップにケーブルをとめ、ストラップに取り付けます。

- ケーブルクリップはストラップ取り付け部にも取り付けられます。



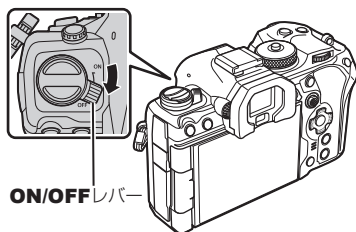
電池を入れる／取り出す

1

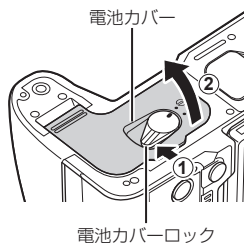
準備する

電池を入れる

- 1 **ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認します。

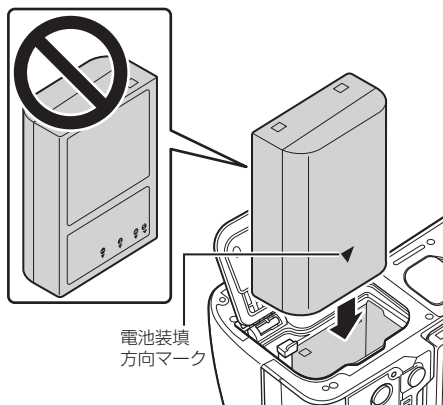


- 2 電池カバーを開けます。



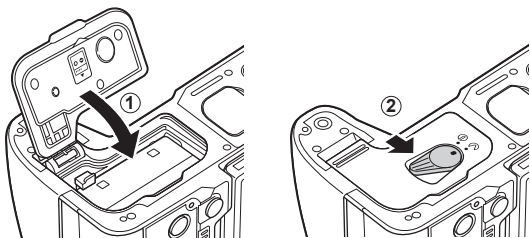
- 3 電池を入れます。

- ① 電池は必ずBLX-1 (P.15, 338)をお使いください。



4 電池カバーを閉めます。

- ① カメラをご使用の際は、必ず電池カバーを閉じてください。

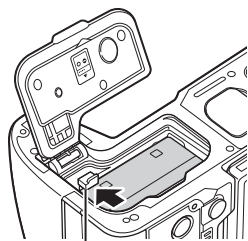


- ⚡ 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
- ⚡ 「電池についてのご注意」も併せてお読みください(P.295)。

電池を取り出す

電池カバーを開け閉めする際は、カメラの電源を切ってください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押しつけてロックを外してから取り出します。

- ① カード書き込み中のマーク(P.30)が表示されている間は、絶対に電池を抜かないでください。
- ① カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。



電池ロックノブ

付属のUSB-ACアダプターで電池を充電する

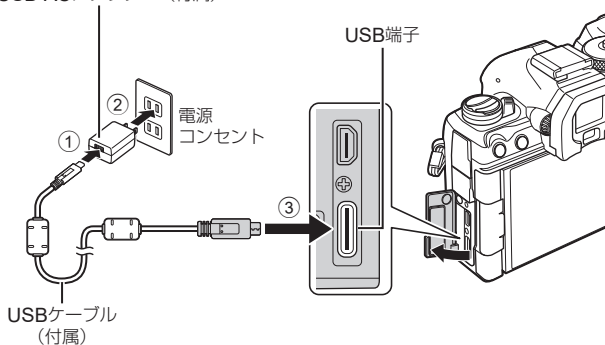
① ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に充電を行ってください。

1 カメラに電池が入っていることを確認し、USBケーブル、USB-ACアダプター、電源コンセントを接続します。

- カメラとUSBケーブルを接続するときは、端子の破損を防ぐために付属のケーブルプロテクターとケーブルクリップをご使用ください。☞「ケーブルプロテクターを取り付ける」(P.17)

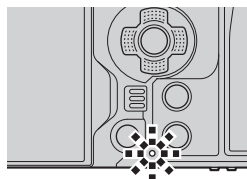
☞ カメラに付属または別売のUSBケーブル(CB-USB13)以外の使用はお控えください。

USB-ACアダプター (付属)



- 充電中はバッテリーチャージランプが点灯します。カメラの電源がオフでの充電時間は約2時間30分です。充電が完了するとランプが消灯しますので、カメラからUSBケーブルを抜いてください。

① バッテリーチャージランプが点滅しているときは充電エラーです。USBケーブルを外して接続しなおしてください。



☞ カメラの電源がオンでもオフでも充電できます。

カメラの電源がオンのときは、オフのときより充電時間が長くなります。

☞ 充電中の電池の温度が高くなると、充電は停止します。しばらくして電池の温度が下がると充電を再開します。

☞ 付属の充電電池は充電器(BCX-1：別売)を使って充電することもできます(P.300)。

☞ 安全に充電を行うため、高温環境下では、充電時間が長くなる、または充電される容量が少なくなることがあります。

① USB-ACアダプターの取扱いについて

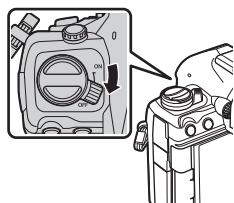
- お手入れの際は、USB-ACアダプター本体をコンセントから抜いて行ってください。USB-ACアダプター本体を抜かないで行くと、感電・けがの原因となることがあります。

USB機器で充電する

USB PD規格に対応したUSB機器とUSBケーブルで接続しているときは、カメラ本体内の電池を充電することができます。

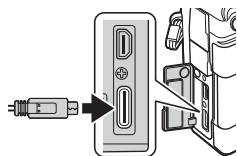
■ USB機器を経由して充電する

- 1 **ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認します。

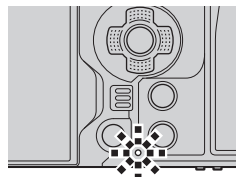


- 2 カメラとUSB機器をUSBケーブルで接続します。

- カメラとUSBケーブルを接続するときは、端子の破損を防ぐために付属のケーブルプロテクターとケーブルクリップをご使用ください。☞「ケーブルプロテクターを取り付ける」(P.17)



- 充電中はバッテリーチャージランプが点灯します。接続しているUSB機器の出力の仕様によって、充電の時間は変わります。充電が完了するとランプが消灯します。



ⓘ バッテリーチャージランプが点滅しているときは充電エラーです。USBケーブルを外して接続しなおしてください。

☞ 充電が完了すると電源供給も終了します。再度充電するときは、USBケーブルを接続しなおしてください。

☞ モバイルバッテリーなどのUSB接続した機器から給電して、カメラを動作させることができます。詳しくは「USB機器から給電する(USB PD)」(P.291)をお読みください。

カードを入れる／取り出す

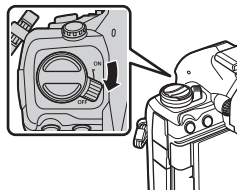
カードを入れる

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード(市販)です。

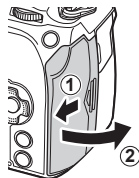
新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。☑「カードを初期化する(カード初期化)」(P.243)

- このカメラには2つのカードスロットが搭載されています。

- 1 ON/OFFレバーがOFFの位置になっていることを確認します。**

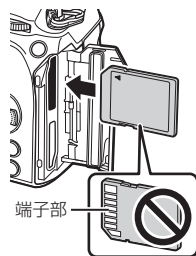


- 2 カードカバーを開けます。**



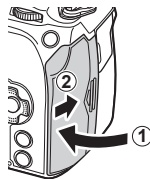
- 3 カードを入れます。**

- カードがロックされるまで差し込みます。
- ① 破損、変形したカードを無理に入れしないでください。カードスロットを破損させる場合があります。



- 4 カードカバーを閉めます。**

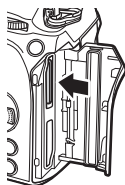
- カチッと音がするまでしっかりと閉めます。



カードを取り出す

差し込まれているカードを押し込むと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。

- ① カード書き込み中のマーク(P.30)が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。



カードを2枚使用するとき

2つのカードスロットにカードを入れて使用する場合は、目的に応じてそれぞれを使い分けることができます。☞「記録先カードを設定する(☑カードスロット設定/☒カードスロット設定)」(P.244)

- 指定したカードにのみ記録する
- 指定したカードに記録し、空き容量がなくなったら、もう1枚のカードに記録先を変更する
- それぞれのカードに、異なる画像サイズや圧縮率で記録する
- 2枚のカードに同じ画像を記録する

カードについて

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード(市販)です。使用できるカードの最新情報は当社ホームページをご確認ください。



SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



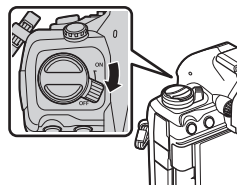
- ① ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- ② 次の場合は、UHS-II またはUHS-I のUHSスピードクラス3以上をご使用ください。
 [☒画質モード]のムービーサイズが[4K]または[C4K]のとき / [☒画質モード]のフレーム間圧縮が[A-I] (All-Intra)のとき
- ☞ 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- ☞ SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合は、再生の一部の機能などで制限があります。

レンズを取り付ける／取り外す

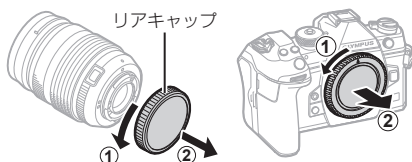
レンズを取り付ける

- 交換レンズについては、P.297をお読みください。

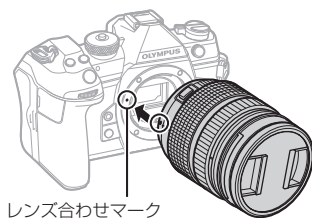
- 1 ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認します。



- 2** レンズのリアキャップ、カメラのボディキャップを外します。

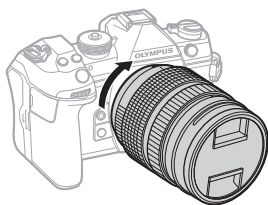


- 3** カメラのレンズ合わせマーク(赤印)にレンズの取り付け指標(赤印)を合わせ、レンズをボディに差し込みます。

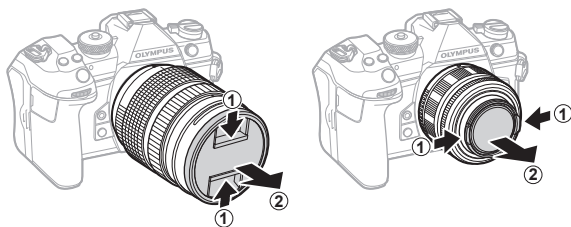


- 4** レンズをカチッと音がするまで右に回します。

- ① レンズ取り外しボタンは押さないでください。
- ② カメラ内部には触らないでください。



5 レンズキャップを取り外します。

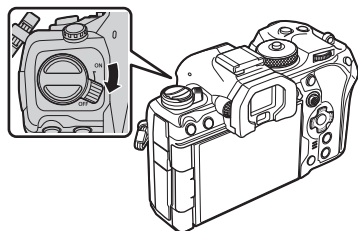


1

準備する

レンズを取り外す

- 1 **ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認します。



- 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、矢印の方向に回します。

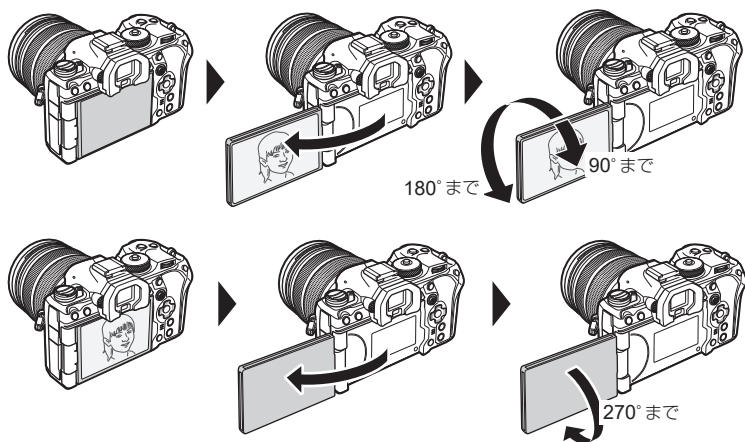


モニターを操作する

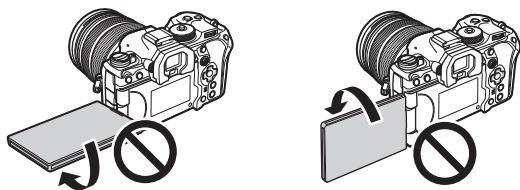
1

準備する

モニターの画面を見えるように回転します。モニターは、撮影時の状況に合わせて向きと角度を変えることができます。



- モニターを回転させるときは、可動範囲内でゆっくりと回してください。次のように可動範囲を超えて、無理な力がかかると接続部の破損の原因となります。

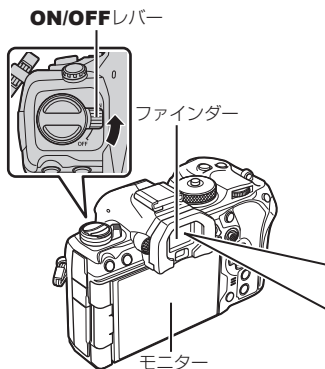


- モニターを自分撮り位置にすると、画面の左右を反転して表示したり、電動ズームレンズのズーム位置を自動的に広角側に移動します。☑「自分撮りに合わせた表示をする(自分撮りアシスト)」(P.227)

電源を入れる

1 ON/OFFレバーをONの位置に合わせます。

- 電源が入るとモニターが点灯し、スーパーコンパネ(P.65)が表示されます。ファインダーに目を近づけると自動的にファインダーが点灯します。ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。ファインダーとモニターの表示の切り換えについてはP.32を参照してください。
- 電源をオフにするには、レバーを**OFF**の位置に戻します。



電池残量表示

使用している電池の残量が表示されます。電池残量は%で表示されます。

使用中の電池の残量(%)



電池残量が約10%になると赤く点滅表示します。



☞ 電源オンオフの機能はFnレバーに割り当てておくこともできます。☞ 「Fnレバー/電源レバーの設定をする」(P.221)

カメラのスリープ動作について

カメラを一定時間操作しないと、電池消費を抑えるためにカメラが自動的に待機状態になります。この状態をスリープモードといいます。

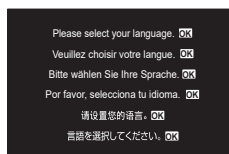
- スリープモードになるとモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや▶ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。
 - スリープモードに入ってから操作を行わずにさらに一定時間経過すると、電源がオフになります。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。
- ① 【スマートフォン接続の設定】で【バックグラウンド通信】が【On】(有効)に設定されていると、電源を入れなおしたときの動作に時間が掛かることがあります。☞ 「電源オフ時の無線接続設定をする(バックグラウンド通信)」(P.266)
- ① スリープモードまでの時間と電源オフまでの時間はメニューで変更できます。☞ 「スリープ(省電力)モードを設定する(スリープ時間)」(P.257)、「自動的に電源を切る設定をする(自動電源Off)」(P.257)

初期設定をする

初めて電源を入れたときは、初期設定として言語と日時の設定を行います。

① ファイル名は日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

1 初期設定画面(言語の設定を促す画面)が表示されたら、**OK** ボタンを押します。



2 **△▽<▷** またはフロント/リアダイヤルで、設定したい言語にカーソルを移動します。



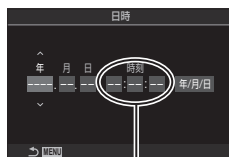
3 設定したい言語の位置にカーソルを移動させた状態で、**OK** ボタンを押します。

- **OK** ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、言語が設定されないまま撮影機状態になります。その場合、一度カメラの電源をオフしてから入れ直す初期設定画面が再度表示されますので、手順1から操作を行ってください。
- 言語の設定は、メニューで後から変更できます。**INFO** 「言語の表示がおかしい/設定した言語が表示されないときは」(P.29)



4 日付/時刻/日付表示順序を設定します。

- **<▷** ボタンで項目を選びます。
- **△▽** ボタンで内容を選びます。
- 日時の設定は、メニューで後から変更できます。**INFO** 「日付・時刻を設定する(日時設定)」(P.260)



時刻は24時間表示です。

5 **OK** ボタンを押します。

6 **△▽** ボタンで地域を選択し、**OK** ボタンを押します。

- **INFO** ボタンでサマータイムの設定ができます。

7 **OK** ボタンを押して、設定を終了します。

☞ 日時の情報は画像とともにカードに記録されます。

☞ カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時がリセットされる場合があります。リセットされたときは、メニューから設定してください。**INFO** 「日付・時刻を設定する(日時設定)」(P.260)

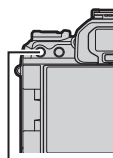
☞ ムービーを撮影する場合は、必要に応じてあらかじめフレームレートを設定してください。

INFO 「静止画とムービーの画質を設定する(画質モード/画質モード)」(P.136)

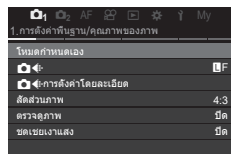
言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは

画面の表示が読めない文字になっていたり、意図しない言語が表示されたときは、言語設定時に設定したい言語とは異なる言語を選択した可能性があります。次の手順で言語の設定を変更してください。

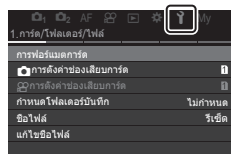
- 1 **MENU**ボタンを押し、メニューを表示します。



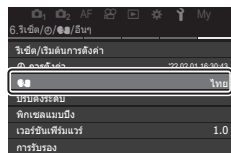
MENUボタン



- 2 フロントダイヤルで \uparrow (セットアップメニュー) タブを選びます。



- 3 \triangleleft またはリアダイヤルで $\left[\text{言語} \right]$ が表示される画面を選びます。



- 4 \triangle ∇ ボタンで $\left[\text{言語} \right]$ を選択し、 OK ボタンを押します。



- 5 \triangle ∇ \triangleleft ボタンで設定したい言語を選択し、 OK ボタンを押します。

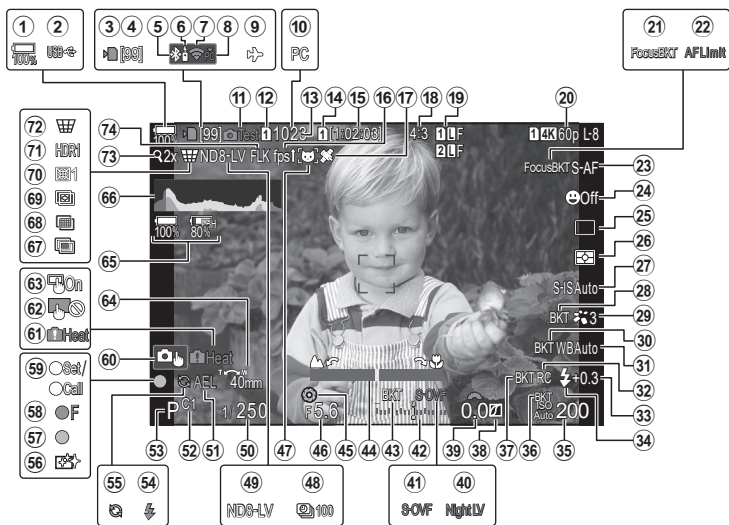


2 撮影する

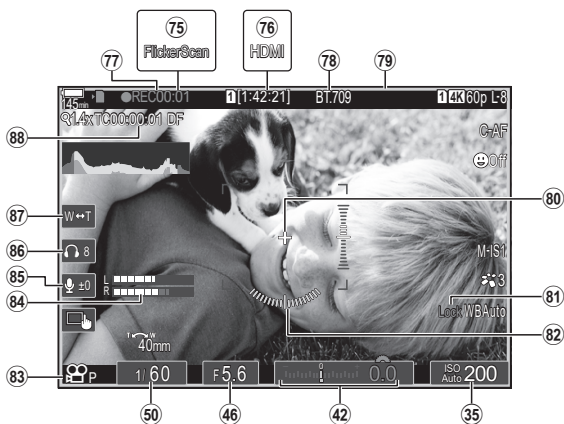
撮影時の情報表示

☞ 初期設定でモニターに表示されるスーパーコンパネの各項目については、P.67を参照してください。

静止画像撮影時のモニター表示



ムービーモード中のモニター表示



① 電池残量	P.27	④④ フォーカス距離指標	P.99
② USB PD給電	P.291	④⑤ プレビュー	P.224
③ カード書き込み中	P.19、P.23	④⑥ 絞り値	P.39、P.41
④ 連続撮影可能枚数	P.125	④⑦ 被写体検出	P.87
⑤ Bluetooth®接続中	P.263、P.283	④⑧ インターバル撮影	P.163
⑥ リモコン	P.283	④⑨ ライブND撮影	P.154
⑦ 無線LAN接続状態	P.264、P.270	⑤⑩ シャッター速度	P.39、P.43
⑧ パソコン接続中(Wi-Fi)	P.270	⑤⑪ AEロック	P.107
⑨ 機内モード	P.263	⑤⑫ カスタムモード	P.51
⑩ パソコン接続中(USB) *1	P.286	⑤⑬ 撮影モード	P.39
⑪ 試し撮り撮影	P.209	⑤⑭ フラッシュ (点滅：充電中、点灯：充電完了)	P.116
⑫ 記録設定	P.245	⑤⑮ プロキャプチャー画像取り込み中	P.130
⑬ 撮影可能枚数	P.333	⑤⑯ ダストリダクション	P.311
⑭ 記録スロット	P.245	⑤⑰ 合焦マーク	P.35
⑮ 録画可能時間	P.333	⑤⑱ ♥SH2絞り警告	P.123
⑯ フレームレート	P.225	⑤⑲ Set機能/Call機能	P.299
⑰ Bluetooth位置情報付与	P.269	⑥① タッチ操作	P.37
⑱ アスペクト比	P.140	⑥② 内部温度上昇警告	P.315
⑲ 画質モード	P.136	⑥③ AFターゲットパッド	P.98
⑳ 画質モード	P.137	⑥④ タッチ操作	P.37
㉑ Focus BKT	P.175	⑥⑤ ズーム操作方向/焦点距離	
㉒ AFリミッター	P.89	⑥⑥ 全電池情報	P.27、P.301
㉓ AF方式	P.68	⑥⑦ ヒストグラム	P.33
㉔ 顔優先/瞳優先	P.85	⑥⑧ 多重露出撮影	P.160
㉕ ドライブ(単写/連写/セルフタイマー/ 低振動撮影/静音撮影/ プロキャプチャー撮影)	P.123	⑥⑨ ハイレゾショット	P.152
㉖ 測光方式	P.107	⑥⑩ 深度合成撮影	P.157
㉗ 手ぶれ補正	P.132	⑦① フィッシュアイ補正撮影	P.167
㉘ ART BKT	P.174	⑦② HDR撮影	P.159
㉙ ピクチャーモード	P.141	⑦③ デジタルシフト撮影	P.165
㉚ WB BKT	P.171	⑦④ デジタルテレコン	P.162
㉛ WBモード	P.145	⑦⑤ フリッカーレス撮影	P.131
㉜ RCモード	P.121	⑦⑥ フリッカースキャン	P.106
㉝ フラッシュ補正	P.121	⑦⑦ HDMI出力	P.179
㉞ フラッシュモード	P.118	⑦⑧ 録画時間(録画中)	P.55
㉟ ISO感度	P.111	⑦⑨ ビューアシスト	P.151
㊱ ISO BKT	P.173	⑦⑩ 動画撮影中の赤枠	P.181
㊲ FL BKT	P.172	⑧① センターマーカー	P.180
㊳ ハイライト&シャドウコントロール	P.214	⑧② WBオートロック	P.149
㊴ 露出補正值	P.103	⑧③ 水準器	P.34
㊵ ナイトビュー	P.225	⑧④ 録モード(ムービー露出モード)	P.56
㊶ LV表示モード	P.225	⑧⑤ 録音レベルメーター	P.58
㊷ 露出補正	P.103	⑧⑥ 録音レベル	P.58
㊸ AE BKT	P.170	⑧⑦ ヘッドホン音量	P.58
		⑧⑧ 電動ズーム	P.58
		⑧⑨ タイムコード	P.178

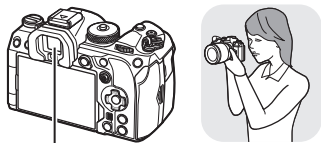
*1 [] [RAW/Control] でOM Captureと接続しているとき、画像の保存先がパソコンのみの場合に表示されます(P.287)。

表示の切り換え

このカメラは、アイセンサーの働きによってファインダーとモニターの画面を自動的に切り換えます。また、ファインダーやモニター画面(スーパーコンパネ/ライブビュー表示)には、撮影機能の設定状態を示す情報が表示されます。画面の切り換えや情報表示の状態は設定により選択ができます。

初期設定では、モニターにはスーパーコンパネ(P.65)が表示されます。

ファインダーを使って撮影する

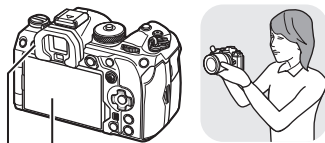


ファインダー



目を近づけると自動的にファインダーが点灯します。ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。

モニターを使って撮影する



IOI (LV) ボタン モニター



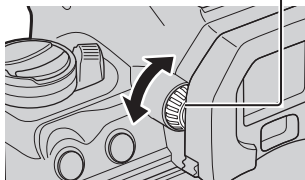
モニターにはスーパーコンパネが表示されます。IOI (LV) ボタンを押すとライブビュー表示に切り換わります。

↓ IOI (LV) ボタン



- ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは、ファインダーをのぞきながらファインダー内の表示がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回します。

視度調整ダイヤル

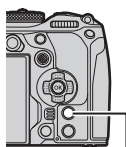


🔗 モニターとファインダーの自動切り換えを手動にしたり、ファインダーの表示スタイルを変更したりできます。🔗 「ファインダー内表示のスタイルを選ぶ(EVF表示スタイル)」(P.228)、「アイセンサーの機能を設定する(アイセンサーの設定)」(P.253)

情報表示を切り換える

PASMB 

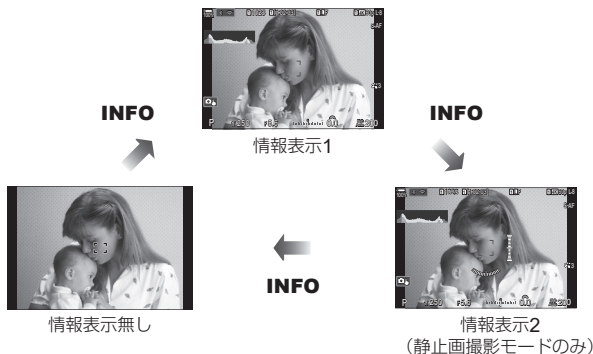
INFO ボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。








INFOボタン


2

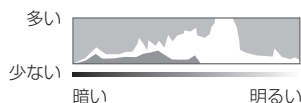
撮影する



- **INFO** ボタンを押しながらダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。
- 表示する内容を、静止画撮影モードとムービーモードで個別に設定できます。  「機能設定アイコンの表示内容を変える( Info表示 /  Info表示)」 (P.230)
- シャッターボタンを半押ししたときの情報表示のOn/Offを設定できます。
 「シャッターボタン半押し中の情報表示を設定する( 半押し中の表示)」 (P.232)

ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。  「ヒストグラム表示の警告レベルを設定する(ヒストグラム警告設定)」 (P.238)



ハイライト&シャドウ

ヒストグラム表示の上限値および下限値の設定に従って、ハイライトやシャドウ部を赤色や青色で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。☑️「ヒストグラム表示の警告レベルを設定する(ヒストグラム警告設定)」(P.238)

水準器表示

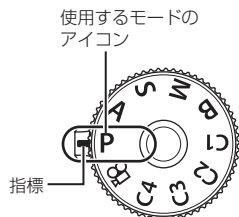
カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示にずれがあるときは、調整することができます。☑️「水準器の調整をする(水準器調整)」(P.261)

静止画を撮る

PASMB

モードダイヤルを使って撮影モードを選んで撮影します。




2

撮影する

撮影モードの種類

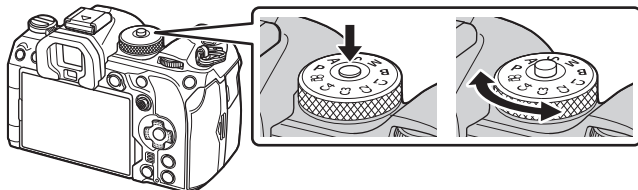
各撮影モードの詳細はそれぞれのページをご覧ください。

P	プログラムAE (P.39)
A	絞り優先AE (P.41)
S	シャッター優先AE (P.43)
M	マニュアル(P.45)
B	バルブ撮影/タイム撮影(P.47)
	ライブコンポジット撮影(P.49)
C1/C2/C3/C4	カスタム(P.53)

 モードダイヤルの  については、P.55を参照してください。

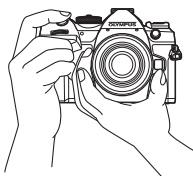
1 モードダイヤルロックを押してロックを解除し、モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。

- モードダイヤルロックが押し込まれているとき、モードダイヤルはロックされています。モードダイヤルロックを押すたびにロック/解除が切り換わります。

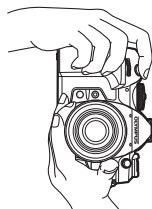


2 カメラを構えて構図を決めます。

- ① レンズやAF補助光に指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



横位置



縦位置

3 ピントを合わせます。

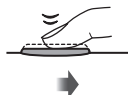
- シャッターボタンを1段目まで軽く押し込みます(半押し)。合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑の枠(AFターゲット)が表示されます。

🔗 **AF-ON** ボタンを押してもピントを合わせることができます。(P.80)

シャッターボタンを半押しします。



AFフレーム



合焦マーク AFターゲット

- ① 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません(P.312)。
- ① AFフレームの形状はAFターゲットモードの設定により変わります。AFターゲットの範囲(P.73)やAFターゲット位置(P.72)を変更、設定して使用してください。
- ① AFターゲットの設定(P.73)が[All] (オールターゲット)のときはAFフレームは表示されません。

4 撮影します。

- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。
- シャッターが切れ、撮影されます。

全押し

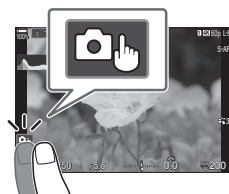


🔗 タッチ操作でもピント合わせや静止画の撮影ができます。🔗 「タッチパネルを使って撮る」(P.37)

タッチパネルを使って撮る











PASMB 

ピントを合わせたい位置にタッチして撮影することができます。



2

撮影する

	タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。撮影モードが B (バルブ)、  (ムービーモード) のとき、または AF 方式 (P.68) が  、  のときは使えません。
	タッチ操作での撮影を禁止します。
	タッチした箇所に AF ターゲットを表示してピントを合わせます。AF フレームの大きさや位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。
	カメラが複数の人物の顔を検出したとき、ピントを合わせる顔をタッチして選択します。  は [顔・瞳検出] を [Off] 以外に設定したときに表示されます (P.85)。撮影モードが  (ムービーモード) で、  [画質モード] が [FHD120/60pL-8] (ハイスピード) のときは使えません (P.137)。


- アイコンをタッチすると、設定が切り換わります。

① 先のとがったものや爪で操作しないでください。

① モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。


■ ピントを合わせる被写体を確認する ()

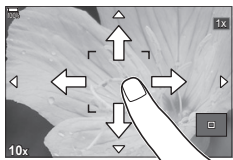
1 ピントを合わせたい被写体にタッチします。

- AF ターゲットが表示されます。
- レベルバーを指で上下させると枠の大きさを変えられます。
-  にタッチすると AF ターゲット表示を終了します。



2 レベルバーで AF ターゲットの大きさを調節してから にタッチすると、枠の位置を拡大表示します。

- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
-  にタッチすると拡大表示を終了します。




- 次の場合はタッチ操作できません。
ボタンまたはダイヤル操作中など
- タッチパネルの操作を禁止することができます。☞「タッチパネル機能を無効にする (タッチパネル設定)」(P.251)

撮影直後に画像を表示する時間を設定する (撮影画像の確認時間)

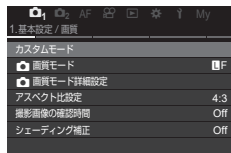
PASMB

撮影直後に自動的に撮影した画像を表示します。撮影した画像の簡単なチェックができます。画像を表示する時間を変更したり、画像の表示をやめることができます。撮影画像を表示中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。


0.3 ~ 20秒	画像を表示する時間を指定します。
Off	確認用の画像を表示しません。被写体を表示し続けます。
Auto 	撮影後、画像の再生状態に移ります。画像の消去などの再生時の操作ができます。

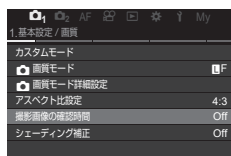
1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。


2 フロントダイヤルで  (静止画1) タブを選びます。



3 <> またはリアダイヤルで [1. 基本設定/画質] を選びます。

4 △▽ボタンで [撮影画像の確認時間] を選び、 ボタンを押します。



5 △▽<>ボタンで設定を変更して、 ボタンを押します。



6 MENUボタンを押して、メニューを終了します。

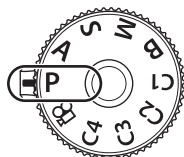
撮影モードを使って撮る

絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pプログラム撮影)

PASMB

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルをPに合わせます。



2 被写体にピントを合わせて表示を確認します。

- フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。
フロントダイヤル：露出補正 (P.103)
リアダイヤル：プログラムシフト (P.40)
- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。
- 露出補正は、 ボタンでも設定できます。 ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。




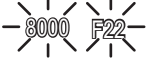
撮影モード

3 撮影します。

- 🔗 フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。🔗 「フロント/リアダイヤルの機能を変える (🔗ダイヤル機能 / 🔗ダイヤル機能)」 (P.215)
- 🔗 **Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。🔗 「Fnレバーの機能を変える (Fnレバーの設定)」 (P.218)

適正露出が得られないときは

シャッター速度と絞り値が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい値で シャッター速度が遅い場合 	被写体が暗すぎます。 ・フラッシュを使ってください。
絞り値が大きい値で シャッター速度が速い場合 	被写体が明るすぎます。 ・カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。 ・[♥]（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を1/32000まで上げることができます。☑️「シャッター音を立てずに撮影する（静音[♥]撮影設定）」（P.129）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.123）

☞ [ISO感度]を[Auto]以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☑️「感度を変更する（ISO感度）」（P.111）

☞ 点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

■ プログラムシフトについて

自動的に設定された絞り値とシャッター速度の組み合わせを、露出を変えずに変更することができます。これをプログラムシフトといいます。

1 使いたい絞り値、またはシャッター速度が表示されるまでリアダイヤルを回します。

- ・プログラムシフトをすると、画面の撮影モードのPがPsと表示されます。プログラムシフトを解除するには、表示がPになるまで、リアダイヤルを逆に回します。



☞ 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。☑️「画面の見え方を変える（LV表示モード）」（P.225）

絞り値(F値)を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定します。絞り値の数値を小さくする(絞りを開く)ほど、ピントの合う範囲(被写界深度)が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞り値の数値を大きくする(絞りを絞る)ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。

絞り値を小さくする

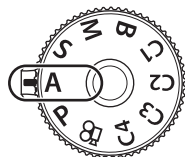
絞り値を大きくする



ピントの合う範囲が狭くなり、
ボケが強くなる

ピントの合う範囲が広がる

1 モードダイヤルをAに合わせます。



2 絞り値を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。
フロントダイヤル：露出補正 (P.103)
リアダイヤル：絞り値
- 適正なシャッター速度が自動的に設定され画面に表示されます。
- 露出補正は、ボタンでも設定できます。ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。




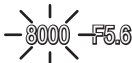
絞り値

3 撮影します。

- フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。「フロント/リアダイヤルの機能を変える(カメラダイヤル機能/カメラダイヤル機能)」(P.215)
- Fnレバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、Fnレバーの機能も変更することができます。「Fnレバーの機能を変える(Fnレバーの設定)」(P.218)
- 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。「画面の見え方を変える(カメラLV表示モード)」(P.225)
- 設定した値まで実際に絞りを動作させて、ピントの合う範囲を確認できます(プレビュー)。「ボタンの機能を変える(ボタンの設定)」(P.207)

適正露出が得られないときは

シャッター速度が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
シャッター速度が遅い場合 	露出アンダー（露出不足）です。 <ul style="list-style-type: none"> 絞りを小さくしてください。
シャッター速度が速い場合 	露出オーバー（露出過度）です。 <ul style="list-style-type: none"> 絞りを大きくしてください。 絞りを大きくしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。 [♥]（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を1/32000まで上げることができます。☑「シャッター音を立てずに撮影する（静音[♥]撮影設定）」（P.129）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.123）

☞ [ISO感度]を[Auto]以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☑「感度を変更する(ISO感度)」(P.111)

シャッター速度を決めて撮影する (Sシャッター優先撮影)

P A S M B 

シャッター速度を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正な絞り値を自動的に設定します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。

シャッター速度を遅くする

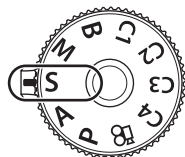
60" ←  15 ←  30 ←  60 →  125 →  250 →  8000

躍動感や動きのある
仕上がりになる





シャッター速度を速くする

動きの速い被写体を
止まったように撮影する

1 モードダイヤルをSに合わせます。














2 シャッター速度を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。
フロントダイヤル：露出補正 (P.103)
リアダイヤル：シャッター速度
- シャッター速度は、1/8000 ～ 60秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、1/32000秒まで設定できます。
 「シャッター音を立てずに撮影する (静音[]撮影設定)」 (P.129)、「連写する/セルフタイマーを使う」 (P.123)
- 絞り値が自動的に設定され画面に表示されます。
- 露出補正は、 ボタンでも設定できます。 ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。



シャッター速度

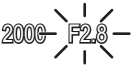

3 撮影します。

-  フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。 「フロント/リアダイヤルの機能を変える ( ダイヤル機能 /  ダイヤル機能)」 (P.215)
-  **Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。 「Fnレバーの機能を変える (Fnレバーの設定)」 (P.218)
-  画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。 「画面の見え方を変える ( LV表示モード)」 (P.225)
-  低速のシャッター速度が使えない明るい環境でも、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。 「明るい環境下でスローシャッター撮影をする (ライブND撮影)」 (P.154)

🔍 蛍光灯やLED光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき(フリッカー)の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。🔍 「シャッターが切れるタイミングを設定する(フリッカーレス撮影)」(P.131)、「LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する(📷フリッカースキャン/📷フリッカースキャン)」(P.106)

適正露出が得られないときは

絞り値が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい場合 	露出アンダー（露出不足）です。 ・シャッター速度を遅くしてください。
絞り値が大きい場合 	露出オーバー（露出過度）です。 ・シャッター速度を速くしてください。静音撮影に設定すると、シャッター速度の上限が1/32000になります。 ・シャッター速度を速くしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。

🔍 [📷ISO感度]を[Auto]以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。🔍 「感度を変更する(ISO感度)」(P.111)

🔍 点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

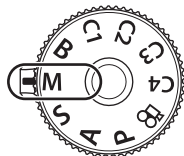
絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する

(Mマニュアル撮影)

PASMB

絞り値とシャッター速度を自分で設定します。被写体に合わせて速いシャッター速度にしつつ、絞り込んで被写界深度を確保するといった、狙いに合わせた撮影ができます。

1 モードダイヤルをMに合わせます。



2 絞り値とシャッター速度を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：絞り値

リアダイヤル：シャッター速度

- シャッター速度は、1/8000～60秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、シャッター速度を1/32000秒まで上げることができます。☞「シャッター音を立てずに撮影する(静音[♥]撮影設定)」(P.129)
- 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。差が±3以上になると表示が点滅します。
- ☞[ISO感度]が[Auto] (オート)のときは、設定した露出で適正露出になるようにISO感度が設定されます。☞[ISO感度]は初期設定では[Auto]です。☞「感度を変更する(ISO感度)」(P.111)





適正露出との差

3 撮影します。

- ☞フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞「フロント/リアダイヤルの機能を変える(☞ダイヤル機能/☞ダイヤル機能)」(P.215)
- ☞Fnレバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、Fnレバーの機能も変更することができます。☞「Fnレバーの機能を変える(Fnレバーの設定)」(P.218)
- ☞蛍光灯やLED光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき(フリッカー)の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。☞「シャッターが切れるタイミングを設定する(フリッカーレス撮影)」(P.131)、「LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する(☞フリッカーキャン/☞フリッカーキャン)」(P.106)
- ☞画面の表示に露出の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。☞「画面の見え方を変える(☞LV表示モード)」(P.225)

適正露出が得られないときは

【ISO感度】が【Auto】で、適正露出が得られないときは、ISO感度表示が以下のよ
うに点滅します。

警告表示例	状態と対処方法
	露出オーバー（露出過度）です。 • 絞り値を大きくするか、シャッター速度を速くしてください。
	露出アンダー（露出不足）です。 • 絞り値を小さくするか、シャッター速度を遅くしてください。 • それでも解消されないときは、ISO感度を上げてください。 ☑ 「感度を変更する (ISO感度)」 (P.111)、「ISO感度の [Auto] の範囲を設定する (ISOオート上限/基準値 / M ISOオート上限/基準値)」 (P.113)

■ Mモード時の露出補正について

Mモード時に【ISO感度】が【Auto】（オート）のときは露出補正の設定ができます。ISO感度の変更によって露出補正を行うため、絞り値やシャッター速度の設定は変更されません。☑ 「感度を変更する (ISO感度)」 (P.111)、「ISO感度の [Auto] の範囲を設定する (ISOオート上限/基準値 / M ISOオート上限/基準値)」 (P.113)

1 ☑ ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回します。

- 露出補正を行うと、設定値と適正露出との差に、設定した補正値が加味されて画面に表示されます。



露出補正値
補正値を加味した
露出設定値との差

シャッターを長時間開いて露光をします。ライブビューの画面で仕上がりを確認しながら任意のタイミングで撮影を終了することもできます。夜景や打ち上げ花火のような長時間の露光が必要なときに設定します。

① 長秒時撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定し、**[手ぶれ補正]** (P.132)を**[S-IS Off]**に設定することをお勧めします。

バルブ撮影(BULB)、ライブバルブ撮影(LIVE BULB)

シャッターボタンを押している間、露光を続けます。シャッターボタンを離すと露光が終了します。

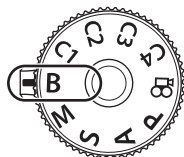
- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブバルブ撮影のときは、露光中の画像をライブビュー表示で仕上がりを確認しながら、任意のタイミングで撮影を終了することができます。

タイム撮影(TIME)、ライブタイム撮影(LIVE TIME)

シャッターボタンを全押しすると露光を始めます。露光を終了するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。

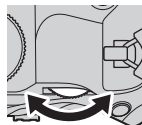
- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブタイム撮影のときは、露光中の画像をライブビュー表示で仕上がりを確認しながら、任意のタイミングで撮影を終了することができます。

1 モードダイヤルをBに合わせます。



2 [Bulb] (バルブ機能)または[Time] (タイム機能)に設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルで設定します。



バルブ撮影、タイム撮影

3 MENUボタンを押します。

- 撮影中のライブビュー表示の間隔を設定するメニューが表示されます。

4 △▽で表示更新間隔を設定します。

5 OKボタンを押して設定を確定します。

- メニュー画面が表示されます。

6 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- [Off]以外に設定したときは、画面に[Live Bulb]または[Live Time]と表示されます。

7 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。



絞り値

8 撮影します。

- バルブまたはライブバルブ撮影の場合はシャッターボタンを押し続けます。シャッターボタンを離すと撮影は終了します。
- ライブタイムで撮影中にシャッターボタンを半押しすると、表示を更新できます。
- タイムまたはライブタイム撮影の場合はシャッターボタンを全押しして撮影を開始し、撮影を終えるときにもう一度シャッターボタンを全押しします。
- [BULB/TIMEリミッター]で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする(BULB/TIME/COMPの設定)」(P.169)
- 撮影後に[長秒時ノイズ低減]が動きます。ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。[長秒時ノイズ低減]の動作は選択できます(P.115)。

① 設定できるISO感度に制限があります。

① ライブバルブ撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとバルブ撮影になります。

① ライブタイム撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとタイム撮影になります。

① 撮影中は、以下の撮影機能の設定に制限があります。

連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AEブラケット撮影/
フラッシュブラケット撮影/フォーカスブラケット撮影/深度合成撮影など

① カメラの設定や温度や環境条件によっては、モニターに表示される画像にノイズや輝点が目立つ場合があります。また、これらは[長秒時ノイズ低減](P.115)が設定されていても撮影画像に写る場合があります。

- ☞ 星空を撮影する場合は、星空AFも便利です。☞ 「ピントの合わせ方を設定する(☞AF方式/☞AF方式)」(P.68)、「星空AFの設定を変更する(星空AF設定)」(P.82)
- ☞ バルブ/タイム撮影中の画面の明るさは変更できます。☞ 「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする(BULB/TIME/COMPの設定)」(P.169)
- ☞ 撮影モードが**B**(バルブ)のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。☞ 「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする(BULB/TIME/COMPの設定)」(P.169)

🔊 画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラでは長秒時ノイズ低減が働きます。☞ 「長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする(長秒時ノイズ低減)」(P.115)

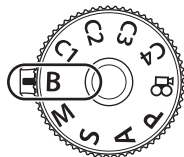
比較明合成撮影を行う (Bライブコンポジット撮影)

PASMB

シャッターを長時間開いて露光をします。背景の明るさを変えずに、花火や星などの明るい光跡の変化を観察しながら撮影できます。複数枚を合成し、1枚の画像として記録します。

- ⚠ 比較明合成撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定し、☞「手ぶれ補正」(P.132)を[S-IS Off]に設定することをお勧めします。

1 モードダイヤルをBに合わせます。



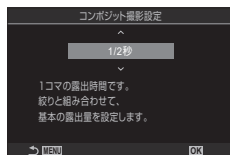
2 [Live Comp]に設定します。

- 初期設定ではリアダイヤルを回して設定します。



ライブコンポジット撮影

- 3 MENU**ボタンを押します。
- ・[コンポジット撮影設定]の設定画面が表示されます。
- 4** Δ / ∇ で1コマの露出時間を設定します。
- ・露出時間は、1/2秒～60秒の間で設定できます。
- 5** \odot ボタンを押して設定を確定します。



- ・メニュー画面が表示されます。
- 6 MENU**ボタンを繰り返し押しして、メニューを終了します。

- 7** 絞り値を設定します。
- ・初期設定では、フロントダイヤルで設定します。
- 8** 撮影準備のためにシャッターボタンを全押しします。
- ・モニターに[コンポジット撮影できます]の表示が出たら撮影できます。



- 9** シャッターボタンを押して撮影を開始します。
- ・ライブコンポジット撮影が始まります。設定した露出時間ごとにモニターの画像が更新されます。
- 10** もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。
- ・[COMPRミッター] (P.169)で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。設定は変更できません。
 - ・撮影可能時間は、撮影環境や充電状態などによって変わります。

① 設定できるISO感度に制限があります。

① 以下の機能とは併用できません。

連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AEブラケット撮影/
フラッシュブラケット撮影/フォーカスブラケット撮影/HDR撮影/
ハイレゾショット/深度合成撮影/多重露出撮影/デジタルシフト撮影/ライブND撮影/
フィッシュアイ補正撮影

- 🔗 星空を撮影する場合は、星空AFも便利です。🔗 「ピントの合わせ方を設定する(📷AF方式/🔗AF方式)」(P.68)、「星空AFの設定を変更する(星空AF設定)」(P.82)
- 🔗 ライブコンポジット撮影中の画面の明るさは変更できます。🔗 「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする(BULB/TIME/COMPの設定)」(P.169)
- 🔗 ライブコンポジット撮影の1コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。🔗 「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする(BULB/TIME/COMPの設定)」(P.169)

任意の設定をモードダイヤルに登録する (C1/C2/C3/C4 カスタムモード)

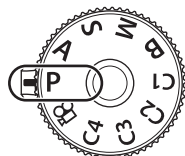
撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモードとして登録しておき、必要ときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます。また、登録した設定をメニューで呼び出すこともできます。

- C1～C4それぞれに設定を登録できます。

残しておきたい設定内容を登録する

(カスタム登録)

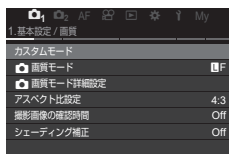
PASMB



- 1 撮影モードをP以外にして、カメラの設定を登録したい内容にします。

- 設定を登録できる機能は、「機能と初期設定一覧」(P.318)をご覧ください。

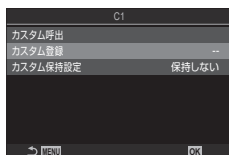
- 2 MENUボタンを押して、メニューを表示します。
- 3 フロントダイヤルでM1(静止画1)タブを選びます。
- 4 <D>またはリアダイヤルで[1. 基本設定/画質]を選びます。



- 5 Δ▽ボタンで[カスタムモード]を選び、OKボタンを押します。
 - 6 Δ▽ボタンで設定したいモードを[C1]～[C4]から選択し、OKボタンを押します。
- 選択したカスタムモードの画面が表示されます。

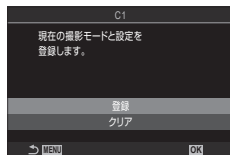


- 7 Δ▽ボタンで[カスタム登録]を選択し、OKボタンを押します。



8 △▽ボタンで[登録]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- すでに登録されている内容があるときは、現在の設定内容が上書きされます。
- **[クリア]**を選択して**OK**ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



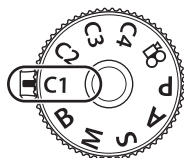
9 **MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。

- カスタムモード(**C1/C2/C3/C4**)でカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカスタムモードに自動で登録することができます。☑ 「カスタムモードで変更した設定を保持する」(P.53)

カメラの設定を撮影モードも含めて、登録した設定内容にします。

1 モードダイヤルを、機能を登録した**C1/C2/C3/C4**のいずれかに設定します。

- 登録したカスタムモードの設定になります。








※各種機能の設定は変更できますが、初期設定では登録されている内容には反映されません。モードダイヤルを回すと登録された内容に戻ります。

■ カスタムモードで変更した設定を保持する

カスタムモードでカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカメラに保持することができます。

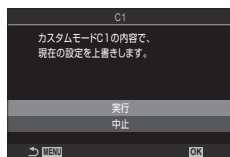
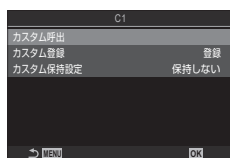
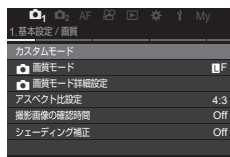
モードダイヤルを回しても変更した設定が残ります。通常の**P/A/S/M/B**と同じように使うことができます。

- MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。
- フロントダイヤルで  (静止画1) タブを選びます。
- <D>またはリアダイヤルで [1. 基本設定/画質] を選びます。
- △▽ボタンで [カスタムモード] を選び、 ボタンを押します。
- △▽ボタンで設定したいモードを [C1] ~ [C4] から選択し、 ボタンを押します。
- △▽ボタンで [カスタム保持設定] を選択し、 ボタンを押します。
- <D>ボタンで [保持する] を選択し、 ボタンを押します。
- MENU**ボタンを押してメニューを終了します。

■ 登録されている設定を呼び出す

撮影モードが P 以外のときに、カスタムモードの[C1] ~ [C4]に登録された機能を読み出すことができます。

- MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。
- フロントダイヤルで M 1(静止画1)タブを選びます。
- \leftarrow またはリアダイヤルで[1. 基本設定/画質]を選びます。
- Δ / ∇ ボタンで[カスタムモード]を選び、 OK ボタンを押します。
- Δ / ∇ ボタンで設定したいモードを[C1] ~ [C4]から選択し、 OK ボタンを押します。
- Δ / ∇ ボタンで[カスタム呼出]を選択し、 OK ボタンを押します。
- Δ / ∇ ボタンで[実行]を選択し、 OK ボタンを押します。



- MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。

M モードダイヤルがC1/C2/C3/C4のときに設定を呼び出すと、撮影モードも登録されているモードに切り換わります。

M ボタン機能 (P.207)で[C1] ~ [C4] (カスタムモード撮影1~4)を設定したボタンを押して、登録された設定を呼び出しているとき、以下の操作で呼び出しが解除されます。

- カメラの電源をオフにしたとき
- モードダイヤルを切り換えたとき
- 撮影状態で**MENU**ボタンを押したとき
- リセットが実行されたとき
- カスタム設定が登録/呼び出されたとき

ムービーを撮る

- ① ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- ② 次の場合は、UHS-II またはUHS-I のUHSスピードクラス3以上をご使用ください。
 [画質モード]の画像サイズが[4K]または[C4K]のとき／ [画質モード]のフレーム間圧縮が[A-I] (All-Intra)のとき

ムービーモードを使って撮る(📹)

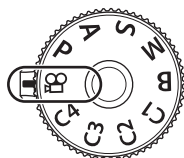
PASMB 📹

モードダイヤルを📹 (ムービーモード)に設定すると、P/A/S/Mモードの効果を活かしたムービー撮影が可能です(P.56)。

1 モードダイヤルを📹に合わせます。

2 ④ボタンを押して、ムービー撮影を開始します。

- ・ ムービーモードでは、合焦時でもピピッと音はしません。
- ・ モニターに撮影中の画像が表示されます。
- ・ ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- ・ 撮影中は、画面に赤枠が表示されます(P.181)。
- ・ 撮影中に画面をタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。
- ・ 録音時間がカウントされ画面に表示されます。



3 ムービー撮影を終了するときは、再度④ボタンを押します。

- ① カメラを長時間使用すると撮像素子の温度が上昇し、画像にノイズや色むらが発生します。その場合はしばらく電源を切ってください。また、ISO感度が高い設定の画像でもノイズや色むらが発生します。さらに温度が上がると、カメラの電源が切れます。
- ① フォーサースマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- ① [画質モード]がハイスピードムービーのときは、ピクチャーモードを[i-Finish]またはアートフィルターに設定していても[Natural]で撮影されます。
- ① タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。
- ① このカメラは撮像素子にCMOSを搭載しているため、ローリングシャッターによる「動体歪み」という現象が発生します。動体歪みは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する現象です。特に長焦点で使用するとこの現象が顕著になります。
- ① SDXCカード使用時は、撮影中のムービーの記録時間が3時間を超えると、ファイルは自動的に分割して記録されます(撮影条件によっては、3時間未満で分割される場合があります)。
- ① SD/SDHCカード使用時は、撮影中のムービーのファイルサイズが4GB以上になると、ファイルは自動的に分割して記録されます(撮影条件によっては、4GB未満で分割される場合があります)。
- 📷 シャッターボタンを押してムービー撮影することもできます。📷 「シャッターボタンでムービーを録画する(📹シャッターボタン機能)」(P.215)
- 📷 分割されたファイルは、連続して再生することもできます。📷 「分割されたムービーの連続再生」(P.185)

■ 静止画撮影の効果を使って撮影する(☺モード(ムービー露出モード))

PASMB ☺

P/A/S/Mモードの効果を活かしたムービー撮影が可能です。

- 1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。
- 2 フロントダイヤルで☺ (動画)タブを選びます。
- 3 <D>またはリアダイヤルで[1. 基本設定/画質]を選びます。
- 4 △▽ボタンで[☺モード]を選び、OKボタンを押します。
- 5 △▽ボタンで設定したいモードを選択し、OKボタンを押します。

P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。 フロントダイヤルまたはリアダイヤルで露出補正を設定できます。
A	絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。 フロントダイヤルで露出補正、リアダイヤルで絞り値を設定できます。
S	シャッター速度を設定することで、被写体の写り方に変化がつけられます。フロン トダイヤルで露出補正、リアダイヤルでシャッター速度を設定できます。 設定可能なシャッター速度は1/24 ~ 1/32000秒です。
M	絞りとシャッター速度を活かして自由に表現できます。 フロントダイヤルで絞り値を設定し、リアダイヤルでシャッター速度を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• シャッター速度は1/24 ~ 1/32000秒に設定できます。[☺ISO感度]のマニ ュアル設定時は、200 ~ 12800です。• 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露 出との差が画面に表示されます。差が±3以上になると表示が点滅します。• [☺MISOオート上限/基準値] (P.113)が有効になります。

☺ シャッター速度の低速側は、ムービー画質のフレームレートの設定によって変わります。

- 6 MENUボタンを押して、メニューを終了します。

☺ [☺モード]はLVスーパーコンパネからも設定できます。☺ 「スーパーコンパネ / LV
スーパーコンパネでの設定方法」(P.65)

モードダイヤルを☉以外に設定している場合もプログラムAEでムービーを撮影できます。

① **【ボタン機能】** (P.207)で、いずれかのボタンに**【◎REC】**を割り当てておく必要があります。

② **AFフレームの形状は、ムービーモード(P.55)で設定されている形状になります。**モードダイヤルを☉ (ムービーモード)に設定して、あらかじめAFターゲット選択画面でAFフレームの形状を設定してください(P.73)。

1 **【◎REC】機能を割り当てたボタンを押してムービー撮影を始めます。**

- 撮影中は「●REC」、録画時間、赤枠(P.181)が表示されます。
- ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- 撮影中に画面にタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。



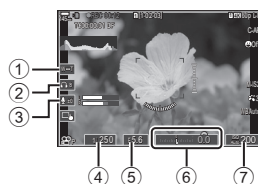
2 **ムービー撮影を終了するときは、再度ボタンを押します。**

- 終了すると「●REC」、録画時間、赤枠(P.181)の表示が消えます。

① 次の場合、**【◎REC】**を割り当てたボタンを押してもムービー撮影はできません。

多重露出撮影中(静止画撮影も終了します。) / シャッターボタン半押し中 / 連写中 / インターバル撮影中 / デジタルシフト撮影中 / フィッシュアイ補正撮影中 / ライブND撮影

ムービー撮影中のカメラの操作による操作音が録音されるのを防ぐことができます。項目をタップした後、表示される矢印をタップして設定します。



① 電動ズーム	電動ズームのレンズ使用時にズーム操作をします。
② ヘッドホン音量	ヘッドホン使用時に音量の調節をします。
③ 録音レベル	録音音量の調節をします。
④ シャッター速度	【 📷モード 】(ムービー露出モード) (P.56)が【 S 】(シャッター速度優先AE)または【 M 】(マニュアル)のときに、シャッター速度の設定をします。
⑤ 絞り値	【 📷モード 】(ムービー露出モード) (P.56)が【 A 】(絞り優先AE)または【 M 】(マニュアル)のときに、絞り値の設定をします。
⑥ 露出補正	露出補正值の設定をします。【 📷モード 】(ムービー露出モード) (P.56)が【 M 】のときは、【 📷ISO感度 】(P.111)が【 Auto 】のときに使えます。
⑦ 📷ISO感度	【 📷ISO感度 】(P.111)の設定をします。【 📷モード 】(ムービー露出モード) (P.56)が【 M 】のときに設定値を変更できます。

① ハイスピードムービー撮影時(P.138)は静音操作を使用できません。

📷 タッチによる静音操作を静止画撮影時にも使用できるように設定できます。🔇 タッチ静音操作(P.230)

3 メニューの使い方

メニューでできること

メニューでは、撮影／再生時の機能だけでなく、操作や表示をカスタマイズしたり、カメラ本体のセットアップができます。

機能をタブに分類し、ページ毎に関連する機能を配置しています。

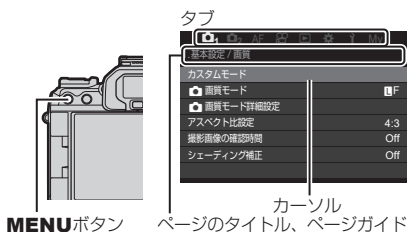
タブの分類と各ページの機能は、「機能と初期設定一覧」(P.318)をご覧ください。

メニューの操作方法

- フロントダイヤル : タブの切り換え
- ◀▶ / リアダイヤル : ページの切り換え
- △▽ : カーソルの移動
- Ⓜ ボタン : 決定 / 次の画面に進む
- MENU** ボタン : 操作の中止 / 前の画面に戻る

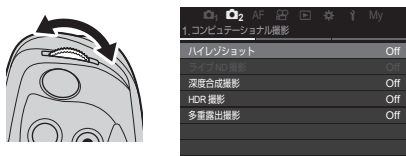
ここでは**[AE BKT]** を例に操作方法を説明します。

- 1 MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。



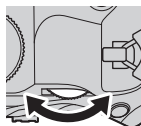
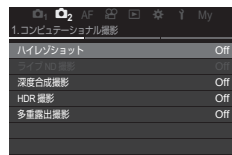
- 2 フロントダイヤル**でタブを切り換えます。

- **[AE BKT]** は **[O₂ (静止画 2)]** タブにあります。**[O₂ (静止画 2)]** タブに切り換わるまでフロントダイヤルを回します。

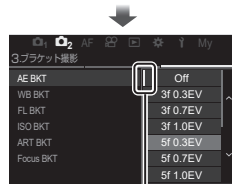
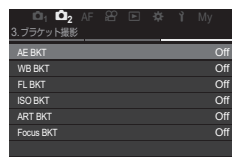


3 <D>またはリアダイヤルでページを選びます。

- [AE BKT] は3ページ目の[3. ブラケット撮影]にあります。[3. ブラケット撮影]が選ばれるまで<D>またはリアダイヤルを操作します。



4 Δ▽で[AE BKT]を選び、OKボタンを押します。



設定されている項目に表示されます。

5 Δ▽で設定値を選び、OKボタンを押します。

- 設定値が確定します。
- **MENU** ボタンを押すと、メニューを終了します。
- 手順4でメニュー項目を選択しOKボタンを押した後の操作は、メニューによって異なります。
- 手順5で設定値を選択した後、さらに設定が必要なメニュー項目もあります。操作方法は各機能のページをご覧ください。

本書ではメニュー項目を選ぶ手順を次のように記載しています。

メニュー	MENU → Q2 → 3.ブラケット撮影 → AE BKT
------	---

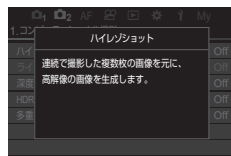
☞ メニューの操作には、Δ▽<D>のほかにマルチセレクターが使えます。

☞ メニュー操作を中止する場合は、**MENU** ボタンを押してください。

☞ 各機能および初期設定については、「機能と初期設定一覧」(P.318)をご覧ください。

■ メニュー項目の説明を表示する

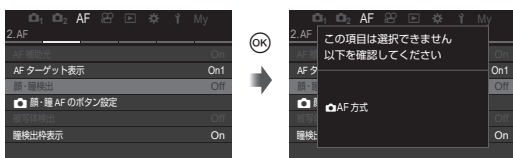
メニュー項目を選択中に**INFO**ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。



■ グレーで表示されている項目

カメラの状態やほかの機能の設定内容によって、設定できない項目はグレーで表示されます。

グレーの項目を選択中に**OK**ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。



4 撮影機能を設定する

撮影機能の設定操作方法(ダイレクトボタン/スーパーコンパネ)

カメラにはたくさんの撮影機能が搭載されています。設定を変更する機会がどの程度多いかなどによって、ボタン操作で設定する方法、モニター上で機能を選択して設定する方法を使い分けることができます。

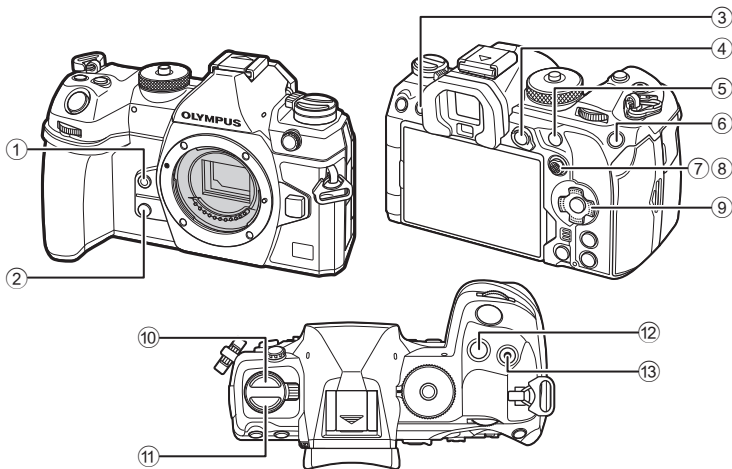
4

撮影機能を設定する

ダイレクトボタンでの設定方法

撮影によく使う機能はボタンに割り当てられています(ダイレクトボタン)。被写体に合わせて、こまめに設定を変更する場合などに便利です。





機能が割り当てられているダイレクトボタンは、以下の通りです。



⑩ (Fn ボタン)、⑪ (AF [ON] ボタン)以外のボタンは、ほかの機能に変更することができます。










⑩ 「ボタンの機能を変える(ボタンの設定)」(P.207)

■ 静止画撮影時のダイレクトボタン

ダイレクトボタン	割り当てられている撮影機能	148
①  ボタン	ワンタッチホワイトバランス	148
②  ボタン	プレビュー	224
③  (LV) ボタン	モニター／ファインダー切り換え	32
④ AEL ボタン	AEL	107
⑤ AF-ON ボタン	AF-ON	80,81
⑥ ISO ボタン	ISO感度	111
⑦ マルチセレクター ()	[:::] (AFターゲット位置)	72
⑧ マルチセレクター ()	Off*	—
⑨ 十字ボタン ()	Off*	—
⑩  ボタン	連写／セルフタイマー／フラッシュ	118,123
⑪ AF () ボタン	AF / 測光モード	107
⑫  ボタン	露出補正	103
⑬  ボタン	ハイレゾショット	152

* 初期設定では機能は割り当てられていません。


■ ムービー撮影時のダイレクトボタン

ダイレクトボタン	割り当てられている撮影機能	100
①  ボタン	ピーキング	100
②  ボタン	拡大	77
③  (LV) ボタン	モニター／ファインダー切り換え	32
④ AEL ボタン	AEL	107
⑤ AF-ON ボタン	AF-ON	80,81
⑥ ISO ボタン	ISO感度	111
⑦ マルチセレクター ()	[:::] (AFターゲット位置)	72
⑧ マルチセレクター ()	Off*	—
⑨ 十字ボタン ()	Off*	—
⑪ AF () ボタン	AF / 測光モード	107
⑫  ボタン	露出補正	103
⑬  ボタン	ムービー撮影	55

* 初期設定では機能は割り当てられていません。

ボタン機能の動作については、各機能のページをご参照ください。
ここでは**[AF方式]**を例に、選択メニューが表示される場合の操作方法を説明します。

1 設定する機能のボタンを押します。

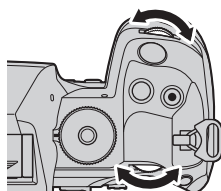
- **AF**  ボタンを押します。
- 選択メニューが表示されます。



選択メニュー

2 フロント/リアダイヤルで設定値を選択します。

- $\Delta \nabla \langle \rangle$ ボタンでも設定できます。
手順1で機能のボタンを押したときに、モニターの上下に機能の設定値が表示されるときは、以下のボタンで選択します。
 $\Delta \nabla$ ボタン：上に表示される機能の設定値を選択できます。
 $\langle \rangle$ ボタン：下に表示される機能の設定値を選択できます。
- **[AF方式]** を設定するので、リアダイヤルを回します。
- シャッターボタンを半押しすると、設定が確定し、撮影画面に戻ります。
- 手順1で押したボタンを押しても、撮影画面に戻ることができます。
- 手順2で設定値を選択した後、機能によっては、さらに詳細な設定が可能です。操作方法は各機能のページをご覧ください。



本書ではダイレクトボタンで設定する手順を次のように記載しています。

ボタン	AF  ボタン \rightarrow 
-----	---

ボタンを押しながら素早く設定する

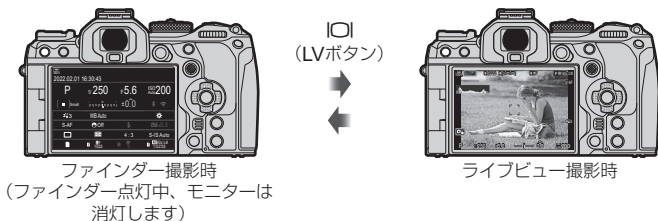
設定する機能のボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定することもできます。

ボタンを離すと、設定画面を終了します。

スーパーコンパネ / LV スーパーコンパネでの設定方法

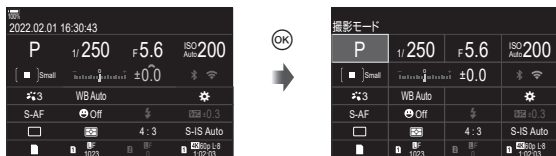
スーパーコンパネおよびLV スーパーコンパネは、撮影に関する機能とその設定内容をモニターに一覧表示できる機能設定パネルです。ファインダー撮影時はスーパーコンパネ、ライブビュー撮影時(モニタに被写体を表示して撮影するとき)はLVスーパーコンパネが使えます。

- 静止画撮影モードでは、**IOI**を押して、ファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えます。



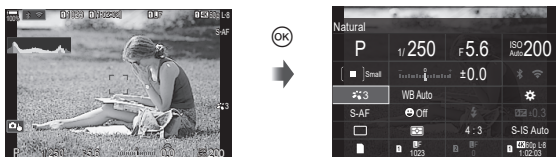
スーパーコンパネ(ファインダー撮影時)

モニターに被写体を表示していないファインダー撮影で、常時表示しておくことができます。⊙ボタンを押すと、カーソルが表示されます。



LV スーパーコンパネ(ライブビュー撮影時)

ライブビュー撮影時に⊙ボタンを押すと、モニターにLV スーパーコンパネが表示されます。



ここでは[顔・瞳検出]を例に操作方法を説明します。

1 ⊙ボタンを押します。

- ライブビュー撮影時は、LV スーパーコンパネが表示されます。
- 前回操作した機能にカーソルが表示されます。

カーソル



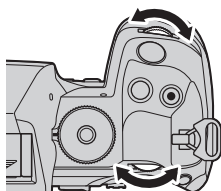
2 △▽◀▶で設定する機能を選択します。

- 選択した機能にカーソルが移動します。
- 機能を直接タッチして選択することもできます。



選択した機能の名称が表示されます。

3 フロントダイヤル/ リアダイヤルで設定を変更します。



- シャッターボタンを半押しすると、設定が確定し、撮影画面に戻ります。

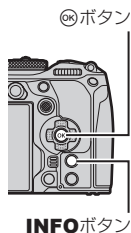
本書ではスーパーコンパネで設定する手順を次のように記載しています。



選択メニューを表示して設定する

手順2で機能を選択し \odot ボタンを押すと、選択メニューが表示され、設定値を確認しながら設定できます。

機能によっては、選択メニューからさらに詳細な設定が可能です。



LV スーパーコンパネ/
スーパーコンパネ表示



選択メニュー表示

INFO

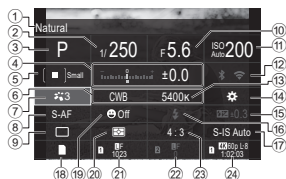


詳細設定画面

■ LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定できる機能

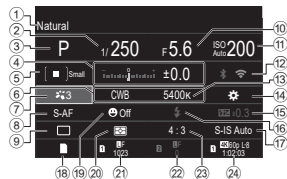
静止画

LVスーパーコンパネ



- ① 現在選択している機能の名称
- ② シャッター速度 P.39,43
- ③ 撮影モード P.39
- ④ 露出補正 P.103
- ⑤ AFターゲットモード P.73
- ⑥ ホワイトバランス P.145
- ⑦ ピクチャーモード P.141
- ⑧ AF方式 P.68
- ⑨ ドライブ(連写/セルフタイマー) P.123
- ⑩ 絞り値 P.39,41
- ⑪ ISO感度 P.111
- ⑫ Wi-Fi/Bluetooth P.264
- ⑬ 色温度 P.145

スーパーコンパネ



- ⑭ ボタン機能 P.207
- ⑮ フラッシュ補正 P.121
- ⑯ フラッシュモード P.118
- ⑰ 手ぶれ補正 P.132
- ⑱ 記録設定 P.245
- ⑲ 顔・瞳検出 P.85
- ⑳ 測光 P.107
- ㉑ スロット1 画質モード、撮影可能枚数 P.136
- ㉒ スロット2 画質モード、撮影可能枚数 P.136
- ㉓ アスペクト比 P.140
- ㉔ 画質モード、撮影可能時間 P.137

ムービー

LVスーパーコンパネ



- ① 現在選択している機能の名称
- ② シャッター速度 P.56
- ③ モード(ムービー露出モード) P.56
- ④ 露出補正 P.103
- ⑤ AFターゲットモード P.73
- ⑥ ホワイトバランス P.145
- ⑦ ピクチャーモード P.141
- ⑧ AF方式 P.68
- ⑨ 録音レベル P.58
- ⑩ 絞り値 P.56

- ⑪ ISO感度 P.111
- ⑫ Wi-Fi/Bluetooth P.264
- ⑬ 色温度 P.145
- ⑭ ボタン機能 P.207
- ⑮ 画質モード、撮影可能時間 P.137
- ⑯ 手ぶれ補正 P.132
- ⑰ ヘッドホン音量 P.58
- ⑱ 顔・瞳検出 P.85
- ⑲ 録音レベルメーター P.58


ピント合わせの基本機能

ピントの合わせ方を設定する (📷AF方式 / 📷AF方式)

PASMB 📷

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。

ボタン	AF (📷)ボタン → <>📷
スーパーコンパネ	📷 → 📷AF方式/📷AF方式
メニュー	MENU → AF → 1. AF → 📷 AF方式 MENU → AF → 4. 動画 AF → 📷AF方式

S-AF (シングルAF)	シャッターボタンを半押し、または AF-ON ボタンを押すと、1回だけピント合わせを行います。静止画撮影モードでは、ピントが合うと、ピピッと音がして、画面に合焦マークとAFターゲットが点灯します。ムービー撮影モードでは、ピントが合うと画面に合焦マークとAFターゲットが表示されます。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
C-AF (コンティニュアスAF)	静止画撮影モードでは、シャッターボタンを半押ししている間、または AF-ON ボタンを押している間、被写体との距離を検出しながら、ピントを合わせ続けます。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1回目の合焦時には、ピピッと音がします。 ムービー撮影モードでは、撮影前も録画中も被写体に繰り返しピントを合わせ続けます。 撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
MF (マニュアルフォーカス)	レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手動でピントを合わせることができます。 
S-AF MF	S-AF モードでピント合わせを行います。レンズのフォーカスリングを操作するとピント位置を調整できます。



フォーカスリング

C-AF+TR (追尾AF)	<p>シャッターボタンの半押しで、またはAF-ONボタンを押してピントの合った被写体を、ボタンを半押ししている間追尾してピントを合わせ続けます。</p> <p>ムービー撮影モードでは、撮影前はボタンを離しても追尾AFを継続します。Ⓜボタンを押すと停止します。</p> <p>追尾AF中に録画を開始すると、追尾AFはそのまま継続して動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されます。ボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押し、またはAF-ONボタンを押してください。 • AFターゲットが赤い表示のときは、被写体を追尾していてもAFは動作しません。 • 以下の機能では追尾AFは使用できません。 デジタルシフト撮影／ハイレゾショット／ フォーカスブラケット撮影／深度合成撮影／ インターバル撮影／HDR撮影／ライブND撮影／ フィッシュアイ補正撮影
PreMF (プリセットMF)	選択すると、プリセットしたピント位置に自動で設定します。
AF (星空AF) (静止画撮影時のみ)	夜空の星を撮影するためのフォーカスモードです。 AF-ON ボタンを押して星にピント合わせを行います。Ⓜ「星空AFで撮影する」(P.70)

- ① **[S-AFMF]**は、**[AF方式]**設定時にのみ表示される選択肢です。
 静止画撮影時にオートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整するには、**[AF+MF]**で設定します。Ⓜ「AFとMFを併用する(**AF+MF**)」(P.79)
- ① 明るさが不足している、霧などで被写体のがはっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- ① フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- ① **[MFクラッチ]** (P.101)が**[有効]**で、レンズのフォーカスリングがMFの位置になっている場合は**[AF方式]**が設定できません(P.298)。
- ① **Fn**レバーの位置で**AF**方式をすばやく切り換えることができます。Ⓜ「**Fn**レバーの機能を変える(**Fn**レバーの設定)」(P.218)
- ① シャッターボタンを半押ししたときにオートフォーカスするかどうかを設定できます。
 Ⓜ「シャッターボタンでのオートフォーカス動作を設定する(**半押し時のAF**)」(P.80)

星空AFで撮影する

1 AF方式で[AF]を設定します。



2 AF-ONボタンを押して、星空AFを開始します。


- 再度AF-ONボタンを押すと星空AFを中止します。
- シャッターボタンの半押しで星空AFを開始するように設定できます。☞ 「星空AFの設定を変更する(星空AF設定)」(P.82)
- 星空AF中は[星空AF動作中です]が表示されます。ピントが合うと合焦マーク(●)が約2秒間表示され、ピントが合わなかった場合は合焦マークが約2秒間点滅します。

3 シャッターボタンを全押しして撮影します。

- ① 周囲が明るい撮影環境ではピントが合いません。
- ① プロキャプチャー撮影では使用できません。
- ① [AF縦位置/横位置切替] (P.94)、[AF循環設定] (P.97)、[AFリミッター] (P.89)、[AF補助光] (P.93)、[顔・瞳検出] (P.85)、[AFスキャン] (P.91) は[Off]に、[フレームレート] (P.225)は[標準]に固定されます。
- ① フォーサーズレンズを取り付けると、マニュアルフォーカスになります。
- ① 星空AFは、OMデジタルソリューションズ製またはオリンパス製のマイクロフォーサーズレンズで動作します。ただし、開放F値が5.6より大きいレンズでは、星空AFを使用できません。詳しくは当社ホームページをご覧ください。
- ☞ [星空AF設定]の[AF動作モード] (P.82)で[精度優先]と[速度優先]を選択できます。[精度優先]を選択した場合は、三脚でカメラを固定して撮影してください。
- ☞ ターゲットモードは、[S]Small、[M]Middle、[L]Largeのみ選択できます(P.73)。
- ☞ 星空AFを設定すると、ピント位置が自動で無限遠に移動します。
- ☞ [星空AF設定]で[リリース優先]を[On]に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができます。

プリセットMFにピント位置を設定する





- 1 AF  ボタンで [PreMF] を選択し、**INFO** ボタンを押します。
- 2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - フォーカスリングを回して、ピントを微調整できます。
- 3  ボタンを押します。

 [プリセットMF距離] (P.101) で、ピント位置の距離を設定できます。

 以下のときにもプリセットした位置にピントを移動します。

- カメラの電源をオンにしたとき
- メニュー画面を操作して撮影画面に戻ったとき

オートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整して撮影する

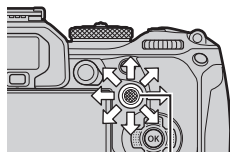
- あらかじめ  [AF+MF] (P.79) で [On] を選択しておきます。[S-AF] / [C-AF] / [C-AF+TR] /  [AF] に MF が表示されます。
- 1 MF が表示されたフォーカスモードを選択します (P.68)。
 - ムービー撮影時は [S-AF MF] を選択します。
 - 2 シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスでピントを合わせます。
 -  [AF MF] では、**AF-ON** ボタンを押して、星空AFを開始します。
 - 3 シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを操作して、マニュアルでピント位置を調整します。
 - 再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押しし直してください。
 -  [AF MF] では、オートフォーカス動作中のマニュアルフォーカスはできません。
 - M.ZUIKO PRO (マイクロフォーサーズPRO) レンズを使用しているとき、オートフォーカス中にフォーカスリングを操作してマニュアルフォーカスができます。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。
 - 4 シャッターボタンを全押しして撮影します。

ピント合わせの位置を自分で決める (AFターゲット位置)

PASMB

ピントを合わせる位置や範囲を示す枠をAFターゲットと呼びます。ピントを合わせたい位置にAFターゲットを移動することができます。カメラが初期設定のときは、マルチセレクターでAFターゲットを移動できます。

- 1 マルチセレクターを動かしてAFターゲットを移動します。



マルチセレクター

- マルチセレクターを最初に動かしたときにAFターゲットの枠が表示されます。
- マルチセレクターを押すか、**OK**ボタンを長押しすると、AFターゲットを中央に戻すことができます。
- AFターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端でAFターゲットを循環させるかどうかを設定できます (P.97)。



AFターゲット

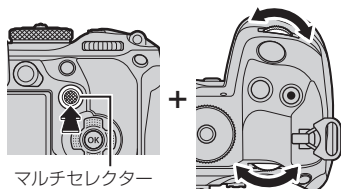
- 2 撮影します。

- 設定画面はシャッターボタンを半押しすると消えます。
- AFターゲットを設定した位置にAFフレームが表示されます。

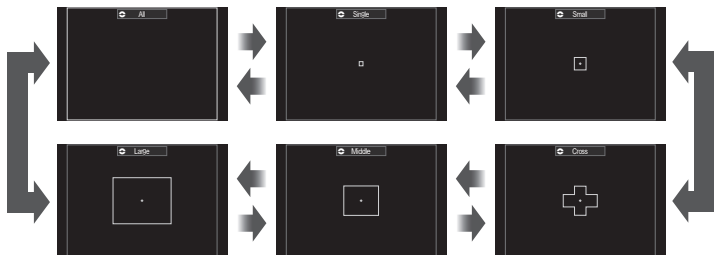
- 🔗 静止画撮影モードの**[C-AF]**および**[C-AF MF]**でピントを合わせ続けている場合でも、AFターゲット位置を動かすことができます。
- 🔗 ムービー録画中も、AFターゲット位置を動かすことができます。
- 🔗 撮影時の設定によってAFターゲットの数や大きさが変わります。
- 🔗 **[AFターゲットパッド]** (P.98)が**[On]**のときは、ファインダーをのぞきながらモニターにタッチしてAFターゲットを移動することができます。









ボタン	 を押しながら 
スーパーコンパネ	 → AFターゲットモード

- 1 マルチセレクターを押しながらフロント／リアダイヤルを回します。



- ターゲットモードが切り換わります。

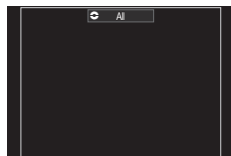


- AFのときは、 Small、 Middle、 Largeのみ選択できます。
- ムービー撮影時は、 Small、 Middle、 Large、 Allのみ選択できます。
- 表示するAFターゲットモードは AFターゲットモード設定 (P.76) で設定できます。

All

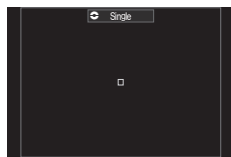
すべてのAFターゲットの中から、カメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

- AFターゲットは、静止画撮影モードでは1053点(39×27)、ムービーモードでは741点(39×19)になります。



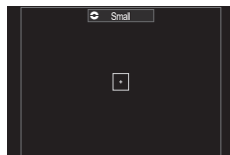
Single

1つのAFターゲットを選びます。

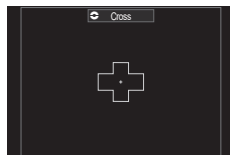


[#] Small

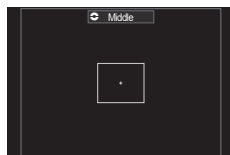
小さいAFターゲットを使います。ターゲットの中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

**[#] Cross**

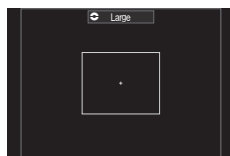
十字に配置されたAFターゲットを使います。ターゲットの中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

**[#] Middle**

中サイズのAFターゲットを使います。ターゲットの中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

**[#] Large**

大サイズのAFターゲットを使います。ターゲットの中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

**[#] C1 ~ [#] C4 カスタムターゲット**

AFターゲットのサイズや移動ステップを変更できます。[AFターゲットモード設定] (P.76)でいずれかのカスタムターゲットに✓ (チェック)を付けると設定できます。

2 設定したらマルチセレクターを離します。

- 設定画面が消えます。

☞ 撮影時の設定によっては、表示されるAFターゲットの数が少なくなります。

☞ マルチセレクターを押して、AFターゲット選択画面を表示することもできます。[中央ボタン機能] (P.217)で設定します。


☞ AFターゲットモードの設定は、カメラの縦位置と横位置で別々に設定できます。

☞ 「AFターゲットの設定を横位置/縦位置で変える」(☞[縦位置/横位置切換]) (P.94)

☞ Fnレバーの操作だけで、以下のAF機能の設定を同時に変更することができます。Fnレバー 1と2のそれぞれの位置で、別々の設定を記憶させておくことができます。撮影状況に合わせて簡単にAFの機能設定を変えることができます。

[AF方式] (P.68) / [AFターゲットモード] (P.73) / [AFターゲット位置] (P.72)

【Fnレバー機能】(P.219)または【Fnレバー機能】(P.219)でFnレバーの働きを設定します。

🔗 **【C-AF】**で撮影時のAFターゲットエリアに関する設定ができます。🔗 **【C-AF中央優先】**(P.83)

🔗 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

AFターゲットモードの選択肢を設定する

(AFターゲットモード設定)

PASMB

AFターゲットモードを設定するときの選択肢を設定します。

メニュー	MENU → AF → 5. AFターゲットの設定/操作 → AFターゲットモード設定
------	---

1 AFターゲットモードを選択するとき常に選択肢として表示したいAFターゲットを選択し、✓(チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択し⊗ボタンを押すとチェックボックスに✓(チェック)が表示されます。
チェックを解除するとき再度⊗ボタンを押します。



AFターゲットモード設定画面

[] All										
[] Single	✓(チェック)をつけると、AFターゲットの選択肢として表示されます。									
[] Cross										
[] Mid										
[] Large										
[] C1 ~ [] C4	<p>✓(チェック)をつけると、AFターゲットの選択肢として表示されます。</p> <p>また▷を押すとAFターゲットのサイズと移動ステップを設定できます。</p>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>横方向</th> <th>縦方向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイズ</td> <td>12種類 (1/3/5/7/9/11/15/ 19/23/27/33/39) ◀▶またはフロント ダイヤルで切り換え ます。</td> <td>10種類 (1/3/5/7/9/11/ 15/19/23/27) △▽またはリアダイ ヤルで切り換えます。</td> </tr> <tr> <td>移動ステップ</td> <td>8種類(1~8) ◀▶またはフロント ダイヤルで切り換え ます。</td> <td>5種類(1~5) △▽またはリアダイ ヤルで切り換えます。</td> </tr> </tbody> </table> <p>サイズと移動ステップはINFOボタンで切り換えます。</p>	設定項目	横方向	縦方向	サイズ	12種類 (1/3/5/7/9/11/15/ 19/23/27/33/39) ◀▶またはフロント ダイヤルで切り換え ます。	10種類 (1/3/5/7/9/11/ 15/19/23/27) △▽またはリアダイ ヤルで切り換えます。	移動ステップ	8種類(1~8) ◀▶またはフロント ダイヤルで切り換え ます。	5種類(1~5) △▽またはリアダイ ヤルで切り換えます。
設定項目	横方向	縦方向								
サイズ	12種類 (1/3/5/7/9/11/15/ 19/23/27/33/39) ◀▶またはフロント ダイヤルで切り換え ます。	10種類 (1/3/5/7/9/11/ 15/19/23/27) △▽またはリアダイ ヤルで切り換えます。								
移動ステップ	8種類(1~8) ◀▶またはフロント ダイヤルで切り換え ます。	5種類(1~5) △▽またはリアダイ ヤルで切り換えます。								



PASMB

画面の一部を拡大して表示できます。ピント合わせを行う範囲を拡大表示することによって、より正確にピントを合わせることができます。拡大倍率を高くすると、通常のAFターゲット枠よりも小さい範囲でオートフォーカスをすることができます。拡大する範囲は任意で移動できます。

ボタン	Qを割り当てたボタン
-----	------------

① [ボタン機能] (P.207)で、いずれかのボタンに[Q] (P.210)を割り当てておく必要があります。



1 [Q] (拡大)を割り当てたボタンを押します。

- 画面に拡大枠が表示されます。



2 マルチセレクターを動かして拡大枠を移動します。

- マルチセレクターを押すか、 \odot ボタンを長押しすると拡大枠が中央に戻ります。
- 拡大枠は十字ボタン($\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$)で移動することもできます。



3 拡大枠の大きさ(倍率)を変更します。

- INFO** ボタンを押してから、 $\Delta \nabla$ ボタンを押すか、フロント/リアダイヤルを回すと拡大枠の大きさを変更できます。
- \odot ボタンを押すと、設定を確定して設定画面を終了します。



4 [Q]の機能を割り当てたボタンをもう一度押します。

- 拡大枠の部分が画面全体に拡大表示されます。
- フロント／リアダイヤルを回すと拡大の倍率が変更できます。
- マルチセレクターで拡大表示の位置を変更できます。
- Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで拡大表示の位置を変更できます。
- 撮影モードが**M** (マニュアル)または**B** (バルブ)でISO Auto以外の場合、拡大表示時に**INFO**ボタンを押すと絞りやシャッター速度の設定ができます。
- **Q**ボタンを押すと、拡大枠に戻ります。
- **OK**ボタンを押すと、拡大表示を終了します。
- **Q**ボタンを長押ししても拡大表示を終了できます。



M、**B**モード時の
露出設定画面

- ① 拡大表示はモニター上の表示のみです。実際に撮影される画像には反映されません。
- ① 拡大表示中、フォーサースレンズ装着時は、拡大AFは動作しません。
- ① ムービー撮影モードで**[デジタルテレコン]**が**[On]**のときは、拡大表示できません。
- 🌀 拡大枠画面表示中や拡大画面表示中でも撮影することができます。
- 🌀 拡大枠AFは、タッチ操作でも使用できます。📖 「タッチパネルを使って撮る」(P.37)
- 🌀 拡大表示中シャッターボタンを半押ししたときに、拡大表示を終了してもとの表示に戻す設定もできます。📖 「拡大ライブビュー中にシャッターボタンを押したときの動作を設定する(LV拡大モード)」(P.223)

ピント合わせの操作方法を設定する機能

AFとMFを併用する

(AF+MF)

PASMB

オートフォーカスでピントを合わせたまま、レンズのフォーカスリングを操作してピントを調整することができる設定です。合焦後にピント位置を調整したり、オートフォーカスを中断してマニュアルフォーカスをすることができます。

AF方式(P.68)によって動作が異なります。

メニュー	MENU → AF → 1. AF → AF+MF
On	<p>AF設定時に、MF操作を有効にします。[S-AF]、[C-AF]、[C-AF+TR]、 AFにMFが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [S-AF MF]に設定すると、S-AFで合焦後、シャッターボタンを半押ししたまま、またはAF-ONボタンを押したままマニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。また、AF動作中にフォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。露光中や連写中のマニュアルフォーカスも可能です。• [C-AF MF]または[C-AF+TR MF]に設定すると、C-AFまたはC-AF+TRで動作中、フォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押ししなおす、またはAF-ONボタンを押しなおしてください。露光中や連写中のマニュアルフォーカスも可能です。• AF MFに設定すると、 AFのAF開始前やAF合焦後に、マニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。
Off	AF設定時に、MF操作を無効にします。

① SH1 または [ProCap SH1] での連写中は、マニュアルフォーカスは動作しません。

AF動作を他のボタンに割り当てているときも、同様の動作をします。☞「ボタンの機能を変える(ボタンの設定)」(P.207)

フォーカスリングを動かしてAFを中断する動作は、M.ZUIKO PRO (マイクロフォーサーズPROレンズ)でのみ可能です。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。

撮影モードがBでは、露光中のマニュアルフォーカスは、[BULB/TIME中MF] (P.169)の設定で動作します。

シャッターボタンでのオートフォーカス動作を設定する (=半押し時のAF)

PASMB

シャッターボタンを半押ししたときにオートフォーカスするかどうかを設定できます。

メニュー	MENU → AF → 1.AF →  =半押し時のAF
------	---

S-AF	AF方式が[S-AF]設定時のオートフォーカス動作を設定します。 【AFしない】：シャッターボタンの半押しではオートフォーカス動作を開始しません。 【AFする】：シャッターボタンを半押ししたときオートフォーカス動作を開始します。 AF-ON ボタンを押している間にシャッターボタンを半押ししたときは、オートフォーカスを継続します。
C-AF/C-AF+TR	AF方式が[C-AF]または[C-AF+TR]設定時のオートフォーカス動作を設定します。 【AFしない】：シャッターボタンの半押しではオートフォーカス動作を開始しません。 【AFする】：シャッターボタンを半押ししたときオートフォーカス動作を開始します。 AF-ON ボタンを押している間にシャッターボタンを半押ししたときは、オートフォーカスを継続します。

AF-ONボタンでオートフォーカスする

PASMB

AF-ONボタンを押すとオートフォーカス動作を開始します。**AF-ON**ボタンを離すとオートフォーカスを中断します。シャッターボタンの半押しによりオートフォーカスしている間に**AF-ON**ボタンを押したときは、オートフォーカスを継続します。

ボタン	AF-ON ボタン
-----	------------------

ムービー撮影時、AF方式]が[C-AF]設定時に**AF-ON**ボタンを押すと、S-AF動作を行います。**[C-AF+TR]**設定時に**AF-ON**ボタンを押すと、追尾AFを行います。

マニュアルフォーカス中にオートフォーカスを使う (MF時のAF-ON動作)

PASMB

AF方式が[MF]または[Pre MF]のときでもAF-ONボタンを押すとオートフォーカスするように設定できます。

メニュー	MENU → AF → 1.AF → MF時のAF-ON動作
------	--------------------------------

AFしない	AF方式が[MF]または[Pre MF]のときは、AF-ONボタンを押してもオートフォーカス動作を開始しません。
AFする	AF方式が[MF]または[Pre MF]のときにAF-ONボタンを押すと[S-AF]モードでオートフォーカスをします。

非合焦時の動作を設定する (リリース優先)

PASMB

オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合に撮影をするかしないかを設定します。

メニュー	MENU → AF → 1. AF → リリース優先
------	----------------------------

S-AF	AF方式が[S-AF]設定の場合にピント合わせができないときの動作を設定します。 [Off] ：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合はシャッターボタン全押ししてもシャッターは切れません。フラッシュが発光する設定の場合は、フラッシュの充電が完了するまで、シャッターは切れません。 [On] ：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合でもシャッターボタン全押しで撮影します。
C-AF/C-AF+TR	AF方式が[C-AF]または[C-AF+TR]設定の場合にピント合わせができないときの動作を設定します。 [Off] ：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合はシャッターボタン全押ししてもシャッターは切れません。フラッシュが発光する設定の場合は、フラッシュの充電が完了するまで、シャッターは切れません。 [On] ：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合でもシャッターボタン全押しで撮影します。

星空AF機能の動作を設定できます。

メニュー	MENU → AF → 1. AF → 星空AF設定
------	----------------------------

AF動作モード	<p>[精度優先]：ピント合わせの精度を優先します。三脚でカメラを固定して撮影してください。</p> <p>[速度優先]：ピント合わせの速度を優先します。</p>
AF操作	<p>[=]：シャッターボタンを半押ししている間オートフォーカスします。</p> <p>[AF-ON]：AF-ONボタンを押している間オートフォーカスします。</p> <p>[AF-ON Start/Stop]：AF-ONボタンを押すとオートフォーカスを開始します。もう1度押すとオートフォーカスを終了します。</p>
リリース優先	<p>[Off]：</p> <p>[AF操作]が[=]のときは、ピントが合っていないとシャッターボタンを全押ししても撮影を開始しません。</p> <p>[AF操作]が[AF-ON]のときは、AF-ONボタンを押しているときは、ピントが合っていないとシャッターボタンを全押ししても撮影を開始しません。AF-ONボタンを押していないときは、いつでもシャッターボタン全押しで撮影を開始します。</p> <p>[AF操作]が[AF-ON Start/Stop]のときは、星空AF実行中は、シャッターボタンを全押ししても撮影を開始しません。星空AF実行中以外は、いつでもシャッターボタン全押しで撮影を開始します。</p> <p>[On]：</p> <p>[AF操作]の設定にかかわらず、ピントが合っていないでもシャッターボタン全押しで撮影を開始します。</p>

被写体に合わせたAF動作をカスタマイズする機能

C-AF動作時に中央優先でピント合わせをする

(📷C-AF中央優先)

PASMB

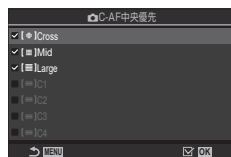
グループターゲットの設定で[C-AF]または[C-AF MF]でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺のAFターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくなります。一般的な撮影では中央優先でお使いください。

メニュー MENU → AF → 3. AF → 📷C-AF中央優先

1 常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返したいAFターゲットを選択し、✓(チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択しⓂ️ボタンを押すとチェックボックスに✓(チェック)が表示されます。

チェックを解除するときは再度Ⓜ️ボタンを押します。



📷C-AF中央優先設定画面

[📷] Cross	
[📷] Mid	✓(チェック)を付けると、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。
[📷] Large	
[📷] C1 ~ [📷] C4	

① [[📷]C1] ~ [[📷]C4]は、[📷AFターゲットモード設定] (P.76)の[[📷]C1] ~ [[📷]C4]で横方向か縦方向の[サイズ]が5以上のときに✓(チェック)を付けることができます。

C-AF動作時のピント合わせの感度を設定する

(C-AF追従感度 / C-AF追従感度)

PASMB

AF方式]が[C-AF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR]または[C-AF+TR MF]のとき、および AF方式]が[C-AF]または[C-AF+TR]のときの、被写体に対するオートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が入り出てピントが移動してしまうときに有効です。

メニュー

MENU → AF → 3. AF → C-AF追従感度

MENU → AF → 4. 動画AF → C-AF追従感度

- [C-AF追従感度]は5段階、[C-AF追従感度]は3段階の感度が設定できます。
- +側に設定するほど感度は上がります。見えない位置から急に現れる被写体、すばやく遠ざかる被写体など、前後に急加速、急停止する被写体に対応するときは+側に設定します。
- -側に設定するほど感度は下がります。被写体と間の障害物にピントが移動してしまったり、被写体がAFターゲットから外れてピントが背景に移動してしまうときは-側に設定します。

C-AF動作時のピント合わせの速さを設定する

(C-AF動作速度)

PASMB

[C-AF]や[C-AF+TR]で被写体にピントを合わせ続けているときの、ピント合わせの速度を設定します。録画中の場面転換などでピント位置を変えたときに、被写体にピントを合わせるまでの時間を調整したいときに有効です。

メニュー

MENU → AF → 4. 動画AF → C-AF動作速度

- 3段階の設定ができます。
- +1に設定すると速く、-1に設定すると遅くなります。ピントが外れた状態から緩やかにピントを合わせたいときは、-1に設定します。

カメラが自動的に人物の顔や瞳を検出してピントを合わせます。

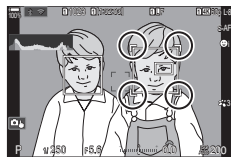
スーパーコンパネ	☉ ➔ 顔・瞳検出
メニュー	MENU ➔ AF ➔ 2. AF ➔ 顔・瞳検出

☉ 顔検出On	被写体の顔を検出してピントを合わせます。
Off	顔優先AFを使いません。
☉i 顔・瞳検出On	被写体の顔を検出して、近いほうの瞳にピントを合わせます。
☉iL 顔・瞳(左側)検出On	被写体の顔を検出して、左の瞳にピントを合わせます。
☉iR 顔・瞳(右側)検出On	被写体の顔を検出して、右の瞳にピントを合わせます。

■ ピントを合わせる顔を選択する

1 カメラを被写体に向けます。

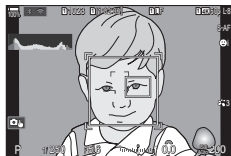
- カメラが顔を検出すると、ピントを合わせる顔にのみ白い枠が表示され、その他の顔にはグレーの枠が表示されます。ピントを合わせる顔には、白い枠の四隅に、さらに二重枠が表示されます。
- 瞳優先AFのときは、瞳を検出すると、ピントを合わせる顔の瞳にも白い枠が表示されます。瞳の枠は設定で非表示にすることもできます。(P.88)
- カメラが複数の人物の顔や瞳を検出したときに、[ボタンの設定] (P.207)で[☉顔選択] (P.212)の機能を割り当てたボタンを操作して、ピントを合わせる顔を選択できます。ボタンを押すと、AFターゲットに近い顔を選択します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、ピントを合わせる顔を切り換えます。ボタンを離すと確定します。
- タッチ操作でも、ピントを合わせる顔を選択できます(P.37)。



ピントを合わせる顔には四隅に白い二重枠が表示されます。

2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- ☉ AF-ON ボタンを押してもピントを合わせることができます。(P.80)
- 検出された顔のピントが合った部分に、緑の枠が表示されます。
- 被写体の瞳を検出したときは瞳にピントを合わせます。
- [MF] (P.68)でも顔や瞳の検出ができます。顔や瞳を検出すると白い枠が表示されます。その場合も、露出は顔を中心に設定されます。




3 シャッターボタンを全押しします。

- 測光方式(P.107)が[☒] (デジタルESP測光)のとき顔を優先して測光します。
- ① [被写体検出] (P.87)の設定によっては[顔・瞳検出]を[On]に設定できません。
[被写体検出]を[Off]にしてください。
- ① 被写体やアートフィルターの設定によっては、顔が検出できないことがあります。
- ① AFターゲットモード(P.73)が[・]Singleまたは[≡]Smallで、測光方式(P.107)が☐ (スポット測光)のときに[::]運動スポット測光 (P.110)を使用していると、この機能は無効になります。
- ① 顔AF方式(P.68)が[☒AF]または[☒AFMF]の場合、この機能は無効になります。
- ☞ 静止画撮影モードでは、[C-AF]や[C-AFMF]で人物以外の被写体を撮影するときは、[Off]をおすすめします。

■ ボタンごとのピント合わせの対象を設定する(☒顔・瞳AFのボタン設定)

PASMB

シャッターボタンの半押しまたはAF-ONボタンに対し、[顔・瞳検出]が[Off]以外に設定されていても顔や瞳にピントを合わせないように設定できます。

メニュー	MENU → AF → 2. AF → ☒顔・瞳AFのボタン設定
	シャッターボタンを半押ししたときのAF動作を設定します。 [◎優先]：カメラが顔や瞳を検出したときは、顔や瞳にピントを合わせます。 [::]優先]：カメラが顔や瞳を検出した場合でも、設定したAFターゲットの位置を優先してピントを合わせます。
AF-ON	AF-ONボタンを押したときのAF動作を設定します。 [◎優先]：カメラが顔や瞳を検出したときは、顔や瞳にピントを合わせます。 [::]優先]：カメラが顔や瞳を検出した場合でも、設定したAFターゲットの位置を優先してピントを合わせます。






特定の被写体を検出してピント合わせをする

(被写体検出)

PASMB

特定の被写体を検出して、オートフォーカスします。モータースポーツや飛行機の撮影では被写体の動きが速く、ドライバーやコックピットにピントを合わせて撮るのは難しくなります。この機能はそれらの被写体の特定の部分を検出してピントを合わせます。

メニュー	MENU → AF → 2. AF → 被写体検出
------	---------------------------

 モータースポーツ	車やオートバイを検出します。主にモータースポーツで使用される車両やドライバーなどに追従してオートフォーカスします。
 飛行機	飛行機やヘリコプターを検出します。機体やコックピットなどに追従してオートフォーカスします。
 鉄道	鉄道車両を検出します。車両や運転席などに追従してオートフォーカスします。
 鳥	鳥を検出します。頭部や瞳などに追従してオートフォーカスします。
 犬・猫	犬や猫、および類似した動物を検出します。頭部や瞳などに追従してオートフォーカスします。
Off	被写体を指定しません。

① **[Off]**以外にすると、顔優先／瞳優先は**[Off]**になります。

① 静止画撮影時は、**[AF方式]**が**[AF]**または**[AFMF]**の場合、この機能は無効になります。

ムービー撮影時は、**[AF方式]**が**[C-AF+TR]**の場合のみ、この機能は有効になります。

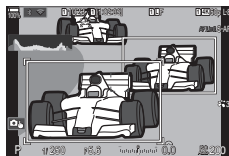
■ [被写体検出]を使って撮影する

1 [AF方式]または[AF方式]を設定します。

- 静止画撮影時は、[AF]または[AFMF]以外に設定します。
- ムービー撮影時は、[C-AF+TR]に設定します。

2 カメラを被写体に向けます。

- カメラが被写体を検出すると、ピントを合わせる被写体のみ白い枠が表示され、その他の被写体にはグレーの枠が表示されます。ピントを合わせる被写体には、白い枠の四隅に、さらに二重枠が表示されます。
- ピントを合わせる被写体であることを示す白い枠が表示されない場合は、被写体と重なるようにAFターゲットのサイズや位置を変更してください。



AFターゲットの設定を[ALL]にすると、画面中央に近い被写体にピントを合わせます。

- さらにドライバーやコックピットなど特定の部分を検出すると、被写体の枠とは別に、特定の部分にさらに小さい枠が表示されます。

この枠は設定で非表示にすることもできます。

(P.88)

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- **AF-ON**ボタンを押してもピントを合わせることができます。(P.80)
- 検出された被写体のピントが合った部分に、緑の枠が表示されます。
- ドライバーやコックピットなど特定の部分を検出したときは、その部分にピントを合わせます。

4 シャッターボタンを全押しして撮影します。

- ① 被写体やアートフィルターの設定によっては、被写体を検出できない場合があります。
- ① 撮影状況や被写体によっては、被写体を検出できない場合があります。

瞳を検出したときの枠の表示を設定する (瞳検出枠表示)

PASMB

カメラが瞳やコックピットなどの細かい部分を検出したとき、その部分に小さい枠を表示するかどうかを設定できます。

メニュー	MENU → AF → 2.AF → 瞳検出枠表示
Off	瞳やコックピットなどの細かい部分に枠を表示しません。
On	瞳やコックピットなどの細かい部分に枠を表示します。

- [瞳検出枠表示]を[Off]に設定していても、検出すると瞳やコックピットなどの細かい部分にピントが合います。

ピント合わせに関するカメラの動作を設定する機能

オートフォーカス時のレンズの動作範囲を設定する

( AFリミッター)

PASMB 

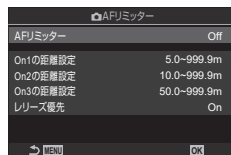
オートフォーカス動作するときの動作範囲を設定します。オートフォーカス中に、被写体との間に障害物が入ってピントが大きく外れてしまうような撮影状況で有効です。フェンスや窓越しの撮影などで、ピントがフェンスや窓に合ってしまうのを防ぐことができます。

■ AFリミッターで登録した距離設定を使用する

メニュー MENU → AF → 3. AF →  AFリミッター


1 △▽ボタンで[AFリミッター]を選択し、**OK**ボタンを押します。

2 △▽ボタンで[On1] / [On2] / [On3]を選択し、**OK**ボタンを押します。





 AFリミッター設定画面

Off	AFリミッターで登録した距離設定を使用しません。
On1	[On1の距離設定]で登録した距離設定を使用します。
On2	[On2の距離設定]で登録した距離設定を使用します。
On3	[On3の距離設定]で登録した距離設定を使用します。

3  AFリミッター設定画面に戻ります。

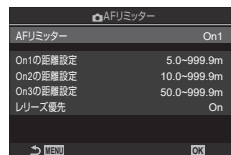
① 下記の場合、AFリミッターは無効です。

- レンズ側のフォーカスリミッターが有効
- フォーカスブラケット/深度合成撮影使用中
- ムービーモードおよびムービー記録中
- フォーカスモードが[ AF]または[ AF MF]

■ AFリミッターの各項目を設定する

1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択しⓀボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、Ⓚボタンを押すとAFリミッター設定画面に戻ります。




On1の距離設定	On1の距離範囲の設定をします。 △▽で数値を設定します。桁を移動するときは<◀▶>を押します。 [000.0] ~ [999.9 m/ft]
On2の距離設定	On2の距離範囲の設定をします。 △▽で数値を設定します。桁を移動するときは<◀▶>を押します。 [000.0] ~ [999.9 m/ft]
On3の距離設定	On3の距離範囲の設定をします。 △▽で数値を設定します。桁を移動するときは<◀▶>を押します。 [000.0] ~ [999.9 m/ft]
レリーズ優先	[Off] : [レリーズ優先] (P.81)の設定に従います。 [On] : [AFリミッター]が[Off]以外に設定されているとき、ピントを合わせることができなくても、シャッターを切ることができます。

① [On1の距離設定] ~ [On3の距離設定] で表示される数値は目安としてお使いください。

C-AF動作時のレンズのスキャン動作を設定する

(AFスキャン)

PASMB 

カメラがスキャン動作をするかどうかの設定をします。オートフォーカスでピント合わせができないとき、カメラは至近から無限までの間でピント位置を探します(スキャン動作)。AF中のスキャン動作の仕方を制限することができます。この機能は、**[AF方式]** (P.68)が**[C-AF]**、**[C-AF+TR]**、**[C-AF MF]**、または**[C-AF+TR MF]**のときに動作します。

メニュー	MENU → AF → 3. AF →  AFスキャン
------	--

Off	ピントを検出できなくてもスキャン動作をしません。小さな被写体を追うときなど、スキャン動作によりピントが大きく外れて被写体を見失うのを防ぐことができます。
On	ピントを検出できないとき、AF開始時に1回だけスキャン動作をします。そのままAF動作を続けてもその間はスキャン動作はしません。

- **[AF方式]**が**[S-AF]**または**[S-AF MF]**のときにピントを検出できないときは、**[AFスキャン]**の設定に関わらず1回だけスキャン動作を行います。

位相差AFでピントを合わせるときの、ピント位置を微調整できます。±20ステップの範囲で調整できます。

メニュー MENU → AF → 3. AF → 📷 AF微調節

- ① 通常はこの機能でピント位置を調整する必要はありません。また、調整により適切なピントで撮影できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ② [S-AF]、[S-AF M]では機能しません。

■ 登録されているピント位置の調整値を使用する

- 1 △▽ボタンで[AF微調節]を選択し、OKボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、OKボタンを押します。



📷 AF微調節設定画面

Off	登録されているピント位置の調整値を使用しません。
On	登録されているピント位置の調整値を使用します。

- 3 📷AF微調節設定画面に戻ります。

■ AF微調節の項目を設定する

- 1 項目を設定します。
 - △▽で項目を選択しOKボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
 - 設定後、OKボタンを押すと📷AF微調節設定画面に戻ります。



調節量	全てのレンズで一律に調整します。±20ステップの範囲で調整できます。 [-20] ~ [±0] ~ [+20]
-----	--

- 🔍 フロントダイヤルまたは🔍ボタンを押して画面を拡大して確認することができます。
- 🔍 OKボタンを押す前にシャッターボタンを押して試し撮りして確かめることができます。

オートフォーカス動作時に補助光を使う (AF補助光)

PASMB

暗くてオートフォーカスでピント合わせができないときに、自動的に補助光を発光します。

メニュー	MENU → AF → 2. AF → AF補助光
------	---------------------------

On	オートフォーカスするとき、被写体が暗いと自動的に補助光を発光します。
Off	被写体が暗くても補助光は発光しません。

① 静音撮影で使用するときは、**[静音[♥]撮影設定]**の設定が必要です(P.129)。

AFターゲットの表示方法を選択する (AFターゲット表示)

PASMB

オートフォーカスでピントがあったとき、ピントが合った位置に緑色のAFターゲットを表示します。このAFターゲットの表示についての設定します。

メニューでの操作	MENU → AF → 2. AF → AFターゲット表示
----------	-------------------------------


Off	ピントが合ったときもAFターゲットを表示しません。
On1	ピントが合ったとき、AFターゲットを表示してすぐに消えます。
On2	ピントが合ったとき、シャッターボタンを半押ししている間または AF-ON ボタンを押している間は、AFターゲットはクラスター表示になり、ピントの合っている箇所のAFターゲットが表示されます。

ピントを合わせる位置を設定する機能


AFターゲットの設定を横位置/縦位置で変える

(縦位置/横位置切換)

PASMB

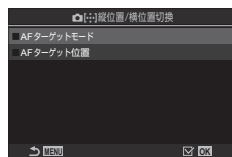
カメラの姿勢を検知して、AFターゲット位置やAFターゲットモードの設定を自動的に切り換えます。カメラの向きを変えると構図も変わるのでピントを合わせる位置も変わります。AFターゲットモードやAFターゲットの位置を向きに合わせて記憶させておくことができます。この機能が有効になっていると、Home登録 (P.95)のホームポジションも横位置、縦位置それぞれで設定することができます。


メニュー



MENU → AF → 5. AFターゲットの設定/操作 → 縦位置/横位置切換

1 姿勢で切り換える機能を選択し、✓ (チェック)を付けます。

- △▽で機能を選択し⊗ボタンを押すとチェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。
チェックを解除するときは再度⊗ボタンを押します。



縦位置/横位置切換
設定画面

AFターゲットモード	✓ (チェック)を付けると、  All /  Smallなどのターゲットモードを、横位置/縦位置それぞれで記憶します。
AFターゲット位置	✓ (チェック)を付けると、AFターゲットの位置を横および縦それぞれで設定します。

2 縦位置/横位置切換設定画面に戻ります。

3 MENU ボタンを押して、撮影画面を表示します。



4 カメラを横位置、縦位置それぞれの状態にしてAFターゲットモードやAFターゲットの位置を設定します。


- 横位置、縦位置(右回転、左回転)それぞれの状態での設定を記憶しておけます。

AFターゲットのホームポジションを設定する



( Home登録)

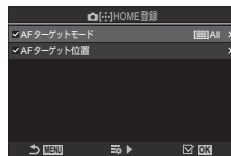
PASMB


[ Home] で使うホームポジションを設定します。 [ Home] は、ボタン操作一つでAFターゲットをあらかじめ登録したホームポジションに設定する機能です。このときのホームポジションを設定します。

メニュー	MENU → AF → 5. AFターゲットの設定/操作 →  Home登録
------	---




- 1 ホームポジションとして使用する項目を選択し、
✓ (チェック) を付けます。

- △▽で項目を選択し  ボタンを押すとチェックボックスに ✓ (チェック) が表示されます。
チェックを解除するときは再度  ボタンを押します。








AFターゲットモード	ホームポジションのAFターゲットモードを設定します。 [ AFターゲットモード設定] (P.76) で表示設定されている項目から選択できます。
AFターゲット位置	ホームポジションのAFターゲットの位置を設定します。

- 2 ▷ を押して、選択した項目の詳細設定をします。

- ホームポジションに登録する設定を選択します。
- [  縦位置/横位置切換] が設定されているときは、各項目を選択した上で、横位置、縦位置(左/右)を選択し、  を押して、それぞれの設定をします。

■ [Home] 機能を使う

[ Home] 機能を使うには、次の方法があります。





- [ ボタン機能] (P.207) を使って、いずれかのボタンに [ Home] を設定します。
ボタンを押すと、登録したホームポジションに設定します。
- [ 中央ボタン機能] (P.217) で [ JHP] に設定します。マルチセクターを押すと、登録したホームポジションに設定します。

AFターゲット選択設定時の操作方法を設定する

([::]選択画面設定)

PASMB

AFターゲット選択の設定で使用するフロント／リアダイヤルや十字ボタンの役割を設定します。使い方や好みに合わせて、機能の設定に使う操作部を割り当てておくことができます。

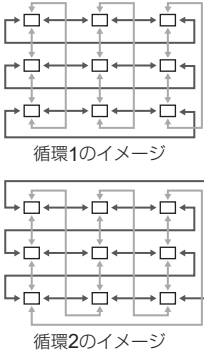
メニュー	MENU → AF → 5. AFターゲットの設定/操作 → [::]選択画面設定
 ダイヤル	フロントダイヤル、リアダイヤルに役割を設定します。 [Off]：役割を設定しません。 [◀Pos変更]：AFターゲットの位置(P.72)を設定します。 [::]Mode変更]：  All / [≡]Smallなどのターゲットモード(P.73)を変更します。
 ボタン	△▽、◀▶に役割を設定します。 [Off]：役割を設定しません。 [◀Pos変更]：AFターゲットの位置(P.72)を設定します。 [::]Mode変更]：  All / [≡]Smallなどのターゲットモード(P.73)を変更します。

4

撮影機能を設定する

AFターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端でAFターゲットを循環させるかどうかを設定できます。AFターゲットを循環させるときに、[All] (オールターゲット) を経由するかも設定できます。

メニュー MENU → AF → 5. AFターゲットの設定/操作 → [:]:循環設定

[:]:循環選択	<p>[Off]：AFターゲットは循環しません。上下左右の端でAFターゲットは止まります。</p> <p>[循環1]：マルチセクターを動かしてAFターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、同じ行または同じ列の反対側のAFターゲット位置に移動します。</p> <p>[循環2]：マルチセクターを動かしてAFターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、次の行または次の列の反対側のAFターゲット位置に移動します。</p>	 <p>循環1のイメージ</p> <p>循環2のイメージ</p>
[All]経由	<p>[しない]：[All] (オールターゲット) を経由しないで循環します。</p> <p>[する]：[:]:循環選択で[循環1]または[循環2]を選択しているとき、反対側の端のAFターゲットに移動する前に[All] (オールターゲット) を経由します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [AFターゲットモード設定]で[All] (オールターゲット) を非表示にしている場合は、[All]経由が[しない]に固定されます。 	



- ① ムービー撮影やフォーカスモードで[AF]または[AFMF]を選択している場合は、[:]:循環選択が[Off]に固定されます。


ファインダー撮影時にタッチ操作でAFターゲットを操作する (AFターゲットパッド)

PASMB

ファインダー撮影でAFターゲットを移動するとき、モニターをタッチパッドとして使います。ファインダーをのぞきながら、モニターをなぞってAFターゲットの位置を動かします。

メニュー	MENU → AF → 5. AFターゲットの設定/操作 → AFターゲットパッド
------	---

Off	モニターをタッチパッドとして使用しません。
On	ファインダー撮影時にモニターをタッチパッドとして使用します。モニターを2度タップすると、AFターゲットパッドのオンオフを切り換えできます。AFターゲットが端に当たつた後、一旦指を離して、再度スライドすると、  【循環選択】(P.97)の設定に従い、反対側のAFターゲットに移動したり、  Allになります。

 [On]のときは、拡大枠を移動することもできます(P.77)。

その他のピントを合わせるときに便利な機能

マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する

(MFアシスト)

PASMB

MF（マニュアルフォーカス）でピント合わせをするときの操作を補助する機能です。レンズのフォーカスリングを回したとき、自動的に画面を拡大したり、ピントの山の部分に色をつけて見分けやすく表示します。

メニュー	MENU → AF → 6. MF → MFアシスト
------	----------------------------

拡大	画面の一部を拡大して表示します。 [Off]：通常通り表示します。 [On]：画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめAFターゲットで決めることができます。☑️「ピント合わせの位置を自分で決める(AFターゲット位置)」(P.72)
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。 [Off]：通常通り表示します。 [On]：画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。☑️「輪郭の強調表示についての設定をする(ピーキング表示設定)」(P.100)
フォーカス距離指標	マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回すと、フォーカスの移動方向や位置の目安を表示し、ピント合わせを補助します。 [Off]：通常通り表示します。 [On]：マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、フォーカスの移動方向や位置の目安を表示します。

- ① ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。
- ① 以下のときは、拡大表示しません。
ムービー録画中／AF方式が[C-AF MF]、[C-AF+TR MF]設定時／多重露出撮影／ムービー撮影モードで[☑️デジタルテレコン]が[On]設定時
- ① フォーカスクラッチ機構を搭載した他社レンズでは、ピントの移動方向とフォーカス距離指標の表示が反対になる場合があります。その場合は[フォーカスリング](P.101)の設定を変更してください。
- ① フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカス距離指標は表示されません。
- 🔗 拡大表示中に、フロント/リアダイヤルを回すと、拡大倍率を変更できます。
- 🔗 ピーキング表示中は、INFOボタンを押して、色や強度を変更することができます。

輪郭の強調表示についての設定をする (ピーキング表示設定)

PASMB

輪郭のはっきりしている部分に色を付けて強調して表示します。マニュアルフォーカスでピント合わせをするなどのときに、ピントが合っているかどうかを確認しやすくなります。





ボタン	[ピーキング]を割り当てたボタン → INFOボタン
メニュー	MENU → AF → 6. MF → ピーキング表示設定


ピーキング色	ピーキング表示の色を設定します。 [白] / [黒] / [赤] / [黄]
ピーキングレベル	ピーキング表示の強度を設定します。 [弱] / [標準] / [強]
ピーキング背景の輝度調整	ピーキング表示が見分けやすいように背景の明るさを調整します。 [Off]：通常通り表示します。 [On]：背景の明るさを調整して表示します。

- [ピーキング背景の輝度調整]が[On]のときは、撮影される画像とは異なった明るさでライブビュー表示されます。

■ ピーキング表示を使う

ピーキング表示を使うには以下の方法があります。

- [ピーキング表示]を[ボタン機能]や[ボタン機能]に設定する：
[ボタン機能] (P.207)、[ボタン機能] (P.207)を使って、いずれかのボタンに[ピーキング]を設定します。ボタンを押すと、ピーキング表示に切り換わります。[マルチFn] (P.214)でも[ピーキング]の設定ができます。
- [MFアシスト]で[ピーキング]を設定する：
[MFアシスト]で[ピーキング]を設定すると、レンズのフォーカスリングを回したときだけピーキング表示をすることができます。

 ピーキング表示中に**INFO**ボタンを押すと、ピーキング表示の設定ができます。

プリセットMFの距離を設定する (プリセットMF距離)

PASMB 

プリセットMFのフォーカス位置を設定します。
数値と単位(m, ft)を設定します。

メニュー	MENU → AF → 6. MF → プリセットMF距離
------	-------------------------------



- ① フォーカスリミットを搭載したレンズでは、フォーカス範囲の制限を外してお使いください。
- ② 表示される数値は目安としてお使いください。

MFクラッチを無効にする (MFクラッチ)

PASMB 

レンズのMFクラッチの機能を無効にします。不用意にフォーカスリングを動かしてオートフォーカスが動作しないなどの誤操作を防ぐことができます。

メニュー	MENU → AF → 6. MF → MFクラッチ
------	----------------------------

[有効]	レンズのフォーカスリングの位置に従って動作します。
[無効]	レンズのフォーカスリングの位置に関わらず、カメラの[ AF方式] / [ AF方式]の設定に従って動作します。



- ① [MFクラッチ]が[無効]で、レンズのフォーカスリングがMFの位置のときは、フォーカスリングを動かしてMF操作をすることはできません。
- ② MFクラッチを搭載したレンズについて詳しくは、P.298を参照してください。

レンズのフォーカスリングの回転方向を設定する (フォーカスリング)

PASMB 

レンズのフォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えます。

メニュー	MENU → AF → 6. MF → フォーカスリング
------	------------------------------

	逆時計回りの方向でピント位置が遠くなります。
	時計回りの方向でピント位置が遠くなります。

電源オフ時のレンズの動作を設定する (レンズリセット)

PASMB

カメラの電源をオフにしたときに、レンズのフォーカス位置をリセット位置に戻さない設定ができます。電源が切れてもピント位置をそのままにしておくことができます。

メニュー	MENU → AF → 6. MF → レンズリセット
------	-----------------------------

Off	電源オフ時にレンズのフォーカス位置をリセットしません。電動ズームレンズのズーム位置も、電源をオフにする前の位置に設定されます。
On	電源オフ時にレンズのフォーカス位置をリセットします。

露出・測光の機能


画像の明るさを変えて撮影する


(露出補正)

PASMB

カメラが自動的に設定した露出を、自分のイメージした明るさに調整します。+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。

ボタン*	 (露出補正)ボタン → 
スーパーコンパネ	 → 露出補正

* Mモードで使用するときには、 (露出補正)ボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回します。

 Mモードで使用するには、**[ISO感度]** (P.111)を**[Auto]**に設定しておく必要があります。



- 静止画撮影では、 $\pm 5.0\text{EV}$ の範囲で補正できます。ファインダー、ライブビューの表示は、 $\pm 3.0\text{EV}$ までしか変化しません。露出補正バーは $\pm 3.0\text{EV}$ を超えると点滅します。
- ムービー撮影では、 $\pm 3.0\text{EV}$ の範囲で補正できます。
- 露出補正の設定をライブビュー画面に反映するには、**[カメラ表示モード]** (P.225)が**[標準]**、**[ナイトビュー]** (P.225)が**[Off]**に設定されている必要があります。
- ムービー録画中に露出補正するときには、フロント/リアダイヤルやタッチ操作を使います。



■ 露出補正を設定する

撮影モードがP/A/Sのとき

ムービーモードでは、[Pモード] (ムービー露出モード)が[P] / [A] / [S]のときに設定できます。☑「静止画撮影の効果を使って撮影する(Pモード(ムービー露出モード))」(P.56)

- 1 フロントダイヤルを回して設定します。
 - ☑ボタンを押して、◀▶で設定することもできます。
- 2 撮影します。

撮影モードがMのとき

ムービーモードでは、[Pモード] (ムービー露出モード)が[M]のときに設定できます。[画質設定]の[MISOオート設定]にある[MISOオート有効] (P.114)を[On]に設定して、[ISO感度] (P.111)を[Auto]に設定しておく必要があります。

- 1 ☑ボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回して設定します。
- 2 撮影します。

■ 露出補正をリセットする

☑ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。

露出設定時の変更ステップを設定する (露出ステップ)

PASMB

シャッター速度、絞り値、露出補正值などの露出設定時の設定値の変更ステップを選択します。1/3EV、1/2EV、1EVから選択できます。

メニュー	MENU →  → 4. 露出 → 露出ステップ
------	---




露出の基準を微調整する (露出基準調整)

PASMB

露出の基準を微調整することができます。カメラの自動露出の結果を常にプラス方向、マイナス方向にずらして撮りたいときに設定します。

- ① 通常はこの機能で調整する必要はありません。必要な場合のみ設定してください。通常の撮影で露出の補正を目的とするときは、露出補正を行ってください(P.103)。
- ② 調整した方向(プラス/マイナス)の露出補正の範囲が狭くなります。



メニュー	MENU →  → 4. 露出 → 露出基準調整
------	---


 (デジタルESP測光)	測光方式がデジタルESP測光のときの調整値を設定します。 [-1] ~ [±0] ~ [+1]
 (中央重点平均測光)	測光方式が中央重点平均測光のときの調整値を設定します。 [-1] ~ [±0] ~ [+1]
 (スポット測光)	測光方式がスポット測光のときの調整値を設定します。 [-1] ~ [±0] ~ [+1]



LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する

(フリッカースキャン / フリッカースキャン)





PASMB 

LED照明の環境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。【フリッカースキャン】 / 【フリッカースキャン】では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

① : 撮影モードが**S**または**M**で、静音撮影、プロキャプチャー撮影のときに使用できます。

: 【モード】(ムービー露出モード)が【**S**】または【**M**】のときに使用できます。

② 設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

メニュー	MENU →  → 4. 露出 →  フリッカースキャン
	MENU →  → 1. 基本設定/画質 →  フリッカースキャン

- 【On】に設定すると、画面に「FlickerScan」が表示されます。

FlickerScan










③ フリッカースキャンの画面では、ピーキング表示や、LVスーパーコンパネの表示はできません。表示するときは**INFO**ボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。



■ シャッター速度を設定する

- フロント/リアダイヤル、または△▽ボタンで設定できます。△▽ボタンを長押しすることでもできます。
- フロントダイヤルでは、【露出ステップ】(P.105)で設定した露出ステップでシャッター速度を変更できます。
- 画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。拡大画面(P.77)を使用すると、すじを確認しやすくなります。
- **INFO**ボタンを押すと画面が切り換わり、「FlickerScan」が消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント/リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- **INFO**ボタンを繰り返し押すと、フリッカースキャンの設定画面に戻ります。

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

ボタン	AF  ボタン →   
スーパーコンパネ	 → 測光
メニュー	MENU →  → 5. 測光 → 測光

 デジタルESP測光	逆光を含む一般的な撮影状況に適しています。画面を324分割で測光し、撮影シーンを考慮した最適な露出値を演算します。
 中央重点平均測光	画面中央に主要な被写体を配置して撮影する場合に適しています。画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。 
 スポット測光	被写体の特定の部分の明るさを基準にして撮影する場合に適しています。狭い範囲(画面の約2%)の部分で測光します。 
 Hi スポット測光ハイライト	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。
 Sh スポット測光シャドウ	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。



 スポット測光位置をAFターゲットに連動させることができます。 「スポット測光時の測光位置をAFターゲットに合わせる(⌈:⌋連動スポット測光)」(P.110)


露出を固定する

(AEロック)

AEL ボタンを押して、露出だけを固定することができます。ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときに使います。

ボタン	AEL ボタン
-----	----------------

 撮影後にAEロックを自動で解除するように設定できます。 **[AEL]の撮影後解除** (P.108)

- **AEL** ボタンに他の機能を割り当てているときは、**[ボタン機能]** (P.207)で、いずれかのボタンに**[AEL]** (P.212)の機能を割り当てておく必要があります。
- 一度ボタンを押すと露出が固定され「**AEL**」が表示されます。
- AEロックを解除するには、もう一度ボタンを押します。
- モードダイヤル、**MENU** ボタンや ボタンの操作をするとロックは解除されます。

AEロック動作時の測光方式を設定する





(**AEL**時の測光モード)

PASMB 

AELボタンを使って、AEロックをするときの測光方式を設定します。

メニュー	MENU →  → 5. 測光 → AEL 時の測光モード
------	---

- AEロックについては、詳しくはP.107をお読みください。

オート	[測光] (P.107)の設定で測光します。
 (中央重点平均測光)	画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。
 (スポット測光)	狭い範囲(画面の約2%)の領域のみを測光します。
 Hi (スポット測光ハイライト)	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。
 Sh (スポット測光シャドウ)	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。

撮影後に露出の固定を自動で解除する


(**AEL**の撮影後解除)

PASMB 

AELボタンで露出を固定しているとき、撮影後に露出の固定を自動で解除するように設定します。

メニュー	MENU →  → 5. 測光 → AEL の撮影後解除
------	--

しない	撮影後も露出は固定されたままになります。解除するには AEL ボタンを押します。
する	撮影が終わると露出の固定は解除されます。



-  連写やカスタムセルフタイマー、インターバル撮影など、複数枚の撮影が行われる場合は、一連の撮影動作が終わった時点で解除されます。

シャッターボタンの半押しで露出を固定する (＝半押し時のAEロック)


PASMB 

シャッターボタンを半押ししたときに露出を固定するように設定します。


メニュー	MENU →  → 5. 測光 →  半押し時のAEロック
------	---

しない	シャッターボタンを半押ししても露出は固定されません。露出はシャッターボタン全押し時の撮影状況で決まります。
する	シャッターボタンを半押しすると露出を固定します。
S-AFのみする	AF方式が[S-AF] / [S-AF MF] / [ AF] / [ AF MF] のときだけ、シャッターボタンを半押しすると露出を固定します。

- ① AELボタンで露出を固定しているときは、この設定によらず、シャッターボタンを半押ししても露出はロックされたまま変わりません。
- 🔊 シャッターボタンの半押しで露出を固定しない設定のときに、連写中の各コマ毎に測光を行うかどうか、選択できます。🔊 「連写中の露出を固定する (連写中の測光)」 (P.110)

メニュー	MENU →  → 5. 測光 → 連写中の測光
------	---

しない	連写中は最初の1コマで測光し、露出は固定されます。
する	連写中は1コマごとに測光し露出を決定します。




- ① AELボタンで露出を固定している場合(P.107)や、シャッターボタンの半押しにより露出が固定されている場合(P.109)は、**[連写中の測光]**を**[する]**に設定しても、連写中の露出は固定されたままになります。
- ② **[♥SH1]**または**[ProCap SH1]**を設定すると、**[連写中の測光]**は**[しない]**に固定されます。

スポット測光時の測光位置をAFターゲットに合わせる (連動スポット測光)

[測光]を**[□]** (スポット測光)にしたとき、AFターゲットの位置に測光位置を連動させることができます。スポット測光、スポット測光ハイライト、スポット測光シャドウのそれぞれの測光方式で個別に設定できます。

メニュー	MENU →  → 5. 測光 →  連動スポット測光
------	---

1 連動させる測光方式を選択し、 (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択しボタンを押すとチェックボックスに (チェック)が表示されます。
チェックを解除するときは再度ボタンを押します。

スポット	[測光] が [□] (スポット測光)のときに連動します。
スポットハイライト	[測光] が [□Hi] (スポット測光ハイライト)のときに連動します。
スポットシャドウ	[測光] が [□Sh] (スポット測光シャドウ)のときに連動します。

- ① **[顔・瞳検出]**は**[Off]**になります。
- ② AFターゲットモードが、**[■]Single**、**[■]Small**のときに機能します(P.73)。
- ③ 拡大AF時は、拡大枠を表示した位置に連動します(P.77)。

PASMB

被写体の明るさに応じて設定します。数値を大きくすると暗い環境での撮影が可能になりますが、画像のノイズ(ざらつき)が多くなります。【Auto】の設定では、明るさに応じて自動的に設定が変わります。

ボタン	ISOボタン → <D>☺
スーパーコンパネ	☺ → ISO感度

- ① ムービー撮影時、【**露出モード**】(ムービー露出モード)が【P】/【A】/【S】のときは、ISO感度が【Auto】に固定されます。【**露出モード**】(ムービー露出モード)を【M】に設定すると、ISO感度を設定できます。☺ 「フロント/リアダイヤルの機能を変える(☺ダイヤル機能/☺ダイヤル機能)」(P.215)

Auto	<p>撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。</p> <p>静止画撮影時、ISO感度が変わるときの上限や基準値を設定することができます。(【☺ISOオート上限/基準値】(P.113))</p> <p>P/Aモードでは、ISO感度が上がり始めるシャッター速度を変更できます。(【☺ISOオート低速限界】(P.113))</p> <p>① ムービー撮影時にはISO200～12800の範囲で設定されます。【露出モード】(ムービー露出モード)が【M】の場合は【☺MISOオート有効】が【On】のときに設定できます。ISO感度の上限や基準値も設定することができます。☺ 「ISO感度の【Auto】の範囲を設定する(☺ISOオート上限/基準値/☺MISOオート上限/基準値)」(P.113)</p>
L80、L100、200～102400 (静止画撮影時)	<p>ISO感度を手で設定します。ISO200はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。【L100】や【L80】は、絞り値を小さくしたいときや、できるだけシャッター速度を遅くしたいときに設定します。【L80】はISO80相当、【L100】はISO100相当です。</p> <p>① 【L80】および【L100】は、露出ステップの設定に関わらず選択ができます。</p> <p>② 【L80】または【L100】に設定しているときは、画像の階調が低下します。</p>
200～12800 (ムービー撮影時)	<p>ISO感度を手で設定します。ISO200はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。</p>

- ① 電子シャッターを使った撮影(静音撮影、フォーカスブラケットなど)のときに【☺ISO感度】が16000以上の場合、フラッシュの同調秒時は1/50秒になります。
- ① ISOブラケット撮影を静音撮影で行うときは、ISO感度の設定に関わらずフラッシュ同調秒時は1/50秒になります。
- ① 【**露出モード**】(ムービー露出モード)が【M】のときは、録画中でもタッチ操作(P.58)またはフロント/リアダイヤルを回してISO感度を変更することができます。
- ① 静止画撮影のときに、ISO感度を【Auto】にしてピクチャーモードの【ドラマチックトーン】または【ウォーターカラー】を選ぶと、ISO感度の上限がISO1600になります。

① [Pモード] (ムービー露出モード)が[M]のときは、ピクチャーモードの設定によって以下の制限があります。


- [P2 OM-Log400]、[P3 HLG] :
 - [画質モード]のフレームレートが23.98p/24.00p/25.00p/29.97pの場合、[Auto]の範囲はISO400～6400です。
 - [画質モード]のフレームレートが50.00p/59.94pの場合、[Auto]の範囲はISO400～12800です。
 - マニュアル設定のときは、ISO400が下限です。
- [ドラマチックトーン] [ウォーターカラー] :
 - [Auto]の範囲はISO200～3200です。
- [ドラマチックトーン] [ウォーターカラー]以外のアートフィルター :
 - [画質モード]のフレームレートが23.98p/24.00p/25.00p/29.97pの場合、[Auto]の範囲はISO200～3200です。
 - [画質モード]のフレームレートが50.00p/59.94pの場合、[Auto]の範囲はISO200～6400です。
- その他のピクチャーモード :
 - [画質モード]のフレームレートが23.98p/24.00p/25.00p/29.97pの場合、[Auto]の範囲はISO200～6400です。

ISO感度設定時の変更ステップを設定する

(ISO感度ステップ)

PASMB 

ISO感度設定時の設定値の変更ステップを選択します。1/3EV、1EVから選択できます。

メニュー	MENU →  → 3. ISO/ノイズ低減 → ISO感度ステップ
------	---

ISO感度の[Auto]の範囲を設定する

(📷 ISOオート上限/基準値 / 📷M ISOオート上限/基準値)

P A S M B 📷

【📷 ISO感度】または【📷M ISO感度】を【Auto】（オート）に設定したときの、カメラが自動的に設定するISO感度の範囲を設定します。

メニュー	MENU → 📷1 → 3. ISO/ノイズ低減 → 📷 ISOオート上限/基準値 MENU → 📷M → 3. ISO/ノイズ低減 → 📷M ISOオート上限/基準値
------	---

上限値	自動的に変わるISO感度の上限を設定します。 △▽またはフロント/リアダイヤルで設定します。
基準値	基準値となる値を設定します。 △▽またはフロント/リアダイヤルで設定します。

- [上限値]と[基準値]は<▷>で切り換えます。
- ① 設定の上限値/基準値は【📷ISO感度】と【📷M ISO感度】で異なります。設定した絞り値とシャッター速度で適正露出にならないときは、基準値より低い感度に設定されます。

自動でISO感度を上げるシャッター速度を設定する

(📷 ISOオート低速限界)

P A S M B 📷

【📷 ISO感度】を【Auto】に設定したときの、感度を上げ始めるシャッター速度を設定します。





メニュー	MENU → 📷1 → 3. ISO/ノイズ低減 → 📷 ISOオート低速限界
------	---

オート	カメラが自動的に設定します。
1/8000 ~ 60"	設定したシャッター速度でISO感度を上げ始めます。 📷ボタンを押して、△▽でシャッター速度を設定します。

ISO感度の[Auto]を有効にする撮影モードを設定する (ISOオート有効 / ISOオート有効)

P A S M B



ISO感度の[Auto]を有効にする撮影モードを設定します。

メニュー	MENU →  → 3. ISO/ノイズ低減 →  ISOオート有効 MENU →  → 3. ISO/ノイズ低減 →  ISOオート有効
------	--

ISOオート有効

P/A/S	撮影モードがP/A/SのときにISO感度の[Auto]が有効になります。
P/A/S/M	撮影モードがP/A/S/MのときにISO感度の[Auto]が有効になります。





ISOオート有効

Off	 モード (P.56)が[M]のときISO感度の[Auto]が無効になります。
On	 モード (P.56)が[M]のときISO感度の[Auto]が有効になります。

ISO感度が高感度時のノイズ低減を設定する (高感度ノイズ低減 / 高感度ノイズ低減)

P A S M B

ISO感度が高いときに画像に発生するノイズを低減します。暗い環境での撮影時に画像が粗くなるのを低減することができます。ノイズ低減のレベルは選択できます。

メニュー	MENU →  → 3. ISO/ノイズ低減 →  高感度ノイズ低減 MENU →  → 3. ISO/ノイズ低減 →  高感度ノイズ低減
------	--

Off	ノイズ低減をしません。
弱/標準/強	ノイズ低減の強度を選択します。

撮影時の画像処理の方法を設定する (低感度画像処理)

PASMB

ISO感度が低い設定で連写した画像にかける、画像処理の方法を設定します。

メニュー	MENU →  3. ISO/ノイズ低減 → 低感度画像処理
------	---

連写優先	連写継続枚数に影響を与えないように画像処理をします。
解像優先	解像を優先した画像処理をします。

📷 単写の場合は、**[連写優先]**を設定しても、**[解像優先]**で動作します。

長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする (長秒時ノイズ低減)

PASMB

遅いシャッター速度で撮影したときに発生する画像のノイズを低減するための設定をします。遅いシャッター速度で撮影すると、カメラ自身の発生する熱により画像にノイズが発生します。撮影後に処理用の画像を取得するので、シャッター速度と同じ時間、次の撮影ができません。

メニュー	MENU →  3. ISO/ノイズ低減 → 長秒時ノイズ低減
------	--

Off	ノイズ低減処理をしません。
On	シャッター速度の設定に関わらず、常にノイズ低減処理をします。
オート	長秒時撮影時にカメラ内部の温度が上昇したとき、自動的にノイズ低減処理をします。

🕒 ノイズ低減の処理中、画面には処理が終了するまでの時間が表示されます。

🕒 連写設定時は、自動的に**[Off]**になりノイズ低減処理は行われません。

🕒 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。

📷 静音撮影で使用するときは、**[静音♥]撮影設定**の設定が必要です(P.129)。

フラッシュ撮影機能

フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)

専用外部フラッシュを使って、目的に応じたいろいろなフラッシュ撮影が行えます。

■ 専用外部フラッシュについて

発光量やマクロ撮影など、目的に合わせて選べます。専用外部フラッシュは、カメラとの通信機能により、TTL-AUTO、スーパー FP発光など多彩な調光モードが使えます。カメラのホットシューに取り付ける以外にも、専用のブラケットケーブル(別売)とフラッシュブラケットを使って撮影することもできます。また、このカメラは以下のワイヤレスフラッシュシステムに対応しています。

電波通信ワイヤレスフラッシュ：CMD、 \downarrow CMD、RCV、X-RCVモード

電波通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。フラッシュの設置方法の自由度がひろがります。対応したフラッシュ同士または、電波コマンダー/レシーバーを使って非対応のフラッシュをコントロールすることもできます。

ワイヤレスRCフラッシュ：RCモード

光通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます(P.121)。

■ 専用フラッシュの機能比較

型名	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)	対応ワイヤレスシステム
FL-700WR	TTL-AUTO、MANUAL、FP TTL AUTO、FP MANUAL、MULTI、RC、SL MANUAL	GN42 (75mm<150mm>*1時) GN21 (12mm<24mm>*1時)	CMD、 \downarrow CMD、RCV、X-RCV、RC
FL-900R	TTL-AUTO、AUTO、MANUAL、FP TTL AUTO、FP MANUAL、MULTI、RC、SL AUTO、SL MANUAL	GN58 (100mm<200mm>*1時) GN27 (12mm<24mm>*1時)	RC
STF-8	TTL-AUTO、MANUAL、RC*2	GN8.5	RC*2
FL-LM3	カメラ設定による	GN9.1 (12mm<24mm>*1時)	RC*2

*1 カバーできるレンズ焦点距離(<>)の数値は35mmフィルムカメラ換算)

*2 コマンダー (発信側)としてのみ働きます。

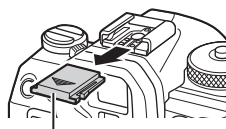
■ 外部フラッシュを取り付ける

フラッシュのカメラへの固定方法や操作方法はフラッシュによって異なります。詳しくはフラッシュの取扱説明書をお読みください。ここではFL-LM3を使用した場合の説明をします。

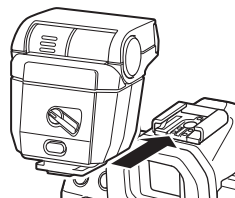
① カメラとフラッシュの電源が切れていることを確認してください。電源が入ったまま取り付け/取り外しをすると故障の原因となります。

1 ホットシューカバーを外して、フラッシュをカメラに装着します。

- フラッシュが奥にカチッと突き当たるまでしっかりと差し込みます。

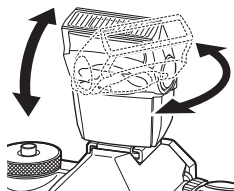


ホットシューカバー



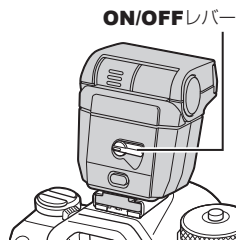
2 バウンス撮影時は、発光部の向きを調節します。

- 上方向と左右に回すことができます。
- バウンス撮影ではフラッシュの光量不足にご注意ください。



3 フラッシュのON/OFFレバーをONにして電源を入れます。

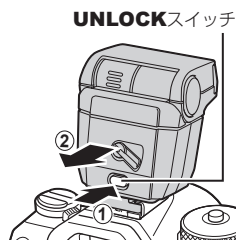
- フラッシュを使わないときは、レバーをOFFにして電源を切ります。



ON/OFFレバー







■ フラッシュを取り外す

- 1 フラッシュの**UNLOCK**スイッチを押しながらホットシューからフラッシュを外します。










フラッシュ発光モードを設定する

PASMB

ボタン	  ボタン →   
スーパーコンパネ	 → フラッシュ

■ フラッシュ発光モード

表示される発光モードは、【フラッシュモード設定】(P.121)の設定により異なります。

 発光	フラッシュを発光します。 ① シャッター速度は、【  低速制限】(P.122)から【  同調速度】(P.122)の間に設定されます。
 発光禁止	フラッシュを発光しません。 ① フラッシュの電源スイッチがオンになっていても発光しません。
 Slow SLOW	被写体も背景も適正露出となるように、遅いシャッター速度でフラッシュを発光します。 ① 【  低速制限】の設定に関わらず、測光値に合わせて遅いシャッター速度に設定されます。
 Manual マニュアル発光	調整した光量で発光します。 FL-LM3を取り付けたときのみ表示されます。

■ フラッシュ発光モードとシャッター速度

フラッシュの発光モードの設定に合わせて、使用できるシャッター速度の範囲が変わります。シャッター速度の上限と下限は、使用できる範囲の中でメニューで変更することができます。☑️ [同調速度] (P.122)、⚡️ [低速制限] (P.122)

露出モード	フラッシュ発光モード	[赤目軽減発光] (P.121)	[シンクロ設定] (P.121)	LVスーパコンパネの表示	赤目軽減発光	発光タイミング	シャッター速度制限条件
P/A	発光	[しない]	[先幕]	⚡️	無し	先幕シンクロ	60秒～1/250秒
			[後幕]	⚡️2		後幕シンクロ	
		[する]	[先幕]	⚡️☑️	有り	先幕シンクロ	
			[後幕]	⚡️☑️2		後幕シンクロ	
	スローシンクロ	[しない]	[先幕]	⚡️Slow	無し	先幕シンクロ	
			[後幕]	⚡️Slow2		後幕シンクロ	
		[する]	[先幕]	⚡️☑️Slow	有り	先幕シンクロ	
			[後幕]	⚡️☑️Slow2		後幕シンクロ	
	マニュアル発光*1	(設定によらず)	(設定によらず)	⚡️Manual	無し	先幕シンクロ	
	発光禁止	(設定によらず)	(設定によらず)	Ⓜ️	—	—	—
S/M	発光	[しない]	[先幕]	⚡️	無し	先幕シンクロ	60秒～1/250秒
			[後幕]	⚡️2		後幕シンクロ	
		[する]	[先幕]	⚡️☑️	有り	先幕シンクロ	
			[後幕]	⚡️☑️2		後幕シンクロ	
	マニュアル発光*1	(設定によらず)	(設定によらず)	⚡️Manual	無し	先幕シンクロ	
	発光禁止	(設定によらず)	(設定によらず)	Ⓜ️	—	—	

露出モード	フラッシュ発光モード	[赤目軽減発光] (P.121)	[シンクロナイズメント設定] (P.121)	LVスーパーコンパネの表示	赤目軽減発光	発光タイミング	シャッター速度制限条件
B	発光	[しない]	[先幕]		無し	先幕シンクロナイズメント	—
			[後幕]			後幕シンクロナイズメント*2	—
		[する]	[先幕]		有り	先幕シンクロナイズメント	—
			[後幕]			後幕シンクロナイズメント*2	—
	マニュアル発光*1	(設定によらず)	(設定によらず)		無し	先幕シンクロナイズメント	—
	発光禁止	(設定によらず)	(設定によらず)		—	—	—

*1 FL-LM3を取り付けたときのみ表示されます。スーパーコンパネから**[マニュアル発光量]**を選択すると発光量を選択できます。

*2 **[Live Comp]** (P.49)では、**[後幕]**を設定しても、**[先幕]**で動作します。

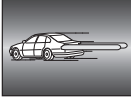
- 赤目軽減発光では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。また撮影状況によっては、効果が得られないことがあります。
- フラッシュ発光時、シャッター速度は1/250秒以下に設定されます。背景の明るい被写体では、発光すると背景が露出オーバーになることがあります。
- 静音撮影(P.129)、ハイレゾリューション撮影(P.152)およびフォーカスブラケット撮影時(P.175)は同調速度が1/100秒になります。また、電子シャッターを使った撮影(静音撮影、フォーカスブラケット撮影など)のときに**[ISO感度]**が16000以上の場合、フラッシュの同調秒時は1/50秒になります。ISOブラケット撮影時(P.173)もフラッシュの同調秒時は1/50秒になります。
- 被写体が近いと発光量を最小にしても強すぎる場合があります。近距離撮影での露出オーバーを防ぐには、**A**、**M**モードで絞り値を大きくしたり、**[ISO感度]**を低く設定して撮影してください。

発光モードを設定する (フラッシュモード設定)

PASMB

フラッシュ発光モードの選択画面に表示するモードを設定します。


メニュー	MENU →  → 6.フラッシュ → フラッシュモード設定
------	---

赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。 [しない]：赤目軽減発光をしません。 [する]：赤目軽減発光をします。
シンクロ設定	フラッシュの発光タイミングを設定します。 [先幕]：フラッシュはシャッターが完全に開いたときに発光します。 [後幕]：フラッシュはシャッターが閉じる直前で発光します。 被写体の移動方向の後方に光跡が残る写真になります。 

フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ補正)

PASMB

フラッシュの光で被写体が白くとんでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。マニュアル発光以外のフラッシュ発光モードに設定されているときに使用できます。

スーパーコンパネ	 → フラッシュ補正
----------	---

- 専用外部フラッシュ側でフラッシュ発光量を補正しているとき、カメラ側で設定した発光補正量に加算されて働きます。

ワイヤレスRCフラッシュ撮影をする (⚡RCモード撮影)

PASMB

ワイヤレスRCフラッシュを使って撮影をする設定をします。別売のワイヤレスRCフラッシュ対応の専用フラッシュを使ってフラッシュをリモート制御します。ワイヤレスRCフラッシュ撮影については、P.304をお読みください。

メニュー	MENU →  → 6.フラッシュ →  RCモード撮影
------	--

Off	ワイヤレスRCフラッシュ撮影をしません。
On	ワイヤレスRCフラッシュ撮影をします。カメラでフラッシュのリモート撮影をするためのパネルが画面に表示されます。

- [On]に設定後撮影待機画面で \odot ボタンを押すと、RCモード用のスーパーコンパネが表示されます。通常のスーパーコンパネに切り換えるには**INFO**ボタンを押します。

フラッシュ使用時のシャッター速度の上限を設定する

(⚡同調速度)

PASMB

フラッシュ使用時に設定できるシャッター速度の上限を設定します。
フラッシュ使用時に被写体が明るいときでも、シャッター速度の上限はこの設定で固定されます。

メニュー MENU → → 6.フラッシュ → ⚡同調速度

4

フラッシュ使用時のシャッター速度の下限を設定する

(⚡低速制限)

PASMB

P/Aモード時、フラッシュ使用時に設定できるシャッター速度の下限を設定します。
シャッター速度をカメラが自動的に決める場合は、フラッシュ使用時に被写体が暗いときでも、シャッター速度の下限はこの設定で固定されます。フラッシュ発光モードがスローシンクロ(⚡Slow/⚡Slow2/⚡Slow/⚡Slow2)のときは、この設定は働きません。

- 設定範囲：60秒～【同調秒時】

メニュー MENU → → 6.フラッシュ → ⚡速度制限

フラッシュ発光量補正に露出補正値を加算する (⚡+⚡連動)

PASMB

フラッシュの発光量補正を設定したとき、露出補正の設定を加算するかどうかを設定します。フラッシュ発光量補正については、P.121をお読みください。

メニュー MENU → → 6.フラッシュ → ⚡+⚡連動

Off フラッシュ発光量補正の設定値と露出補正は別々に設定されます。

On フラッシュの発光量補正に、露出補正値が加算されます。

TTL調光時の露出バランスを設定する (バランス調光設定)

PASMB

専用外部フラッシュをTTL調光モードで使う際の露出バランスを設定します。

メニュー MENU → → 6.フラッシュ → バランス調光設定

Off 被写体を重視した調光を行います。

On 被写体と背景のバランスを取った調光を行います。

⚡【On】設定時は、【ISO感度】は【Auto】に設定することをお勧めします。





連写／セルフタイマー機能









連写する／セルフタイマーを使う










PASMB
































連続撮影やセルフタイマーの方法を設定します。被写体に合わせて撮影方法を選択します。その他、低振動撮影や静音撮影などの設定もできます。

① セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。

ダイレクトボタン	  ボタン →  
スーパーコンパネ	 → ドライブ ( / 
メニュー	MENU →  → 7. ドライブモード → ドライブ  / 

 単写	1コマ撮影です。1回のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます。
 連写	シャッターボタンを全押ししている間、最大約20コマ/秒で連続撮影できます。【  AF方式】(P.68)が【C-AF】 / 【C-AF MF】 / 【C-AF+TR】 / 【C-AF+TR MF】のときは、1コマごとにピント合わせをします。 【連写中の測光】(P.110)が【する】のときは、1コマごとに測光し、露出を決定します。
 SH1 高速連写SH1	シャッターボタンを全押ししている間、最大約120コマ/秒で連続撮影できます。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。
 SH2 高速連写SH2	シャッターボタンを全押ししている間、最大約50コマ/秒で連続撮影できます。【  AF方式】(P.68)が【C-AF】 / 【C-AF MF】 / 【C-AF+TR】 / 【C-AF+TR MF】のときは、1コマごとにピント合わせをします。 【連写中の測光】(P.110)が【する】のときは、1コマごとに測光し、露出を決定します。
ProCap ProCap SH1 ProCap SH2 プロキャプチャー撮影	シャッターボタンを半押しすると連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します(P.130)。それぞれのプロキャプチャー撮影での連写中のピントと露出は、【  SH1】(♥高速連写SH1)、【  SH2】(♥高速連写SH2)と同様の設定になります。

 12s /  12s  12s	セルフタイマー 12s	シャッターボタンを全押しすると12秒後に撮影されます。セルフタイマーランプが、約10秒点灯した後、約2秒間点滅して撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合われます。
 2s /  2s  2s	セルフタイマー 2s	シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合われます。
 C /  C  C	カスタム セルフタイマー	セルフタイマー撮影で、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます(P.127)。

- 🔗 連写の速度や連写枚数の上限を設定できます(P.126)。
- 🔗  の付いた項目はシャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。マクロ撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。【低振動】 撮影設定】(P.128)で【低振動】 撮影が【On】のときに設定できます。
- 🔗  の付いた項目は、電子シャッターを使って撮影します。1/8000秒より高速のシャッター速度に設定するときや、シャッター音が出せない環境下で撮影するときに使います。
- 🔗   SH2/ProCap SH2は対応するレンズに限られます。当社ホームページをご確認ください。
- 🔗 セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、 を押します。
- 🔗 、 、 、ProCapでは、撮影中にライブビューを表示します。  SH1、  SH2、ProCap SH1、ProCap SH2では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- ①   SH2/ProCap SH2でAF方式(P.68)が【C-AF】 【C-AF MF】 【C-AF+TR】 【C-AF+TR MF】設定時に絞り値がF8より大きいときは、ピント合わせの精度が下がります。●Fが表示されます。
- ①   SH1/ProCap SH1では、シャッター速度の下限が1/15秒になります。
- ①   SH2/ProCap SH2では、シャッター速度の下限が【連写設定】の【連写速度】が【50コマ】の場合は1/640秒、【25コマ】の場合は1/320秒になります。
- ①   ISO感度が16000以上の設定では、連写速度が低下します。
- ①   で   ISO感度が16000以上の設定では、フラッシュの同調速度は1/50秒になり、連写速度も最大10コマ/秒に制限されます。
- ① セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- ① 使用するレンズやズームの位置により、連写速度は変わります。
- ① 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止します。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- ① 静音撮影およびプロキャプチャー撮影時に、動きの速い被写体を撮影したりカメラを激しく動かして撮影すると、画像が歪んで写ることがあります。
- ① 静音撮影(P.129)でフラッシュ撮影をするときは、【静音】 撮影設定】(P.129)で【フラッシュ】を【許可】にしておく必要があります。
- ① 暗い環境下で撮影すると、連写速度が低下することがあります。【 ナイトビュー】を【Off】にすると、連写速度を確保できる場合があります。🔗 「暗いところで画面を見やすくする( ナイトビュー)」(P.225)

■ 連続撮影可能枚数表示について

カメラが以下の状態のとき、画面に連続撮影可能枚数が表示されます。

シャッターボタンの半押し中／全押し中／SDカード書き込み中



[00] (赤)になると一時的に次の撮影ができなくなりますが、画像がカードに記録されると数値が増えていき、撮影が可能になります。

❗ カード未挿入の状態では表示されません。

❗ 撮影機能によっては、表示されません。

🔗 おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。

ボタンを押したときに表示される連写モードの種類を選択したり、各連写モードの連写速度と撮影枚数などの上限を設定します。

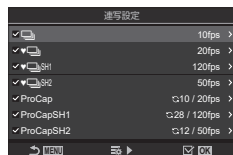
メニュー MENU → → 7. ドライブモード → 連写設定

1 表示する連写モードを選択し、✓ (チェック) を付けます。

- △▽で項目を選択し ボタンを押すとチェックボックスに ✓ (チェック) が表示されます。

チェックを解除するときは再度 ボタンを押します。

- 【】は【低振動 】撮影設定 (P.128) で【低振動 】撮影が【On】のときに表示されます。



連写設定画面

2 ▷ ボタンを押します。



3 各項目を設定します。


連写速度	連写速度の設定をします。数値は最大値の目安です。 / のとき：1～10fps のとき：5, 10, 15, 20fps SH1のとき：60, 100, 120fps SH2のとき：25, 50fps ProCapのとき：5, 10, 15, 20fps ProCap SH1のとき：60, 100, 120fps ProCap SH2のとき：25, 50fps
プリ連写枚数 (ProCap/ ProCap SH1/ ProCap SH2のみ)	シャッターボタンを全押しする前の記録枚数を0~70枚から設定します。
枚数リミッター	プリ連写枚数を含む全撮影枚数を2～99枚から設定します。シャッターボタン全押し後の連写枚数を制限できます。設定した枚数に達すると自動的に撮影が終了します。 <ul style="list-style-type: none"> 撮影枚数を制限しない場合は【Off】を選択します。 撮影枚数を制限するときは、数値を選択し、 ボタンを押すと、撮影枚数の設定画面が表示されます。△▽ボタンで数値を変更できます。 プロキャプチャー撮影時は、制限する撮影枚数にプリ連写枚数も含まれます。 「リリースタイムラグを防いで撮影する(プロキャプチャー撮影)」(P.130)

① 【HDR撮影】 / 【深度合成撮影】 / 【Focus BKT】では【枚数リミッター】は【Off】になります。




② SH2/ProCap SH2は連写速度を設定できるレンズが限られます。対応レンズについては当社ホームページをご確認ください。

PASM B 

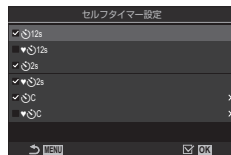
  ボタンを押したときに表示されるセルフタイマーモードの種類を選択したり、セルフタイマー撮影時の、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます。

メニュー	MENU →  → 7. ドライブモード → セルフタイマー設定
------	---

1 表示するセルフタイマーモードを選択し、 (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択し ボタンを押すとチェックボックスに (チェック)が表示されます。
チェックを解除するときは再度 ボタンを押します。

  12s] [ 2s] [ 1C]は【低振動撮影設定】(P.128)で【低振動撮影】が【On】のときに表示されます。



2 カスタムセルフタイマーを設定するときは、 / [1C] / [1C] (カスタムセルフタイマー)を選び、 ボタンを押します。

3 各項目を設定します。





コマ数	1回の撮影で撮影するコマ数を設定します。
セルフタイマー時間	シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間を設定します。
撮影間隔	2コマ以上撮影するときの撮影間隔を設定します。
各コマAF	<p>【Off】：2コマ以上撮影するとき、最初の1コマでピントが固定されます。</p> <p>【On】：1コマごとにAFします。</p>


シャッター動作時の振動を防いで撮影する（低振動[◆]撮影設定）

PASMB

低振動撮影では、シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。
マクロ撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。

メニュー	MENU →  → 7. ドライブモード → 低振動[◆]撮影設定
------	--

低振動[◆]撮影	<p>[Off]：連写/セルフタイマーの選択画面に低振動撮影([◆□]) [◆)などは表示されません。通常撮影([□] [)などが表示されます。</p> <p>[On]：連写/セルフタイマーの選択画面に低振動撮影([◆□]) [◆)などを表示します。通常撮影([□] [)などは表示されません。</p>
撮影待ち時間	<p>低振動撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。</p> <p>[0秒] / [1/8秒] / [1/4秒] / [1/2秒] / [1秒] / [2秒] / [4秒] / [8秒] / [15秒] / [30秒]</p>




- 撮影するときは、[連写設定] (P.126)で◆のついた連写モードに✔ (チェック)が付いていることを確認してください。
- ◆の付いた項目を選択し(P.123)、 ボタンを押した後、撮影します。設定された時間が経過すると、シャッターが切れて撮影されます。

P A S M B 

静音撮影では、シャッター音が気になる場所で、音を立てずに撮影できます。電子シャッターを使って撮影するので、低振動撮影と同様にシャッター動作による微小なぶれを低減することができます。

メニュー	MENU →  → 7. ドライブモード → 静音[♥]撮影設定
------	---

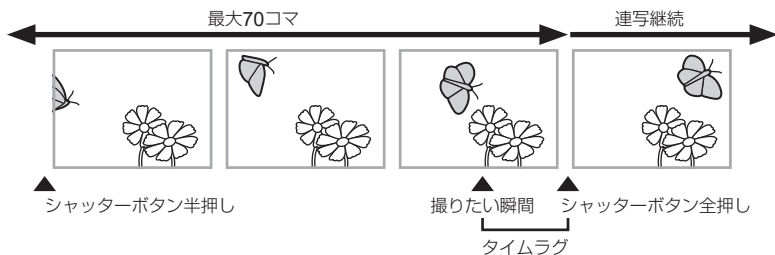
撮影待ち時間	静音撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。 [0秒] / [1/8秒] / [1/4秒] / [1/2秒] / [1秒] / [2秒] / [4秒] / [8秒] / [15秒] / [30秒]
長秒時ノイズ低減	[Off] : 通常の撮影をします。 [オート] : 静音撮影での長時間露光時に発生するノイズを低減します。ノイズ低減処理時に、シャッターの動作音がします。
電子音	[電子音] (P.254)の設定に従って動作するかどうかを設定します。
AF補助光	[AF補助光] (P.93)の設定に従って動作するかどうかを設定します。
フラッシュ	フラッシュの発光モードの設定に従って動作するかどうかを設定します。

- ① ハイレゾショット撮影時(P.152)は、[電子音]、[AF補助光]、[フラッシュ]は[禁止]に設定しても[許可]の動作となります。
ただし、[ハイレゾショット]が[On発光禁止]に固定されます。
- 撮影するときは、[連写設定] (P.126)で♥のついた連写モードに♥ (チェック)が付いていることを確認してください。
- ♥の付いた項目を選択し(P.123)、 ボタンを押した後、撮影します。シャッターが切れるとモニターの画面は一度暗くなります。シャッター音はしません。
- ① 被写体の大きな動きや蛍光灯やLED照明などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- ① シャッター速度の上限は1/32000です。
- ① [ ISO感度]が16000以上の場合、フラッシュの同調秒時は1/50秒になります。

レリーズタイムラグを防いで撮影する（プロキャプチャー撮影）

PASMB

シャッターボタンの半押しで画像の取り込みを開始して、シャッターボタンを全押しした瞬間からあらかじめ設定した枚数までさかのぼって画像を記録します。さらにシャッターボタンを押し続けている間、設定した枚数まで撮影を続けます。人の反応やカメラの動作のタイムラグにより撮り逃していた瞬間を記録することができます。



プロキャプチャー（ProCap）

撮影距離が変化する被写体の撮影に適しています。最大20コマ/秒で連続撮影し、シャッターボタンを全押しする前の画像を最大70コマ記録できます。[**AF方式**] (P.68)が[C-AF] / [C-AF MF] / [C-AF+TR] / [C-AF+TR MF]のときは、1コマごとにピント合わせをします。

プロキャプチャー SH1（ProCap SH1）

撮影距離の変化が少ない被写体の撮影に適しています。最大120コマ/秒で連続撮影し、シャッターボタンを全押しする前の画像を最大70コマ記録できます。[**AF方式**] (P.68)の[C-AF]および[C-AF+TR]は[S-AF]に、[C-AF MF]および[C-AF+TR MF]は[S-AF MF]に設定されます。

プロキャプチャー SH2（ProCap SH2）

最大50コマ/秒で連続撮影し、シャッターボタンを全押しする前の画像を最大70コマ記録できます。[**AF方式**] (P.68)が[C-AF] / [C-AF MF] / [C-AF+TR] / [C-AF+TR MF]のときは、1コマごとにピント合わせをします。

- ① 対応するレンズに限られます。当社ホームページをご確認ください。
- ① [C-AF] / [C-AF MF] / [C-AF+TR] [C-AF+TR MF] 設定時に絞り値がF8より大きいときは、ピント合わせの精度が下がります。●Fが表示されます。
- ① [ProCap SH1]では、シャッター速度の下限が1/15秒になります。
- ① [ProCap SH2]では、シャッター速度の下限が[連写設定]の[連写速度]が[50コマ]の場合には1/640秒、[25コマ]の場合には1/320秒になります。

ボタン	ボタン →
スーパーコンパネ	→ ドライブ(/)
メニュー	MENU → → 7. ドライブモード → ドライブ(/)

1 プロキャプチャー (ProCap) /プロキャプチャー SH1 (ProCap SH1) /プロキャプチャー SH2 (ProCap SH2)を選択し、**OK** ボタンを押します。

2 シャッターボタンを半押しして撮影を始めます。

- 半押しすると、画像取り込み中のアイコン(**📷**)が表示されます。そのまま全押ししないで1分経過すると、撮影終了して**📷**が消えます。撮影するためにはもう一度半押ししてください。
- シャッターボタンを押し続けている間、**[枚数リミッター]**で設定した枚数まで撮影を続けます。



画像取り込み中

🔗 [連写設定] (P.126)で**[連写速度]**、**[プリ連写枚数]**、**[枚数リミッター]**を設定できます。

3 シャッターボタンを全押ししてカードへの記録を開始します。

- 📌 スマートフォン接続(Wi-Fi)時にプロキャプチャー撮影はできません。
- 📌 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- 📌 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- 📌 シャッター速度の低速側には制限があります。
- 📌 被写体の明るさやISO感度、露出補正の設定によっては、**[フレームレート]** (P.225)の設定よりも表示が遅くなる場合があります。

シャッターが切れるタイミングを設定する

(フリッカーレス撮影)

PASMB

照明のフリッカーのある環境下で撮影したときなど、明るさがばらついて写ることがあります。フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。

メニュー

MENU → **📷** → 7. ドライブモード → フリッカーレス撮影

- **[On]**に設定すると、画面に「FLK」が表示されます。



- 📌 環境によってはフリッカーが検出できないことがあります。その場合は、通常のタイミングでシャッターが切れます。
- 📌 シャッター速度が遅いときは、通常のタイミングで撮影されます。
- 📌 シャッターが切れる際にタイムラグが生じたり、連写速度が低下する場合があります。

手ぶれ補正機能

手ぶれを抑えて撮影する (📷手ぶれ補正 / 📷手ぶれ補正)

PASMB📷

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。

スーパーコンパネ	OK → 📷手ぶれ補正 / 📷手ぶれ補正
メニュー	MENU → 📷 → 8. 手ぶれ補正 → 📷手ぶれ補正 MENU → 📷 → 4. 手ぶれ補正 → 📷手ぶれ補正

4

撮影機能を設定する

📷手ぶれ補正

S-IS Off (静止画手ぶれ補正オフ)	手ぶれ補正をしません。三脚使用時にお使いください。
S-ISAuto (手ぶれ補正オート)	カメラの全方向の動きに対して補正をします。流し撮りを検出すると、画像を流す方向の補正を自動的に停止します。
S-IS1 (全方向補正)	カメラの全方向の動きに対して補正をします。
S-IS2 (縦ぶれ補正)	カメラの縦方向の手ぶれに対して補正をします。横方向に流し撮りするときに適しています。
S-IS3 (横ぶれ補正)	カメラの横方向の手ぶれに対して補正をします。縦位置で流し撮りするときに適しています。

📷手ぶれ補正

M-IS Off (動画手ぶれ補正オフ)	手ぶれ補正をしません。
M-IS1 (全方向補正)	センサーシフト式と電子式の両方の補正を使用します。
M-IS2 (全方向補正)	センサーシフト式補正のみ行います。電子式の補正は行いません。

■ 手ぶれ補正の詳細項目を設定する

マイクロフォーサーズ/フォーサーズ以外のレンズを使うときは、レンズの焦点距離情報を入力して設定します。

- 1 [📷手ぶれ補正] / [📷手ぶれ補正]の設定中に **INFO** ボタンを押して、△▽◀▶で焦点距離を設定しOKボタンを押します。



レンズ焦点距離	レンズ焦点距離を設定します。レンズに記載の数値を設定してください。 [0.1] ~ [1000.0] mm
---------	--



- ① 手ぶれが大きすぎる場合やシャッター速度が極端に遅い場合は、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- ① 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じる場合があります。
- ① 手ぶれ補正機能切り換えスイッチのあるレンズでは、レンズ側の設定が優先されます。設定は変更できます。🔍 「手ぶれ補正機能搭載レンズ使用時の手ぶれ補正設定(レンズ手ぶれ補正優先)」(P.135)
- ① **[レンズ手ぶれ補正優先]** (P.135)が**[On]**のときは、**[S-ISAuto]**は**[S-IS1]**で動作します。
- ① ドライブ(P.123)が♥📷SH2/ProCap SH2のときに**[S-ISAuto]**または**[S-IS1]**に設定すると、通常の連写と比較し、奥行き方向の動きが多い被写体に適した補正を行います。
- 🔍 シャッターボタンを半押ししたときの、手ぶれ補正の動作のオンオフを選択できます。
🔍 「シャッターボタン半押し中の手ぶれ補正動作を設定する(半押し中手ぶれ補正)」(P.134)
- 🔍 **[リセット/カメラ初期化]** (P.260)の**[撮影設定リセット]**でカメラの設定をリセットしても、登録したレンズの焦点距離は保持されます。

手ぶれ補正の効きを調整する

(手ぶれ補正強度)

PASMB 

ムービー撮影時の手ぶれ補正の効きを調整します。


メニュー	MENU →  → 4. 手ぶれ補正 →  手ぶれ補正強度
+1	手持ちで構図を変えずに撮影したいときに適しています。
±0	通常はこの設定でお使いください。
-1	手持ちでパン/チルトしたり、動く被写体を追うような撮影をしたときに適しています。

シャッターボタン半押し中の手ぶれ補正動作を設定する

(半押し中手ぶれ補正)

PASMB 

シャッターボタン半押し中に手ぶれ補正の機能を有効にするかどうかを設定できます。水準器を表示して水平を取りながら撮影しているときなどに、手ぶれ補正を無効にすることができます。

メニュー	MENU →  → 8. 手ぶれ補正 → 半押し中手ぶれ補正
On	シャッターボタンを半押ししたときに手ぶれ補正機能が働きます。
Off	シャッターボタンを半押ししたときに手ぶれ補正機能が働きません。


連写中の手ぶれ補正の動作を設定する

(連写中手ぶれ補正)

PASMB 

連写中の手ぶれ補正の動作について設定します。

手ぶれ補正は連写中でも有効ですが、効果を最大限に生かすためには、各コマごとに撮像素子を中央にリセットする必要があります。その場合、連写速度が低下します。

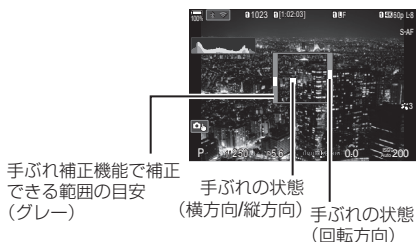
メニュー	MENU →  → 8. 手ぶれ補正 → 連写中手ぶれ補正
IS優先	手ぶれ補正を優先します。連写速度が若干低下します。
連写速度優先	連写速度を優先します。撮影状況によっては、手ぶれ補正の効果が若干低下する場合があります。


手ぶれの状態を画面に表示する


(手持ち撮影アシスト)

PASMB 

シャッターボタンを半押ししたときや露光中に、手ぶれの状態を画面に表示するよう設定できます。手持ちで長秒時の撮影で、手ぶれを抑えたいときに有効です。



メニュー	MENU →  → 8. 手ぶれ補正 → 手持ち撮影アシスト
Off	手ぶれの状態を画面に表示しません。
On	シャッターボタンを半押ししたときや露光中に、手ぶれの状態を画面に表示します。

- ① 手ぶれの状態がグレーの枠の中に収まっている場合、ぶれのない写真が撮れることを保証するものではありません。
- ① 近くの被写体を撮影しているときは、手ぶれの状態を正しく表示できません。
- ① **【手ぶれ補正】**の設定が**【Off】**の場合や、他社レンズでレンズ側の手ぶれ補正のみ動作する場合には、表示されません。
- ① **【半押し中手ぶれ補正】**が**【Off】**の場合は、露光中のみ表示されます。


手ぶれ補正機能搭載レンズ使用時の手ぶれ補正設定

(レンズ手ぶれ補正優先)

PASMB 

他社製の手ぶれ補正機能を搭載したレンズを使用時に、カメラの手ぶれ補正機能とレンズの手ぶれ補正機能のどちらを優先して機能させるかを設定します。

- ① 手ぶれ補正機能のオンオフを操作できるISスイッチを搭載したレンズでは、この機能は無効になります。

メニュー	MENU →  → 8. 手ぶれ補正 → レンズ手ぶれ補正優先
On	レンズの手ぶれ補正機能を優先して働かせます。
Off	カメラの手ぶれ補正機能を優先して働かせます。

色・画質の機能

静止画とムービーの画質を設定する

(画質モード / 画質モード)

PASMB

静止画とムービーの画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。

スーパーコンパネ	→ 画質モード / 画質モード
メニュー	MENU → → 1. 基本設定/画質 → 画質モード MENU → → 1. 基本設定/画質 → 画質モード

■ 画質モードを設定する

設定項目	画像サイズ	圧縮率	ファイル形式
SF	5184×3888	SuperFine (1/2.7)	JPG
F	5184×3888	Fine (1/4)	JPG
N	5184×3888	Normal (1/8)	JPG
MIN	3200×2400	Normal (1/8)	JPG
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF
RAW+JPEG	RAWと上記のJPEGの組み合わせ		

画像サイズと圧縮率の組み合わせはメニューで変更することができます。
 「JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ (画質モード詳細設定)」 (P.139)

ハイレゾショット(P.152)が設定されているときは、F、F、F、F+RAW、F+RAW、F+RAWの選択ができます。

① [カードスロット設定] (P.244)で [記録設定]が[標準]、[同一書き込み↓]、[同一書き込み↑]または[自動切換]に設定されているときは、①と②は同じ設定になります。

② ハイレゾショット(P.152)の設定が[On]]のときは、FおよびF+RAWは設定できません。

③ ハイレゾショット(P.152)に設定すると、画質モードの設定も変更されるので、撮影前に確認してください。

RAW画像とは未加工の状態のデータです。撮影後にあらためて絵作りをするための元データとして使います(拡張子は「.ORF」です)。

- 他のカメラでの再生はできません。
- パソコンでの閲覧は画像編集・管理ソフトウェアOM Workspaceをお使いください。
- このカメラの編集機能[RAW編集] (P.199)を使って、JPEGのデータにすることができます。

■ 画質モードを設定する

- 各画質モードの設定を変更するときは画質モードを選択した状態で▶を押します。

画質モードの表記について

設定の変更は画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。3種類の組み合わせを記憶しておくことができます。

ムービーサイズ

4K	4K	4K	3840×2160
FHD	FHD	Full HD	1920×1080
C4K	C4K	4K デジタルシネマ	4096×2160

フレーム間圧縮

I-8	A-I	ALL-Intra*
L-8	L-GOP	LongGOP

再生フレームレート

60p	59.94p	59.94fps
50p	50.00p	50.00fps
30p	29.97p	29.97fps
25p	25.00p	25.00fps
24.00p	24.00p	24.00fps
24p	23.98p	23.98fps

スロー/クイック効果

-	Off
-	数値(倍率)

4K 60p L-8

・ [ムービーサイズ]が [4K]および[C4K]のときは[L-GOP]固定になります。

・ [24.00p]は[ムービーサイズ]が[C4K]のときのみ選択できます。

【記録コーデック】(P.140)が
 [H.264]設定時は、"-8"
 [H.265]設定時は、"-10"

* ALL-Intra はフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。

- 倍率を大きくするとクイック撮影、小さくするとスロー撮影になります。
- 再生時は決まった速度で再生されるので、スローモーションやクイックモーションに見えるムービーになります。
- ① 音声は記録されません。
- ① ビクチャーモードのオートフィルターは解除されます。
- ① [画質モード]の設定によっては、スロー撮影、クイック撮影の片方もしくは両方が設定できない場合があります。
- ① シャッター速度は1/24以上に制限されます。【フレームレート】の設定により変わります。

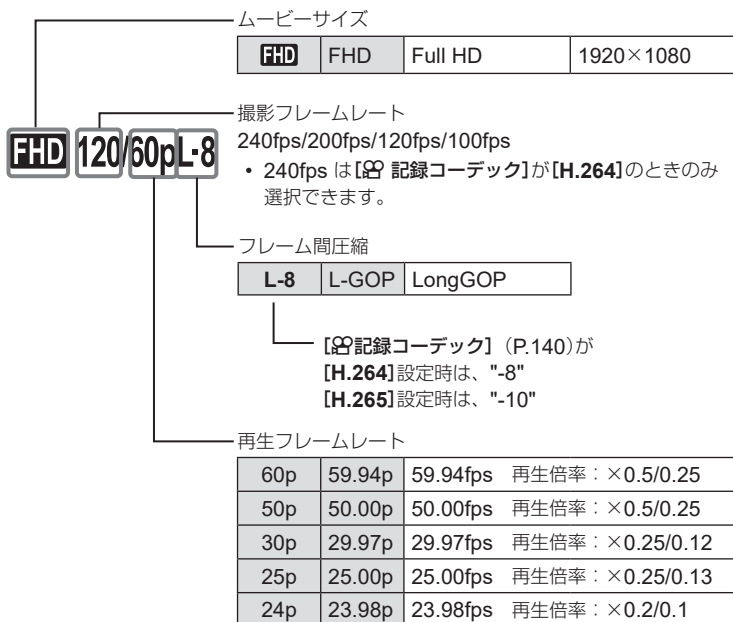
- ① 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- ② 設定の組み合わせによってはフレーム間圧縮の変更ができない場合があります。
- ③ アスペクト比は、16:9です。C4Kの設定では、17:9に設定されます。

ハイスピードムービーを撮影する








高速度撮影をします。撮影時は、100～240コマ/秒で撮影して23.98～59.94コマ/秒で再生するムービーとして記録します。時間を約2～10倍に延ばして再生することで、被写体の一瞬の動きをスローモーションで見ることができます。

ムービー画質モードの選択肢の一つとして設定します。再生フレームレートの設定により、再生時の速度の倍率を変えることができます。撮影フレームレートと再生フレームレートの組み合わせには制限があります。

設定の変更は画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。



- ハイスピードムービーの設定を変更するときは、画質モードを選択した状態で▶を押します。



- ① SD/SDHCカード使用時、1ファイルは4GBに制限されます。
- SDXCカード使用時は、再生時間が3時間を超えないところまで録画が中止します。
- ① 録画中は、ピント位置、測光、ホワイトバランスは固定されます。
- ① 音声は記録されません。
- ① 画角がやや狭く設定されます。
- ① 録画中は、絞り値やシャッター速度、露出補正、ISO感度の変更はできません。
- ① タイムコードの表示や記録はできません。
- ① 録画中にズーム操作を行うと、明るさが変わる場合があります。
- ① HDMI機器接続中は、ハイスピードムービーの撮影はできません。
- ① ハイスピードムービー撮影では、All (オールターゲット)は設定できません。
- ① 【手ぶれ補正】(P.132)の[M-IS1]は設定できません。
- ① ピクチャーモード(P.141)の[i-Finish]、およびアートフィルターは設定できません。
- ① 【階調】(P.143)は【階調標準】に固定されます。
- ① スマートフォンとWi-Fi接続してリモート撮影を行っているとき、ハイスピードムービーの撮影は設定できません。

















JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ

(画質モード詳細設定)

PASMB

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEGの画質モードを設定できます。

メニュー	MENU →  → 1. 基本設定/画質 →  画質モード詳細設定
------	---

画像サイズ		圧縮率			用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	
 (Large)	5184×3888	 SF	 F	 N	プリントサイズ に合わせて選択
 (Middle)	3200×2400	 SF	 F	 N	
 (Middle)	1920×1440	 SF	 F	 N	
 (Small)	1280×960	 SF	 F	 N	小さいプリントや ホームページ用
 (Small)	1024×768	 SF	 F	 N	

ムービーの記録コーデックを選ぶ (記録コーデック)

PASMB

ムービーの記録コーデックを設定します。

メニュー	MENU → 設定 → 1. 基本設定/画質 → 記録コーデック
------	----------------------------------

H.264	汎用性の高いH.264コーデックで8bitのムービーを記録します。通常はこの設定にしてください。
H.265	H.265コーデックで10bitのムービーを記録します。映像制作などパソコンでの編集を前提にした設定です。

- ① [H.265]に設定すると、[ピクチャーモード] (P.144)が[2 OM-Log400]または[3 HLG]に制限されます。正しい色と明るさで再生するには、10bit入力に対応したテレビやモニターが必要です。10bit入力に対応したHDMI機器に出力しているとき、アイコンなどの色合いが通常と違って見える場合があります。

アスペクト比を設定する (アスペクト比設定)

PASMB

撮影の意図やプリントなどの出力時の狙いに合わせて、画像の縦横比を設定します。通常のアスペクト比(横×縦)である[4:3]の他に[16:9]、[3:2]、[1:1]、[3:4]が設定できます。

スーパーコンパネ	設定 → アスペクト
メニュー	MENU → 設定 → 1. 基本設定/画質 → アスペクト比設定

- JPEGの画像では、設定したアスペクト比の画像で記録されます。RAW画像は、撮像素子のサイズである[4:3]のままの画像にアスペクト比の設定情報を付けて記録されます。再生時は、設定情報に合わせて枠が表示されます。

レンズの周辺減光を補正する (シェーディング補正)

PASMB

レンズの特性により発生する画面周辺の減光を補正します。レンズによっては画面周辺が減光で暗くなる場合があります。カメラが自動的に補正して明るくします。

メニュー	MENU → 設定 → 1. 基本設定/画質 → シェーディング補正
------	------------------------------------

Off	シェーディング補正をしません。
On	カメラが自動的に判断してシェーディング補正をします。






- ① テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは、[On]に設定されていても補正されません。
- ② ISO感度が高い設定のときは、補正により画面周辺のノイズが目立つ場合があります。



画像の仕上がりを設定する




(ピクチャーモード / ピクチャーモード)

PASMB

画像の色合いや階調を操作して仕上がりを調整します。被写体や写真表現に合わせて、用意された項目を選ぶだけで設定できます。それぞれの項目別に、コントラストやシャープネスなどの調整をすることができます。また、写真をアーティスティックな表現にするアートフィルターを使うこともできます。アートフィルターでは、フレーム効果などの効果の設定をすることもできます。調整したパラメータはピクチャーモード別に記憶されます。

スーパーコンパネ	 → ピクチャーモード
メニュー	MENU →  → 2. ピクチャーモード/WB →  ピクチャーモード MENU →  → 2. ピクチャーモード/WB →  ピクチャーモード

① ムービー撮影モードで以下の設定のとき、スーパーコンパネから[ピクチャーモード]を選択すると、[ピクチャーモード]と同じ内容(P.142)が設定できます。

- [記録コーデック]が[H.264]設定時にメニューから[ピクチャーモード]で[と同じ]が設定されているとき












■ ピクチャーモードを選択する

- 1 リヤダイヤルまたは<>でピクチャーモードを選択します。

設定項目 ピクチャーモード



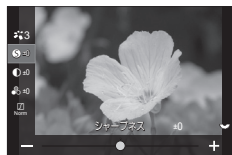
ピクチャーモード設定画面

 1	i-Finish	カメラが被写体を自動的に判別して、最適な色やコントラストを再現します。
 2	Vivid	鮮やかな色合いになります。
 3	Natural	自然な色合いになります。
 4	Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
 5	Portrait	肌色をきれいに上げます。
 M	モノトーン	モノクロ調に上げます。フィルター効果を使ったり全体的に色付けする調色をすることもできます。
 C	カスタム	調整を加えたピクチャーモードを登録できます。
	水中	水中写真にあった色鮮やかな色彩に上げます。 <ul style="list-style-type: none"> • 【 水中】を設定して撮影するときは、【 +WB 連動】 (P.150)を【Off】に設定することをおすすめします。
	カラークリエーター	印象に合わせて全体の色合いや彩度を調整します。
ART 1	ポップアート	アートフィルターを設定します。それぞれのアートエフェクト機能が使えます。追加できる効果や調整できる効果はアートフィルターによって異なります。
ART 2	ファンタジックフォーカス	
ART 3	デイドリーム	
ART 4	ライトトーン	
ART 5	ラフモノクローム	
ART 6	トイフォト	
ART 7	ジオラマ	
ART 8	クロスプロセス	
ART 9	ジェントルセピア	
ART 10	ドラマチックトーン	
ART 11	リニュークレール	
ART 12	ウォーターカラー	
ART 13	ヴィンテージ	
ART 14	パートカラー	
ART 15	ブリーチバイパス	
ART 16	ネオノスタルジー	

■ ピクチャーモードの詳細項目を設定する

1 ピクチャーモード設定画面(P.142)で△▽を押して、設定する項目を切り換えます。

- 選択したピクチャーモードによって、設定できる項目が異なります。



<p>⑤ シャープネス</p>	<p>画像の鮮鋭さを調整します。輪郭の強調をすることでシャープなはっきりした感じの画像にすることができます。 [-2] ~ [±0] ~ [+2]</p>
<p>① コントラスト</p>	<p>画像の明暗差を調整します。明暗差を強調することではっきりした印象の強い画像にすることができます。 [-2] ~ [±0] ~ [+2]</p>
<p>🎨 彩度</p>	<p>画像の色合いや色の濃さを調整します。彩度を上げると色合いのはっきりした印象的な画像になります。 [-2] ~ [±0] ~ [+2]</p>
<p>☑ 階調</p>	<p>画像の色や明るさの濃淡を調整します。被写体のイメージに合わせて全体的に明るく表現したり暗く表現します。明暗差によって暗い階調と明るい階調のどちらも表現できます。 【オート】：画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。 【標準】：適度な階調にします。通常は標準に設定してください。 【ハイキー】：明るい被写体に適した階調にします。 【ローキー】：暗い被写体に適した階調にします。</p>
<p>Effect 効果</p>	<p>i-Finishの効果の強さを設定します。 【弱】：弱めの効果を画像に加えます。 【標準】：弱と強の中間程度の効果を画像に加えます。 【強】：強めの効果を画像に加えます。</p>
<p>Filter フィルター効果</p>	<p>モノクロ系のピクチャーモードにカラーフィルターの効果をつけることができます。被写体の色によって明るく表現したりコントラストを強調することができます。黄、橙、赤の順にコントラストが強くなります。緑はポートレート撮影などにも効果的です。 【N：無し】：フィルター効果を使用しません。 【Ye：黄】：自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。 【Or：オレンジ】：青空らしさや夕日の輝きが少し強調されます。 【R：赤】：青空らしさや紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。 【G：緑】：人物写真で使うと肌の色を落ち着かせます。また、口紅の赤い色が強調されます。</p>

Color 調色	モノクロ系のピクチャーモードに色味の効果をつけることができます。 [N：無し]：通常の白黒画像になります。 [S：セピア]：セピア調の画像にします。 [B：青]：青味がかった画像にします。 [P：紫]：紫味がかった画像にします。 [G：緑]：緑味がかった画像にします。
🌈C ピクチャーモード	[カスタム]で調整を加えるピクチャーモードを設定します。 [i-Finish] / [Vivid] / [Natural] / [Flat] / [Portrait] / [モノトーン]
カラークリエーター	フロントダイヤルで色相を、リアダイヤルで彩度を調整できます。 Ⓜボタンを長押しすると調整値をリセットできます。
効果の追加	アートフィルターに効果を追加します。 追加できる効果はアートフィルターによって異なります。 またアートフィルターによっては、フィルター効果/調色を調整できます。
Color パートカラー	アートフィルターのパートカラーを選択します。

- アートフィルターの効果はJPEG画像にのみ適用されます。画質モードが[RAW]のときは、自動的に[RAW+JPEG]に設定されます。
- ① 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。
- 🌈 [📷ピクチャーモード表示] (P.145)で表示/非表示の設定ができます。

🌈C ピクチャーモードの項目を設定する

- 1 メニューから[🌈Cピクチャーモード]を選択します。
- 2 △▽◀▶で項目を選択します。



📷📷と同じ	📷ピクチャーモードと同じ設定で記録します。
🌈1 Flat	カラーグレーディングに適したフラットな階調で記録します。
🌈2 OM-Log400	より自由度の高いカラーグレーディングに適したLOGカーブに合わせた階調で記録します。
🌈3 HLG	記録したムービーを対応した機器で再生すると、ダイナミックレンジが広く、肉眼で見たような映像を再現します。

- ① [🌈記録コーデック] (P.140)の設定が[H.264]のときは、[🌈3 HLG]は選択できません。
- ① [🌈記録コーデック] (P.140)の設定が[H.265]のときは、[📷]と[🌈1 Flat]は選択できません。

ピクチャーモード選択の表示設定をする

(ピクチャーモード表示)

PASMB

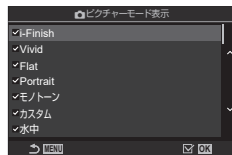
ピクチャーモードの選択時に自分に必要なものだけを表示します。

- ピクチャーモードの詳しい内容については「画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード/ピクチャーモード)」(P.141)の説明をお読みください。

メニュー	MENU → → 2. ピクチャーモード/WB → ピクチャーモード表示
------	---------------------------------------

1 ピクチャーモードの設定メニューに表示させたいモードを選択し、 (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択し \odot ボタンを押すとチェックボックスに (チェック)が表示されます。チェックを解除するときは再度 \odot ボタンを押します。



ピクチャーモード表示設定画面

画像の色合いを調整する

(ホワイトバランス)

PASMB

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は【Auto】(オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、【Auto】以外のホワイトバランスを手動で設定します。

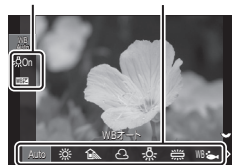
■ ホワイトバランスを設定する

スーパーコンパネ	\odot → ホワイトバランス
メニュー	MENU → → 2. ピクチャーモード/WB → WBモード MENU → → 2. ピクチャーモード/WB → WBモード












1 リヤダイヤルまたは \triangleleft でホワイトバランスを選択します。

設定項目 ホワイトバランス

2 選択したホワイトバランスの設定を微調整するときは、△▽で設定したい項目を選びます。



ホワイトバランス設定画面

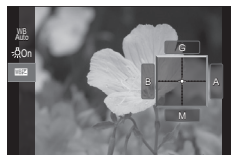
WBAuto WBオート	<p>一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通常はこのモードをお使いください。 • 電球下での色合いを設定できます (P.150)。
 晴天	<p>晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定される色温度は5300Kです。
 日陰	<p>晴天の日に屋外の日陰で撮るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定される色温度は7500Kです。
 曇天	<p>曇天の日に屋外で撮るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定される色温度は6000Kです。
 電球	<p>電球に照らされている被写体を撮るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定される色温度は3000Kです。
 蛍光灯	<p>蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定される色温度は4000Kです。
WB  水中	<p>水中で撮るとき</p>
WB  WBフラッシュ	<p>フラッシュの色温度相当の照明で撮るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定される色温度は5500Kです。
 1  2  3  4 ワンタッチWB1～4	<p>白に合わせたいものが特定できているとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実際の撮影環境下で白に合わせたいものの色温度を測って設定します (P.148)。
CWB カスタムWB	<p>色温度での特定ができるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 色温度を選択し、設定します。

■ 各WBモードのホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスの設定を微調整できます。個別に調整値を設定できます。

1 各項目を設定します。

- ホワイトバランス設定画面(P.145)で△▽を押して、設定する項目を切り換えます。



WBオート 電球色残し (WBオート時のみ)	<p>[Off]：ホワイトバランスがAutoのときの、電球下の色がぶりを抑えます。</p> <p>[On]：ホワイトバランスがAutoのときの、電球下の暖かい色味を残します。</p>
WB補正 (ホワイトバランス補正)	<p>フロントダイヤルまたは◀▶で「アンバー-青」の色味を変更します。ポインタ(+)がAに近づくにつれ赤みがかかり、Bに近づくにつれ青みがかかった画像になります。</p> <p>リアダイヤルまたは△▽で「緑-赤紫」の色味を変更します。ポインタ(+)がGに近づくにつれ緑の色味が増し、Mに近づくにつれ赤紫がかかった画像になります。</p> <p>Ⓞボタンを長押しすると調整値をリセットできます。</p> <p>ホワイトバランスの設定を一括で微調整できます。☰☰ [全WBモード補正] (P.149)</p>
色温度 (カスタムWB時のみ)	<p>カスタムWB設定時の色温度を設定できます。</p> <p>[2000K] ~ [14000K]</p>

☞ WB補正 (ホワイトバランス補正)を行うと、WBモードのアイコンにマーク(*)が表示されま

す。

■ ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。☀(晴天)や☁(曇天)などの用意された設定値や微調整では合わせるのが難しい、微妙な色合いの設定ができます。取得した調整値を記憶させておき、使い分けることができます。

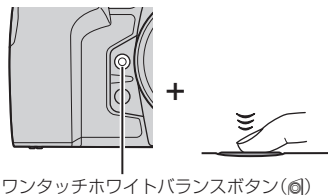
静止画撮影とムービー撮影でそれぞれ記憶させることができます。

- 1 「ホワイトバランス設定画面」で[☀1]、[☀2]、[☀3]または[☀4] (ワンタッチホワイトバランス1、2、3または4)を選択します。
- 2 ☀Setを選択します。
- 3 白かグレーのような無彩色の紙を撮影します。
 - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
 - INFOボタンを押します。
 - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
- 4 [実行]を選択し、Ⓜボタンを押します。
 - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
 - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源をオフにしても消去されません。

ワンタッチホワイトバランスボタン(☀)で設定する

ボタンに[ワンタッチWB]が割り当てられているときは、ボタン操作でもホワイトバランスを測定できます。静止画撮影の場合、初期設定ではワンタッチホワイトバランスボタン(☀)に割り当てられています。ムービー撮影では、[Ⓜボタン機能] (P.207)でワンタッチホワイトバランスを割り当てる必要があります。

- 1 白かグレーのような無彩色の紙が画面中央に写るようにします。
 - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
- 2 ワンタッチホワイトバランスを割り当てたボタンを押しながら、シャッターボタンを全押しします。
 - ムービー撮影の場合はワンタッチホワイトバランスボタンを押すと手順3に進みます。
 - データを登録するワンタッチWBの選択メニューが表示されます。
- 3 △▽で選択してⓂボタンを押します。
 - データが記憶されて、撮影画面に戻ります。



ムービーモードでホワイトバランスをロックする (ボタン機能：WBオートロック)

PASMB 

ムービーモードでホワイトバランスが[WB Auto]設定時、被写体や照明が変化してもホワイトバランスが変化しないようロックすることができます。

①【ボタン機能】(P.207)で、いずれかのボタンにWBロックを割り当てておく必要があります。

ボタン	[WB Autoロック]を割り当てたボタン
-----	-----------------------

ボタンを押すと、ホワイトバランスがボタンを押す直前の設定で固定され、「WB Auto」の左に「Lock」が表示されます。もう一度押すと解除されます。








Lock

ホワイトバランスを微調整する (全WBモード補正 / 全WBモード補正)

PASMB 

ホワイトバランスの設定を一括で微調整できます。

メニュー	MENU →  → 2. ピクチャーモード/WB →  全WBモード補正 MENU →  → 2. ピクチャーモード/WB →  全WBモード補正
------	--

全ホワイトバランス補正	<p>フロントダイヤルまたは<D>で「アンバー-青」の色味を変更します。ポインタ(+・-)がAに近づくとつれ赤みがかかり、Bに近づくとつれ青みがかかった画像になります。</p> <p>リアダイヤルまたはΔ▽で「緑-赤紫」の色味を変更します。ポインタ(+・-)がGに近づくとつれ緑の色味が増し、Mに近づくとつれ赤紫がかかった画像になります。</p> <p> ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。</p>
-------------	--

 全ホワイトバランス補正を行うと、各WBモードのアイコンにマーク(*)が表示されます。

WBオート設定で電球の色合いを残して撮影する

(📷 WBオート 電球色残し / 📷 WBオート 電球色残し)

PASMB 📷

ホワイトバランスがオートするとき、電球下で撮影時の色合いを設定できます。

メニュー	MENU → 📷 → 2. ピクチャーモード/WB → 📷 WBオート 電球色残し MENU → 📷 → 2. ピクチャーモード/WB → 📷 WBオート 電球色残し
------	--

Off	電球下の色かぶりを抑えます。
On	電球下の暖かい色味を残します。

📷 ホワイトバランスの設定画面からも設定できます。📷 「各WBモードのホワイトバランスを微調整する」(P.147)

フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定する

(📷 +WB連動)

PASMB 📷


フラッシュの発光時のホワイトバランスの動作を選択します。フラッシュに合わせたホワイトバランスの設定にするか、通常の撮影でのホワイトバランスの設定を優先するかを選択できます。フラッシュの発光/発光禁止を頻繁に切り換える撮影などで、自動的にホワイトバランスの設定をすることができます。

メニュー	MENU → 📷 → 2. ピクチャーモード/WB → 📷 +WB連動
------	--


Off	ホワイトバランスの設定に従って動作します。
WBAuto	ホワイトバランスは【オート】に変更されます。
WB📷5500K	ホワイトバランスは【WB📷】(フラッシュ撮影用WB)に変更されます。

PASMB 

撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。




メニュー	MENU →  → 2. ピクチャーモード/WB → 色空間
------	---

sRGB	国際規格を統一する機関が決めた標準の規格です。標準的なディスプレイやプリンター、デジタルカメラ、各種のアプリケーションで使用されています。通常はこの設定にしてください。
AdobeRGB	sRGBより広い色域の再現ができます。正しく出力するためには、この規格に対応したソフトウェア、ディスプレイやプリンターなどの機器が必要です。ファイル名の初めの文字が、「_」(アンダーバー)で示されます(例：_xxx0000.jpg)。

① ピクチャーモードがアートフィルターの設定のときや、HDR撮影、ムービーモード()では、[AdobeRGB]を選択できません。



[ピクチャーモード]時のモニター表示を設定する(  ビューアシスト)PASMB 


[ピクチャーモード] (P.144)が[1 Flat]や[2 OM-Log400]に設定されているとき、モニターに表示する映像を見やすい画質に調整します。

メニュー	MENU →  → 2. ピクチャーモード/WB →   ビューアシスト
------	---

On	映像を見やすい色合いに調整して表示します。アイコンなどの色合いが通常と違って見える場合があります。
Off	調整しません。

① この機能は、記録するムービーには影響しません。

① [1 Flat]や[2 OM-Log400]の設定で撮影されたムービーを、カメラで再生したときには適用されません。また、テレビで再生する場合にも適用されません。

 ヒストグラム(P.33)やゼブラパターン表示(P.180)は、ビューアシスト適用前の映像に対して処理します。

特殊撮影機能(コンピューショナル撮影)

カメラ内で特殊な合成処理やデジタル処理を行い、通常の撮影では得られない効果を得られる撮影機能です。

より解像度の高い静止画を撮影する (ハイレゾショット)

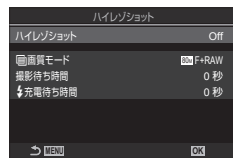
PASMB

撮像素子の画像サイズ以上の高解像の写真を生成します。撮像素子を動かしながら撮影した複数枚の画像をもとに1枚の高解像の画像にします。通常の画像サイズでは拡大しても見分けられないような細かい部分も精細に再現した画像を得ることができます。ハイレゾショットが設定されているときは、**【画質モード】**でハイレゾ撮影の画質の選択ができます(P.136)。

ボタン	ボタン
メニュー	MENU → → 1. コンピューショナル撮影 → ハイレゾショット

■ ハイレゾショット撮影を行う

- 1 **△▽**ボタンで**【ハイレゾショット】**を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 **<▷**ボタンで**【On**】(三脚)または**【On**】(手持ち)を選択し、**OK**ボタンを押します。



ハイレゾショット撮影設定画面

Off	ハイレゾショット撮影をしません。
On (三脚)	カメラを三脚などで固定して撮影します。RAW画像は、80M (10368×7776)で記録されます。
On (手持ち)	カメラを手持ちで撮影します。RAW画像は、50M (8160×6120)で記録されます。

3 ハイレゾショット撮影設定画面に戻ります。

ボタンで設定するときは、 ボタンでOn/Offを切り換えます。

ボタンを押したままフロント/リアダイヤルで**【On**】(三脚) / **【On**】(手持ち)を切り換えることができます。

■ ハイレゾショット撮影の各項目を設定する

1 各項目を設定します。




- △▽で項目を選択しⓀボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、Ⓚボタンを押すとハイレゾショット撮影設定画面に戻ります。



画質モード	ハイレゾ撮影の画質の選択ができます(P.136)。
撮影待ち時間	シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間(撮影開始までの時間)を設定します。シャッターボタンを押したときのカメラのぶれの影響を避けるときに設定します。
充電待ち時間	専用フラッシュ以外のフラッシュを使用するとき、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。 [0.5秒] / [0.2秒] / [0.1秒] / [0秒]

■ 撮影する







1 ハイレゾショット撮影設定画面でMENUボタンを押して、撮影画面を表示します。

- 画面にが表示されます。カメラが安定していないときは、が点滅します。カメラを安定させてが点灯に変わったら準備完了です。
- ハイレゾショットの画質に変更されているので、画質設定を確認してください。変更するときは、スーパーコンパネを開いて設定します。



ハイレゾショット準備中

2 撮影します。

- 緑色のが消えると撮影終了です。
- 撮影後、自動的に画像が合成されます。合成中を示す表示がされます。
- 選択可能な画質モードはJPEG (80w F、50w Fまたは25w F)とRAW+JPEGです。画質をRAW+JPEGにしたときは、ハイレゾショットのRAW以外に合成前のRAW画像(拡張子「.ORI」)を1枚保存します。合成前のRAW画像は最新版のOM Workspaceで再生できます。
- ① 撮影方法が【On】(手持ち)のときは、80w Fおよび50w F+RAWは設定できません。
- ① 【手ぶれ補正】(P.132)は、【On】(三脚)のときは自動的に【S-IS Off】に、【On】(手持ち)のときは【S-IS Auto】(オート)に設定されます。
- ① 【On】(手持ち)のときは、撮影待ち時間の設定は最大1秒に制限されます。
- ① RCフラッシュ撮影のときは、撮影待ち時間の設定は最大4秒に制限され、フラッシュの発光方式はMANUALに固定されます。

- ① ハイレゾショット撮影時は、以下の機能は使用できません。
多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ブラケット撮影／深度合成撮影／
フィッシュアイ補正撮影／HDR撮影
- ② [ハイレゾショット]が[On]（三脚）のときは、[タイムラプス動画]は[Off]になります。
- ③ ハイレゾショット撮影時は、[ドライブ]の設定が[♥□]（静音単写）になります。
[♥♡12s]（静音セルフタイマー 12s） / [♥♡2s]（静音セルフタイマー 2s） / [♥♡C]（静音カスタムセルフタイマー）は設定可能です。
- ④ ピクチャーモードがアートフィルターに設定されているときは、[Natural]で撮影されません。
- ⑤ 蛍光灯やLED照明などの光源下では画質が粗くなる場合があります。
- ⑥ 画像のぶれなどで合成ができない場合、画質モードが[JPEG]のときは1枚目の画像をJPEGで記録します。[RAW+JPEG]のときは1枚目のRAW（.ORF）とJPEGを記録します。

明るい環境下でスローシャッター撮影をする（ライブND撮影）

P A S M B

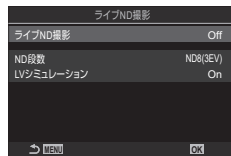
複数枚の撮影をして合成をすることで、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。

- [LVシミュレーション]による表示は、露出補正やシャッター速度の変更を行うと、一旦リセットされます。

■ ライブND撮影を行う

メニュー MENU → → 1. コンピュータショナル撮影 → ライブND撮影

- 1 △▽ボタンで[ライブND撮影]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、 ボタンを押します。



ライブND撮影設定画面

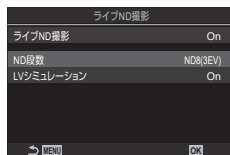
Off	通常の撮影をします。
On	スローシャッター撮影をします。

- 3 ライブND撮影設定画面に戻ります。

■ ライブND撮影の各項目を設定する

1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択しⓀボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、Ⓚボタンを押すとライブND撮影設定画面に戻ります。



ND段数	露出を落とす段数を設定します。1EVずつシャッター速度を遅く設定できます。 [ND2 (1EV)] / [ND4 (2EV)] / [ND8 (3EV)] / [ND16 (4EV)] / [ND32 (5EV)] / [ND64 (6EV)]
LVシミュレーション	シャッター速度の設定による画像の仕上がりをライブビューで確認することができます。 [Off] : 通常を表示をします。 [On] : シャッター速度の設定に合わせた写り方で表示されます。

■ 撮影する

1 ライブND撮影設定画面でMENUボタンを押して、撮影画面を表示します。

- [ライブND撮影]が[On]の場合は、ライブND撮影が開始されます。
- ライブND撮影中は、画面にアイコンが表示されます。 ライブND撮影
- ライブND撮影を終了するときには、[ライブND撮影]の設定画面で[Off]を選択します。



2 画面で仕上がりを確認しながら、シャッター速度を設定します。

- リアダイヤルで設定します。
- シャッター速度の上限は、ND段数により次のようになります。

[ND2 (1EV)] : 1/60秒	[ND16 (4EV)] : 1/8秒
[ND4 (2EV)] : 1/30秒	[ND32 (5EV)] : 1/4秒
[ND8 (3EV)] : 1/15秒	[ND64 (6EV)] : 1/2秒



シャッター速度

- [LVシミュレーション]が[On]のときは、シャッター速度の設定に応じた写り方で画面に表示されます。
- [LVシミュレーション]で仕上がりに近い表示をするためには、設定しているシャッター速度と同じ時間がかかります。
- 設定しているシャッター速度と同じ時間が経過すると、撮影画面のアイコンの「LV」の部分緑色に変わります。

LVアイコンが緑色のときは、実際の仕上がりに近い表示になっています。

3 撮影します。

- ① ライブND撮影中は、【フレームレート】が【標準】になります。
- ① ライブND撮影中は、【📷ISO感度】が800までに制限されます。【📷ISO感度】が【Auto】に設定されている場合でも上限は800までになります。
- ① 以下の機能は併用できません。
HDR撮影／ハイレゾショット撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／
ブラケット撮影／深度合成撮影／インターバル撮影／📷フリッカーレスキャン／
フリッカーレス撮影／フィッシュアイ補正撮影
- ① ライブND撮影時は、【ドライブ】の設定が【♥□】（静音単写）になります。【♥🕒12s】（静音セルフタイマー 12s）／【♥🕒2s】（静音セルフタイマー 2s）／【♥🕒C】（静音カスタムセルフタイマー）は設定可能です。
- ① ライブND撮影は、撮像素子に届く光量を調節するNDフィルターとは異なるため、高輝度の被写体が露出オーバーで写ることがあります。

複数枚撮影した画像を合成して、1回の撮影では得られない深い被写界深度の画像を生成します。ピントを合わせた位置を中心に、前後にピント位置を自動的に動かしながら複数枚の画像を撮影して、ピントの合っている部分をカメラ内で自動的に合成します。

マクロ撮影で被写体全体にピントを合わせたいときや、絞り値をあまり大きくせずに被写体全体にピントを得たいときにも有効です。撮影は電子シャッターによる静音撮影で行われます。

- ① 合成画像は、画質モードの設定に関わらずJPEGの画像で記録されます。
- ① 合成画像は、上下左右に約7%分拡大された画像になります。
- ① シャッターボタンを全押しして撮影中に、ズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- ① 合成に失敗した場合は、合成画像は生成されずに、設定した撮影枚数の画像のみが保存されます。
- ① 深度合成対応のレンズ使用時のみ、この機能が使えます。使用可能なレンズについては当社ホームページをご覧ください。
- ① ピクチャーモードがアートフィルターに設定されているときは、[Natural]に設定されます。

メニュー MENU → ② → 1. コンピュータショナル撮影 → 深度合成撮影

■ 深度合成撮影を行う

- 1 △▽ボタンで[深度合成撮影]を選択し、OKボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、OKボタンを押します。



深度合成撮影設定画面

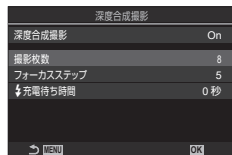
Off	通常の撮影をします。
On	深い被写界深度の画像を撮影します。

- 3 深度合成撮影設定画面に戻ります。

■ 深度合成撮影の各項目を設定する

1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択しⓂボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、Ⓜボタンを押すと深度合成撮影設定画面に戻ります。



撮影枚数	撮影する枚数を設定します。 [3] ~ [15]
フォーカスステップ	コマごとのピント位置の移動量を設定します。 [1] ~ [10]
⚡充電待ち時間	専用フラッシュ以外のフラッシュを併用するときに、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。 [0秒] / [0.1秒] / [0.2秒] / [0.5秒] / [1秒] / [2秒] / [4秒] / [8秒] / [15秒] / [30秒]

■ 撮影する

1 深度合成撮影設定画面でMENUボタンを押して、撮影画面を表示します。

- 撮影画面にⓂが表示されます。
- ピクチャーモードは[Natural]に設定されます。
- 画面に、合成後の画像に写る範囲を示す枠が表示されます。枠内に被写体が収まるように調整してください。



2 撮影します。

- シャッターボタンを全押しすると自動的に複数枚の撮影と画像の合成をします。
- [深度合成撮影]を[On]に設定すると、[静音♥撮影設定] (P.129)の[フラッシュ]は[許可]になります。
 - フラッシュの同調秒時は、1/100秒です。[ISO感度]が16000以上の場合、1/50秒になります。
 - 撮影時のカメラぶれを抑えるために、別売のリモコン(P.282)の使用をおすすめします。[静音♥撮影設定] (P.129)で、シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間を設定できます。


HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影をする (HDR撮影)

PASMB

露出を変えて撮影した複数枚の画像を、それぞれの画像の階調が失われている部分を補うように合成することで、階調を拡大したかのような画像にします。通常だと一方の階調が失われるような輝度差の大きい被写体でも黒つぶれや白とびを防いだ画像にすることができます。

① 三脚などでカメラを固定して撮影してください。

メニュー MENU →  → 1. コンピュータショナル撮影 → HDR撮影

Off	HDR撮影をしません。
HDR1	1回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をしてカメラ内で合成した画像を生成します。 [HDR1] にすると自然な風合いの仕上がりに、 [HDR2] にすると絵画のようなアート性を強くした仕上がりになります。 <ul style="list-style-type: none"> •  ISO感度は、200に固定されます。 • 設定できるシャッター速度は4秒までです。撮影は15秒まで動作します。 • ピクチャーモードは[Natural]に、カラー設定は[sRGB]に固定されます。 • HDR合成された画像はJPEGで記録されます。画質モードが[RAW]のときはRAW+JPEGで記録されます。
HDR2	
3f 2.0EV	1回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をします。合成画像の生成は行いません。パソコンなどでHDR合成のできるソフトウェアを使って合成してください。
5f 2.0EV	
7f 2.0EV	
3f 3.0EV	
5f 3.0EV	



- 画面に「HDR」が表示されます。

HDR



1 撮影します。

- シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。
- **[HDR1]**および**[HDR2]**に設定したときは、撮影後自動的にカメラ内で画像が合成されます。
- **P/A/S**モードでは露出補正ができます。

① 撮影中にモニターやファインダーに表示される画像は、HDR処理された画像とは異なります。

① **[HDR1]**および**[HDR2]**でシャッター速度を遅くして撮影すると、合成された画像にノイズが目立つ場合があります。

- ① [HDR1]および[HDR2]に設定したときは、[ドライブ]の設定が[♥□]（静音単写）になります。[♥♡12s]（静音セルフタイマー 12s） / [♥♡2s]（静音セルフタイマー 2s） / [♥♡C]（静音カスタムセルフタイマー）は設定可能です。

- ② 以下の機能とは併用できません。


フラッシュ撮影／ブラケット撮影／深度合成撮影／多重露出撮影／インターバル撮影／デジタルシフト撮影／ライブND撮影／フィッシュアイ補正撮影／ハイレゾショット


複数の画像を重ね合わせて撮影する (多重露出撮影)

PASMB



撮影した画像にもう一度撮影した画像を重ねて1つの画像に合成します。カードに保存されている画像を表示して重ねて撮影することもできます。

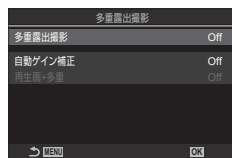
合成した画像は、撮影した画像の画質モードと同じ設定で保存されます。保存されている画像を表示して合成できるのは、RAWで記録されている画像のみです。

[画質モード]をRAWの設定で撮影すると、[再生画+多重]を繰り返し使うことで、3コマ以上の撮影画像を合成することもできます。

メニュー	MENU →  → 1. コンピュータショナル撮影 → 多重露出撮影
------	---

■ 多重露出撮影を行う

- 1 △▽ボタンで[多重露出撮影]を選択し、ボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、ボタンを押します。





多重露出撮影設定画面

Off	通常の撮影をします。
On	2コマの多重露出撮影をします。

- 3 多重露出撮影設定画面に戻ります。

■ 多重露出撮影の各項目を設定する

- 1 各項目を設定します。
 - △▽で項目を選択しボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
 - 設定後、ボタンを押すと多重露出撮影設定画面に戻ります。



自動ゲイン補正	[Off] : 各コマの明るさのまま合成します。 [On] : 合成する各コマの明るさを1/2にして合成します。
再生画+多重	[Off] : 2コマ続けて撮影した画像を合成します。 [On] : カードに保存されているRAW画像と多重露出撮影します。 • [再生画+多重]を設定するには[多重露出撮影]を[On]に設定してください。



■ 撮影する

1 多重露出撮影設定画面で**MENU**ボタンを押して、撮影画面を表示します。

- モニターに☐が表示されます。



2 撮影します。

- 1コマ目を撮影したときは、撮影画面に合成する画像が半透過で表示されます。
- 1コマ目を撮影すると☐が緑で表示されます。
- 通常の多重露出撮影では、2コマ目を撮影すると画像が合成されます。
-  ボタンを押すと再度1コマ目の撮影ができます。
- 終了するときは、**MENU**ボタンか  ボタンを押します。
- 多重露出撮影を終了するとモニターの☐が消えます。

■ [再生画+多重]を設定したときは

[再生画+多重]を[On]に設定すると画像一覧が表示されます。

1 ボタンで画像を選択し、 ボタンを押します。

- 選択できる画像はRAW画像のみです。

2 **MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。

- モニターに☐が表示されます。
- 選択した画像がモニターに半透過で表示されます。

3 撮影します。

- 同じ再生画像を使って繰り返し多重露出撮影ができます。

ⓘ 多重露出撮影を設定すると、スリープモードには入りません。

ⓘ 他のカメラで撮影された画像を使った合成はできません。

ⓘ ハイレゾショットのRAW画像は使用できません。

ⓘ [再生画+多重]を[On]に設定し、RAW形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現像されたものです。

- ① 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。
- ① 次の場合は1枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。
電源をオフにする / ボタンを押す / **MENU** ボタンを押す / 撮影モードを変更する / 電池残量がなくなる / 各コネクタへのケーブルの挿入
- ① **[再生画+多重]** でRAW形式の画像を選択するとき、RAW+JPEGで記録した画像はJPEG画像が表示されます。
- ① **Bモードの[Live Comp]** (ライブコンポジット撮影) では使用できません。
- ① 多重露出撮影時は、以下の機能は使用できません。
HDR撮影 / ブラケット撮影 / 深度合成撮影 / インターバル撮影 / デジタルシフト撮影 / ライブND撮影 / フィッシュアイ補正撮影 / ハイレゾショット
- ① **[画質モード]** をRAWの設定で撮影した画像は、再生モードで合成することもできます。
 「画像を合成する(画像合成)」(P.202)

被写体を拡大して記録する

(デジタルテレコン / デジタルテレコン)

PASMB

画像の中央部を切り出して、設定されている画質モードのサイズまで拡大して記録します。レンズの焦点距離以上の倍率で撮影できるため、レンズ交換ができないときや被写体に近づきにくいときなどに便利です。

メニュー	MENU → 2 → 2. その他の撮影機能 → デジタルテレコン MENU → → 1. 基本設定/画質 → デジタルテレコン
------	---

Off	通常の画角で記録します。
On	被写体を拡大して記録します(静止画：2倍 / ムービー：1.4倍)。

- **[On]** に設定すると、デジタルテレコンのアイコンが表示され、ライブビュー表示設定時は、画像は拡大されます。
- AFターゲット(P.73)のサイズが大きくなり数も少なくなります。
- JPEGの画像では、実際に拡大した画像で記録されます。RAW画像では、表示した部分を示す枠が表示されます。画像再生時に拡大部分に枠が表示されます。

デジタルテレコン




- ① 静止画モードでは、多重露出撮影、デジタルシフト撮影、フィッシュアイ補正撮影は使用できません。
- ① ムービーモードでは、ハイスピードムービー撮影中は使用できません。
- ① **[RAWモード]** (P.179)でHDMI出力しているときは使用できません。
- ① **[デジタルテレコン]** が**[On]** のときは、拡大表示(P.37、77、99)は行えません。



一定時間ごとに自動的に撮影する (インターバル撮影)

PASMB

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを1つのムービーとして記録することもできます。

メニュー MENU →  → 2. その他の撮影機能 → インターバル撮影

■ インターバル撮影を行う

- 1 △▽ボタンで[インターバル撮影]を選択し、ボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、ボタンを押します。





インターバル撮影設定画面

Off	通常の撮影をします。
On	インターバル撮影をします。

- 3 インターバル撮影設定画面に戻ります。

■ インターバル撮影の各項目を設定する

- 1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択しボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、ボタンを押すとインターバル撮影設定画面に戻ります。




コマ数	撮影するコマ数を設定します。 [002] ~ [9999]
撮影開始待ち時間	インターバル撮影を開始して、最初のコマが撮影されるまでの待ち時間を設定します。 [00:00:00] ~ [24:00:00]
撮影間隔	撮影開始後の各コマの撮影間隔を設定します。 [00:00:01] ~ [24:00:00]
撮影動作	撮影時に撮影間隔を優先するか、撮影コマ数を優先するかを設定します。 [撮影間隔優先] / [撮影コマ数優先] [撮影間隔優先]を設定すると、撮影タイミングになっても前の撮影が終わっていない場合があります。 [撮影間隔]が短い場合や、長秒時の撮影などでは、[コマ数]で設定した枚数よりも、記録される画像が少なくなります。

露出平準化	コマ間の露出を平準化します。タイムラプス動画で露出変化が滑らかになります。 [Off] / [On]
タイムラプス動画	静止画のみの記録か、撮影後に一連のコマでムービーを生成するかを設定できます。 [Off]：各コマを静止画として記録します。 [On]：静止画とともに、一連のコマで1つのムービーを生成して記録します。
タイムラプス動画設定	[タイムラプス動画]で記録するムービーの[ムービーサイズ]と[フレームレート]を設定します。 [ムービーサイズ]は以下の選択肢から設定します。 [4K] / [FullHD] / [HD] [フレームレート]は以下の選択肢から設定します。 [30fps] / [15fps] / [10fps] / [5fps]

- ① [撮影開始待ち時間] [撮影間隔] [撮影予定時刻]は設定によってずれる場合があります。目安としてお使いください。



■ 撮影する

1 インターバル撮影設定画面でMENUボタンを押して、撮影画面を表示します。

- 撮影画面に戻ると、画面にと設定したコマ数が表示されます。



2 撮影します。

- 自動的に設定したコマ数を撮影します。
 - が緑で表示され、残り撮影枚数を表示します。
 - 撮影開始後に次の操作をすると、インターバル撮影は終了します。
モードダイヤル / MENUボタン / ボタン / レンズ取り外しボタン / パソコンとのUSB接続
 - 電源を切るとインターバル撮影を終了します。
- ① AF後、ピントが合わなくても撮影されます。ピント位置を固定したいときはMFで撮影してください。
- ② [撮影画像の確認時間] (P.38)は0.5秒で動作します。
- ③ 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を1分31秒以上になると、1分でモニターを消灯してカメラの電源がオフになります。撮影10秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、シャッターボタンを押しても復帰します。
- ④ AF方式(P.68)が[C-AF]、[C-AF+TR]では[S-AF]に設定され、[C-AF MF]、[C-AF+TR MF]では[S-AF MF]に設定されます。
- ⑤ AF方式(P.68)を[AF]にしている場合、最初にピント合わせを行い、撮影が開始してからピントを固定して撮影します。

- ① インターバル撮影中は、タッチ操作は受け付けません。
- ① HDR撮影、ブラケット撮影、深度合成撮影、多重露出撮影、ライブND撮影とは併用できません。
- ① 撮影間隔より、フラッシュの充電時間が長いときは、フラッシュは発光しません。
- ① 【コマ数】の設定が1000枚以上のときは、【タイムラプス動画】は【Off】になります。
- ① 【ハイレゾショット】が【On】（三脚）のときは、【タイムラプス動画】は【Off】になります。
- ① 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプスムービーは生成されません。
- ① カード残量が不足した場合、タイムラプスムービーは記録されません。
- ① 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いいただくか、付属のUSB-ACアダプター（P.15）やUSB PD規格に準拠したモバイルバッテリーなどを接続して撮影を行ってください。

台形補正をする／遠近感を強調する（デジタルシフト撮影）

PASMB

建物などを撮影したとき、レンズの焦点距離や距離の影響で台形に歪んで写るのを正しい形に補正したり、正しい形状を歪めて遠近感を強調した画像を撮影できます。画面で効果を見ながら、補正量を設定します。補正した画像は元の画像から切り出されるので、少し拡大されます。

メニュー	MENU → → 2. その他の撮影機能 → デジタルシフト撮影
Off	デジタルシフト撮影をしません。
On	デジタルシフト撮影をします。

- 【On】に設定すると、デジタルシフトのアイコンが表示され、モニターにスライダーが表示されます。



1 画面を見ながら補正をして構図を決めます。

- フロントダイヤルで左右方向、リアダイヤルで上下方向の補正をします。
- Δ ∇ \triangleleft \triangleright で画像の切り出す範囲を決めます。切り出しできる方向に Δ が表示されます。
- \odot ボタンを長押しすると、設定がリセットされます。

2 絞りやシャッター速度などの撮影機能を設定するときは、INFOボタンを押します。

- 通常の撮影画面に戻ります。
- デジタルシフトがオンになっている間は、画面に DS が表示されています。デジタルシフトの補正が設定されているときは緑色の表示になります。
- デジタルシフトの設定に戻るときは、繰り返し **INFO** ボタンを押して手順1の画面を表示します。

3 撮影します。


- ① 補正の度合いによっては、画像が粗くなります。また、切り出し時の倍率は大きくなったり、切り出し位置の移動ができなくなります。
- ① 補正量によっては、切り出し範囲の移動ができない場合があります。
- ① 補正の度合いによっては、AFターゲットが表示範囲内に収まらない場合があります。ピントの合ったAFターゲットが表示範囲の外にあるときは、画面に☺、☹、◀、▶が表示されます。
- ① 画質モードが[RAW]のときは、RAW+JPEGで記録されます。
- ① デジタルシフト撮影時は、以下の機能は使用できません。
コンボジット撮影／連写／ブラケット撮影／深度合成撮影／HDR撮影／多重露出撮影／ライブND撮影／フィッシュアイ補正撮影／デジタルテレコン／ムービー撮影／AF方式の[C-AF]、[C-AF \overline{MF}]、[C-AF+TR]、[C-AF+TR \overline{MF}]／アートフィルター／カスタムセルフタイマー／ハイレゾショット撮影
- ① コンバーターレンズをお使いの場合は、意図どおりに補正できない場合があります。
- ① マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、[📷手ぶれ補正]で焦点距離設定をしてください(P.132)。
[📷手ぶれ補正] (P.132)で焦点距離を設定しているとき、または[レンズ情報登録] (P.248)で焦点距離が設定されたレンズを使用するときは、設定値に従って補正されます。

フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する (フィッシュアイ補正撮影)





PASMB

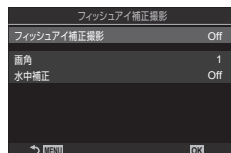
フィッシュアイレンズを使ったときの画面の歪みを補正して、超広角レンズを使ったような撮影ができます。3つの補正のレベルから選べます。また、水中撮影時に発生する歪みを同時に補正する設定もあります。

- 対応するフィッシュアイレンズを装着した場合のみ設定できます。
M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO (2022年2月現在)

メニュー MENU →  2. その他の撮影機能 → フィッシュアイ補正撮影

■ フィッシュアイ補正撮影を行う

- 1  ボタンで[フィッシュアイ補正撮影]を選択し、 ボタンを押します。
- 2  ボタンで[On]を選択し、 ボタンを押します。






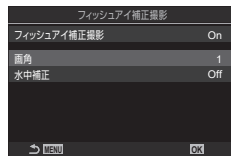
フィッシュアイ補正撮影設定画面

Off	通常の撮影をします。
On	フィッシュアイ補正撮影をします。

- 3 フィッシュアイ補正撮影画面に戻ります。

■ フィッシュアイ補正撮影の各項目を設定する

- 1 各項目を設定します。
 -  で項目を選択し ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
 - 設定後、 ボタンを押すとフィッシュアイ補正撮影設定画面に戻ります。



画角	レンズによる歪みを補正した上で画面にけられがない範囲で切り出します。3つの切り出す範囲を選択できます。 [1] / [2] / [3]
水中補正	[画角]による補正に加えて、水中で撮影する際の画角に補正します。 [Off] / [On]

バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする (BULB/TIME/COMPの設定)

PASMB

バルブ撮影、タイム撮影、コンポジット撮影に関する項目を設定します。

メニュー	MENU → → 2. その他の撮影機能 → BULB/TIME/COMPの設定
------	---

1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択し ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。

BULB/TIME/COMPの設定	
BULB/TIME中MF	On
BULB/TIMEリミッター	8分
COMPリミッター	3時間
BULB/TIME輝度設定	-7
ライブBULB設定	Off
ライブTIME設定	0.5秒
コンポジット撮影設定	1/2秒

BULB/TIME中MF	B (バルブモード)で、露光中にマニュアルフォーカスでピント位置を変更します。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。 [Off] : 露光中、ピント位置のマニュアル操作はできません。 [On] : 露光中、ピント位置をマニュアル操作できます。
BULB/TIMEリミッター	バルブ撮影、タイム撮影の最長時間を設定します。 [30分] / [25分] / [20分] / [15分] / [8分] / [4分] / [2分] / [1分]
COMPリミッター	コンポジット撮影の最長時間を設定します。 [6時間] / [5時間] / [4時間] / [3時間] / [2時間] / [1時間] / [30分] / [25分] / [20分] / [15分] / [8分] / [4分]
BULB/TIME輝度設定	B (バルブモード)で撮影時のモニターの明るさを設定します。 [-7] ~ [±0] ~ [+7]
ライブBULB設定	バルブ撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。[Off]にすると表示しません。 [60秒] / [30秒] / [15秒] / [8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [0.5秒] / [Off]
ライブTIME設定	タイム撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。[Off]にすると表示しません。 [60秒] / [30秒] / [15秒] / [8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [0.5秒] / [Off]
コンポジット撮影設定	コンポジット撮影時に基準となる露出時間を設定します。 [60秒] / [50秒] / [40秒] / [30秒] / [25秒] / [20秒] / [15秒] / [13秒] / [10秒] / [8秒] / [6秒] / [5秒] / [4秒] / [3.2秒] / [2.5秒] / [2秒] / [1.6秒] / [1.3秒] / [1秒] / [1/1.3秒] / [1/1.6秒] / [1/2秒]

4

撮影機能を設定する



露出を変えた画像を記録します。露出の変化量と撮影する枚数の組み合わせを設定します。露出の設定を変更して複数枚撮影します。シャッターボタンを全押し続けると設定した枚数を撮影して撮影が止まります。

メニュー	MENU →  3. ブラケット撮影 → AE BKT
------	--

Off	通常の撮影をします。
3f 0.3EV	露出変更量は0.3EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 0.5EV	露出変更量は0.5EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 0.7EV	露出変更量は0.7EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 1.0EV	露出変更量は1.0EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
5f 0.3EV	露出変更量は0.3EV、撮影枚数は5枚で撮影します。
5f 0.5EV	露出変更量は0.5EV、撮影枚数は5枚で撮影します。
5f 0.7EV	露出変更量は0.7EV、撮影枚数は5枚で撮影します。
5f 1.0EV	露出変更量は1.0EV、撮影枚数は5枚で撮影します。
7f 0.3EV	露出変更量は0.3EV、撮影枚数は7枚で撮影します。
7f 0.5EV	露出変更量は0.5EV、撮影枚数は7枚で撮影します。
7f 0.7EV	露出変更量は0.7EV、撮影枚数は7枚で撮影します。

設定枚数の撮影が終了していないときは、「BKT」が緑で表示されます。適正露出、－補正、＋補正の順番で記録されます。

露出変更量は撮影モードによって以下の項目を制御して行います。

P (プログラムAE)	絞り値とシャッター速度の両方
A (絞り優先AE)	シャッター速度
S (シャッター速度優先AE)	絞り値
M (マニュアル)	<ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度([ISO感度]が固定のとき) • ISO感度([ISO感度]が[Auto]のとき)

- あらかじめ露出補正を設定しているときは、その設定を中心に＋補正、－補正されます。
- 【露出ステップ】(P.105)を変更すると、露出変更量も変わります。
- ① フラッシュブラケット撮影(P.172)、フォーカスブラケット撮影(P.175)との併用はできません。

ホワイトバランスを変えた画像を複数枚記録する

(WB BKT)

PASMB 

ホワイトバランスを変えた画像を記録します。特定の色方向に対して、補正量を設定します。

撮影は1回で終わります。シャッターボタンを全押しすると、その画像を元に自動的に補正した画像を作成します。

メニュー	MENU →  2 → 3. ブラケット撮影 → WB BKT
------	--

A-B	A-B (アンバー – 青)の補正量を設定します。 [Off] / [3f 2Step] / [3f 4Step] / [3f 6Step]
G-M	G-M (緑 – 赤紫)の補正量を設定します。 [Off] / [3f 2Step] / [3f 4Step] / [3f 6Step]

撮影枚数は1つの色方向に対して3枚です。

補正なし、ステップ分－補正、ステップ分＋補正の順番で記録されます。

- あらかじめホワイトバランスの補正を設定しているときは、その設定を中心に補正されます。
- ① アートフィルターブラケット撮影(P.174)、フォーカスブラケット撮影(P.175)との併用はできません。

フラッシュの発光量を変えた画像を複数枚記録する

(FL BKT)

PASMB

フラッシュの発光量を変えた画像を記録します。フラッシュの発光量の補正量と撮影する枚数の組み合わせを設定します。シャッターボタンを全押しするごとに、発光量を変更して撮影されます。設定した枚数分の撮影をする必要があります。連写の設定のときは、シャッターボタンを全押しし続けると設定した枚数を撮影して撮影が止まります。

メニュー	MENU →  → 3. ブラケット撮影 → FL BKT
------	--

Off	通常の撮影をします。
3f 0.3EV	フラッシュ発光の補正量は0.3EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 0.5EV	フラッシュ発光の補正量は0.5EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 0.7EV	フラッシュ発光の補正量は0.7EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 1.0EV	フラッシュ発光の補正量は1.0EV、撮影枚数は3枚で撮影します。

設定枚数の撮影が終了していないときは、「BKT」が緑で表示されます。補正なし、－補正、＋補正の順番で記録されます。

☞【露出ステップ】(P.105)を変更すると、フラッシュ発光の補正量も変わります。

- あらかじめ露出補正を設定しているときは、その設定を中心に＋補正、－補正されます。
- ① AEブラケット撮影(P.170)、フォーカスブラケット撮影(P.175)との併用はできません。

ISO感度の変更により露出を変えた画像を複数枚記録する (ISO BKT)

PASMB

絞り値とシャッター速度の設定を変えずに、ISO感度を変更して露出を変えて画像を記録します。露出の変化量と撮影する枚数の組み合わせを設定します。撮影は1回で終わります。シャッターボタンを全押しすると、その画像をもとに自動的に補正した画像を作成します。

メニュー	MENU →  2 → 3. ブラケット撮影 → ISO BKT
------	---

Off	通常の撮影をします。
3f 0.3EV	露出変更量は0.3EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 0.7EV	露出変更量は0.7EV、撮影枚数は3枚で撮影します。
3f 1.0EV	露出変更量は1.0EV、撮影枚数は3枚で撮影します。

適正露出、-補正、+補正の順番で記録されます。


- ISO感度の設定により、絞り値とシャッター速度の設定が適正露出でないときは、その設定を中心に+補正、-補正されます。
- ① **【ISOオート設定】**で設定した上限とは関係なくブラケット撮影が行われます。
- ① 静音撮影時は、フラッシュの同調秒時は1/50秒になります。
- ① **【ISO感度ステップ】** (P.112)を変更しても、補正量は変化しません。
- ① アートフィルターブラケット撮影(P.174)、フォーカスブラケット撮影(P.175)との併用はできません。



複数のアートフィルターの設定を適用した画像を同時に記録する (ART BKT)

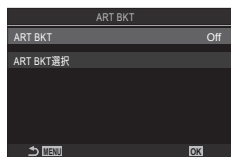
PASMB

複数のアートフィルターの設定を適用した画像を同時に記録します。

■ アートフィルターブラケット撮影を行う

メニュー MENU →  2 → 3. ブラケット撮影 → ART BKT

- 1 △▽ボタンで[ART BKT]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、 ボタンを押します。








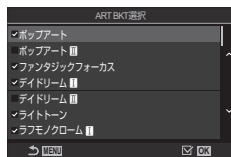
ART BKT撮影設定画面

Off	通常の撮影をします。
On	アートフィルターブラケット撮影をします。

- 3 ART BKT (アートフィルターブラケット)撮影設定画面に戻ります。

■ アートフィルターブラケット撮影の項目を設定する

- 1 ART BKT設定画面で[ART BKT選択]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 設定を適用するアートフィルターを選択し、 (チェック)を付けます。
 - △▽で項目を選択し ボタンを押すとチェックボックスに (チェック)が表示されます。チェックを解除するときは再度 ボタンを押します。



ART BKT選択	適用したいアートフィルターを設定します。アートフィルターの他に、 [Vivid] [Natural] [Flat] などのピクチャーモードも設定できます。
-----------	--

- ① 適用するアートフィルターが多いと撮影後に画像の記録に時間がかかる場合があります。
- ② AEブラケット撮影(P.170)、FLブラケット撮影(P.172)以外のブラケット撮影の併用はできません。

■ 撮影する

- 1 ART BKT撮影設定画面で**MENU**ボタンを押して、撮影画面を表示します。
- 2 シャッターボタンを一度全押しすると、その画像をもとに自動的にアートフィルターを適用した画像を作成します。

ピント位置を変えた画像を複数枚記録する

(Focus BKT)



PASMB 

ピント位置を変えた画像を記録します。ピント位置の間隔と撮影する枚数を設定します。撮影は1回で終わります。シャッターボタンを全押しすると、1コマずつピント位置を変化させながら、設定枚数撮影します。撮影は電子シャッターによる静音撮影で行われます。

■ フォーカスブラケット撮影を行う

メニュー	MENU →  → 3. ブラケット撮影 → Focus BKT
------	---

1  ボタンで [Focus BKT] を選択し、 ボタンを押します。

2  ボタンで [On] を選択し、 ボタンを押します。





Focus BKT 設定画面

Off	通常の撮影をします。
On	フォーカスブラケット撮影をします。


3 Focus BKT (フォーカスブラケット) 撮影設定画面に戻ります。

■ フォーカスブラケット撮影の各項目を設定する

1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択し  ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、 ボタンを押すとフォーカスブラケット撮影設定画面に戻ります。



撮影枚数	ピント位置を動かしながら撮影する枚数を設定します。 [003] ~ [999]
フォーカスステップ	コマごとのピント位置の移動量を設定します。 [1] ~ [10]
 充電待ち時間	専用フラッシュ以外のフラッシュを併用するときに、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。 [0秒] / [0.1秒] / [0.2秒] / [0.5秒] / [1秒] / [2秒] / [4秒] / [8秒] / [15秒] / [30秒]

■ 撮影する

- 1 Focus BKT (フォーカスブラケット)撮影設定画面で**MENU**ボタンを押して、撮影画面を表示します。
 - 2 シャッターボタンを全押しします。
 - 設定した枚数を終えるまで撮影を続けます。
 - 途中で撮影を終了するときにはもう一度シャッターボタンを全押しします。
 - 設定したフォーカスステップごとにピント位置を移動しながら撮影します。途中で無限遠に達したら撮影は終了します。
- ① シャッターボタンを全押しして自動的に撮影している間に、ズーム操作やピント合わせを行うと撮影は終了します。
- ① **[Focus BKT]**を**[On]**に設定すると、**[静音[♥]撮影設定]** (P.129)の**[フラッシュ]**は**[許可]**になります。
- ① フォーサーズマウント規格のレンズ使用時は、使用できません。
- ① 他のブラケット撮影との併用はできません。
- ① フラッシュの同調秒時は、1/100秒です。**[ISO感度]**が16000以上の場合、1/50秒になります。



ムービー専用の機能

録音の設定をする

(録音の設定)

PASMB 


録画時の音声の記録について設定します。カメラに外部レコーダーやマイクを接続して使うときの設定もできます。

メニュー	MENU →  → 5. 録音/接続 → 録音の設定
録音レベル調整	マイクの感度を設定します。内蔵のステレオマイク、外部マイクそれぞれの感度を設定できます。 [内蔵 ] : カメラのステレオマイクの設定をします。 [-10] ~ [0] ~ [+10] [MIC ] : マイク端子に接続した外部マイクの設定をします。 [-10] ~ [0] ~ [+10]
 入力リミッター	マイクが拾う音量に制限をかけます。一定量より大きいときは自動的に音量を抑えることができます。 [Off] : マイクが拾う音量に制限をかけません。 [On] : マイクが拾う音量に制限をかけます。
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。 [Off] : 風による雑音を低減しません。 [弱] / [標準] / [強] : 雑音低減の強さを設定します。
録音レート	音声の記録フォーマットを設定します。 [96kHz/24bit] : 高音質の音声フォーマット [48kHz/16bit] : 標準の音声フォーマット
 プラグインパワー	コンデンサー型マイクのように通電が必要なマイクを使用するとき に設定します。 [Off] : 通電しません(一般的なダイナミック型マイク)。 [On] : 通電します(コンデンサー型マイク)。

① 以下の場合には録音できません。

ハイスピードムービー撮影/スロー/クイック撮影/ピクチャーモードが**ART 7** / **ART 7** (ジオラマ)のとき


① 音声は設定した**【録音レート】**に対応した機器以外では再生されません。

 ムービー撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、**【AF方式】** (P.68)を**【S-AF】**、**【MF】**または**【Pre MF】**にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。

ヘッドホンの音量を設定する

(ヘッドホン音量)

PASMB 


メニューでの操作	MENU →  → 5. 録音/接続 → ヘッドホン音量
ヘッドホン音量	ヘッドホン端子に出力する音量を調整します。

記録するタイムコードを設定する


(タイムコード設定)

PASMB 



タイムコードの設定をします。編集などで映像や音声を同期させるために使用します。タイムコードの付け方の設定を選択できます。

メニュー	MENU →  → 5. 録音/接続 → タイムコード設定
------	--

タイムコードモード	タイムコードの記録方法を設定します。時間を厳密に記録する必要のあるときに使用します。 [DF] : ドロップフレームタイムコードで記録します。実際の記録時間とのずれの補正をします。 [NDF] : ノンドロップフレームタイムコードで記録します。実際の記録時間とのずれを補正しません。
カウントアップ方式	タイムコードのカウント方法を設定します。 [レックラン] : ムービー記録中のみカウントします。 [フリーラン] : 電源オフ中も含めた録画停止中もカウントし続けます。
タイムコード値設定	カウント開始時のタイムコードの設定をします。 [リセット] : 00:00:00:00に設定します。 [手動入力] : タイムコードの値を自分で設定します。 [現在時刻] : 現時刻に設定してフレームを00に設定します。

- ① [タイムコード値設定]を[現在時刻]に設定して使用する場合は、あらかじめカメラの時刻が正しいことを確認してください。  「日付・時刻を設定する(日時設定)」(P.260)
- ② ハイスピードムービー (P.138)には、タイムコードは記録されません。

HDMI接続した機器に出力する信号の設定をします。カメラからレコーダーをコントロールする設定や編集用のタイムコードをつける設定ができます。

メニュー	MENU →  → 5. 録音/接続 →  HDMI出力
------	--

出力モード設定	<p>[モニターモード]：HDMI接続機器を外部モニターとして使用します。映像とカメラの情報表示を出力します。出力の設定は[HDMI接続設定]で設定します (P.254)。</p> <p>[記録モード]：HDMI接続機器を外部レコーダーとして使用します。映像のみ出力します。画像サイズや音声の設定はカメラの設定に従います。</p> <p>[RAWモード]：対応するHDMI接続機器に映像をRAW形式で出力します。カメラ内のカードには記録されません。画像サイズや音声の設定はカメラの設定に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • P/A/S/M/B (静止画撮影)モード、メニュー表示、画像再生中は、[モニターモード]で動作します。
RECトリガー	<p>HDMI接続機器を外部レコーダーとして使用するとき、カメラの録画開始/停止に合わせて外部機器をコントロールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RECトリガーによる録画コントロールに対応した機器で使用できます。 <p>[Off]：RECトリガーを使用しません。</p> <p>[On]：RECトリガーで外部機器をコントロールします。</p>
タイムコード	<p>タイムコードを外部機器に出力します。出力方法は、[タイムコード設定]に従います (P.178)。</p> <p>[Off]：タイムコードを外部機器に出力しません。</p> <p>[On]：タイムコードを外部機器に出力します。</p>

■ RAWモードについて

[RAWモード]に設定すると、露出補正やホワイトバランスなどの撮影の設定が反映されていない未加工の状態のデータを記録できます。

[RAWモード]に対応するHDMI接続機器については、当社ホームページをご覧ください。

- **[RAWモード]**で出力中は、カメラのモニターに「HDMI」が表示されます。
- ① **[RAWモード]**で出力した映像の記録フォーマットはProResRAWです。
- ① **[RAWモード]**を設定し、対応するHDMI接続機器に映像を出力するとき、**[ピクチャーモード]**は**[2 OM-Log400]**に設定されます。
- ① **[RAWモード]**設定時は、以下の制限があります。
 - **[画質モード]**：**[C4K]**または**[4K]**のみ設定できます。ハイスピードムービー撮影とスロー/クイック撮影はできません。
 - **[手ぶれ補正]**：**[M-IS Off]**または**[M-IS2]**のみ設定できます。
 - **[デジタルテレコン]**は**[Off]**に設定されます。
 - フォーサズレンズ装着時の**[AF方式]**：**[MF]**または**[PreMF]**のみ設定できます。


ムービー撮影時、画面の中央に+を表示する (センターマーカー)

PASMB 

ムービー撮影時に画面の中央がどこか分かるよう、+マーカーを表示させることができます。



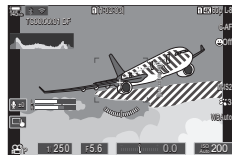
+マーカー

メニュー	MENU →  → 6. 撮影アシスト → センターマーカー
Off	+マーカーを表示しません。
On	ムービー撮影中とムービー撮影待機中に画面の中央に+マーカーを表示します。


ムービー撮影時、明るい部分にゼブラパターンを表示する (ゼブラパターン表示)

PASMB 

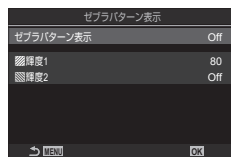
ムービー撮影時に、上限値以上の明るさの部分にゼブラパターン(縞模様)を表示させることができます。上限は2種類設定でき、それぞれ角度の異なるゼブラパターンが表示されます。






■ ゼブラパターンを表示する

メニュー	MENU →  → 6. 撮影アシスト → ゼブラパターン表示
------	---

- 1 △▽ボタンで[ゼブラパターン表示]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、**OK**ボタンを押します。



ゼブラパターン表示設定画面

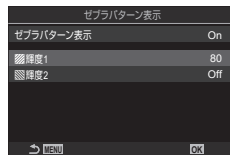
Off	ゼブラパターンを表示しません。
On	ムービー撮影時に、上限値以上の明るさの部分にゼブラパターン(縞模様)を表示します。 【輝度1】 以上の輝度の部分に、  のゼブラパターンを表示します。 【輝度2】 以上の輝度の部分に、  のゼブラパターンを表示します。 重なる場合は  のゼブラパターンが優先されます。

3 ゼブラパターン設定画面に戻ります。

■ ゼブラパターンの各項目を設定する

1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択し[OK]ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、[OK]ボタンを押すとゼブラパターン表示設定画面に戻ります。



輝度1	設定値以上の明るさの部分に[輝度1]のゼブラパターンを表示します。
輝度2	設定値以上の明るさの部分に[輝度2]のゼブラパターンを表示します。 ゼブラパターンを1種類だけ表示したい場合は、[Off]に設定します。

ムービー撮影中に画面に赤枠を表示する

(動画撮影中の赤枠表示)

PASMB

ムービーの撮影中であることが分かりやすいように、画面の外周に赤枠を表示させることができます。



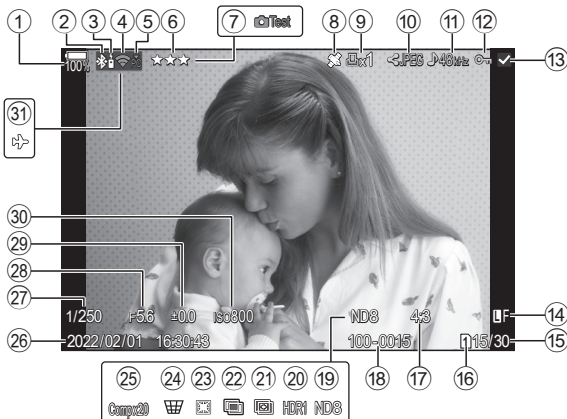
メニュー	MENU → [PASMB] → 6. 撮影アシスト → 動画撮影中の赤枠表示
Off	ムービーの撮影中に赤枠を表示しません。
On	ムービーの撮影中に赤枠を表示します。

5 再生する

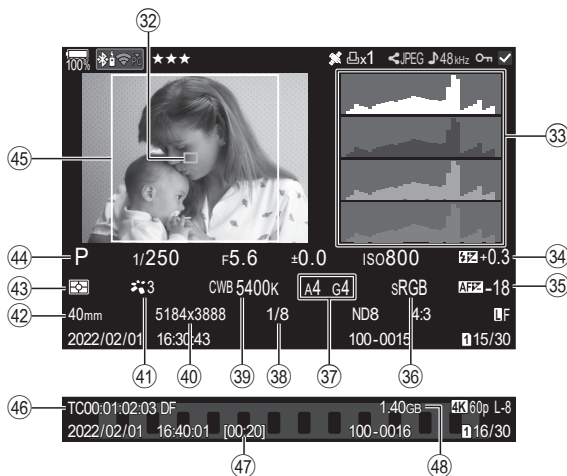
再生時の情報表示

再生画像情報

標準表示



総合表示



- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| ① 電池残量 P.27 | ②5 コンボジット撮影
コンボジット合成枚数 P.49 |
| ② Bluetooth®接続中 P.263, 283 | ②6 日時 P.260 |
| ③ リモコン P.283 | ②7 シャッター速度 P.39, 43 |
| ④ 無線LAN接続状態 P.264, 270 | ②8 絞り値 P.39, 41 |
| ⑤ パソコン接続中(Wi-Fi) P.270 | ②9 露出補正 P.103 |
| ⑥ レーティング P.194 | ③0 ISO感度 P.111 |
| ⑦ 試し撮り撮影 P.209 | ③1 機内モード P.263 |
| ⑧ GPS位置情報あり P.269 | ③2 AFターゲット表示 P.73 |
| ⑨ プリント予約
プリント枚数 P.196 | ③3 ヒストグラム P.33 |
| ⑩ シェア予約 P.193 | ③4 フラッシュ補正 P.121 |
| ⑪ 録音 P.177 | ③5 AF微調節 P.92 |
| ⑫ プロテクト(保護) P.189 | ③6 色空間 P.151 |
| ⑬ 画像選択 P.195 | ③7 ホワイトバランス補正值 P.147, 149 |
| ⑭ 画質モード P.136, 137 | ③8 圧縮率 P.136 |
| ⑮ コマ番号/全コマ枚数 | ③9 WBモード P.145 |
| ⑯ 再生カードスロット P.244 | ④0 ピクセルサイズ P.136 |
| ⑰ アスペクト比 P.140 | ④1 ピクチャーモード P.141 |
| ⑱ ファイル番号 P.246 | ④2 焦点距離 |
| ⑲ ライブND P.154 | ④3 測光方式 P.107 |
| ⑳ HDR画像 P.159 | ④4 撮影モード P.39 |
| ㉑ 深度合成 P.157 | ④5 アスペクト枠 P.140 |
| ㉒ 多重露出撮影 P.160 | ④6 タイムコード P.178 |
| ㉓ フィッシュアイ補正 P.167 | ④7 ムービー記録時間 P.334 |
| ㉔ デジタルシフト P.165 | ④8 ムービーファイルサイズ P.334 |

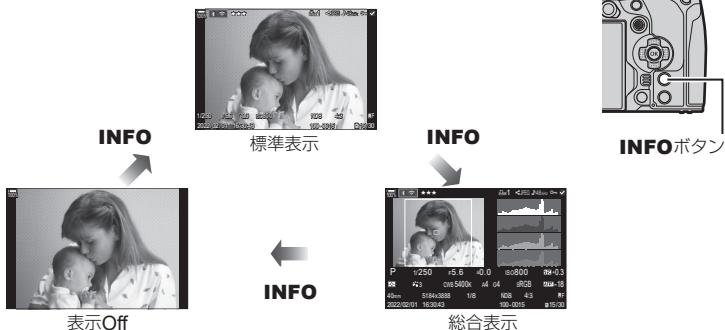
* ④6 ~ ④8はムービー再生時のみの表示です。

情報表示を切り換える

ボタン

INFOボタン

INFOボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。



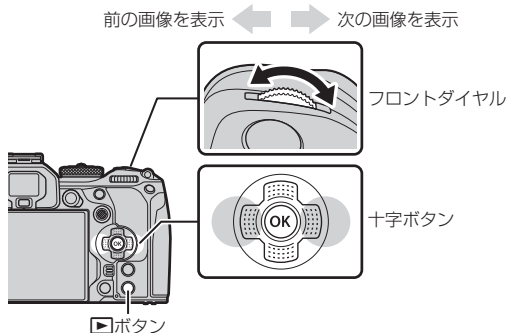
3種類の情報画面それぞれについて表示するかどうかを設定できます。☑️「再生時の情報画面の設定をする(▶️Info表示)」(P.205)

撮った画像／ムービーを見る

静止画を見る

1 再生ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- フロントダイヤルや十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。



リアダイヤル(☺)	表示の拡大(☺) / インデックス(☺)
フロントダイヤル(☺)	コマ戻し(☺) / コマ送り(☺) 拡大再生中も操作できます。
十字ボタン(△▽◀▶) / マルチセレクター (● / ○)	1コマ再生: コマ送り(▶) / コマ戻し(◀) / 再生音量調節(△▽) 拡大再生: ●で拡大枠を表示します。再度押しすと拡大表示します。拡大表示中は△▽◀▶で画面をスクロールできます。 インデックス再生 / カレンダー再生: 画像の選択 • △▽◀▶は、マルチセレクターの上下左右で操作できます。
INFOボタン	画像情報の表示
☑ボタン	画像の選択(P.195)
★ボタン	画像のレーティング(P.194)
○mボタン	画像のプロテクト(P.189)
☒ボタン	画像の消去(P.191)
ⓧボタン	メニューの表示(カレンダー再生中に押しすと1コマ再生に戻ります。)

■ 画像再生中にカードを切り換える

- 再生ボタンを使って再生するカードを切り換えることができます。画像再生中に、再生ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回してスロットを選択します。

【カードスロット設定】の【再生スロット】(P.244)設定は変更されません。

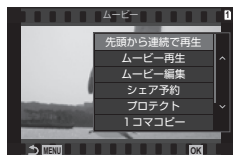
ムービーを見る

1 [▶]ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。

2 ムービーを選んで[OK]ボタンを押します。

- 再生メニューが表示されます。



3 [ムービー再生]を選択し、[OK]ボタンを押します。

- ムービー再生が始まります。

</>で早送り、早戻しします。[OK]ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、△ボタンで先頭のフレーム、▽ボタンで最後のフレームを表示します。</>ボタンまたはフロントダイヤルでコマ戻し/コマ送ります。

MENUボタンを押すと再生を終了します。

分割されたムービーの連続再生

長時間撮影したムービーは、ファイルサイズが4GBを、もしくは撮影時間が3時間を超えると、自動的にファイルを分割して記録を続けます(P.55)。自動的に複数に分割されたムービーは、一つのムービーとして連続して再生することもできます。

1 [▶]ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。

2 再生したい長時間ムービーコマを表示して[OK]ボタンを押します。

- 以下のメニューが表示されます。

[先頭から連続で再生]： 分割されたムービーを通して再生

[ムービー再生]： ファイル別に再生

[同一ムービー消去]： 分割されたムービーをすべて消去

[1コマ消去]： ファイル別に消去

① パソコンでのムービー再生には最新版のOM Workspaceをおすすめします(P.286)。

はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

① **[記録コーデック]** (P.140)を**[H.265]**に設定して記録したムービーは、OM Workspaceでは再生できません。

画像をすばやく探す (インデックス再生/カレンダー再生)

- 1コマ再生でリアダイヤルを \square に回すとインデックス再生します。さらに回すと、カレンダー再生に変わります。
- リアダイヤルを \mathcal{Q} に回すと1コマ再生に戻ります。



- インデックス再生のコマ数を変更できます。[\mathcal{Q}]「インデックス表示の設定をする(\square 表示)」(P.206)

画像を拡大して見る (拡大再生)



マルチセレクターか[\mathcal{Q}] (拡大)を割り当てたボタン(P.207)を押すと、ピントが合った位置または被写体を検出した位置に拡大枠を表示します。再度押すと拡大表示します。拡大表示中はマルチセレクターまたは Δ ∇ \triangleleft \triangleright で画面をスクロールできます。

- 拡大枠表示や拡大位置スクロールの設定を変更できます。[\mathcal{Q}]「拡大再生時の表示を設定する(\square \mathcal{Q} Info表示)」(P.206)
- リアダイヤルで拡大倍率を変更することができます。
- OK ボタンを押すと拡大再生を終了します。
- [顔・瞳検出]の設定が有効の場合、拡大枠表示中に**INFO**ボタンを押すと、顔の位置に拡大枠を表示します。拡大表示中の場合は顔の位置を拡大表示します。

タッチパネルを使って見る

タッチ操作で、画像を拡大してスクロールしたり、コマ送りやコマ戻しをすることができます。

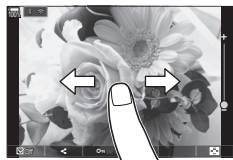
① 先のとがったものや爪で操作しないでください。

① モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。




1 コマ再生で使う

■ コマ送り／コマ戻し

- タップした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻しします。





■ 拡大

- 画面を軽くタップすると、スライダーと  が表示されます。
- 画面を軽く2回タップすると、**【再生拡大倍率設定】** (P.205) で設定した倍率で拡大表示されます。
- バーのスライダーを指で上下に動かすと拡大表示します。
- 拡大中に、タップした状態で指を動かすとスクロールできます。
-  をタップするとインデックス再生になります。さらに  をタップすると、カレンダー再生になります。



■ ムービーの再生

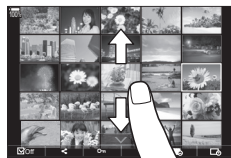
-  をタップすると再生が始まります。
- 再生中に画面の下部をタップすると、操作バーが表示され、再生の終了や音量の変更ができます。
- 再生中に画面の中央部をタップすると一時停止します。もう一度タップするとムービー再生を再開します。
- 一時停止中に画面下部のバーを指で左右に動かすと、次の再生開始位置を移動できます。
-  をタップすると、再生を終了します。



インデックス再生／カレンダー再生で使う

■ ページを送る／戻す

- タップした状態で、指を上動かすとページを送り、下に動かすとページを戻します。
- インデックス再生画面で **▲** をタップすると、タッチメニューが表示されます。**☰** または **☱** で表示するコマ数を切り換えられます。**☰** 「インデックス表示の設定をする(☒表示)」(P.206)
- **☱** を何度かタップすると1コマ再生に戻ります。



■ 画像を見る

- 見たい画像をタップすると1コマ表示します。

その他の機能

1コマ再生画面で画面を軽くタップするか、インデックス再生画面で **▲** をタップすると、タッチメニューが表示されます。タッチメニューのアイコンにタッチするとそれぞれの操作ができます。

<input checked="" type="checkbox"/>	画像を選択します。複数を選択してから一括して削除などができます。 ☰ 「複数の画像を一括で処理する(選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去)」(P.195)
←	スマートフォンにシェアしたい画像を予約できます。 ☰ 「画像の転送予約をする(シェア予約)」(P.193)
★	画像にレーティングを設定します。 ☰ 「画像にレーティングを設定する(レーティング)」(P.194)
☰	画像のプロテクトをします。 ☰ 「画像を保護する(プロテクト)」(P.189)

再生機能を設定する

画像を回転する

(回転)

撮影した画像を回転させることができます。

- 1 回転させたい画像を再生し、**OK** ボタンを押します。
- 2 **[回転]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 **△** (反時計回り)、**▽** (時計回り) を押すたびに画像が回転します。
 - **OK** ボタンを押して、設定を終了します。
 - ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。

📷 カメラを縦位置で撮影した画像を、再生時に自動的に回転して表示することができます。

🔍 「縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する(回転再生)」(P.205)

[回転再生] が **[Off]** のときは、**[回転]** は選択できません。

画像を保護する

(プロテクト)

画像を誤って消さないように保護します。

プロテクトマーク

- 1 保護したい画像を再生して **On** ボタンを押します。
 - 画像に **On** (プロテクトマーク) が付きます。再度 **On** ボタンを押すと解除されます。
 - プロテクトされていない画像を表示して、**On** ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像にプロテクトがかかります。その間のプロテクトされた画像は、変更されません。
 - プロテクトされた画像を表示して、**On** ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像のプロテクトが解除されます。プロテクトされていない画像は、そのまま変更されません。
 - インデックス再生や拡大再生で画像を選択したときも同様の操作ができます。



📷 あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。

🔍 「複数の画像を一括で処理する(選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去)」(P.195)

⚠️ カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

画像をコピーする

(1コマコピー)

カードスロット1、2の両方に記録可能なカードが装着されているときは、カード間で画像をコピーできます。


- 1 コピーしたい画像を表示し、**OK** ボタンを押します。
- 2 [1コマコピー]を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 コピー先のフォルダを指定するかどうかを選択して**OK** ボタンを押します。
 - [指定する]を選択した場合は、コピー先のフォルダを選択します。
 - すでに記録フォルダが指定されているときは、フォルダ名が表示されます。▶を押すと、別のフォルダに変更できます。
- 4 [実行]を選択して**OK** ボタンを押します。
 - もう一方のカードに画像がコピーされます。

🔄 カード間で全コマ一括コピーすることもできます。🔍 [全コマコピー] (P.190)

全ての画像をコピーする

(全コマコピー)


本機に装着されているカード(カードスロット1、2)間で、全コマコピーできます。


メニュー	MENU →  → 1. ファイル → 全コマコピー
①→②	カードスロット1に装着されているカードからカードスロット2に装着されているカードに全コマコピーします。
②→①	カードスロット2に装着されているカードからカードスロット1に装着されているカードに全コマコピーします。

- ① コピー先のカードの空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- ② コピー先がSD/SDHCカードの場合、4GBを超える動画ファイルはコピーされません。

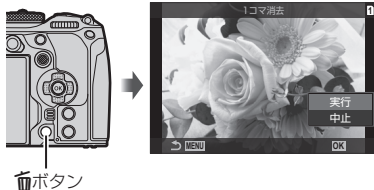
画像を消去する


(1コマ消去)



1 消去したい画像を再生し、 ボタンを押します。

2 [実行]を選択し、 ボタンを押します。

- 画像が消去されます。




① ボタンの設定を変更して、確認手順なしで消去することもできます。 「画像消去のときに確認をしない(ワンプッシュ消去)」(P.192)

 RAW+JPEGの画質モードで記録されているRAW画像とJPEG画像を同時に消去するか、一方だけを消去するかを選択することができます。 「RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定する(RAW+JPEG消去)」(P.192)


全画像を消去する

(全コマ消去)


撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。レーティング(P.194)を設定した画像だけ残して、他の画像を消去することもできます。




メニュー	MENU →  → 1. ファイル → 全コマ消去
------	--

消去する	レーティングを設定した画像を含むすべての画像を消去します。
残す	レーティングを設定した画像は残し、それ以外のすべての画像を消去します。

- カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、 ボタンを押します。
- ① **【残す】**を選んで全コマ消去を行う場合、カードの速度やカード内の画像枚数によっては、処理に時間がかかります。


画像消去のときに確認をしない (ワンブッシュ消去)


画像やムービーを再生時に  ボタンを押したときに、実行/中止の確認画面を表示せずに消去します。

メニュー	MENU →  → 2. 操作 → ワンブッシュ消去
Off	 ボタンを押したとき、実行/中止の確認画面を表示します。
On	 ボタンを押したとき、実行/中止の確認画面を表示せずに消去します。

RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定する (RAW+JPEG消去)

画質モードを [RAW+JPEG] で記録した画像を1コマ消去するときの方法を設定します。

メニュー	MENU →  → 2. 操作 → RAW+JPEG消去
JPEG	JPEG画像のみ消去します。
RAW	RAW画像のみ消去します。
RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像の両方を消去します。

 【全コマ消去】 (P.191) や 【選択コマ消去】 (P.195) の場合は、常にRAWとJPEGの両方が消去されます。

画像の転送予約をする

(シェア予約)

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。

1 転送したい画像を再生して **OK** ボタンを押します。

- 再生メニューが表示されます。

2 [シェア予約] を選び **OK** ボタンを押した後、**△** または **▽** を押します。

- 画像にシェア予約がつき、**◀** とファイルの種類が表示されます。
- シェア予約できるコマは、各スロットそれぞれ200コマです。
- シェア予約を解除するには **△** または **▽** を押します。

① ファイルサイズが4GBを超えるムービーはシェア予約できません。

☞ あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。

☞ 「複数の画像を一括で処理する(選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去)」(P.195)、「スマートフォンに画像を転送する」(P.267)

☞ あらかじめ **[▶] OK** ボタン機能 (P.204) で **[◀]** を割り当てておくことで、シェア予約することもできます。

1コマ再生中/インデックス再生中/拡大再生中にシェア予約されていない画像を表示して、**[◀]** ボタンを押します。

[◀] ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像はシェア予約されます。その間のシェア予約された画像は、変更されません。

シェア予約された画像を表示して、**[◀]** ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像のシェア予約が解除されます。シェア予約されていない画像は、そのまま変更されません。

RAW+JPEGで記録した画像をシェア予約する

(RAW+JPEGシェア予約)

画質モードを **[RAW+JPEG]** に設定して記録した画像の場合、JPEG画像のみ、RAW画像のみ、または両方をシェア予約できます。

メニュー	MENU → [▶] → 2. 操作 → RAW+JPEGシェア予約
JPEG	JPEG画像のみシェア予約します。
RAW	RAW画像のみシェア予約します。
RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像の両方をシェア予約します。

① **[RAW+JPEGシェア予約]** の設定を変更しても、すでに設定しているシェア予約が変更されることはありません。

① シェア予約を解除する場合は、メニューの設定に関わらず、RAW画像とJPEG画像が両方とも解除されます。

画像にレーティングを設定する

(レーティング)

画像に5段階のレーティング(ランク分け)を設定します。

OM Workspaceなどで画像を整理したり、探すのに役立ちます。

ボタン	★ボタン
-----	------

レーティングが設定されていない画像を選択中に★ボタンを押すと、レーティングが設定されます。レート(★マーク)は前回設定した数になります。

レーティングが設定されている画像を選択中に★ボタンを押すと、レーティングが解除されます。

★ボタンを押したままフロント/リアダイヤルを回すと、設定するレート(★マークの数)を変更できます。

- ① レーティングは、静止画のみに設定できます。
- ① RAW+JPEGの場合、RAWとJPEGの両方に同じレーティングが設定されます。
- ① プロテクトされている画像には、レーティングを設定できません。
- ① 他のカメラで撮影した画像には、レーティングを設定できません。

レーティングで使用するレートを設定する

(レーティング設定)

レーティング設定時のレート(★マークの数)を設定します。

メニュー	MENU →  → 3. 表示 → レーティング設定
------	---

1 レーティング設定時に表示させたい項目を選択し、✔(チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択しⓂボタンを押すとチェックボックスに✔(チェック)が表示されます。

チェックを解除するときは再度Ⓜボタンを押します。

- ① ✔の付いているレートがないときは、画像にレーティングを設定できません。
- ① [レーティング設定]の設定を変更しても、すでに設定しているレーティングが変更されることはありません。

複数の画像を一括で処理する

(選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去)

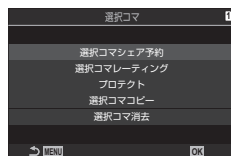
複数の画像を選択し、一括して【選択コマシェア予約】・【選択コマレーティング】・【プロテクト】・【選択コマコピー】・【選択コマ消去】をすることができます。

1 選択する画像を再生して☑ボタンを押します。

- 画像が選択され、✔が表示されます。
もう一度押すと解除されます。
- 1コマ再生/インデックス再生のどちらでも選択可能です。


2 OK ボタンを押してメニューを表示し、【選択コマシェア予約】・【選択コマレーティング】・【プロテクト】・【選択コマコピー】・【選択コマ消去】から選択します。

- ✔の付いていない画像を表示して、☑ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像に✔が付きます。その間の✔がついた画像は、変更されません。
- ✔がついた画像を表示して、☑ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像の✔は消えます。✔の付いていない画像は、そのまま変更されません。



プリントしたい画像にあらかじめ枚数や日時の印刷などの条件を指定しておくことができます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントできます。プリント予約の情報(DPOF)はカードに記録されます。

■ プリント予約の詳細項目を設定する

メニュー	MENU →  → 1. ファイル → プリント予約
1コマ予約	<p><D>を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽ボタンを押してプリントする枚数を設定します。複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったらⓄボタンを押し、続けて日時の種類を選択します。</p> <p>[無し]：画像のみプリントされます。 [日付]：画像と撮影年月日がプリントされます。 [時刻]：画像と撮影時刻がプリントされます。</p>
全コマ予約	<p>全てのコマをプリント予約したいときに選択します。日時の種類を選択します。</p> <p>[無し]：画像のみプリントされます。 [日付]：画像と撮影年月日がプリントされます。 [時刻]：画像と撮影時刻がプリントされます。</p>

① 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。

■ プリント予約を行う


予約する	プリント予約をします。再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
予約しない	プリント予約をしません。

① 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。

① RAWデータおよびムービーはプリント予約できません。

プロテクト・シェア予約・プリント予約・レーティングを一括解除する (全コマ一括解除)

すべての画像のプロテクト、シェア予約、プリント予約、レーティングをカードスロットごとに一括で解除できます。

メニュー	MENU →  → 1. ファイル → 全コマ一括解除
------	--

全プリント予約解除	すべての画像のプリント予約を解除します。
全プロテクト解除	すべての画像のプロテクトを解除します。
全シェア予約解除	すべての画像のシェア予約を解除します。
全レーティング解除	すべての画像のレーティングを解除します。

- 両方のカードスロットにカードがある場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択してⓄボタンを押すと、実行を選択する画面が表示されます。
- ① レーティングされている画像が多い場合、**[全レーティング解除]**は処理に時間がかかります。

記録した画像に音声をつける

(録音)

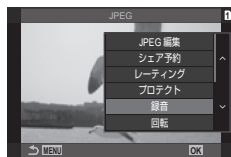
カメラのステレオマイクや外部機器を使って、カードに記録した画像にあとから音声を加えます。簡単なメモ代わりに使えます。最長30秒の録音ができます。

1 音声を録音する画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。

2 **[録音]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 録音を中止する場合は、**[中止]**を選択してください。



3 **[録音スタート]**を選択し、**OK**ボタンを押すと、録音を開始します。

4 **OK**ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には♪と録音レートが表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順3で**[消去]**を選択してください。



🔊 録音レートはムービーの録音機能の設定が適用されます。**[録音の設定]** (P.177)で設定を変更できます。

■ 音声を再生する

音声のついた画像は、画像を再生すると同時に音声を再生します。再生をするときの音量の調節をします。

1 音声を再生したい画像を表示します。

2 **△**または**▽**を押します。

- **△**ボタン：音量が上がります。
- **▽**ボタン：音量が下がります。



撮影した画像を編集して別の画像として保存します。RAW画像は、ホワイトバランスや、アートフィルターを含むピクチャーモードなどの撮影時に使うような処理を加えることができます。JPEG画像は、トリミングやリサイズなどの簡単な加工ができます。

RAW編集	<p>編集をしてJPEG画像を作ります(P.199)。編集は以下の方法でできます。</p> <p>【現設定】：現在のカメラの設定を反映した処理をします。</p> <p>【詳細設定1】 / 【詳細設定2】：画面上で処理の結果を確認しながら、設定を選択します。設定した内容を【詳細設定1】 【詳細設定2】として残しておけます。</p> <p>【ART BKT】：アートフィルターの処理をしたJPEG画像を作ります。複数のアートフィルターを選択して同時に複数の画像を作れます。</p>
JPEG編集	JPEG画像をもとに加工をして、新たにJPEG画像を作ります(P.201)。

RAW画像を編集する (RAW編集)

【RAW編集】では以下の内容が編集できます。**【現設定】**で有効な編集内容も同じです。

画質モード	暗部トーン補正
ピクチャーモード	中間部トーン補正
カラー/彩度(カラークリエイター)	明部トーン補正
カラー(パートカラー)	アスペクト
ホワイトバランス	高感度ノイズ低減
色温度	色空間
露出補正	デジタルシフト

- ① ピクチャーモードをアートフィルターに設定すると、**【カラー設定】**は**【sRGB】**に固定されます。
- ② 次の場合はRAW編集できません。
カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像

1 編集したい画像を表示し、**OK**ボタンを押します。



2 **△▽**で**【RAW編集】**を選択し、**OK**ボタンを押します。

- ・編集方法のメニューが表示されます。



3 △▽で編集方法を選択します。

- **[現設定]**を選んだときは \odot ボタンを押します。画像に現在のカメラの設定が反映されます。
 - △▽で**[実行]**を選択して \odot ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。
- **[詳細設定1]**または**[詳細設定2]**を選んだときは▷を押します。
 - 編集項目メニューが表示されます。△▽で項目を選択し、◀▷で設定を変更します。項目を選択して繰り返します。 \odot ボタンを押すと設定が画面に反映されます。
 - 設定を終えたら \odot ボタンを押します。画像に処理が施されます。
 - △▽で**[実行]**を選択して \odot ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。
- **[ART BKT]**を選んだときは、▷を押すと、画像にかけるアートフィルターを選択するメニューが表示されます。使用するアートフィルターを選択し、 \odot ボタンを押して✔を付けます。設定を終えたら**MENU**ボタンで前の画面に戻ります。
 - \odot ボタンを押すと選択したアートフィルター処理が施された画像が記録されます。



4 同じ元画像で再度編集するときは、**[再設定]**を選択して \odot ボタンを押します。現像を終了するときは、**[中止]**を選択して \odot ボタンを押します。

- **[再設定]**を選択したときは、画面に編集方法のメニューが表示されます。手順3から繰り返します。

JPEG画像を加工する（JPEG編集）

【JPEG編集】では以下の内容が編集できます。

階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。
トリミング	画像をトリミングします。フロント/リアダイヤルでトリミングサイズ、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
アスペクト	アスペクト比が4:3（基準）の画像を、【3:2】、【16:9】、【1:1】、または【3:4】に変更します。アスペクト比選択後、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
モノクロ作成	白黒に変換します。
セピア作成	セピア色に変換します。
鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
リサイズ	画像サイズを1280×960、640×480、または320×240に変換します。アスペクト比が4:3（基準）以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。

① 画像によっては赤目補正できないことがあります。

① 次の場合はJPEG編集できません。

パソコンで編集した画像/カードの空き容量が不足している場合/他のカメラで撮影した画像

① 【リサイズ】では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。

① 画像によっては【リサイズ】を使用できないことがあります。

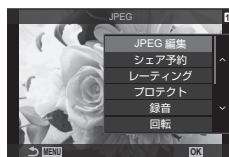
① 【トリミング】 / 【アスペクト】は、アスペクト比が4:3（基準）の画像のみ編集できます。

1 編集したい画像を表示し、 \odot ボタンを押します。



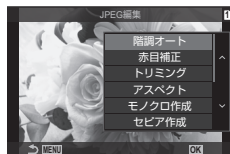
2 $\Delta \nabla$ で【JPEG編集】を選択し、 \odot ボタンを押します。

- 編集方法のメニューが表示されます。



3 △▽で項目を選んでⓄボタンを押します。

- 設定が画像に反映されて確認できます。メニューが表示される項目では、△▽で設定を選択します。
- [トリミング]を選択したときは、フロント/リアダイヤルでサイズを設定、△▽◀▶でトリミング位置を設定できます。
- [アスペクト]を選択したときは、△▽で設定を選択した後、△▽◀▶で位置を設定できます。



4 △▽で[実行]を選択してⓄボタンを押します。

- 編集が施された画像が記録され、再生画面に戻ります。

5

画像を合成する

(画像合成)

記録されているRAW画像を重ねて合成して別の画像として保存します。2コマまたは3コマの合成ができます。

合成するそれぞれの画像の明るさ(ゲイン)を調整して、見え方を変えることができます。

- 合成後の画像は、カメラで設定されている画質モードで記録されます。設定が[RAW]のときは、[◀:2]とRAWで保存されます(P.136)。
- 合成画像をRAW形式で保存すると、さらに他のRAW画像と合成することができ、4コマ以上の画像合成が可能になります。

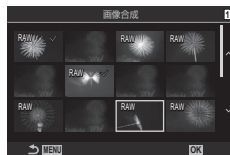
1 再生画面で編集したい画像を表示し、Ⓞボタンを押します。

2 △▽で[画像合成]を選びⓄボタンを押します。

3 合成するコマ数を選択し、Ⓞボタンを押します。

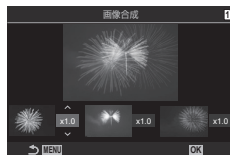
4 △▽◀▶ボタンで合成するRAW画像を選択し、Ⓞボタンを押します。

- 選択したコマに✓が表示されます。✓を外すときは再度Ⓞボタンを押します。
- 手順3で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。



5 合成する各画像のゲインを選択します。

- ◀▶ボタンで画像を選択し、△▽ボタンで数値を変更します。
- ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。



6 Ⓞボタンを押すと、確認画面が表示されます。

- [実行]を選択し、Ⓞボタンを押します。

ムービーの削除したい範囲を指定して削除します。特定の部分を残したいときは、この操作を繰り返します。

※本機で撮影されたムービーでのみ可能です。

1 編集したいムービーを表示し、**OK** ボタンを押します。

2 **[ムービー編集]** を選び **OK** ボタンを押します。

3 **△▽** ボタンで **[トリミング]** を選び **OK** ボタンを押します。

- トリミング後のデータ保存についての選択肢が表示されます。

[新規作成]：トリミングしたデータを新しいムービーコマとして保存します。

[上書き保存]：元のムービーコマに上書きして保存します。

[中止]：トリミングを中止します。

- ムービーがプロテクトされている場合は、**[上書き保存]** は選択できません。

4 項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 編集状態に移ります。

5 トリミング編集をします。

- **△** ボタンでムービーコマの先頭に、**▽** ボタンで、ムービーコマの最後に移動できます。
- フロント／リアダイヤルまたは **◀** ボタンで削除する部分の最初のコマを選択し、**OK** ボタンを押します。
- フロント／リアダイヤルまたは **▶** ボタンで削除する部分の最後のコマを選択し、**OK** ボタンを押します。

6 **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 編集が反映されてデータが保存されます。
- 選択しなおすときは **[中止]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
- **[上書き保存]** を選択しているときは、同じムービーにさらにトリミングするかの確認が表示されます。引き続き編集するときは、**[続行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

ムービーから静止画を作る

(静止画切り出し)

ムービー内のフレームを選択し、静止画として保存します。

※本機で撮影された画像サイズが[4K]のムービーでのみ可能です。

- 1 編集したいムービーを表示し、**OK** ボタンを押します。
- 2 [ムービー編集]を選び**OK** ボタンを押します。
- 3 **△▽** ボタンで[静止画切り出し]を選び**OK** ボタンを押します。
- 4 **<▷** ボタンで静止画として保存するコマを表示して**OK** ボタンを押します。
 - 表示したコマが静止画として保存されます。
 - **△** ボタンでコマ戻し、**▽** ボタンでコマ送りできます。コマ戻し、コマ送りの長さは、ムービーの記録時間によって変わります。

5

再生する

再生時の**◀▶** (ボタン) ボタンの機能を変える

(**▶◀** ◻ ボタン機能)

再生時の **◀▶** (ボタン) ボタンの機能を変更できます。

メニュー	MENU → ▶◀ → 2. 操作 → ▶◀ ◻ ボタン機能
▶◀ ◻ ボタン機能	[◀] : スマートフォンに転送したい画像に転送予約(シェア予約)をつけます。 [▶] : 複数の画像を選択できます。

再生時のダイヤルの機能を変える



(**▶◀** ◻ ダイヤル機能)

フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更できます。

メニュー	MENU → ▶◀ → 2. 操作 → ▶◀ ◻ ダイヤル機能
◻ ◻ (インデックス/拡大)	画像再生中、画像を拡大、インデックス表示します。
コマ送り/戻し	画像再生中、次の画像を表示、前の画像を表示します。


画像再生時の拡大倍率を設定する (再生拡大倍率設定)

画像を再生して拡大表示(拡大再生)したとき、最初に表示される倍率の設定ができます。

メニュー	MENU →  → 2. 操作 → 再生拡大倍率設定
前回倍率	前回、拡大再生したときに最後に表示した倍率で表示します。
等倍	拡大再生したとき、等倍で表示します。等倍表示にすると、モニターに  が表示されます。
×2 / ×3 / ×5 / ×7 / ×10 / ×14	拡大再生したとき、選択した倍率で表示します。



縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する (回転再生)

カメラを縦位置にして撮影した画像をカメラで表示したときに、縦向きに回転して表示します。




メニュー	MENU →  → 3. 表示 → 回転再生
On	自動で回転して表示します。
Off	回転せずに表示します。

再生時の情報画面の設定をする (Info表示)

画像再生時の情報画面の設定をします。再生画面で **INFO** ボタンを押すたびに設定した画面を順に切り換えて表示します。

メニュー	MENU →  → 3. 表示 →  Info表示
------	---

1 表示させる項目を選択し、✓ (チェック)を付けます。

-  で項目を選択し  ボタンを押すとチェックボックスに  (チェック)が表示されます。

チェックを解除するときは再度  ボタンを押します。

情報表示無し	画像のみ表示します。
標準表示	最小限の情報を表示します。
総合表示	撮影時の設定やヒストグラムなど全ての表示をします (P.182)。



拡大再生時の表示を設定する

( **QInfo表示**)

マルチセクターを押して拡大表示をするときの表示を設定します。[Q] (拡大)を割り当てたボタン(P.207)を操作したときも機能します。



① 全てのチェックを外すと、マルチセクター、Qボタンによる拡大表示ができません。

メニュー MENU →  → 3. 表示 →  **QInfo表示**

1 表示させる項目を選択し、 (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択し \odot ボタンを押すとチェックボックスに (チェック)が表示されます。

チェックを解除するときは再度 \odot ボタンを押します。

拡大枠表示	拡大枠を表示します。
拡大位置スクロール	拡大再生時に画面のスクロールをします。

インデックス表示の設定をする

( **表示**)





画像再生時のインデックス表示のときの1ページに表示するサムネイル画像の数やカレンダー表示の選択をします。

メニュー  /  : MENU →  → 3. 表示 →  **表示**

1 表示させる項目を選択し、 (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択し \odot ボタンを押すとチェックボックスに (チェック)が表示されます。

チェックを解除するときは再度 \odot ボタンを押します。

[ 4] / [ 9] / [ 25] / [ 100]	インデックスのコマ数を変えて表示します。
[カレンダー表示]	カレンダーで表示します。

6 カメラをカスタマイズする




操作方法を設定する機能

ボタンの機能を変える

(ボタンの設定)

PASMB


あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更します。

[ボタン機能]の設定は、静止画撮影モードのときに有効になります。[ボタン機能]の設定は、 (ムービーモード)のときに有効になります。

■ カスタマイズできるボタンと初期設定

アイコン	ボタン	初期設定	
			
	 ボタン	 (露出補正)	
	 ボタン	 (ハイレゾショット)	 REC (ムービー録画)
ISO	ISO ボタン	ISO感度	
AF-ON	AF-ON ボタン	AF-ON	
AEL	AEL ボタン	AEL	
	 ボタン	O (モニター/ファインダー切り換え)	
	十字ボタン	Off* ¹	
	十字ボタンの▶ (右)* ²	MF切換 (MF切り換え)	
	十字ボタンの▽ (下)* ²	WB (WBモード)	
	ワンタッチホワイトバランスボタン	 (ワンタッチWB)	ピーキング
	プレビューボタン	プレビュー	拡大
PBH 	別売のパワーバッテリーホルダーに装備されている  ボタン	 (露出補正)	
PBH ISO	別売のパワーバッテリーホルダーに装備されている ISO ボタン	ISO感度	
PBH AF-ON	別売のパワーバッテリーホルダーに装備されている AF-ON ボタン	AF-ON	
L-Fn	レンズに装備されている Fn ボタン	AF Stop (AF停止)	

*1 十字ボタンは、初期設定では機能は割り当てられていません。

*2 ▶および▽に機能を割り当てて使用するときは、[] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定する必要があります。

スーパーコンパネ	OK → ボタン機能 / ボタン機能
メニュー	MENU → → 1.操作 → ボタンの設定 → ボタン機能 MENU → → 1.操作 → ボタンの設定 → ボタン機能

1 △▽ボタンで設定するボタンを選択し、OK ボタンを押します。

2 △▽<△>ボタンで割り当てる機能を選択し、OK ボタンを押します。

■ ボタンに割り当てられる機能と働き

のみ：[ボタン機能]でのみ設定できます。













のみ：[ボタン機能]でのみ設定できます。

ボタンによって選択できる機能は異なります。


















機能	ボタンに割り当てたときの働き
REC (ムービー録画)	録画ボタンとして働きます。録画を開始/停止します。
プレビュー (🌀) (のみ)	絞りを実際に絞り込みます。ピントが合っている範囲を確認できます。ボタンを押している間、絞り値まで絞り込みます。動作は[🌀ロック]で変更できます(P.224)。
ワンタッチWB (👤) (ワンタッチホワイトバランス)	ワンタッチホワイトバランスの設定をします(P.148)。静止画撮影の場合は基準とするもの(白い紙など)を撮影するように、ボタンを押しながらシャッターボタンを押します。撮影すると登録するワンタッチWBを選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。 ムービー撮影の場合は基準とするもの(白い紙など)を撮影するようにボタンを押します。登録するワンタッチWBを選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。
[:::]選択([:::]) (AFターゲット選択)	AFターゲットモード(P.73)、AFターゲット位置(P.72)の設定ができます。ボタンを押すと、AFターゲット選択画面が表示されます。 フロント/リアダイヤルでAFターゲットモードの設定、マルチセレクターや十字ボタンでAFターゲット位置の設定をします。 ・設定に使う操作部は割り当てを変更できます。🔍 「AFターゲット選択設定時の操作方法を設定する([:::]選択画面設定)」(P.96)
[:::]Home ([:::]HP) (AFホームポジション) (のみ)	[AFターゲットモード]、[AFターゲット位置]をあらかじめ登録した状態(ホームポジション)にします。ホームポジションは、[:::]HOME登録で設定しておきます(P.95)。 ・カメラが正位置、縦位置のときで別々のホームポジションを登録しておくことができます。🔍 「AFターゲットの設定を横位置/縦位置で変える([:::]縦位置/横位置切替)」(P.94)
MF切換 (MF) (MF切り換え)	AF方式をMFに切り換えます。一度押すとMFに切り換わり再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回してAF方式を選択することもできます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
RAW⇐ (RAW画質) (📷のみ)	[📷画質モード] が JPEG のときにボタンを押すと、 RAW+JPEG に変更します。 RAW または RAW+JPEG のときに押ししても設定は変わりません。ボタンを押しながらダイヤルを回して画質モードを選択することもできます。
試し撮り撮影 (📷Test) (📷のみ)	試し撮りができます。各機能の設定の結果を実際に撮影した結果で確認できます。ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像を記録せずにモニターに表示します。
カスタムモード撮影 1～4 (C1～C4) (📷のみ)	カスタムモードとして登録した設定を呼び出します。ボタンを押すとカスタムモードとして登録されている設定に切り換えます (P.54)。再度押すと、元の設定に戻ります。カスタムモードに切り換わったときも、このボタンの機能は変わりません。
露出補正 (📷)	露出の設定をします。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。撮影モードにより設定できる内容が異なります。 [P] ：フロント/リアダイヤル、◀▶で露出補正。△▽ボタンでプログラムシフト。 [A] ：フロント/リアダイヤル、◀▶で露出補正。△▽ボタンで絞り。 [S] ：フロント/リアダイヤル、◀▶で露出補正。△▽ボタンでシャッター速度。 [M]* ：リアダイヤル、△▽でシャッター速度。フロントダイヤル、◀▶ボタンで絞り。 [B] ：リアダイヤル、△▽でバルブ/タイム撮影、ライブコンポジット撮影の切り換え。フロントダイヤル、◀▶ボタンで絞り。 * [ISO感度] (P.111)が [Auto] に設定されている場合の動作は「露出補正を設定する」(P.104)をご覧ください。
デジタルテレコン (📷：Q 2x/ 📷：Q 1.4x)	デジタルテレコンの設定をします (P.162)。一度押すと拡大し、再度押すと元の表示に戻ります。 ムービー撮影中でも切り換えることができます。ムービー撮影時は、デジタルテレコンによって拡大される範囲を示す枠が表示されます。
デジタルシフト撮影 (📷) (📷のみ)	ボタンを押すとデジタルシフト撮影の設定ができます (P.165)。もう一度ボタンを押すと設定画面を終了します。ボタンを長押しすると、デジタルシフト撮影が解除されます。
フィッシュアイ補正 (📷) (📷のみ)	フィッシュアイ補正撮影の設定をします (P.167)。一度押すとフィッシュアイ補正撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [画角] の設定を1、2、3で切り換えられます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
拡大(Q)	一度押すと拡大枠が表示され、再度押すと枠の部分が拡大表示されます(P.77)。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作やマルチセレクター、 $\Delta \nabla < \triangleright$ で位置を移動できます。
HDR撮影(HDR) ( のみ)	HDR撮影の設定をします(P.159)。一度押すとHDR撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すとHDR BKTの設定を含む[HDR撮影]の設定を変更できます。
ISO感度	[ISO感度]の設定をします(P.111)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや $< \triangleright$ で設定します。
WBモード(WB) (ホワイトバランス)	[ホワイトバランス]の設定をします(P.145)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや $< \triangleright$ で設定します。
マルチFn (Multi Fn) (マルチファンクション)	マルチFnボタンに設定します(P.214)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して、複数の機能から一つの機能を選択し、使うことができます。ボタンを押して、選択した機能を使用します。
ピーキング(Peak)	ピーキング表示をします(P.100)。一度押すとピーキング表示をして再度押すと元の表示に戻ります。ピーキング表示中に INFO ボタンを押すと詳細設定の画面が表示され、色や強度の変更ができます。
水準器表示()	デジタル水準器を表示します。ファインダーの露出バー表示を水準器表示に切り換えます。再度押すと戻ります。[EVF表示スタイル](P.228)が[ スタイル1]、[ スタイル2]のときに有効です。
LO切換(LO) (EVF切り換え)	ファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えます。[EVF自動切換設定](P.253)が[Off]のときは、モニターとファインダーの表示を切り換えます。ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]のメニューを表示します。
LV表示モード切換 (S-OVF) ( のみ)	[ LV表示モード](P.225)の[標準]と[S-OVF]を切り換えます。
AFリミッター (AFLimit) ( のみ)	[AFリミッター]の設定をします(P.89)。一度押すと[AFリミッター]で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと記憶されている3つの設定の間で変更ができます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
プリセットMF ()	[AF方式] を [PreMF] に切り換えます(P.68)。一度押すとプリセットMFに切り換わり、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して [AF方式] を選択することもできます。
レンズ情報登録 ()	レンズの登録情報の選択ができます(P.248)。レンズ交換時などに、登録されているレンズ情報を選択します。
手ぶれ補正(IS)	[手ぶれ補正] 設定をオフにします(P.132)。一度押すと [Off] に設定され再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、 [手ぶれ補正] のメニューが表示され設定の変更ができます。
フリッカースキャン (Flicker Scan)	[フリッカースキャン] (P.106)を設定します。ボタンを押すと [On] になります。画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。再度ボタンを押すと、情報表示が切り換わりシャッター速度以外の設定ができます。ボタンを長押しすると、 [フリッカースキャン] を [Off] にします。
ライブND撮影(ND) ()のみ	ライブND撮影の設定をします(P.154)。一度押すと [ライブND撮影] で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [ND段数] の設定を変更できます。
Off	ボタンを使用しません。
フラッシュ() ()のみ	フラッシュの設定をします(P.118)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや<D>で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は▷または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ[] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
 (連写/セルフタイマー) ()のみ	ドライブ(連写やセルフタイマー)の設定をします(P.123)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや<D>で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は▷または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ[] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
 ロック (タッチパネルロック)	タッチ操作を無効にします。ボタンを長押しするとタッチ操作が無効になり、再度長押しすると有効になります。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は▷または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ[] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
電動ズーム(W←T)	電動ズームレンズを使用時にズーム動作ができます。ボタンを押したあと、十字ボタンでズーム操作します。△または▷ボタンで望遠側、▽または<D>ボタンで広角側へズームします。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は▷または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ[] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
AF停止(AF Stop)	AFの動作を停止します。ボタンを押している間、AFは停止してピントは固定されます。 [Fn] ボタンにのみ割り当てられます。
◎顔選択(◎)	カメラが複数の人物の顔を検出したとき、ピントを合わせる顔を選択します。ボタンを押すと、設定したAFターゲット位置に近い顔を選択します。AFターゲットモードが [All] (オールターゲット)のときは、中央に近い顔を選択します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、ピントを合わせる顔を切り換えます。ムービー録画中にも使えます。
顔・瞳検出(◎)	[顔・瞳検出] (P.85)が [Off] 以外のときに押すと [Off] に設定され、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、 [顔・瞳検出] のメニューが表示され設定を切り換えます。
フォーカスリングロック(🔒)	ボタンを押すとレンズのフォーカスリングの操作を無効にします。再度押すと操作が有効になります。 [AF方式] が [S-AF MF] / [C-AF MF] / [MF] / [C-AF+TR MF] / [Pre MF] / [AF MF] の場合に動作します。 レンズのフォーカスリングの操作が無効になっている間は、AF方式のアイコンの MF 部分がグレーで表示されます。 MFクラッチ (マニュアルフォーカスクラッチ)機構を搭載したレンズでフォーカスリングが MF位置 (カメラボディ側)にある場合、このボタンは動作しません。 フォーカスリングロックは、カメラの電源をオフにしたとき、新しいレンズを取り付けたときなどに解除されます。
ナイトビュー切換(Night LV)(📷のみ)	現在の [📷ナイトビュー] (P.225)設定が [Off] のときに押すと、 [On] に切り換わります。 [On] のときに押すと、 [Off] に切り換わります。
AEL (AEロック)	一度押すと露出が固定され、再度押すと解除されます。
AF-ON	ボタンを押している間オートフォーカスを行います(P.80)。ボタンを離すとオートフォーカスを終了します。
AE BKT(📷のみ)	[AE BKT] が [Off] のときに押すと [AE BKT] で設定した状態に切り換わります。 [Off] 以外のときに押すと [Off] になります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [AE BKT] の設定を変更できます。
WB BKT(📷のみ)	[WB BKT] が [Off] のときに押すと [WB BKT] で設定した状態に切り換わります。 [Off] 以外のときに押すと [Off] になります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [WB BKT] の設定を変更できます。
FL BKT(📷のみ)	[FL BKT] が [Off] のときに押すと [FL BKT] で設定した状態に切り換わります。 [Off] 以外のときに押すと [Off] になります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [FL BKT] の設定を変更できます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
ISO BKT ( のみ)	[ISO BKT] が [Off] のときに押すと [ISO BKT] で設定した状態に切り換わります。 [Off] 以外のときに押すと [Off] になります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [ISO BKT] の設定を変更できます。
ART BKT ( のみ)	[ART BKT] の [Off] と [On] を切り換えます。ボタンを長押しすると [ART BKT] の設定を変更できます。
Focus BKT ( のみ)	[Focus BKT] の [Off] と [On] を切り換えます。ボタンを長押しすると [Focus BKT] の設定を変更できます。
深度合成 () ( のみ)	[深度合成撮影] の [Off] と [On] を切り換えます。ボタンを長押しすると [深度合成撮影] の設定を変更できます。
ハイレゾショット () ( のみ)	[ハイレゾショット] が [Off] のときに押すと [ハイレゾショット] で設定した状態に切り換わります。 [Off] 以外のときに押すと [Off] になります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [ハイレゾショット] の設定を変更できます。
被写体検出 ()	[被写体検出] が [Off] のときに押すと [被写体検出] で設定した状態に切り換わります。 [Off] 以外のときに押すと [Off] になります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [被写体検出] の設定を変更できます。
ダイレクト機能 ()	十字ボタン()に機能を割り当てます。それぞれ以下の機能が設定されます。 ◀ボタン：  (AFターゲット選択) △ボタン：  (露出補正) ▶ボタン：MF切換 (MF切り換え) ▽ボタン：WB (WBモード) ・▶ボタンと▽ボタンは他の機能を割り当てておくことができます。
WB AUTO ロック (Lock WB AUTO) ( のみ)	ムービーモードでホワイトバランスが [WB Auto] 設定時、ボタンを押すとホワイトバランスがロックされます。再度押すとロックが解除されます。
 ビューアシスト (BT.709) ( のみ)	ボタンを押すと  ビューアシストの [Off] と [On] が切り換わります。 ムービー記録中でも設定を変更できます。
ゼブラパターン表示 ( Zebra) ( のみ)	ボタンを押すと [ゼブラパターン表示] の [Off] と [On] が切り換わります。 ムービー記録中でも設定を変更できます。

■ マルチファンクションを使う(マルチFn)

一つのボタンで複数の機能の設定ができる機能です。

☞ マルチファンクションを使うには、【ボタン機能】(P.207)でいずれかのボタンに【マルチFn】を割り当てておく必要があります。

呼び出す機能を切り換える

1 【マルチFn】を割り当てたボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回します。

- ダイヤルを回して、設定したい機能にカーソルを合わせます。設定したい機能を選択したらボタンを離します。



2 【マルチFn】を割り当てたボタンを一度押します。

3 設定します。

【マルチFn】で切り換えることができる機能は以下の通りです。

ハイライト&シャドウコントロール	フロント/リアダイヤルで設定します。 INFO ボタンを押すと調整する範囲(明部、暗部、中間部)の変更ができます。
カラークリエイター	フロントダイヤルで色合い、リアダイヤルで彩度を設定します。
📷ISO感度 ☞ISO感度	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
📷ホワイトバランス ☞ホワイトバランス	
拡大	拡大枠が表示されます。
アスペクト比設定	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
📷LV表示モード	ボタンを押すたびに【標準】と【S-OVF】を切り換えます。
ピーキング	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。

- 表示される機能を選択することができます。☞ 【マルチFn表示設定】(P.237)
- ☞ 【ハイライト&シャドウコントロール】は撮影画面で📷(露出補正)ボタンを押した後に**INFO**ボタンを押しても設定できます。

■ シャッターボタンでムービーを録画する(☞シャッターボタン機能)

PASMB ☞

シャッターボタンを☉ (録画) ボタンとして設定できます。モードダイヤルを☞ (ムービー) にしているときは、別売のリモコンを使用して録画開始/停止をすることができます。

メニュー	MENU → * → 1.操作 → ボタンの設定 → ☞シャッターボタン機能
------	--

OFF	シャッターボタンを使用しません。
☉REC	シャッターボタンの全押しで、ムービーの録画開始/停止を行います。

① [☉REC] に設定しているときは、☉ボタンで録画はできません。

フロント/リアダイヤルの機能を変える

(📷ダイヤル機能 / ☞ダイヤル機能)

PASMB ☞


フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更できます。



メニュー	MENU → * → 1.操作 → ダイヤルの設定 → 📷ダイヤル機能 MENU → * → 1.操作 → ダイヤルの設定 → ☞ダイヤル機能
------	--

1 設定する項目を選択し、☉ボタンを押します。

- <> ボタンでダイヤルを選択し、△▽ボタンで設定を変更します。
- **INFO** ボタンを押すと、レバー 1 とレバー 2 の間でカーソルの位置を切り換えられます。
- 設定が完了したら、☉ボタンを押します。




① [📷Fnレバー機能] / [☞Fnレバー機能] が [mode1] 以外に設定されているときは、レバーの位置が2になっていても、レバー 1 に割り当てている機能が有効になります。

【ダイヤル機能】で割り当てられる機能は以下の通りです。

割り当てられる機能	働き	撮影モード				
		P	A	S	M	B
プログラムシフト(Ps)	プログラムシフト(P.40)を設定します。	○	—	—	—	—
シャッター速度 (Shutter)	シャッター速度を設定します。	—	—	○	○	○*
絞り値(FNo)	絞り値を設定します。	—	○	—	○	○
露出補正()	露出補正を設定します。	○	○	○	○	○
フラッシュ補正()	フラッシュ補正を設定します。	○	○	○	○	○
ISO感度	ISO感度を設定します。	○	○	○	○	○
WBモード(WB)	ホワイトバランスを設定します。	○	○	○	○	○
CWB色温度 (CWB Kelvin)	ホワイトバランスがCWB (カスタムWB)のときの色温度設定を変更します。	○	○	○	○	○
Off	機能を設定しません。	○	○	○	○	○

* Bulb、Time、Live Compを切り換えます。

【ダイヤル機能】で割り当てられる機能は以下の通りです。

機能	働き	モード (ムービー露出モード)			
		P	A	S	M
シャッター速度 (Shutter)	シャッター速度を設定します。	—	—	○	○
絞り値(FNo)	絞り値を設定します。	—	○	—	○
露出補正()	露出補正を設定します。	○	○	○	○
ISO感度	ISO感度を設定します。	—	—	—	○
WBモード(WB)	ホワイトバランスを設定します。	○	○	○	○
CWB色温度 (CWB Kelvin)	ホワイトバランスがCWB (カスタムWB)のときの色温度設定を変更します。	○	○	○	○
録音レベル ( Vol)	録音の音量を調整します。	○	○	○	○
ヘッドホン音量 ( Vol)	ヘッドホンの音量を調整します。	○	○	○	○
Off	機能を設定しません。	○	○	○	○

フロント／リアダイヤルの操作方向を変える (ダイヤル方向)

PASMB

フロント／リアダイヤルを使って露出の設定をするときに、ダイヤルの操作方向に対する設定値の変化方向を設定します。

メニュー	MENU → * → 1.操作 → ダイヤルの設定 → ダイヤル方向
露出設定	A/S/M/Bモードで絞り値やシャッター速度を設定するときのダイヤル方向を設定します。
Ps設定	Pモードでプログラムシフトを設定するときのダイヤル方向を設定します。

マルチセレクターの機能を変える (マルチセレクターの設定)

PASMB








マルチセレクターを押したときの動作と動かしたときの動作を設定します。

メニュー	MENU → * → 1.操作 → マルチセレクターの設定
●中央ボタン機能	<p>マルチセレクターを押したときの動作を設定します。マルチセレクターをボタンとして押したときに、機能が動作するように割り当てることができます。</p> <p>[Off] : 機能を割り当てません。マルチセレクターを押しても何も機能しません。</p> <p>[[:]] : マルチセレクターを押すと、AFターゲット位置や、AFターゲットモードの設定ができます。[[:]選択画面設定] (P.96)の設定に従って十字ボタンやフロント／リアダイヤルが使えます。</p> <p>[[:]HP] : [●ボタン機能]の[[:]Home] (P.95)と同じ働きをします。</p> <p>☞ この機能は静止画撮影のみで機能します。</p>
●方向キー機能	<p>マルチセレクターを動かしたときの動作を設定します。通常は、操作すると直接AFターゲットの位置を移動することができますが、誤操作を防ぐために機能をオフにしておくこともできます。</p> <p>[Off] : 機能を割り当てません。</p> <p>[[:]] : マルチセレクターを動かすと、AFターゲットの位置が設定できます。</p>


メニュー

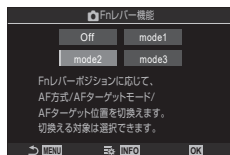
MENU →  → 1.操作 → Fnレバーの設定

■ Fnレバーを設定する



 Fnレバー機能	<p>静止画撮影時のFnレバーの機能を変更します。 フロント/リアダイヤルの機能の変更や、AF機能の設定の変更、 撮影モードの変更ができます。</p> <p>このメニューで設定するFnレバー機能は、 (静止画撮影)モードのときに有効になります。 (ムービー)モードでは、 Fnレバー機能の設定が有効になります。</p>
 Fnレバー機能	<p>ムービー撮影時/ムービー撮影中のFnレバーの機能を変更します。 フロント/リアダイヤルの機能の変更や、AF機能の設定の変更が できます。</p> <p>このメニューで設定するFnレバー機能は、 (ムービー)モードのときに有効になります。P/A/S/M/B (静止画撮影)モードでは、  Fnレバー機能の設定が有効になります。</p>
Fnレバー /電源レバー	<p>Fnレバーを、カメラの電源のオンオフスイッチとして使います。撮影時の状況によって、右手で電源の操作をしたいときに使えます。</p>

■ Fnレバー機能を設定する

- 1 【Fnレバーの設定】画面で【Fnレバー機能】を選択し、**OK** ボタンを押します。



Fnレバーの設定画面


Off	Fnレバーを使用しません。
mode1	Fnレバーの位置に応じて、フロント/リアダイヤルの機能を切り換えます。【  ダイヤル機能】(P.215)の設定に従います。
mode2	Fnレバー 1、2のそれぞれの位置で設定した【AF方式】、【AFターゲットモード】、【AFターゲット位置】に変更します。 INFOボタンを押して、Fnレバーで切り換える機能に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を付けます。 チェックを解除するときは再度 OK ボタンを押します。 【AF方式】 : S-AF、C-AFなど 【AFターゲットモード】 : [・]Single、  All など 【AFターゲット位置】 : AFターゲットの位置
mode3	Fnレバーの位置に応じて撮影モードを切り換えます。モードダイヤルを切り換えることなく、撮影モードを  (ムービー) に切り換えます。

① 【mode3】に設定したときは、【Fnレバー機能】は使用できません(P.220)。

① 以下の場合、この機能は使用できません。

- 【Fnレバー/電源レバー】(P.221)が、【ON/OFF】または【OFF/ON】に設定されている場合

■ Fnレバー機能を設定する

- 1 【Fnレバーの設定】画面で【Fnレバー機能】を選択し、**OK** ボタンを押します。



Fnレバーの設定画面

Off	Fnレバーを使用しません。
mode1	Fnレバーの位置に応じて、フロント/リアダイヤルの機能を切り換えます。[Fnダイヤル機能] (P.215)の設定に従います。
mode2	Fnレバー 1、2のそれぞれの位置で設定した[AF方式]、[AFターゲットモード]、[AFターゲット位置]に変更します。 INFOボタンを押して、Fnレバーで切り換える機能に✔(チェック)を付けます。 チェックを解除するときは再度ⓧボタンを押します。 [AF方式] : S-AF、C-AFなど [AFターゲットモード] : [・]Single、[■]Allなど [AFターゲット位置] : AFターゲットの位置

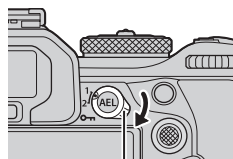
① 以下の場合、この機能は使用できません。

- [Fnレバー機能] (P.219)が、[mode3]に設定されている場合
- [Fnレバー/電源レバー] (P.221)が、[ON/OFF]または[OFF/ON]に設定されている場合

■ [Fnレバー機能] / [Fnレバー機能]の[mode2]を使う

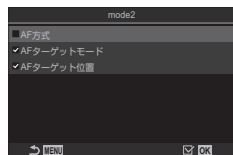
[Fnレバー機能] / [Fnレバー機能]を[mode2]に設定したときは、Fnレバー 1、2のそれぞれの位置で、AF機能を個別に設定することができます。

1 Fnレバー 1の位置でAF機能を設定します。

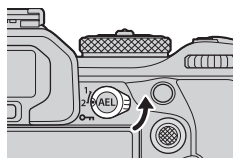


- 記憶する内容は、✔(チェック)を付けた機能になります。

[AF方式] : S-AF、C-AFなど
[AFターゲットモード] : [・]Single、[■]Allなど
[AFターゲット位置] : AFターゲットの位置



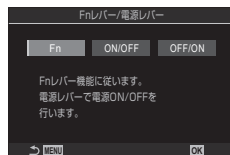
2 Fnレバー 2の位置でAF機能を設定します。



3 Fnレバーを切り換えて、それぞれの位置でAF機能の設定を使います。

■ Fnレバー /電源レバーの設定をする

- 1 [Fnレバーの設定]画面で[Fnレバー /電源レバー]を選択し、**OK** ボタンを押します。







Fn	[📷 Fnレバー機能]および[🔌 Fnレバー機能] (P.220)の設定に従って動作します。
ON/OFF	ON/OFF レバーとして動作します。1の位置で電源オン、2の位置で電源オフになります。
OFF/ON	ON/OFF レバーとして動作します。1の位置で電源オフ、2の位置で電源オンになります。



- ① [ON/OFF]または[OFF/ON]に設定したときは、**ON/OFF**レバーによる電源のオンオフができなくなります。また、[**📷 Fnレバー機能**]および[**🔌 Fnレバー機能**]も使用できません。

PASMB

電動ズームを搭載したレンズで、ズームリングを操作したときの、ズームの動作速度を変更します。ズーム動作が速くて狙った構図にしにくいなどのときに調節します。

メニュー	MENU →  → 1.操作 → 電動ズームの設定
------	--

 電動ズーム速度	<p> (静止画撮影)モードのときの電動ズーム速度を設定します。</p> <p>【低速】：遅い速度でズームします。ズーム位置を正確に決めて撮りたいときに有効です。</p> <p>【標準】：標準的な速度でズームします。</p> <p>【高速】：速い速度でズームします。</p>
 電動ズーム速度	<p> (ムービー)モードのときの電動ズーム速度を設定します。</p> <p>【低速】：遅い速度でズームします。ズーム位置を正確に決めて撮りたいときに有効です。</p> <p>【標準】：標準的な速度でズームします。</p> <p>【高速】：速い速度でズームします。</p>

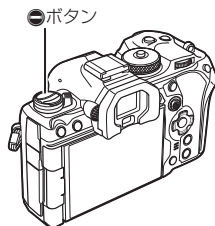
①  (静止画撮影)モードと (ムービー)モードで表示される選択肢は同じですが、ズーム動作速度は異なります。

☉ボタンの操作をロックする

(☉ロック)

PASMB 

☉ボタンの操作をロックします。



メニュー	MENU → * → 1.操作 → ☉ロック
Off	☉ボタンの操作をロックしません。
On	☉ボタンの操作をロックします。

拡大ライブビュー中にシャッターボタンを押したときの動作を設定する (LV拡大モード)

PASMB 

拡大表示を使って撮影するときの、動作に関する設定をします。

メニュー	MENU → * → 2.操作 → LV拡大モード
------	---------------------------

• LV拡大設定の詳しい内容については、P.77の説明をお読みください。

LV拡大モード	<p>拡大表示中に、シャッターボタンを半押ししたときの画面の動作を設定します。</p> <p>[mode1]：シャッターボタンを半押しすると、拡大表示を終了します。拡大表示でピントを合わせたあと、構図を確認して撮影できます。</p> <p>[mode2]：シャッターボタンを半押しすると、拡大表示のままピント合わせを行います。事前に構図を決めて、より狭い範囲でピント合わせをして、そのまま撮影できます。</p>
---------	---


プレビューボタンの動作を設定する

(ロック)

PASMB 

プレビュー操作で絞り込み動作をしたときのボタンの操作や表示について設定します。

メニュー	MENU →  → 2.操作 → 
------	---

 ロック	<p>プレビューボタンの操作と動作の設定をします。</p> <p>[Off]：プレビューボタンを押している間、絞り込み動作をします。</p> <p>[On]：プレビューボタンを押すと絞り込み状態になります。もう一度ボタンを押すと絞り込みをやめます。</p>
---	--





ボタン長押し操作のときの操作時間を設定する

(ボタン長押し時間調整)

PASMB 

各機能で設定値のリセットなどで実行する、ボタンの長押し操作の操作時間の設定をします。使い勝手に合わせて機能別に設定できます。

メニュー	MENU →  → 2.操作 → ボタン長押し時間調整
------	--

LV拡大枠/拡大表示	<p>機能が割り当てられたボタンに対し、長押し操作の時間を設定します。</p> <p>[0.5秒] ~ [3.0秒]</p>
LV拡大枠位置	
露出補正值	
 設定値	
WB補正值	
モニター調整/EVF調整	
 設定値	
 設定値	
AFターゲット位置	
EVF自動切換設定	
デジタルシフト	
デジタルシフト設定値	
 ロック	
フリッカーキャン	
WB BKT設定呼出し	
ART BKT設定呼出し	
Focus BKT設定呼出し	
深度合成設定呼出し	

ライブビューの設定に関する機能

画面の見え方を変える

(📷LV表示モード)

PASMB 

ライブビュー表示のダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれや白とびを抑えて光学ファインダーのような見え方を再現できます。逆光などの条件でも、被写体を容易に確認できます。ファインダー、モニター、HDMI出力のすべてに反映されます。

メニュー	MENU → ✨ → 3. ライブビュー表示 → 📷LV表示モード
------	-----------------------------------

標準	明るさや色に関する撮影設定を画面表示に反映します。
S-OVF	露出やホワイトバランス、ピクチャーモードのアートフィルターなどの撮影の設定は表示に反映されません。

- [S-OVF]に設定すると、画面に「S-OVF」が表示されます。

暗いところで画面を見やすくする

(📷ナイトビュー)

PASMB 

暗くて見えない環境でも見やすい明るさで表示することができます。

メニュー	MENU → ✨ → 3. ライブビュー表示 → 📷ナイトビュー
------	----------------------------------

Off	通常の表示です。
On	見やすい明るさで表示します。実際に撮影される画像とは明るさや色が異なります。

- [On]に設定すると、画面に「Night LV」が表示されます。
- ① [On]に設定すると、【フレームレート】が【標準】になります。

ファインダー撮影時の表示速度を設定する

(フレームレート)

PASMB 

ファインダー表示の表示の速さを設定します。


メニュー	MENU → ✨ → 3. ライブビュー表示 → フレームレート
------	----------------------------------

標準	通常のフレームレートで表示します。通常の撮影ではこの設定をお使いください。
高速	被写体の動きが速くてもなめらかに表示します。動きの速い被写体を追いやすくなります。撮影中にカメラ内部が高温になると、自動的に【標準】に変更されます。

アートフィルター撮影時のライブビュー表示の設定をする (アートLVモード)

PASMB

アートフィルターは、その効果をモニターやファインダーで確認しながら撮影できます。効果によっては、被写体の動きがスムーズでなくなる場合もあるので、撮影に影響しない設定にすることができます。

メニュー	MENU →  → 3. ライブビュー表示 → アートLVモード
------	---


mode1	アートフィルターの効果を反映して表示します。
mode2	シャッターボタンを半押し中は、アートフィルターの効果の反映を落として、表示速度を優先します。動く被写体などでもスムーズに表示します。


6

撮影時の画面表示のちらつきを抑える (フリッカーレスLV)

PASMB

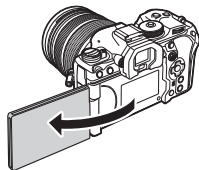
蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき(フリッカー)を抑えて表示します。画面がちらついて見えにくいなどのときに有効です。

メニュー	MENU →  → 3. ライブビュー表示 → フリッカーレスLV
------	--

オート	フリッカーを自動で検出して低減します。
50Hz	商用電源が50Hzの地域での照明のちらつきを低減します。
60Hz	商用電源が60Hzの地域での照明のちらつきを低減します。
Off	フリッカーの低減をしません。  【フリッカーレス撮影】(P.131)が【On】のときは選択できません。

PASMB 

モニターを反転して自分撮りをするとき、撮影しやすいようにライブビュー表示を変更します。



メニュー	MENU → * → 3. ライブビュー表示 → 自分撮りアシスト
Off	モニターを自分撮り位置にしても、表示は切り換わりません。
On	モニターを反転して自分撮り位置にしたとき、左右反転して表示します。



情報表示を設定する機能

ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF表示スタイル)

PASMB 


メニュー

MENU → * → 4. Info表示 → EVF表示スタイル

 スタイル1/
 スタイル2

フィルムカメラのファインダーのよ
うな表示スタイルにします。



 スタイル3

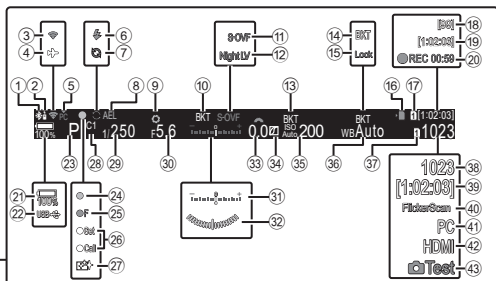
モニターと同じ表示をします。



6

カメラをカスタマイズする

■ ファインダー撮影時のファインダー内表示(スタイル1 / スタイル2)



① Bluetooth®接続中	P.263, 283	②③ 撮影モード	P.39
② リモコン	P.283	④④ 合焦マーク	P.35
③ 無線LAN接続状態	P.264, 270	⑤⑤ ♥SH2絞り警告	P.123
④ 機内モード	P.263	⑥⑥ Set機能/Call機能	P.299
⑤ パソコン接続中(Wi-Fi)	P.270	⑦⑦ ダストリダクション	P.311
⑥ フラッシュ (点滅：充電中、点灯：充電完了)	P.116	⑧⑧ カスタムモード	P.51
⑦ プロキャプチャー画像取り込み中	P.130	⑨⑨ シャッター速度	P.39, 43
⑧ AEロック	P.107	⑩⑩ 絞り値	P.39, 41
⑨ プレビュー	P.224	⑪⑪ 露出補正	P.103
⑩ AE BKT	P.170	⑫⑫ 水準器*1	P.234
⑪ 撮影LV表示モード	P.225	⑬⑬ 露出補正值	P.103
⑫ ISOナイトビュー	P.225	⑭⑭ ハイライト& シャドウコントロール	P.214
⑬ ISO BKT	P.173	⑮⑮ ISO感度	P.111
⑭ WB BKT	P.171	⑯⑯ WBモード	P.145
⑮ WBオートロック	P.149	⑰⑰ 記録設定	P.245
⑯ カード書き込み中	P.19, 23	⑱⑱ 撮影可能枚数	P.333
⑰ 記録スロット	P.245	⑲⑲ 録画可能時間	P.333
⑱ 連続撮影可能枚数	P.125	⑳⑳ フリッカースキャン	P.106
⑲ 録画可能時間	P.333	㉑⑳ パソコン接続中(USB) *2	P.286
⑳ 録画時間(録画中)	P.55	㉒㉒ HDMI出力	P.179
㉑ 電池残量	P.27	㉓㉓ 試し撮り撮影	P.209
㉒ USB PD給電	P.291		

*1 シャッターボタンを半押し中に表示されます。☞【☐半押し中水準器表示】(P.234)

*2 【☐RAW/Control】でOM Captureと接続しているとき、画像の保存先がパソコンのみの場合に表示されます(P.287)。

機能設定アイコンの表示内容を変える

(📷Info表示 / 📷Info表示)

PASMB📷

ライブビュー撮影画面に表示される情報表示の選択をします。

機能設定を示すアイコンの表示/非表示の設定ができます。画面上に表示されるアイコンを選択して表示したい場合などに有効です。

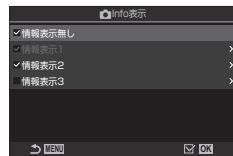
静止画撮影モードでは3種類、ムービー撮影モードでは2種類の表示設定を使い分けてきます。

メニュー	MENU → * → 4. Info表示 → 📷 Info表示 MENU → * → 4. Info表示 → 📷 Info表示
------	--

■ 📷 Info表示を設定する

1 INFOボタンを押したときに表示したい情報を選択し、✓ (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択し📷ボタンを押すとチェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。
チェックを解除するときは再度📷ボタンを押します。



📷 Info表示設定画面

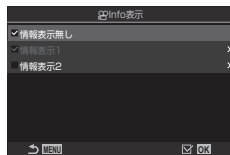
情報表示無し	画面に情報を表示しません。
情報表示1	△▽で項目を選択し📷ボタンを押すとチェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。
情報表示2	チェックを解除するときは再度📷ボタンを押します。
情報表示3	表示する項目の詳細を設定するときは、▶を押します。設定できる項目は以下の通りです。 [ヒストグラム表示] / [ハイライト&シャドウ] / [水準器] / [全電池情報] / [🔇タッチ静音操作]

📷 設定中の情報表示は非表示にはできませんが、表示する項目の詳細は設定可能です。

■ Info表示を設定する

1 **INFO**ボタンを押したときに表示したい情報を選択し、✓ (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択しⓧボタンを押すとチェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。チェックを解除するときは再度ⓧボタンを押します。



Info表示設定画面

情報表示無し	画面に情報を表示しません。
情報表示1	△▽で項目を選択しⓧボタンを押すとチェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。チェックを解除するときは再度ⓧボタンを押します。
情報表示2	表示する項目の詳細を設定するときは、▶を押します。設定できる項目は以下の通りです。 [ヒストグラム表示] / [水準器] / [全電池情報] / [手ぶれ補正] / [ピクチャーモード] / [ホワイトバランス] / [AF方式] / [顔・瞳検出] / [録音レベルメーター] / [ヘッドホン音量] / [タイムコード] / [👆タッチ静音操作] / [罫線]

🔗 設定中の情報表示は非表示にはできませんが、表示する項目の詳細は設定可能です。

■ 表示を切り換える

撮影画面で**INFO**ボタンを繰り返し押し出すと、情報表示が切り換わります。🔗 「情報表示を切り換える」(P.33)

シャッターボタン半押し中の情報表示を設定する (=半押し中の表示)




PASMB 



シャッターボタンを半押ししたときの情報表示を設定できます。

メニュー	MENU → * → 4. Info表示 → =半押し中の表示
------	---------------------------------

Off	シャッターボタン半押し中は、情報表示を行いません。
On1	シャッターボタン半押し中は、露出に関する次の情報のみ表示します。 <ul style="list-style-type: none">• シャッター速度• 絞り値• 露出補正值• 適正露出との差• ISO感度
On2	シャッターボタンを半押ししても、半押しする前の表示から変化しません。

PASMB

ファインダー表示でもモニターの表示と同様に**INFO**ボタンで、ヒストグラムや水準器表示の画面の切り換えができます。ファインダー表示中、**INFO**ボタンを押して表示する情報表示の内容を設定します。この機能は、そのときに表示する内容を設定します。**[EVF表示スタイル]** (P.228)が**[スタイル1]**、**[スタイル2]**で静止画撮影モードのときに有効です。ムービー撮影モードの時は**[Info表示]** (P.231)の設定になります。

メニュー MENU →  → 4. Info表示 →  Info表示

1 **INFO**ボタンを押したときに表示したい情報を選択し、 (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択し \odot ボタンを押すとチェックボックスに (チェック)が表示されます。チェックを解除するときは再度 \odot ボタンを押します。





情報表示無し	画面に情報を表示しません。
情報表示1	△▽で項目を選択し \odot ボタンを押すとチェックボックスに <input checked="" type="checkbox"/> (チェック)が表示されます。 チェックを解除するときは再度 \odot ボタンを押します。
情報表示2	表示する項目の詳細を設定するときは、▶を押します。設定できる項目は以下の通りです。
情報表示3	[ヒストグラム表示] ：ヒストグラムを重ねて表示します。 [ハイライト&シャドウ] ：ハイライトやシャドウ部を着色して表示します。 [水準器] ：水準器を表示します。 [全電池情報] ：全電池情報を表示します。

 設定中の情報表示は非表示にはできませんが、表示する項目の詳細は設定可能です。

シャッターボタン半押し中に水準器を表示する



(半押し中水準器表示)

PASMB

[EVF表示スタイル] (P.228)が[スタイル1]または[スタイル2]の設定のときに、シャッターボタンを半押ししているときだけファインダーに水準器を表示します。



半押し中の
ファインダー表示

メニュー	MENU →  → 4. Info表示 →  半押し中水準器表示
On	シャッターボタンを半押し中、ファインダーに水準器を表示します。 露出バーの位置に、水平方向の傾きを表示します。
Off	水準器を表示しません。

撮影時に表示するガイド線を設定する

(📷ガイド線表示設定 / 📺ガイド線表示設定)

PASMB 📺




メニュー	MENU → * → 5. 罫線/その他の表示 → 📷ガイド線表示設定 MENU → * → 5. 罫線/その他の表示 → 📺ガイド線表示設定
表示色	表示色を選択します。 【プリセット1】：【プリセット1の色設定】の設定値を使用します。 【プリセット2】：【プリセット2の色設定】の設定値を使用します。
📺専用設定(📺ガイド線表示設定のみ)	📺 (ムービー)モードでガイド線を表示するときにムービー専用の設定を使用するか設定します。 【Off】：静止画撮影時と同じ設定を使用します。 【On】：ムービー専用の設定を使用します。
表示罫線選択	表示する罫線の種類を選択します。以下の選択ができます。 【Off】 / 【方眼】 / 【黄金分割】 / 【三分割】 / 【目盛】 / 【対角線】 / 【動画罫線】 (📷ガイド線表示設定のみ) • 【動画罫線】は、撮影モードが静止画撮影のままにムービー撮影する際に撮影される範囲がわかるように16:9の画面サイズで罫線を表示します。【📺画質モード】の設定によっては、17:9で表示されます。
プリセット1の色設定	【R】：数値を大きくすると赤の色味が強調されます。 【G】：数値を大きくすると緑の色味が強調されます。
プリセット2の色設定	【B】：数値を大きくすると青の色味が強調されます。 【α】：数値を大きくするとガイド線の色が濃く表示されます。




① 深度合成撮影時(P.157)は、ここで設定した罫線は表示されません。



📺ここで設定した内容は、【EVF表示スタイル】の【📺スタイル3】にも反映されます。

ファインダーにガイド線を表示する (ガイド線表示設定)

PASMB

フレーミングのときに補助となるガイド線をファインダーに表示します。ガイド線の色や不透明度の設定の選択もできます。【EVF表示スタイル】が【スタイル1】、【スタイル2】で静止画撮影モードのときに有効です。ムービー撮影モードの時は【Info表示】(P.231)の設定になります。

メニュー	MENU →  → 5. 罫線/その他の表示 →   ガイド線表示設定
------	--

 専用設定	ファインダーにガイド線を表示するときにファインダー専用の設定を使用するか設定します。 【Off】：モニターと同じ設定を使用します。 【On】：ファインダー専用の設定を使用します。
表示色	表示色を選択します。 【プリセット1】：【プリセット1の色設定】の設定値を使用します。 【プリセット2】：【プリセット2の色設定】の設定値を使用します。
表示罫線選択	表示する罫線の種類を選択します。以下の選択ができます。 【Off】 / 【方眼】 / 【黄金分割】 / 【三分割】 / 【目盛】 / 【対角線】 / 【動画罫線】 • 【動画罫線】は、撮影モードが静止画撮影のままでムービー撮影する際に撮影される範囲がわかるように16:9の画面サイズで罫線を表示します。【  画質モード】の設定によっては、17:9で表示されます。
プリセット1の色設定	【R】：数値を大きくすると赤の色味が強調されます。 【G】：数値を大きくすると緑の色味が強調されます。
プリセット2の色設定	【B】：数値を大きくすると青の色味が強調されます。 【α】：数値を大きくするとガイド線の色が濃く表示されます。

マルチFnで選べる機能を選択する (マルチFn表示設定)






PASMB

マルチファンクションで呼び出せる機能を選択します。

メニュー MENU → * → 5. 罫線/その他の表示 → マルチFn表示設定

1 表示させる項目を選択し、✓ (チェック)を付けます。

- △▽で項目を選択しⓂボタンを押すとチェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。
- チェックを解除するときは再度Ⓜボタンを押します。

ハイライト&シャドウ コントロール	フロント/リアダイヤルで設定します。 INFO ボタンを押すと調整する範囲(明部、暗部、中間部)の変更ができます。
カラークリエーター	フロントダイヤルで色合い、リアダイヤルで彩度を設定します。
 ISO感度  ISO感度	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
 ホワイトバランス  ホワイトバランス	
拡大	拡大枠が表示されます。
アスペクト比設定	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
 LV表示モード	ボタンを押すたびに【標準】と【S-OVF】を切り換えます。
ピーキング	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。

6


カメラをカスタマイズする

ヒストグラム表示の警告レベルを設定する (ヒストグラム警告設定)

PASMB

ヒストグラムで警告する白とび(ハイライト)、黒つぶれ(シャドウ)の設定をします。
ヒストグラム表示の警告と静止画再生時の画像での警告で使われます。

- モニターやファインダーの情報表示の【ハイライト&シャドウ】の赤や青で表示される領域も、この設定に従って表示されます。

メニュー	MENU →  → 5. 罫線/その他の表示 → ヒストグラム警告設定
------	--

ハイライト表示	ハイライト側の警告の下限値を設定します。 [245] ~ [255]
シャドウ表示	シャドウ側の警告の上限値を設定します。 [0] ~ [10]

6

メニューに関する操作／表示の設定

メニュー画面のカーソルに関する設定をする

(メニューカーソル設定)

PASMB 

メニューを開いたときやページを移動したときのカーソル位置を設定できます。

メニュー	MENU →  → 2. 操作 → メニューカーソル設定
------	---

ページ毎のカーソル位置	<p>【記憶する】：ページを移動すると、最後にそのページを開いたときのカーソル位置にカーソルを表示します。</p> <p>【記憶しない】：ページを移動すると、毎回先頭の位置にカーソルを表示します。</p>
メニュー開始位置	<p>【前回位置】：メニューを開くとき、最後にメニューを終了したときのタブ・ページ・カーソル位置で開きます。</p> <p>【\mathbf{Q}_1】：メニューを開くときは【\mathbf{Q}_1 (静止画1)】タブの最初のページを開きます。</p> <p>【My】：メニューを開くときは【My (マイメニュー)】タブの最初のページを開きます。</p>
Bモード設定ショートカット	<p>BモードのときにMENUボタンを押すとモードに応じたメニューを表示するように設定できます。</p> <p>【Off】：【メニュー開始位置】の設定に応じたメニューを表示します。</p> <p>【On】：モードに応じて【ライブBULB設定】 (P.169)、【ライブTIME設定】 (P.169)または【コンジット撮影設定】 (P.169)を表示します。</p>

6

カメラをカスタマイズする

リアダイヤルによるページの循環方法を設定する

(☺メニュータブ内循環)

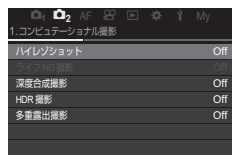
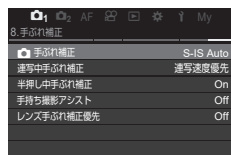
PASMB

メニューで、リアダイヤルでページを切り換えるとき、同じタブ内を循環するかどうかを設定します。

メニュー MENU → ⚙️ → 1. 操作 → ダイアルの設定 → ☺メニュータブ内循環

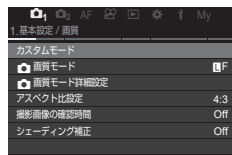
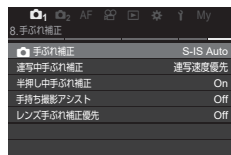
しない

リアダイヤルを回して最後のページまで移動した後にさらに回すと、次のタブの最初のページに移動します。
リアダイヤルを回して最初のページまで移動した後にさらに回すと、前のタブの最後のページに移動します。



する

リアダイヤルを回して最後のページまで移動した後にさらに回すと、現在のタブの最初のページに移動します。
リアダイヤルを回して最初のページまで移動した後にさらに回すと、現在のタブの最後のページに移動します。



☺ この設定はリアダイヤルだけに対する設定です。◀▶でページを切り換えるときは、常に【しない】の動作になります。

【実行/中止】画面のカーソルの初期位置を設定する

(実行優先設定)

PASMB

機能設定などで表示される、【実行】または【中止】を選択する画面が表示されたとき、カーソルをどちらに合わせた状態にするかを設定します。

メニュー MENU → ⚙️ → 2. 操作 → 実行優先設定

中止優先	カーソルを【中止】に合わせて表示します。
実行優先	カーソルを【実行】に合わせて表示します。

マイメニューの設定

マイメニューを使う

選んだメニュー項目を集めて、自分用のメニュータブに収録できます。マイメニューは、最大5ページ、1ページに最大7項目登録できます。登録した項目を解除したり、ページや項目の順序を入れ換えることもできます。

はじめてカメラを使うときには何も登録されていません。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

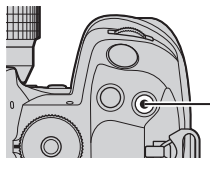
2 マイメニューに登録したい項目を選択します。

- タブが表示されている画面では、**0**から**7**までのすべてのメニュー項目がマイメニューに登録できます。
- その他一部のメニュー項目も、マイメニューに登録できます。登録できる項目のときは、画面右上に**My**が表示されます。

3 **◎** (ムービー)ボタンを押します。

- 登録するマイメニューのページ選択画面が表示されます。**△▽**で登録するページを選択します。

登録できることを示すアイコン



◎ (ムービー)ボタン

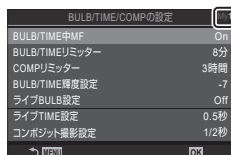


4 OK ボタンを押すと指定したページに登録されます。

- 登録を知らせるメッセージが表示されます。

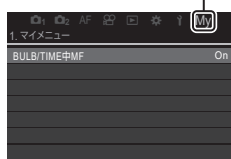


- マイメニューに登録された項目は、登録したマイメニューページの番号が表示されます。
- マイメニューに登録された項目を選択してOK ボタンを押すと、マイメニューの登録から削除されます。**【実行】**を選択してOK ボタンを押します。



My (マイメニュー)タブ

- 登録された項目は、メニューのMy (マイメニュー)タブに収録されます。



5 マイメニューを使うときは、メニューのMy (マイメニュー)タブを選択します。

MENU ボタンを押したとき、すぐにマイメニューを使えるように設定できます。

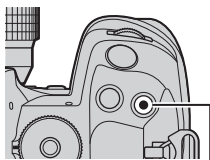
「メニュー画面のカーソルに関する設定をする(メニューカーソル設定)」(P.239)

■ マイメニューの内容を整理する

マイメニューに登録した項目の順序を入れ換えたり、削除することができます。

1 MENU ボタンを押して、My (マイメニュー)タブを表示します。

2 編集したいマイメニューの項目を選択し、OK ボタンを押します。



OK ボタン

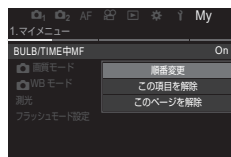
- 管理メニューが表示されます。

【順番変更】：項目順番やページを移動します。

△▽◀▶で移動先を選択します。

【この項目を解除】：選択している項目を登録から解除します。**【実行】**を選択してOK ボタンを押します。

【このページを解除】：選択した項目が登録されているページ内の、全項目の登録を解除します。**【実行】**を選択してOK ボタンを押します。



7 カメラ本体をセットアップする

カード/フォルダ/ファイルの設定


カードを初期化する


(カード初期化)

PASMB


新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。

すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。  「カードについて」(P.23)

メニュー	MENU →  → 1. カード/フォルダ/ファイル → カード初期化
------	--

初期化する	[実行]：カードの初期化を実行します。 [中止]：カードの初期化を中止します。
中止	カードの初期化を中止します。

- カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、 ボタンを押します。





7

記録先カードを設定する






(カードスロット設定 / カードスロット設定)




PASMB

カードスロット1、2の両方にカードが装着されているときの、静止画/ムービーの記録先を設定します。

スーパーコンパネ	 →  記録設定
メニュー	MENU → ▶ → 1. カード/フォルダ/ファイル →  カードスロット設定 MENU → ▶ → 1. カード/フォルダ/ファイル →  カードスロット設定

■ カードスロット設定を設定する

 記録設定	静止画の記録方法を指定します(P.245)。 【標準】 / 【自動切換】 / 【振り分け↓】 / 【振り分け↑】 / 【同一書き込み↓】 / 【同一書き込み↑】
 記録スロット	静止画の記録先カードを設定します。【  記録設定】が【標準】または【自動切換】に設定されているときに有効です。 【スロット1】：カードスロット1に装着されているカードに静止画を記録します。 【スロット2】：カードスロット2に装着されているカードに静止画を記録します。
 スロット	【  記録設定】が【振り分け↓】、【振り分け↑】、【同一書き込み↓】または【同一書き込み↑】に設定されているときの、静止画を再生するカードを選択します。 【スロット1】：カードスロット1に装着されているカードの静止画を再生します。 【スロット2】：カードスロット2に装着されているカードの静止画を再生します。

 ボタンを使って再生するカードを切り換えることができます。画像再生中に、 ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回してスロットを選択します。このとき、【 スロット】の設定は変更されません。

■ 記録設定を設定する

□ 標準	【 記録スロット 】(P.244)で指定したカードに記録します。指定したカードに記録できなくなると、撮影できなくなります。
□ 自動切替	【 記録スロット 】(P.244)で指定したカードに記録します。指定したカードに記録できなくなると、自動的にもう一方のカードに書き込みをします。カードが1枚のときは、自動的に【 標準 】になります。
↕ 振り分け ↕	2枚のカードに異なる画質モードで記録します。スロット1、2それぞれに画質モードを設定してください(P.136)。どちらかのカードに記録できなくなると、撮影できなくなります。スロット1、2とも【 振り分け ↕ 】用の画質モードに設定されるので、設定を変更したときは画質モードを再度設定してください。
↕ 振り分け ↑	2枚のカードに異なる画質モードで記録します。スロット1、2それぞれに画質モードを設定してください(P.136)。どちらかのカードに記録できなくなると、記録可能なカードにのみ記録します。スロット1、2とも【 振り分け ↑ 】用の画質モードに設定されるので、設定を変更したときは画質モードを再度設定してください。
↕ 同一書き込み ↓	2枚のカードに同じ画質モードで記録します。どちらかのカードに記録できなくなると、撮影できなくなります。カードが1枚のときは、自動的に【 標準 】になります。
↕ 同一書き込み ↑	2枚のカードに同じ画質モードで記録します。どちらかのカードに記録できなくなると、書き込み可能なカードにのみ記録します。カードが1枚のときは、自動的に【 標準 】になります。

① 【**記録設定**】の設定を変更したり、カードを抜き差しして記録可能なカードが切り換わると、画質モードが変更されることがありますので、撮影前に必ずご確認ください。

🔄 【**記録設定**】が【**自動切替**】に設定されているときは、1枚目のカードの最後と2枚目のカードの先頭は、自動的に切り換えて再生します。

■ カードスロット設定を設定する


① スロット1	カードスロット1に装着されているカードにムービーを記録します。
② スロット2	カードスロット2に装着されているカードにムービーを記録します。

撮影した画像を記録するフォルダを指定する

(記録フォルダ指定)

PASMB

カードの保存先フォルダを設定します。

メニュー	MENU →  → 1. カード/フォルダ/ファイル → 記録フォルダ指定
------	--

指定する*	[新規作成] ：3桁のフォルダ番号を指定します。 1桁目：[0] ～ [9] 2桁目：[0] ～ [9] 3桁目：[0] ～ [9] [既存フォルダ選択] ：△▽ボタンで既存フォルダを選択します。 フォルダ内の最初の2コマと最後の1コマが表示されます。
指定しない	カードの保存先フォルダを指定しません。カードの保存先フォルダが指定されている場合は、指定を解除します。


* すでに記録フォルダが指定されているときは、フォルダ名が表示されます。▶を押すと、別のフォルダに変更できます。


ファイル名の付け方を設定する

(ファイルネーム)

PASMB

撮影した静止画やムービーをカードに記録するときのファイル名の付け方を設定します。ファイル名は、4文字の英数字と4桁の画像番号で構成されています。画像番号の付け方を変更することができます。

メニュー	MENU →  → 1. カード/フォルダ/ファイル → ファイルネーム
------	---

 2枚のカードに同時記録する場合は、それぞれのカードのファイル番号とフォルダ番号によって、新規フォルダが生成されたり、カード内のファイル番号が不連続になる場合があります。

オート	カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。
リセット	新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードを入れると、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。

7

撮影した静止画やムービーをカードに記録するときのファイル名を変更します。

メニュー	MENU → Y → 1. カード/フォルダ/ファイル → ファイルネーム編集
------	--

sRGB	<p>[月日(mdd)] : 2 ~ 4文字目に、撮影日時の「mdd」(月日)の対応する数字(0 ~ 9)またはアルファベット(10 ~ 12月は「A」 ~ 「C」)が設定されます。 先頭の1文字目は、任意に設定できます。</p> <p>[ディレクトリ番号] : 2 ~ 4文字目に、ファイルの保存先フォルダのディレクトリ番号3桁(「100」 ~ 「999」)が設定されます。 先頭の1文字目は、任意に設定できます。</p> <p>[手動設定] : 1文字目 ~ 4文字目を英数字に設定できます。</p>
AdobeRGB	<p>[月日(mdd)] : 2 ~ 4文字目に、撮影日時の「mdd」(月日)の対応する数字(0 ~ 9)またはアルファベット(10 ~ 12月は「A」 ~ 「C」)が設定されます。 先頭の1文字目は、[_] (アンダーバー)で固定です。</p> <p>[ディレクトリ番号] : 2 ~ 4文字目に、ファイルの保存先フォルダのディレクトリ番号3桁(「100」 ~ 「999」)が設定されます。 先頭の1文字目は、[_] (アンダーバー)で固定です。</p> <p>[手動設定] : 2文字目 ~ 4文字目を英数字に設定できます。1文字目は[_] (アンダーバー)を表示します。</p>

ユーザー情報記録の設定

レンズ情報を登録する

(レンズ情報登録)

PASMB

マイクロフォーサーズ、フォーサーズ規格以外のレンズの情報を最大10本まで登録できます。この設定は、手ぶれ補正やデジタルシフト撮影の焦点距離情報としても使用します。設定したレンズの情報は、画像のExif情報として記録されます。

メニュー	MENU → i → 2. 情報記録 → レンズ情報登録
------	-------------------------------------

レンズ情報新規登録	レンズ情報を登録します。 【レンズ名】：レンズ名を入力します。 【焦点距離】：焦点距離を設定します。 [0.1] ~ [1000.0] mm 【絞り値】：絞り値を設定します。 [00.00] ~ [99.99] 【登録】：設定したレンズ情報を登録します。
レンズ01 (登録名) ~ レンズ10 (登録名)	登録したレンズ情報を変更できます。 【編集】：登録したレンズ情報を編集します。 [レンズ名] [焦点距離] [絞り値]を編集します。 【削除】：登録したレンズ情報を削除します。

文字の入力方法

- 1) **INFO** ボタンを押してキーボード(大文字/小文字/記号)を切り換えます。
- 2) **△▽◀▶** で入力する文字を選択して **Ⓜ** ボタンを押します。
 - ・ 文字入力エリアに選択した文字が表示されます。
 - ・ 入力した文字を消すときは、**Ⓜ** ボタンを押します。
- 3) 文字入力エリアの文字を消去するときは、フロント/リアダイヤルでカーソルを移動します。
 - ・ 文字を選択して **Ⓜ** ボタンを押すと文字が消えます。
- 4) 入力を終了したら **[End]** を選択して **Ⓜ** ボタンを押します。

文字入力エリア



文字選択エリア

- ・ 登録されたレンズがレンズ情報登録画面に表示されます。
- ・ 非通信レンズを装着した際には、**✓** (チェック) が付いたレンズの情報が用いられます。**✓** を付けたいレンズを選び、**Ⓜ** ボタンを押します。

プリント出力時の解像度を設定する (dpi設定)

PASMB 

撮影時に画像ファイルに記録するdpi情報を設定します。プリント出力時の解像度に合わせて設定します。設定したdpi情報は、画像のExif情報として記録されます。

メニュー	MENU →  → 2. 情報記録 → dpi設定
------	--

著作権情報を設定する (著作権情報記録)

PASMB 

撮影時に画像ファイルに著作権の情報を設定します。設定した著作権情報は、画像のExif情報として記録されます。

メニュー	MENU →  → 2. 情報記録 → 著作権情報記録
------	--

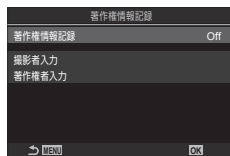
- ① **【著作権情報記録】**の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。
- ① 入力した著作権情報を削除する場合は、各項目の入力画面で文字を消去してください (P.250)。

7

カメラ本体をセットアップする

■ 著作権情報記録を設定する

- 1 △▽ボタンで[著作権情報記録]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 △▽ボタンで[On]を選択し、**OK**ボタンを押します。



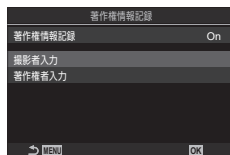
著作権情報記録設定画面

Off	撮影者/著作権者の名称をExif情報に付加しません。
On	撮影者/著作権者の名称をExif情報に付加します。

- 3 著作権情報記録設定画面に戻ります。

■ 著作権情報記録の各項目を設定する

- 1 各項目を設定します。
 - △▽で項目を選択し**OK**ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
 - 設定後、**OK**ボタンを押すと著作権情報設定画面に戻ります。



撮影者入力	撮影者の名称を設定します。
著作権者入力	著作権者の名称を設定します。

文字の入力方法

- 1) **INFO**ボタンを押してキーボード(大文字/小文字/記号)を切り換えます。
- 2) △▽<|>で入力する文字を選択して**OK**ボタンを押します。
 - 文字入力エリアに選択した文字が表示されます。
 - 入力した文字を消すときは、**削除**ボタンを押します。
- 3) 文字入力エリアの文字を消去するときは、フロント/リアダイヤルでカーソルを移動します。
 - 文字を選択して**削除**ボタンを押すと文字が消えます。
- 4) 入力を終了したら**[End]**を選択して**OK**ボタンを押します。

文字入力エリア




文字選択エリア

モニター /音/接続の設定

タッチパネル機能を無効にする (タッチパネル設定)

PASMB 

タッチパネル機能を有効にするか無効にするかを設定します。


メニュー	MENU →  → 3. モニター /音/接続 → タッチパネル設定
------	---



Off	タッチパネルの機能を無効にします。
On	タッチパネルの機能を有効にします。



モニターの色合い・明るさを調整する (モニター調整)

PASMB 

モニターの色温度や明るさを調整します。この設定は静止画撮影、ムービー撮影で共通です。

メニュー	MENU →  → 3. モニター /音/接続 → モニター調整
------	---

 (色温度)	色温度を調整します。 フロントダイヤルまたは<D>で「アンバー-青」の色味を変更します。 ポインタ(+/-)がAに近づくにつれ赤みがかかり、Bに近づくにつれ青みがかかった画像になります。 リアダイヤルまたはΔ▽で「緑-赤紫」の色味を変更します。 ポインタ(+/-)がGに近づくにつれ緑の色味が増し、Mに近づくにつれ赤紫がかかった画像になります。
 (明るさ)	明るさを調整します。Δ▽ボタンで設定値を選択します。 [-7] ~ [±0] ~ [+7]

- **INFO** ボタンを押して色温度と明るさを切り換え、それぞれの設定を行います。
-  ボタンを長押しすると設定値をリセットできます。
- **B**モードでは、**[BULB/TIME輝度設定]**で設定した明るさで表示されます。 「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする(BULB/TIME/COMPの設定)」(P.169)

ファインダーの明るさや色合いを調整する

(EVF調整)

PASMB

ファインダー表示の明るさや色合いを調整します。EVF調整中は、表示がファインダーに切り換わります。


メニュー	MENU → 1 → 3. モニター /音/接続 → EVF調整
------	---


ⓘ (色温度)	<p>色温度を調整します。</p> <p>フロントダイヤルまたは<D>で「アンバー-青」の色味を変更します。ポインタ(+)がAに近づくとつれ赤みがかかり、Bに近づくとつれ青みがかかった画像になります。</p> <p>リアダイヤルまたはΔ▽で「緑-赤紫」の色味を変更します。ポインタ(+)がGに近づくとつれ緑の色味が増し、Mに近づくとつれ赤紫がかかった画像になります。</p>
☼ (明るさ)	<p>[EVF自動調光] :</p> <p>撮影している環境に合わせて、自動的にファインダー表示の明るさや情報表示の濃さを調整します。<D>ボタンで設定値を選択します。</p> <p>[Off] / [On]</p> <p>[☼] :</p> <p>明るさを調整します。Δ▽ボタンで設定値を選択します。</p> <p>[-7] ~ [±0] ~ [+7]</p> <p>ⓘ [EVF自動調光]が[On]のときは明るさの変更はできません。</p>

- **INFO**ボタンを押して色温度と明るさを切り換え、それぞれの設定を行います。
- **OK**ボタンを長押しすると設定値をリセットできます。

7

ファインダーに目を近づけたときの動作を設定できます。

メニュー	MENU →  → 3. モニター / 音/接続 → アイセンサーの設定
------	---

EVF自動切換設定	<p>[Off]：ファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには  ボタンを押します。</p> <p>[On]：ファインダーに目を近づけると自動的に表示をファインダーに切り換えます。</p>
EVF自動切換時の動作	<p>ファインダーに目を近づけたときのファインダーの表示を設定します。</p> <p>[画面を維持]：モニターで表示していた画面がファインダーに表示されます。</p> <p>[撮影画面に遷移]：モニターで再生画面やメニューを表示していた場合でも、ファインダーは撮影画面に戻ります。</p>
モニター引き出し時の動作	<p>[有効]：モニターを開いていても [EVF自動切換設定] が [On] のときはファインダーに目を近づけると自動的に表示をファインダーに切り換えます。</p> <p>[無効]：モニターを開いていると、[EVF自動切換設定] が [On] でファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。</p>


  ボタンを押し続けると **[EVF自動切換設定]** の設定画面を表示します。

合焦音を消す

(電子音)

PASMB

AFでピントが合ったときに鳴るピピッと音(合焦音)のオンオフが設定できます。

メニュー	MENU →  → 3. モニター /音/接続 → 電子音
------	--

On	AFで被写体に合焦したとき、ピピッと音が鳴ります。[C-AF]では、最初の合焦時のみ発音します。
Off	AFで被写体に合焦したとき、ピピッと音は鳴りません。


 静音撮影で合焦音を発音するには、[静音撮影設定]の設定が必要です(P.129)。

外部モニターへの出力設定をする

(HDMI接続設定)

PASMB

HDMI接続したモニターに出力する信号の設定をします。モニターの性能に合わせてムービーサイズやフレームレートを設定できます。



メニュー	MENU →  → 3. モニター /音/接続 → HDMI接続設定
------	---

出力サイズ	HDMI端子に出力する映像信号の形式を設定します。 [C4K] : 4Kデジタルシネマ画質(4096×2160)で出力します。 [4K優先] : 4K画質(3840×2160)優先で出力します。 [1080p優先] : フルハイビジョン形式(1080p)優先で出力します。 [720p優先] : ハイビジョン形式(720p)優先で出力します。
出力フレームレート	NTSC地域かPAL地域に合わせて出力する信号のフレームレートを選択します。 [60p優先] : NTSC地域に合わせたフレームレートです。 [50p優先] : PAL地域に合わせたフレームレートです。

① HDMI接続中に、[出力フレームレート]の設定は変更できません。

① 記録されている音声フォーマットに対応している機器以外では、音声は再生されません。


 ムービーモードでHDMI接続した機器に出力する際の詳細設定ができます。


 「HDMI機器への出力設定をする(HDMI出力)」(P.179)

USBケーブル接続時の動作を設定する (USBの設定)

PASMB

カメラをUSBケーブルでパソコンや周辺機器と接続するときの動作を設定します。

メニュー	MENU →  3. モニター /音/接続 → USBの設定
------	---

USB接続モード	<p>[毎回確認]：USBケーブルを接続するたびに接続方法を設定するメニューが表示されます。</p> <p>[ストレージ]：カメラをパソコン用の外部メモリーのように使います。カード内のデータをパソコンに移すことができます。</p> <p>[MTP]：パソコンのソフトウェアを使った画像の取り込みや閲覧をすることができます (P.289)。</p> <p>[ RAW/Control]： パソコン(OM Workspace)からカメラの画像処理エンジンを使ったRAW編集ができます。またOM Captureを使って撮影しながら画像をパソコンに転送したり、パソコンからカメラをコントロールすることができます。</p> <p>詳しくは「パソコンと接続する(USB)」(P.286)をお読みください。</p> <p>[USB PD]：USB PD規格に準拠した機器と接続したときに自動的に給電しない場合に選択してください。</p>
USB通信中給電	<p>パソコンとUSB通信をするとき、カメラに給電を行うかどうかを設定します。</p> <p>[する]：PCに接続されたUSBケーブルをカメラに接続したとき給電を開始します。</p> <p>[しない]：PCに接続されたUSBケーブルをカメラに接続しても給電をしません。</p>

 **[ストレージ]** **[MTP]** **[ RAW/Control]** 選択時にカメラとパソコンをUSB接続すると、給電しながらカメラを使用することができます

7

カメラ本体をセットアップする

電池/スリープの設定

電池の状態を表示する (ステータス表示)

PASMB

カメラに入っている電池の状態を表示します。本体側とパワーバッテリーホルダー側の電池の状態をそれぞれ表示します。

メニュー MENU →  5. 電池/スリープ →  ステータス表示

① 付属のUSB-ACアダプターやUSB PD規格に準拠したUSB機器から給電してカメラを使用しているときは、表示されない項目があります。

電池の使用順序を設定する (使用順序設定)

PASMB

別売のパワーバッテリーホルダー (P.301) を接続したときに優先的に使用する電池を設定します。

メニュー MENU →  5. 電池/スリープ →  使用順序設定

本体側優先 本体側の電池を優先して使用します。

PBH側優先 別売のパワーバッテリーホルダー側の電池を優先して使用します。

ムービー撮影時の電池残量の表示を変える (残量表示)

PASMB

電池残量表示の形式を選択します。残量を%の割合で表示するか撮影可能な時間で表示するかを切り換えます。

- 表示される撮影可能時間は目安としてお使いください。

メニュー MENU →  5. 電池/スリープ →   残量表示

% 電池残量を%で表示します。

min 電池残量を撮影可能時間で表示します。静止画撮影モードのときは、録画中のみ表示されます。

モニターのバックライトを減光する (バックライト時間)

PASMB

一定時間カメラを操作しないとき、モニターのバックライトの明るさを落とす設定をします。バックライトを減光することで電池の消費を抑えることができます。

メニュー	MENU → Y → 5. 電池/スリープ → バックライト時間
8秒 / 30秒 / 1分	選択した時間で減光します。
Hold	モニターは減光しません。

スリープ(省電力)モードを設定する (スリープ時間)

PASMB

一定時間カメラを操作しないとき、スリープ状態に移行する設定をします。スリープ状態では、カメラの動作を停止してモニターも消灯します。

メニュー	MENU → Y → 5. 電池/スリープ → スリープ時間
Off	スリープ状態に移行しません。
1分 / 3分 / 5分	選択した時間でスリープ状態に移行します。

- シャッターボタン半押しで再び動作し始めます。
- ⓘ 以下の動作中は、スリープ状態に移行しません。
多重露出撮影中 / HDMI機器接続中 / スマートフォン接続中(Wi-Fi) / パソコン接続中(Wi-Fi、USB) / リモコン無線接続中 / USB給電中

自動的に電源を切る設定をする (自動電源Off)

PASMB

カメラがスリープ状態に移行した後、さらに一定時間経過すると自動的に電源が切れます。ここでは、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

メニュー	MENU → Y → 5. 電池/スリープ → 自動電源Off
Off	自動的に電源を切りません。
5分 / 30分 / 1時間 / 4時間	選択した時間で自動的に電源が切れます。

- 🔌 自動的に電源オフになった後、カメラを動作させるときは、**ON/OFF**レバーで電源を入れなおしてください。

カメラの電力を抑えて使う設定をする (低消費電力撮影)

PASMB

ファインダー撮影では、さらに消費電力を抑えることができます。バックライトの消灯までの時間やスリープまでの時間を通常よりも短く設定できます。





① 以下の動作中は、低消費電力撮影は働きません。

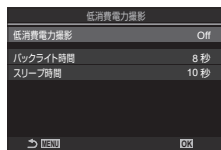
ライブビュー撮影中 / ファインダー点灯中 / 多重露出撮影中 / インターバル撮影中 / HDMI機器接続中 / スマートフォン接続中 (Wi-Fi) / パソコン接続中 (Wi-Fi、USB) / Bluetooth動作中

メニュー

MENU →  → 5. 電池/スリープ → 低消費電力撮影

■ 低消費電力撮影を設定する

- 1  ボタンで [低消費電力撮影] を選択し、 ボタンを押します。
- 2  ボタンで [On] を選択し、 ボタンを押します。



低消費電力設定画面

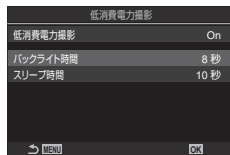
Off	低消費電力状態には移行しません。
On	短時間で、省電力状態に移行します。低消費電力で動作しているときは、モニターにスーパーコンパネが表示されている状態のとき (P.32)、「ECO」が表示されます。

- 3 低消費電力撮影設定画面に戻ります。

■ 低消費電力撮影の各項目を設定する

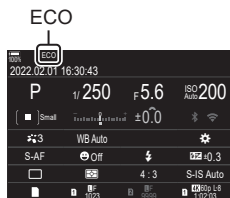
1 各項目を設定します。

- △▽で項目を選択しⓀボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、Ⓚボタンを押すと低消費電力撮影設定画面に戻ります。



バックライト時間	一定時間カメラを操作しないとき、モニターのバックライトの明るさを落とす設定をします。 【3秒】 / 【5秒】 / 【8秒】
スリープ時間	一定時間カメラを操作しないとき、スリープ状態に移行する設定をします。 【3秒】 / 【5秒】 / 【8秒】 / 【10秒】 / 【15秒】 / 【30秒】 / 【1分】

- 低消費電力で動作しているときは、モニターにスーパーコンパネが表示されている状態のとき(P.32)、「ECO」が表示されます。



7


カメラ本体をセットアップする

リセット/日時/言語/その他の設定

カメラの設定を初期状態に戻す (リセット/カメラ初期化)


PASMB

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。ほぼすべての設定を戻すか、撮影に関する機能のみを戻すかの選択ができます。

メニュー	MENU →  6. リセット/日時/言語/その他 → リセット/カメラ初期化
------	--

撮影設定リセット	撮影に関する機能のみをリセットします。
カメラ初期化	日付や言語設定など一部を除き、カメラの設定を初期化します。

 リセットされる機能については、「機能と初期設定一覧」(P.318)をご覧ください。


 OM WorkspaceやOM Image Shareを使って、設定を保存することができます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

7

日付・時刻を設定する (日時設定)

PASMB

日時を設定します。



メニュー	MENU →  6. リセット/日時/言語/その他 → 日時設定
------	---

日時	日付/時刻/日付表示順序の設定をします。◀▶ボタンで項目を選び、△▽ボタンで内容を選びます。
タイムゾーン	タイムゾーンの設定とサマータイムの設定をします。タイムゾーンの設定は△▽ボタンで設定値を選択します。 INFO ボタンを押すと、サマータイムの設定ができます。 INFO ボタンでOn / Offを切り替えます。

カメラで表示する言語を設定する (言語切り換え)

PASMB

機能設定時に表示されるガイドやメニューの言語を選択します。

メニュー	MENU →  6. リセット/日時/言語/その他 → 
------	--

水準器の調整をする

(水準器調整)

PASMB

水準器の角度のずれを調整します。実際の水平、垂直と水準器の表示にずれがある場合などに調整してください。

メニュー	MENU → ! → 6. リセット/日時/言語/その他 → 水準器調整
リセット	工場出荷時の調整値に戻します。
キャリブレーション	基準の位置(ゼロ点)を設定します。基準点(ゼロ点)に設定する状態にカメラを設置して調整します。

画像処理機能をチェックする

(ピクセルマッピング)

PASMB

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けたあとに実行します。

① 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

メニュー	MENU → ! → 6. リセット/日時/言語/その他 → ピクセルマッピング
------	---

ファームウェアのバージョンを確認する

(バージョン)

PASMB

カメラや接続しているレンズ、アクセサリーのファームウェアのバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやカメラのファームウェアのアップデートなどの場合に確認してください。

メニュー	MENU → ! → 6. リセット/日時/言語/その他 → ファームウェアバージョン
------	--

各種認証マークを表示する

(認証マーク表示)

PASMB

カメラが対応している各認証のマークの一部を表示します。

メニュー	MENU → ! → 6. リセット/日時/言語/その他 → 認証マーク表示
------	---

8 外部機器と接続する

このカメラは、パソコンやスマートフォンなどの外部機器と接続することによって、いろいろな使い方ができます。

Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いのときのご注意

使用が禁止されている国や地域、場所では、無線LANおよびBluetooth®を停止させてください。

このカメラは無線LANおよびBluetooth®を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがあります。


国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得をすることは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。


国外へ持ち出す際には、持ち出す国や地域によって、定められた法律があります。あらかじめご確認の上、必ずそれに従ってください。当社では一切の責任は負えません。飛行機内などWi-Fiの使用を禁止されている場所では、機能を停止してください。

🔒 「カメラの無線通信を停止する(機内モード)」(P.263)

- ① 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ① 送受信アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- ① バッグなどにカメラを入れて運ぶ場合、バッグの素材やその他の内容物によってカメラの電波が遮蔽され、スマートフォンと通信できない場合があります。
- ① Wi-Fi接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- ① 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- ① カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていると、一部の無線LAN機能が使用できません。

カメラの無線通信(Wi-Fi/Bluetooth®)を停止することができます。

メニュー	MENU →  4. Wi-Fi/Bluetooth → 機内モード
------	---

Off	無線通信が使用可能です。
On	無線通信を停止します。 [Off] にするまで無線機能は使用できません。 [On] に設定すると画面に  が表示されます。

 **[On]**に設定しても電波式ワイヤレスコマンダー FC-WRとの通信は可能です。

スマートフォンと接続する

本機の無線LAN機能(Wi-Fi)とBluetooth®機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみがいっそう広がります。カメラとスマートフォンを接続しておくと、スマートフォンの操作で画像の転送やリモート撮影、画像に位置情報を付与できます。

- すべてのスマートフォンで動作を保証するものではありません。

専用アプリOM Image Shareを使ってできること

- カメラの画像をスマートフォンへ転送
カメラでシェア予約(P.193)した画像をスマートフォンに取り込むことができます。
また、カメラ内の画像をスマートフォン側で選択して転送できます。
- スマートフォンからリモート撮影
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- 写真をステキに加工
スマートフォンに取り込んだ画像を直感的な操作で印象的な仕上がりにすることができます。
- カメラの画像にGPSタグを追加
スマートフォンのGPS機能を使って、カメラに位置情報やGPSログを転送し、撮影した画像にGPSタグを付与することができます。

詳細は、当社ホームページをご参照ください。

スマートフォンとの接続設定をする

(Wi-Fi接続)

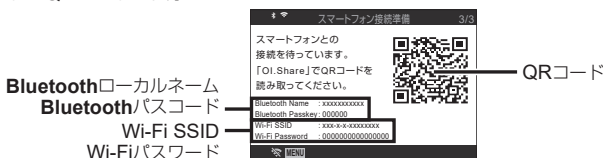
はじめてスマートフォンとカメラを接続する場合は、初期設定が必要です。

- 接続設定は、スマートフォンのOSの設定画面で行わず、アプリ(OM Image Share)の画面に従って行ってください。


スーパーコンパネ	📶
メニュー	MENU → ⓘ → 4. Wi-Fi/Bluetooth → Wi-Fi接続

- ライブビュー撮影時は、モニター画面の📶をタップしても接続できます。

- 1 スマートフォンにインストールした専用アプリOM Image Shareを起動します。
- 2 [スマートフォン接続]を選択してⓧボタンを押します。
- 3 モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi/Bluetooth®接続の準備を進めます。
 - モニターにBluetoothローカルネームとそのパスコード、Wi-Fi SSIDとそのパスワード、QRコードが表示されます。



- 4 スマートフォンのOM Image Shareの画面下部のカメラのアイコンをタップします。
 - [かんたん接続設定]のタブが表示されます。
- 5 OM Image Shareに表示されるガイドに従ってQRコードを読み取り、接続設定を進めます。
 - QRコードを読み取れない場合は、OM Image Shareに表示されるガイドに従って手動で設定する必要があります。
 - Bluetooth®: OM Image Shareに表示されるBluetooth設定画面でカメラのモニターに表示されているローカルネームを選択し、パスコードを入力します。
 - Wi-Fi: OM Image Shareに表示されるWi-Fi設定画面で、カメラのモニターに表示されているSSIDとパスワードを入力して接続します。
 - 接続すると、画面の📶が緑色に変わります。
 - Bluetooth®のアイコンは以下の状態を表しています。
 - 📶点灯: 無線信号発信状態
 - 📶点灯: 無線接続確立状態


6 Wi-Fi接続を終了するには、カメラの**MENU**ボタンを押すか、モニター画面の  **MENU** にタッチします。

- OM Image Shareでカメラの電源をオフにし、接続を終了することもできます。
- カメラの初期設定では、Wi-Fi接続を終了してもBluetooth®接続が維持され、スマートフォンからリモート撮影ができる状態になります。Wi-Fi接続を終了するときBluetooth®接続も終了するように設定するには、**[Bluetooth]**を**[Off]**にします。

電源オン時の無線接続常時受け付けを設定する (Bluetooth)

カメラの電源をオンしている時に、常にスマートフォンや別売のリモコンとの無線接続が可能な状態にするかどうかを設定します。

🔗 あらかじめカメラとスマートフォンまたは別売のリモコンの接続設定を完了させてください。完了していない場合、**[Bluetooth]**は選択できません。

メニュー	MENU →  → 4. Wi-Fi/Bluetooth → Bluetooth
Off	カメラの電源がオンのときの無線接続常時受け付けを解除し、無線信号の発信を停止します。
On🔗	カメラの電源がオンのとき、無線信号が発信され、カメラとスマートフォンは常に接続可能な状態になります。 OM Image Shareの操作だけで、いつでもスマートフォンと無線接続し、リモート撮影や写真転送などが可能になります。
On🔗📷	カメラの電源がオンのとき、無線信号が発信され、カメラと別売のリモコン(P.282)とのペアリングが完了している場合、常に接続可能な状態になります。

🔗 **[On🔗]**設定時、専用アプリOM Image ShareでGPSログを取得していると、カメラは撮影時に位置情報をアプリから受け取り、画像に付与します。

電源オフ時の無線接続設定をする (バックグラウンド通信)

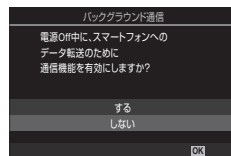
カメラの電源をオフにしているときも、スマートフォンと無線接続するかどうかを設定します。

メニュー	MENU → Y → 4. Wi-Fi/Bluetooth → スマートフォン接続の設定 → バックグラウンド通信
毎回確認	カメラの電源をオフにすると、スマートフォンとの無線接続を有効にするかどうかを確認する画面が表示されます。
Off	カメラの電源をオフにしているとき、スマートフォンとの無線接続を無効にします。
On	カメラの電源をオフにしているときもスマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラ内の画像をスマートフォンに転送したり、スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧できます。

■ 【毎回確認】について

【バックグラウンド通信】を【毎回確認】に設定し、以下の条件がすべて満たされた場合、カメラの電源オフ時に次の確認画面が表示されます。

- 【機内モード】が【Off】になっている
- スマートフォンとの接続設定(P.264)が完了している
- カードが正しく差し込まれている



する	スマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラの電源がオフになります。
しない	スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。

- ① 確認画面の表示中に約1分経過すると、スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。
 - ② スマートフォンとの無線接続を有効にしている場合も、以下の場合は自動で無効になります。一度カメラの電源をオンにすると、再度有効になります。
 - スマートフォンとの通信がないまま12時間経過した場合
 - カードを抜き差しした場合
 - 電池交換をした場合
 - 電池の本体内容充電中に充電エラーが発生した場合
- 🔗 【バックグラウンド通信】が【On】の場合、ON/OFFレバーを**ON**の位置に合わせてもカメラの電源がすぐにオンにならない場合があります。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。📷 「画像の転送予約をする(シェア予約)」(P.193)

- **[Bluetooth]** (P.265)が**[Off]**または**[On🔴]**になっている場合は**[Bluetooth]**を**[On🟢]**にします。
- **[Bluetooth]** (P.265)が**[On🟢]**になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1 OM Image Shareで[写真転送]をタップします。

- ① 一部のスマートフォンではWi-Fi接続の確認画面が表示されます。画面の指示に従って、カメラと接続します。
 - カメラ内の画像が一覧で表示されます。

2 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。
- **[Bluetooth]** (P.265)が**[Off]**または**[On🔴]**になっていても、カメラの**[Wi-Fi接続]**➡**[スマートフォン接続]**からの操作で**[写真転送]**は可能です。

カメラの電源オフ時に自動で画像を転送する

次の準備をしておくと、カメラの電源オフ中に自動でスマートフォンに画像を転送します。

- カメラで画像にシェア予約を設定する(P.193)。
- 電源オフ時の無線接続を有効にする(P.266)。
- スマートフォンがiOSの場合、あらかじめスマートフォンでOM Image Shareを起動しておく。
- カメラで画像にシェア予約を設定し、カメラの電源をオフにすると、OM Image Shareに通知が届きます。通知をタップすると、自動でスマートフォンに画像を転送します。

スマートフォンからリモート撮影する

(ライブビューリモコン)

カメラをスマートフォンから操作して、スマートフォンでライブビューを確認しながらリモート撮影(ライブビューリモコン)ができます。

- カメラ側は接続画面になり、撮影操作はスマートフォン側からすべて行います。
- **[Bluetooth]** (P.265)が**[Off]**または**[On✳]**になっている場合は**[Bluetooth]**を**[On✳]**にします。
- **[Bluetooth]** (P.265)が**[On✳]**になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

- 1 OM Image Shareを起動して、**[リモコン]**ボタンをタップします。
- 2 **[ライブビュー]**をタップします。
- 3 シャッターボタンをタップして撮影します。
 - 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

- **[Bluetooth]** (P.265)が**[Off]**または**[On✳]**になっていても、カメラの**[Wi-Fi接続]**⇒**[スマートフォン接続]**からの操作で**[ライブビュー]**は可能です。
- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

スマートフォンからリモート撮影する

(ワイヤレスリリースリモコン)

カメラをスマートフォンから操作して、リモート撮影(ワイヤレスリリースリモコン)ができます。

- カメラは通常と全く変わらず撮影操作が可能です。加えて、スマートフォンの画面に表示されるシャッターボタンでも静止画撮影／ムービー撮影ができます。
- **[Bluetooth]** (P.265)が**[Off]**または**[On✳]**になっている場合は**[Bluetooth]**を**[On✳]**にします。
- **[Bluetooth]** (P.265)が**[On✳]**になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

- 1 OM Image Shareを起動して、**[リモコン]**ボタンをタップします。
- 2 **[ワイヤレスリリース]**をタップします。
- 3 シャッターボタンをタップして撮影します。
 - 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

- **[Bluetooth]** (P.265)が**[Off]**または**[On✳]**になっていても、カメラの**[Wi-Fi接続]**⇒**[スマートフォン接続]**からの操作で**[ワイヤレスリリース]**は可能です。

画像に位置情報をつける

スマートフォンのGPS機能を使って、カメラが撮影する画像に位置情報を付与することができます。

- **[Bluetooth]** (P.265)が**[Off]**または**[On✕]**になっている場合は**[Bluetooth]**を**[On✕]**にします。
- **[Bluetooth]** (P.265)が**[On✕]**になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1 カメラで撮影を始める前に、スマートフォンでOM Image Shareを起動して位置情報付与のスイッチをオンにします。

- スマートフォンとカメラの時刻を同期する必要があると表示された場合は、OM Image Shareのガイドに従ってください。

2 カメラで撮影します。

- 位置情報の付与が可能になっている時は、撮影画面に✕が点灯します。✕が点滅しているときは、位置情報を取得できていません。
- カメラの電源を入れた直後や、カメラがスリープ状態から再開した直後は、位置情報の付与が可能になるまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影画面に✕が点灯しているときに撮影した画像には、位置情報が付与されます。
- 位置情報が付与された画像には、✕が表示されます。
- ムービーには位置情報は付与されません。

3 カメラで撮影が終わったら、OM Image Shareで位置情報付与のスイッチをオフにします。

スマートフォン接続設定を初期化する

(スマートフォン接続設定リセット)

スマートフォンとの接続設定を初期化します。

メニュー	MENU → i → 4. Wi-Fi/Bluetooth → スマートフォン接続の設定 → スマートフォン接続設定リセット
------	--

☞ 次のメニュー項目が初期化されます。

[スマートフォン接続パスワード] (P.270) / [バックグラウンド通信] (P.266)

☞ スマートフォンと接続するには、再度初期設定を行ってください(P.264)。

パスワードを変更する (スマートフォン接続パスワード)

Wi-Fi/Bluetooth®接続で使うパスワードを変更します。

メニュー	MENU → ⓘ → 4. Wi-Fi/Bluetooth → スマートフォン接続の設定 → スマートフォン接続パスワード
------	---

1 操作ガイドに従ってⓄボタンを押します。

- 新しいパスワードに設定されます。

🔗 Wi-Fi接続のパスワードとBluetooth®接続のパスコードが両方とも変更されます。

🔗 パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。🔗 「スマートフォンとの接続設定をする(Wi-Fi接続)」(P.264)

パソコンと接続する(Wi-Fi)

カメラとパソコンをWi-Fi接続します。パソコンが接続している家庭内LANなどのネットワークにルーターを経由してWi-Fi接続することができます。

8

ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンをWi-Fi接続するためには、OM Captureを使います。

OM Capture

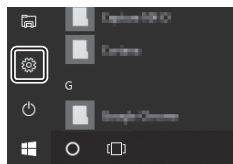
パソコンが接続しているネットワークにWi-Fi接続しているカメラから、パソコンに撮影データを自動的に転送して画像の確認ができます。ソフトウェアの詳細やダウンロードについては、当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

画面の指示に従ってインストールしてください。ソフトウェアの動作環境、インストール方法は当社ホームページでご確認ください。

WindowsOSのパソコンで、Wi-Fiでパソコンと接続するための準備

WindowsOSのパソコンで、アクセスポイント接続したカメラを認識できない場合は、以下の手順でカメラを手動で認識させてください。

- 1 パソコンのデスクトップの[スタート]をクリックしてスタートメニューの画面を表示します。
- 2 ⚙️(設定)をクリックして、[Windowsの設定]の画面を表示します。
- 3 [デバイス]をクリックして、[Bluetoothとその他のデバイス]の画面を表示します。



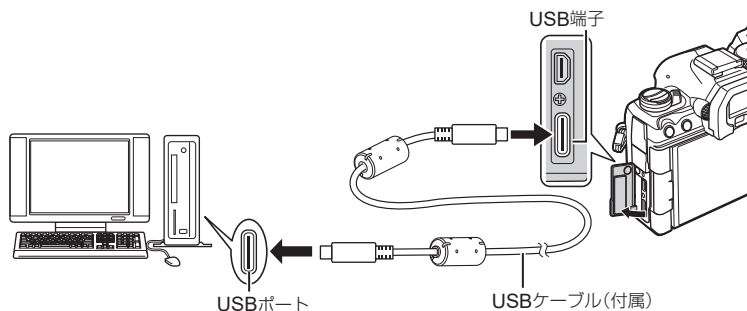
- 4 [Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]をクリックします。
- 5 [+その他すべて]をクリックします。
 - [デバイスを追加する]の画面が表示され、しばらく待つと[OM-1]が表示されます。
- 6 [OM-1]をクリックします。
 - 準備が完了したメッセージが表示されたら、[完了]をクリックして終了します。

接続するパソコンをカメラに登録する (新規ペアリング)

接続を許可するカメラとパソコンをお互いに登録します。カメラ側は、接続するパソコンの情報を4台まで登録できます。パソコンの登録は、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続して行います。この設定は、カメラが接続するパソコンごとに1回だけ必要です。

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

- カメラとUSBケーブルを接続するときは、端子の破損を防ぐために付属のケーブルプロテクターとケーブルクリップをご使用ください。☞「ケーブルプロテクターを取り付ける」(P.17)



- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコン側のUSBポートがタイプAの時は、CB-USB11 (別売)をご使用ください。

2 カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- ☞画面が表示されないときは、[USB接続モード] (P.255)を[毎回確認]に設定してください。
- ① 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

3 △▽で[RAW/Control]を選択し、OKボタンを押します。



4 パソコンにインストールしたOM Captureを起動します。

- ソフトウェアが起動すると、使用する接続方法を確認する画面がパソコンに表示されます。



5 [新規ペアリング]右側の[+]をクリックします。

- 接続画面のまま変化がない場合は、カメラを接続しなおしてください。



- カメラに登録するパソコンの名前を入力します。初期状態では、パソコンの「コンピューター名」が表示されます。
- カメラに登録できる名前は、半角英数字で最大15文字までです。



6 OM Captureの画面の[設定]をクリックします。

- 完了のメッセージが表示されたら、メッセージに従ってカメラを取り外してください。



- 複数のパソコンと接続する場合は、それぞれのパソコンでこの操作を行ってください。
- カメラが記憶しているパソコンの登録情報は、OM Captureから確認したり削除することができます。

カメラに登録したパソコンが接続しているネットワークにWi-Fi接続するための設定をします。

カメラとパソコンをWi-Fi接続するために、カメラとルーターまたはアクセスポイントに接続するための設定をします。カメラに複数のアクセスポイントの設定を記憶させておき、選択して使うことができます。【Wi-Fi接続】の設定には以下の方法があります。

WPSで接続	自動設定機能を使って接続します(P.275)。 WPSに対応したルーターやWi-Fiアクセスポイントをお使いのときは、機器のWPS用ボタンを押すだけで接続設定ができます。 【PBC方式】：WPS用ボタンの操作のみで設定します。アクセスポイントのWPS用ボタンを押して自動的に接続させます。 【PIN方式】：個人暗証番号認証モードで設定します。カメラに表示されるPINコードをアクセスポイントに登録します。
アクセスポイント一覧から接続	アクセスポイントを検索して接続先を選択します(P.277)。 接続可能なアクセスポイントを検索して、パスワードを入力して接続します。
手動設定で接続	手動設定で接続します(P.276)。 SSIDなどアクセスポイントの情報を手動で設定し、接続します。

- WPSを使うには、お使いのルーターやアクセスポイントがWPSに対応している必要があります。
- WPSでPINコード方式で設定するときは、アクセスポイントと接続できる管理用パソコンが必要です。
- 手動設定には、接続するWi-Fiネットワークの情報が必要です。
- 以下のルーター、アクセスポイントに接続できます。
 - 規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac
 - 周波数帯域：2.4GHz、5GHz
 - セキュリティ：WPA2、WPA3
- 一度接続したアクセスポイントの情報は、カメラ内に8件まで記憶されます。2回目以降の接続では、一度接続したことのあるアクセスポイントに自動的に接続できます。
- カメラ内に記憶しているアクセスポイントが8件を超えると、最も長い間使われていない情報が上書きされます。
- MACアドレスが同じアクセスポイントの情報は、カメラでは上書きされて記憶されます。
- ご使用のルーター、アクセスポイントの操作については各機器の取扱説明書をお読みください。
- 【リセット/カメラ初期化】(P.260)で【カメラ初期化】を実行しても、アクセスポイントの情報はリセットされません。【Wi-Fi PC接続の設定】(P.279)の【Wi-Fi PC接続設定リセット】で行います。

■ カメラのWi-Fi機能を有効にする

ネットワークの設定の前にカメラのWi-Fi機能を有効にしておく必要があります。【機内モード】(P.263)が【On】になっているときは、【Off】にしてください。

■ 自動接続を使う(WPSで接続)

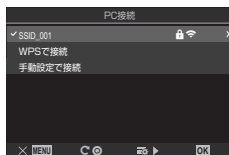
カメラとルーターまたはアクセスポイントのWPS機能を使って接続設定をします。

メニュー	MENU → Y → 4. Wi-Fi/Bluetooth → Wi-Fi接続
------	--

- 1 △▽ボタンで【PC接続】を選択し、**OK**ボタンを押します。
 - 【PC接続】のメニューが表示されます。
- 2 △▽ボタンで【WPSで接続】を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 △▽ボタンで設定に使う方式を選択し、**OK**ボタンを押します。
 - 【PBC方式】を選択したときは、アクセスポイントのWPS用ボタンを押してください。
 - カメラの**OK**ボタンを押すと接続を開始します。
 - 接続開始してから完了までに時間がかかる場合があります。
 - 【PIN方式】を選択したときは、カメラのモニターに表示されるPINコードをアクセスポイントに設定してください。アクセスポイント側で準備ができれば、**OK**ボタンを押します。

- 4 アクセスポイントに接続ができれば、アクセスポイントの登録画面が表示され、接続しているアクセスポイントの名前に**✓**が表示されます。

- 事前に登録したパソコンが複数あるときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に、接続するパソコンの選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択して**OK**ボタンを押してください。
- 選択したパソコンからのみ、カメラと接続できます。別のパソコンを選択する場合は、一度Wi-Fi接続を切断してください。
- 接続に失敗するとモニターにメッセージが表示されたあと、手順3の画面が表示されます。もう一度操作を行ってください。



- 5 **OK**ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- 通常の撮影画面に戻ります。モニターのWi-Fiアイコンが緑色に変わります。



■ 手動で接続する(手動で接続)

ネットワークの情報を手動で設定します。

メニュー	MENU → Y → 4. Wi-Fi/Bluetooth → Wi-Fi接続
SSID	アクセスポイントのSSIDを入力します。
セキュリティ	ワイヤレスネットワークの暗号化の方式を選択します。
パスワード	暗号化されたワイヤレスネットワークに接続するためのパスワードを設定します。
IPアドレス割当	ネットワーク内のDHCPサーバーからのIPアドレスの自動取得を行うかどうかを設定します。
IPアドレス	カメラのIPアドレスを固定して使用するときを設定します。接続するネットワークの設定に合わせます。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS	

1 △▽ボタンで[PC接続]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- [PC接続]のメニューが表示されます。

2 △▽ボタンで[手動設定で接続]を選択し、**OK**ボタンを押します。

3 △▽ボタンで各項目を選択し、**OK**ボタンを押します。

- それぞれの項目の設定をします。

SSID	接続先のSSIDを入力します。
セキュリティ	暗号化の方式を選択します。[なし] / [WPA2/WPA3] / [WPA3]を選択します。
パスワード	[セキュリティ]で[WPA2/WPA3]または[WPA3]を選択した場合は、ネットワークパスワードを入力します。
IPアドレス割当	[自動(DHCP)]か[手動]かを選択します。IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントを使用している環境で、IPアドレスが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
IPアドレス	[IPアドレス割当]で[手動]を選択した場合は、値を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS	

4 △▽ボタンで[接続開始]を選択し、**OK**ボタンを押します。

5 アクセスポイントに接続ができれば、アクセスポイントの登録画面が表示され、接続しているアクセスポイントの名前に✔が表示されます。

- 事前に登録したパソコンが複数あるときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に、接続するパソコンの選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択してⓄボタンを押してください。
- 選択したパソコンのみ、カメラと接続できます。別のパソコンを選択する場合は、一度Wi-Fi接続を切断してください。
- 接続に失敗するとモニターにメッセージが表示されたあと、手順4の画面が表示されます。もう一度操作を行ってください。



6 Ⓞボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- 通常の撮影画面に戻ります。モニターのWi-Fiアイコンが緑色に変わります。



■ アクセスポイントを検索して接続する(アクセスポイント一覧から接続)

接続できるアクセスポイントをカメラが検索して、その中から選択して接続します。

メニュー	MENU → Y → 4. Wi-Fi/Bluetooth → Wi-Fi接続
------	---

1 △▽ボタンで[PC接続]を選択し、Ⓞボタンを押します。

- [PC接続]のメニューが表示されます。

2 △▽ボタンで[アクセスポイント一覧から接続]を選択し、Ⓞボタンを押します。

- 接続できるアクセスポイントが表示されます。

3 △▽ボタンで接続するアクセスポイントを選択し、Ⓞボタンを押します。

- セキュリティパスワードが必要なアクセスポイントのときは、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してⓄボタンを押します。
- アクセスポイントを選択して▶ボタンを押すと、[詳細設定]が選択できます。IPアドレスなどを手動で設定する場合に使います。
- Ⓞボタンを押すと、アクセスポイントを再検索して一覧を更新します。

4 アクセスポイントに接続ができれば、アクセスポイントの登録画面が表示され、接続しているアクセスポイントの名前に✔が表示されます。

- アクセスポイントが暗号化されているときは🔒が表示されます。
- 事前に登録したパソコンが複数あるときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に、接続するパソコンの選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択して、Ⓞボタンを押してください。
- 選択したパソコンのみ、カメラと接続できます。別のパソコンを選択する場合は、一度Wi-Fi接続を切断してください。
- 接続に失敗するとモニターにメッセージが表示されたあと、手順3の画面が表示されます。もう一度操作を行ってください。



5 Ⓞボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- 通常の撮影画面に戻ります。モニターの📶が緑色に変わります。



💡 2回目以降に接続するときは

- モニター画面の📶から【PC接続】を選択すると、一度接続したアクセスポイントに自動的に接続されます。ネットワークパスワードの入力は不要です。
- アクセスポイントが複数表示されたときは、最近使用したアクセスポイントから優先して接続します。
- アクセスポイントに接続したら、アクセスポイントの一覧画面が表示されます。接続しているアクセスポイント名に✔が付きます。
- 他のアクセスポイントに接続する場合は、表示されているほかのアクセスポイントを選択してⓄボタンを押します。
- 接続するパソコンが複数登録されているときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択して、Ⓞボタンを押します。

■ MACアドレスを表示する／パソコンとのWi-Fi接続の設定をリセットする(Wi-Fi PC接続の設定)

カメラのWi-Fi接続用MACアドレスを表示したり、パソコンとのWi-Fi接続の設定をリセットすることができます。

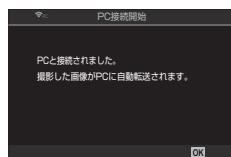
メニュー	MENU → 📶 → 4. Wi-Fi/Bluetooth → Wi-Fi PC接続の設定
Wi-Fi MACアドレス	カメラのWi-Fi接続用MACアドレスを表示します。
Wi-Fi PC接続設定リセット	ペアリングしたパソコンのや接続したアクセスポイントの情報を消去します。

撮影しながらパソコンに画像を転送する

カメラと接続したネットワークのパソコンに撮影をしながら画像を転送します。「接続するパソコンをカメラに登録する(新規ペアリング)」(P.272)に従って、カメラとパソコンを接続しておきます。

1 カメラを接続したいパソコンでOM Captureを起動します。

- 接続方法を入力する画面が表示されたら、**[Wi-Fi接続]**をクリックします。
- カメラを認識すると画面に**[カメラが接続されました。]**と表示されます。
- カメラが正しくパソコンと接続できたら、カメラで右の画面が表示されます。



2 OM Captureで、撮影画像の自動転送の設定をします。

- カメラのスロット1、2それぞれに記録される画像、またはムービーからどの種類のデータを自動転送するかを設定します。
- 転送されるデータのパソコン内での保存先を設定します。



OM Captureの
コントロールウィンドウ

3 カメラで撮影をします。

- 撮影された画像はカードに記録されると共にパソコンへ転送されます。
- 画像転送中は、画面にアイコン(PC)が表示されます。
- パソコンと接続後に、撮影された画像やムービーのみ転送されます。カメラのWi-Fi起動前に撮影したデータは転送されません。
- 未転送のデータは、1スロットにつき3000件まで保持されます。

画像転送中



🔗 アクセスポイント接続中は、以下の制限があります。

- カメラはスリープ状態にはなりません。
- インターバル撮影はできません。
- 画像再生のときに使える操作に一部制限があります。

🔗 パソコンやアクセスポイントから切断されたときは、**[PC接続終了]**の画面が表示されま
す。接続しなおすと、未転送のデータを転送できます。未転送のデータがあるときに以
下の操作を行うと、残りのデータは転送されません。

- カメラでWi-Fi切断の操作を行ったとき
- カメラの電源をオフにしたとき
- 転送中のカードスロットからカードを抜いたとき

🔗 OM Captureで**[カメラコントロールモードのカメラを検出できませんでした。]**と表示さ
れる場合は、以下の点をご確認ください。

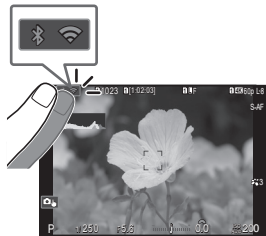
- カメラに接続するパソコンの登録ができていない
- アクセスポイントに接続したときに、選択したパソコンが間違っている
- WindowsOSのパソコンで、デバイスが登録されていない 📶 「WindowsOSのパソコンで、Wi-Fiでパソコンと接続するための準備」(P.271)

アクセスポイントとの接続を終了する

Wi-Fi通信を切断します。国や地域によっては使用できない場合もあるので、そのときは通信機能を停止してください。

■ 接続中の通信を停止する

1 カメラのモニター画面の📶にタッチします。



- 切断の確認画面が表示されます。
- 画面には、接続中のアクセスポイントのSSIDが表示されます。



2 △▽で【切断する】を選択し、ⓧボタンを押します。

- 接続が切断され撮影画面に戻ります。
- 転送が終わっていないデータがあるときは、確認画面が表示されます。切断するときは、【実行】を選択してⓧボタンを押します。

3 再度、接続するときは、画面の📶にタッチするか、【Wi-Fi接続】で【PC接続】を選択してⓧボタンを押します。

- 登録済みのアクセスポイントと接続するときは自動的に検索して接続します。
- 他のアクセスポイントへ接続先を切り換えるときは、手順2で【切断しない】を選択してⓧボタンを押します。「アクセスポイントを検索して接続する(アクセスポイント一覧から接続)」(P.277)の設定と同様に接続可能なアクセスポイントに表示される中から接続先を選択して各項目の設定をしてください。
- データ転送中にカメラの電源をオフにすると、Wi-Fi通信をすぐに切断して電源をオフにするか、データの転送後に電源をオフにするかを選べます。

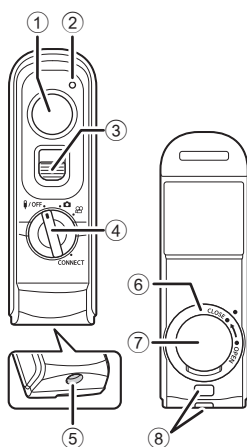
■ Wi-Fi/Bluetooth®機能を停止する

【機内モード】(P.263)を【On】にしてください。無線通信が停止します。

リモコンを使う

カメラを別売のリモコン(RM-WR1)から操作して、リモート撮影ができます。

各部の名称



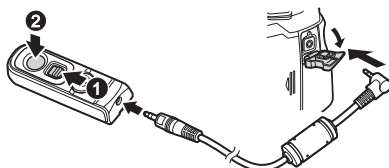
- ① シャッターボタン
- ② 通信ランプ
- ③ シャッターボタンロックレバー
- ④ モードダイヤル(/ / /)
- ⑤ ケーブル端子
- ⑥ 電池蓋
- ⑦ 電池カバー
- ⑧ ストラップ取り付け部

8

外部機器と接続する

接続する

■ 有線で接続する



リモコンのモードダイヤルを に合わせ、リモコンとカメラを付属のケーブルで接続します。

シャッターボタンを押して静止画撮影します。



ムービー撮影時は、あらかじめ【 シャッターボタン機能】(P.215)を【 REC】に設定してください。

① 有線接続時には無線操作ができません。

シャッターボタンロックレバーを上スライドさせてシャッターボタンを押すと、バルブ撮影などを行うことができます(①、②)。

■ 無線で接続する

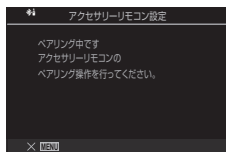
リモコンを無線で接続するときは、まずカメラとリモコンのペアリング(機器同士の接続・登録)が必要です。


メニュー	MENU →  → 4. Wi-Fi/Bluetooth → アクセサリーリモコン設定
ペアリング開始	画面の指示に従って操作してください。ペアリングが完了すると、 [Bluetooth] が [On] に設定されます。
ペアリング解除	[実行] を選択して  ボタンを押すと、ペアリングが解除されます。

1 **[ペアリング開始]**を選択して  ボタンを押します。

2 **[ペアリング中]**のメッセージが表示されたら、リモコンのモードダイヤルを**CONNECT**に合わせて保持します。

- 3秒間保持するとペアリングが開始されます。ペアリングが完了するまで**CONNECT**の位置で保持してください。完了する前にモードダイヤルを動かすとペアリングが中止され、通信ランプが高速で点滅します。
- ペアリングが開始すると通信ランプが点灯します。



3 接続完了のメッセージが表示されたら、 ボタンを押して終了します。

- ペアリングが完了するとリモコンの通信ランプが点灯します。
 - ペアリングが完了するとカメラの**[Bluetooth]** (P.265)が自動的に**[On]**に設定されます。
- ① 接続完了のメッセージが表示される前にリモコンのモードダイヤルを動かしたり、カメラの**MENU**ボタンを押したりすると、ペアリング動作は中止します。接続済みのペアリング情報は初期化されます。再度ペアリングを行ってください。
- ② ペアリングされていない状態でモードダイヤルを**CONNECT**の位置に合わせて3秒間保持したとき、またはペアリングに失敗したときは、接続済みのペアリング情報は初期化されます。再度ペアリングを行ってください。






■ ペアリングを解除する



- 1 [ペアリング解除]を選択して \odot ボタンを押します。
- 2 [実行]を選択して \odot ボタンを押します。

① 以前に接続したのとは違うリモコンとペアリングするときは、[ペアリング解除]を実行して以前のペアリング情報を初期化する必要があります。

リモコンからリモート撮影する



PASMB

カメラとリモコンを無線で接続するときは、[Bluetooth] (P.265)が[On ]になっていることを確認してください。[On ]のときは画面に  が表示され、カメラの電源オンと同時にリモコンとの無線通信が常時待機状態になります。

- 1 リモコンのモードダイヤルを  または  に合わせます。



- 2 リモコンのシャッターボタンを押して撮影します。

- リモコンのモードダイヤルが  (静止画撮影モード) のとき、リモコンのシャッターボタンを1段目まで浅く押し込むと(半押し)、合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑色の枠(AFターゲット)が表示されます。
- リモコンのモードダイヤルを  (ムービー撮影モード) のとき、リモコンのシャッターボタンを押すと、ムービー撮影を開始します。ムービー撮影を終了するときは、再度リモコンのシャッターボタンを押します。



シャッターボタン

■ リモコンの通信ランプの表示

1回点灯	リモコンの操作が正常にカメラに送信されています。
高速点滅(1秒)	リモコンの操作が正常にカメラに送信されていません。カメラとリモコンの距離を近づけてください。それでも解消しない場合は、カメラの設定を確認してください。
高速点滅(3秒)	カメラとリモコンのペアリングに問題があります。再度ペアリングを行ってください。
点灯しない	次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • リモコンの電池がない • リモコンのモードダイヤルが\mathbb{I}/OFFの位置になっている • カメラとリモコンがケーブルで接続されている

- ① **[Bluetooth]** (P.265)が \mathbb{I} /**On**になっても、カメラの**[スマートフォン接続]**からの操作でスマートフォンとの接続機能は動作可能です。ただし、スマートフォンとの接続中は、リモコンから操作できません。
- ① **[機内モード]** (P.263)が \mathbb{I} /**On**のときは、ペアリングやリモコンからのリモート撮影はできません。
- ① リモコンを無線で接続中はカメラはスリープモードには入りません。
- ① リモコンのモードダイヤルを \mathbb{I} /**OFF**にすると、**[スリープ時間]** (P.257)の設定に従ってスリープモードに入ります。
[Bluetooth] (P.265)が \mathbb{I} /**On**のときは、リモコンのモードダイヤルを \mathbb{I} /**OFF**にしないと、カメラはスリープモードには入りません。
- ① カメラがスリープ状態のときにリモコン操作をした場合、カメラの動作再開まで時間がかかります。
- ① カメラがスリープ状態から動作再開までの間はリモコンの操作を受け付けません。カメラの動作再開後にリモコンの操作を行ってください。
- ① リモコン使用後はリモコンのモードダイヤルを \mathbb{I} /**OFF**にしてください。

リモコンのMACアドレスについて

リモコンのMACアドレスは、リモコンに同梱の保証書に記載されています。

リモコンの使用上のご注意

- 電池カバーを引っ張ったり、電池カバーを持って電池蓋を回さないでください。
- 電池を尖ったもので突かないでください。
- ケーブルを持ってリモコンを振り回したり、落下させないでください。
- 付属のケーブルのプラグや、リモコンのケーブル端子が濡れていると無線操作が正常に動作しない、有線接続時の動作が不安定になることがあります。
- 電池蓋を閉めるときは、異物が付着していないことを確認してください。
- ケーブルを抜き差しするときはモードダイヤルを \mathbb{I} /**OFF**にしてください。

パソコンと接続する(USB)

カメラとパソコンをUSBケーブルで直接接続します。

ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンを直接USB接続して使うときには、以下のソフトウェアをインストールしてください。

OM Capture

カメラで撮影しながら、撮影データをパソコンに自動的に転送して確認したり、パソコンからカメラのコントロールができます。ソフトウェアの詳細やダウンロードについては、当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

画面の指示に従ってインストールしてください。ソフトウェアの動作環境、インストール方法は当社ホームページでご確認ください。

OM Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェアです。OM WorkspaceのRAW編集で、カメラのエンジンを使って高速処理ができるようになりました。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

画面の指示に従ってインストールしてください。ソフトウェアの動作環境、インストール方法は当社ホームページでご確認ください。

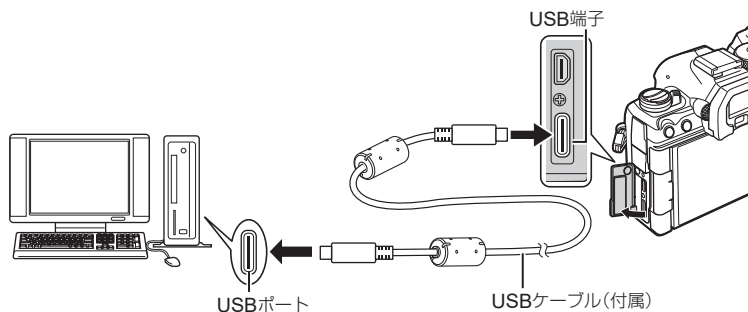
撮影しながらパソコンに画像を転送する (RAW/Control)

PASMB

カメラと直接USB接続したパソコンに、撮影をしながら画像を転送します。カメラで撮影するほかに、パソコンからカメラをコントロールしながら撮影することができます。

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

- カメラとUSBケーブルを接続するときは、端子の破損を防ぐために付属のケーブルプロテクターとケーブルクリップをご使用ください。☞「ケーブルプロテクターを取り付ける」(P.17)



- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコン側のUSBポートがタイプAの時は、CB-USB11 (別売)をご使用ください。

2 カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- ☞画面が表示されないときは、**[USB接続モード]** (P.255)を**[毎回確認]**に設定してください。
- ⚠電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

3 △▽で[RAW/Control]を選択し、OKボタンを押します。



4 あらかじめパソコンにインストールしたOM Captureを起動します。

- 接続方法を入力する画面が表示されたら[USB接続]をクリックします。



USB接続

5 OM Captureで画像の取り込み設定をします。

- 転送されるデータのパソコン内での保存先を設定します。

6 カメラまたはパソコンを使って撮影をします。

- 撮影された画像は、設定に従ってパソコンに転送されます。
- ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。
- パソコンからカメラの撮影モードの変更はできません。
- パソコンからカード内の画像の削除はできません。
- カメラとパソコンの両方でライブビュー表示をしているときは、カメラ側の表示のフレームレートの低くなる場合があります。
- 以下の操作が行われたときは、パソコンとの接続状態は終了します。
 - OM Captureを終了したとき
 - カードの抜き差しをしたとき
 - カメラの電源をオフにしたとき

カメラをパソコンに接続し高速にRAW編集する

( RAW/Control)

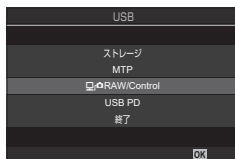
カメラとパソコンを接続してRAW編集を行うと、パソコン単独で行うよりも高速で処理することができます。

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

2 カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 画面が表示されないときは、[USB接続モード] (P.255)を[毎回確認]に設定してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

- 3 ▲▼で[RAW/Control]を選択し、OKボタンを押します。



- 4 あらかじめパソコンにインストールしたOM Workspaceを起動します。
- 5 現像したい画像を選択します。

- ・接続中のカメラで撮影された画像のみが対象です。
- ・接続したカメラに挿入されているSDカード内の画像は選択できません。

- 6 RAW編集をします。

- ・カメラで設定可能な撮影パラメータを変更してRAW編集が行えます。
- ・保存フォーマットはJPEGとなります。
- ・USB RAW編集に移行した際は、これまでの編集ウィンドウで設定されていた編集内容は引き継がれません。
- ・2台のカメラを同時に接続してUSB RAW編集をすることはできません。
- ・ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

パソコンに画像を取り込んで保存する (ストレージ / MTP)

カメラを外付けハードディスクなどと同じようにストレージとしてパソコンに接続します。カードのデータを転送できます。

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

- 2 カメラの電源を入れます。

- ・カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- ・画面が表示されないときは、【USB接続モード】(P.255)を【毎回確認】に設定してください。
- ・電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

- 3 ▲▼を押して【ストレージ】または【MTP】を選択します。OKボタンを押します。

【ストレージ】: パソコンにカードリーダーとして接続します。

【MTP】: パソコンにポータブルデバイスとして接続します。



4 カメラが新しい機器としてパソコンに認識されず。

- ① USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン／
工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン／自作パソコン
- ① パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- ① パソコンに認識されない場合は、一度USBケーブルを抜いてから、再度パソコンに接続してください。
- ① 「MTP」を選択したときは、4GBを超える動画ファイルを取り込むことはできません。

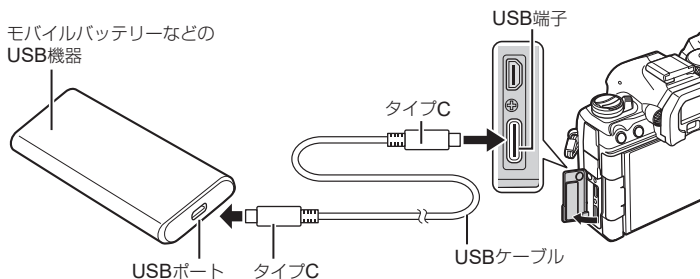
USB機器から給電する(USB PD)

USB PD規格に準拠したモバイルバッテリーやUSB-ACアダプターなどのUSB機器から給電して、カメラを動作させることができます。以下の条件の機器が使用できます。

規格：USB PD規格準拠


出力：27W以上(9V 3A, 15V 2A, 15V 3A)

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとUSB機器をUSBケーブルで接続します。



- USB機器との接続方法は機器によって異なります。使用する機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器によってはUSB給電(USB-PD)を使用できない場合があります。使用するUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- 2 カメラの電源を入れます。

- 接続したUSB機器からの給電でカメラが動作します。
- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されたときは、**[USB PD]**を選択してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをUSB機器に接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。
- USB機器からの給電中は、**USB**  が表示されます。

外部モニター（テレビ）と接続する(HDMI)

カメラとテレビをHDMIケーブルで直接接続して、画像を表示できます。再生画像をテレビに表示して、大勢で楽しむことができます。



ムービー撮影のためにHDMIケーブルで外部モニターやレコーダーと接続して使うこともできます。

- HDMIケーブルは、市販品を別途ご用意ください。また、HDMI正規認証のHDMIケーブルをお使いください。
- **[画質モード]**が画像サイズ：**[4K]**、再生フレームレート：**[60p]**でお使いになるときは、HDMI 2.0以降のHDMIケーブルをお使いください。

8

カメラの画像やムービーをテレビで見る (HDMI)

カメラをハイビジョン対応のテレビにHDMIケーブルで直接接続して、画像をテレビに表示します。

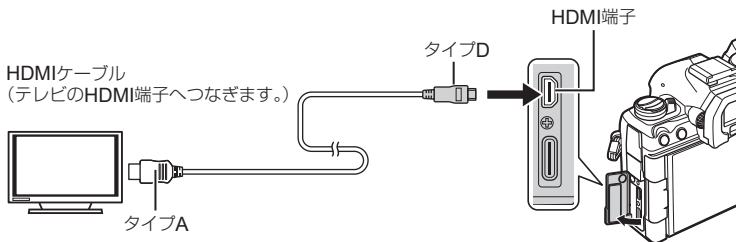
出力信号の設定は「外部モニターへの出力設定をする(HDMI接続設定)」(P.254)を参照してください。

■ カメラをテレビに接続する

HDMIケーブルでカメラとテレビを接続します。

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとテレビをHDMIケーブルで接続します。

- カメラとHDMIケーブルを接続するときは、端子の破損を防ぐために付属のケーブルプロテクターとケーブルクリップをご使用ください。☞ 「ケーブルプロテクターを取り付ける」(P.17)



2 テレビの入力を切り換えてカメラの電源を入れます。

- テレビにカメラのモニターの映像が表示されます。撮影した画像を見るときは、▶ ボタンを押します。

- ① テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- ① テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見ることがあります。
- ① パソコンとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。
- ① [☞ HDMI出力] (P.179)の[出力モード設定]が[記録モード]のときは、設定されているムービー画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビやケーブルが対応していない場合は、画像は表示されません。
- ① 静止画撮影状態のときは信号形式を[4K優先]または[C4K]にしているも、1080p優先で出力されます。

9 ご注意

本製品の防塵/防滴性能について

- 本製品は保護等級3級(IPX3)の防滴性能を有しています(当社のIPX3以上の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します)。
- 本製品は保護等級5級(IP5X)の防塵性能を有しています(当社試験方法による)。

■ 使用上のご注意

- 衝撃を加えた後は、防滴/防塵性能を保てない場合があります。
- 電池カバー/カードカバーおよび各端子/コネクタなどのカバーのパッキンとその接触面、カメラとレンズのマウント部、カメラとパワーバッテリーホルダーの接続部にゴミや砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は繊維くすの出ない清潔な布で取り除いてください。
- 防滴/防塵性能の確保のため、ご使用前に必ずフタ・カバーをしっかりと閉め、レンズを取り付けてください
- 濡れた状態での操作やカバーの開閉、レンズの着脱はしないでください
- 防滴性能を有するレンズ・アクセサリ装着時に防滴性能が確保されます。組み合わせにご注意ください。
組み合わせについては、当社ホームページをご確認ください。

■ お手入れ

- 水がついた後は乾いた布で十分にふき取ってください
- 砂などが付着した場合は十分に取り除いてください

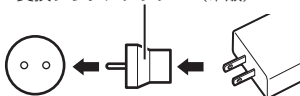
電池についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使います。当社純正の充電電池以外は使えません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - パソコンとの接続時(USB給電中以外)。
 - 無線LAN/Bluetooth[®]機能を有効にする。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に充電を行ってください。
- 長期間(1ヶ月以上)カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- 付属のUSB-ACアダプターによる充電電池の充電時間は、通常約2時間30分(目安)です。
- 付属の電池は専用のUSB-ACアダプターまたは充電器以外では使用しないでください。また、付属のUSB-ACアダプターは専用の電池以外に使用しないでください。
- 指定以外の電池を使った場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」(P.342)に従って廃棄してください。

海外での使用について

- USB-ACアダプターは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター（市販）は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

変換プラグアダプター（市販）



- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、USB-ACアダプターが故障することがありますので使用しないでください。

交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを交換します。M.ZUIKO DIGITAL という商品名、または右のマークのついている「マイクロフォーサーズシステム専用」の交換レンズが使えます。



また、フォーサーズシステムのレンズを使うこともできます。その場合は別売のアダプターが必要です。

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- ほこりの多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けしないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

■ レンズとカメラの組み合わせ

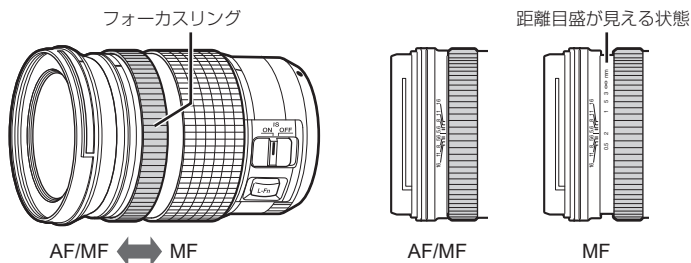
レンズ	カメラ	装着	AF	測光
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	マイクロフォーサーズマウント規格カメラ	可	可	可
フォーサーズマウント規格レンズ		マウントアダプター装着で可	可*1	可

*1 星空AFやムービー撮影中、拡大表示中のAFは動作しません。

MFクラッチを搭載したレンズについて

MFクラッチ(マニュアルフォーカスクラッチ)機構を搭載したレンズでは、フォーカスリングの位置を変えることによって、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- お使いになる前に、フォーカスリングの状態を確認してください。
- フォーカスリングをAF/MFの位置(レンズ先端側)にするとオートフォーカスになり、MFの位置(カメラボディ側)にするとカメラのAF方式の設定に関わらずマニュアルフォーカスになります。



- **[MFクラッチ]** (P.101)を**[無効]**にした場合、フォーカスリングをMFの位置にしてもマニュアルフォーカス操作することはできません。

SET機能/CALL機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示

SET機能でピント位置を記憶したときに「●Set」が、CALL機能でピント位置を呼び出したときに「●Call」がカメラのモニターに表示されます。

SET機能/CALL機能の詳細については、ご使用のレンズの取扱説明書をご覧ください。

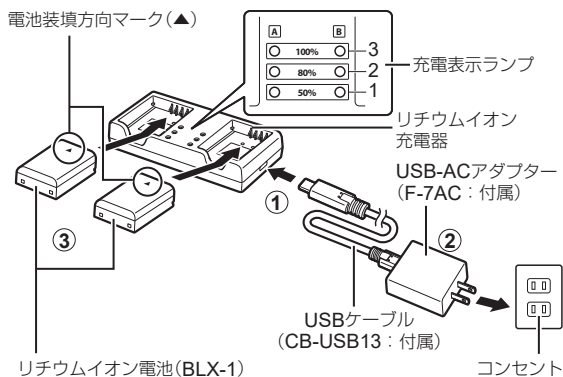


別売品を使う

充電器(BCX-1)を使う

電池は2個入れることができます。1個のみでの使用も可能です。

1 電池を充電します。



- 充電時間は約2時間30分です。充電表示ランプの状態と充電状況は以下の通りです。
* 電池を2個同時に充電しても充電時間は変わりません。

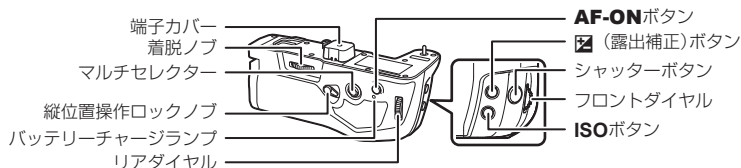
充電表示ランプの状態	充電状況	
ランプ1: 点滅	充電中	50%未満
ランプ1: 点灯、ランプ2: 点滅		50%以上80%未満
ランプ1・2: 点灯、ランプ3: 点滅		80%以上100%未満
全ランプ: 消灯	充電完了	
全ランプ: 点滅	充電エラー	

パワーバッテリーホルダー（HLD-10）を使う

別売のパワーバッテリーホルダー（HLD-10）を使うと、カメラ本体の電池と併用してカメラの使用時間を延ばすことができます。

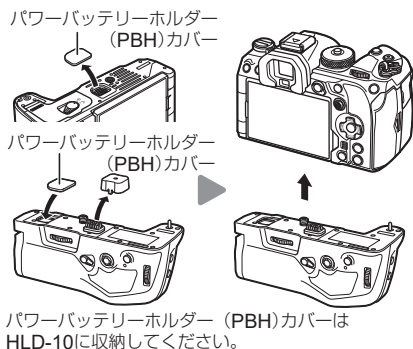
① 取り付け、取り外しは、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。

■ 各部名称



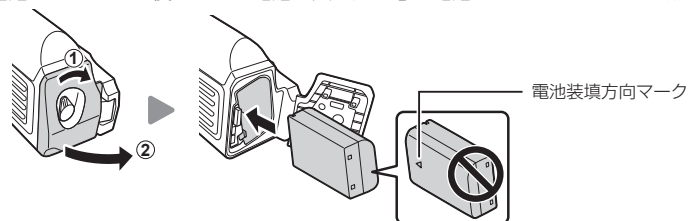
■ 取り付け

カメラ底面のパワーバッテリーホルダー（PBH）カバーとHLD-10の端子カバーを外してHLD-10をカメラに取り付けます。装着したらHLD-10の着脱ノブをしっかりと閉めてください。HLD-10を取り付けていないときは、必ずパワーバッテリーホルダー（PBH）カバーをカメラに、端子カバーはHLD-10に取り付けてください。



■ 電池を入れる

電池は、BLX-1を使います。電池を入れたら必ず電池カバーをロックしてください。



🔋 HLD-10の電池を使用しているときは、モニターの電池残量表示（P.27）が「PBH」になります。



10

資料

■ パワーバッテリーホルダー内の電池を充電する

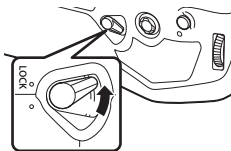
パワーバッテリーホルダー内の電池を充電するときは、電池を入れた状態でカメラに取り付けてから、P.20同様に充電を行ってください。

充電中はパワーバッテリーホルダーのバッテリーチャージランプが点灯します。

■ ボタンを使う

HLD-10の縦位置操作ロックノブを矢印の方向に回します。

HLD-10の☑ (露出補正) ボタン・ISOボタン・AF-ONボタンの機能は、カメラ本体の【ボタン機能】で変更することができます。🔍 「ボタンの機能を変える(ボタンの設定)」(P.207)



ⓘ 縦位置操作ロックノブを**LOCK**の位置にすると、HLD-10のボタンを使うことはできません。

パワーバッテリーホルダーの使用上のご注意

- 指定の電池以外は使用しないでください。けがや機器の故障、爆発の原因になります。
- 着脱ノブは、爪を使って回さないでください。けがをすることがあります。
- ご使用になるカメラの動作保証温度範囲内でご使用ください。
- 本機をほこりや湿気の多い場所で使用、保管しないでください。
- 本機の接点には触らないようにしてください。
- 本体、端子等の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。濡れた雑巾やシンナー、ベンジン等の有機溶剤で洗浄しないでください。
- 長期間(1ヶ月以上)カメラを使わない場合、カメラとパワーバッテリーホルダーから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますのでご注意ください。

専用外部フラッシュ

別売の専用外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。フラッシュの機能や操作については、それぞれのフラッシュの取扱説明書をお読みください。

発光量やマクロ撮影など、目的に合わせて選べます。専用外部フラッシュは、カメラとの通信機能により、TTL-AUTO、スーパーFP発光など多彩な調光モードが使えます。カメラのホットシューに取り付ける以外にも、専用のブラケットケーブル(別売)とフラッシュブラケットを使って撮影することもできます。また、このカメラは以下のワイヤレスフラッシュシステムに対応しています。


電波通信ワイヤレスフラッシュ：CMD、CMD、RCV、X-RCVモード

電波通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。フラッシュの設置方法の自由度がひろがります。対応したフラッシュ同士または、電波コマンダー/レーザーを使って非対応のフラッシュをコントロールすることもできます。

ワイヤレスRCフラッシュ：RCモード

光通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます(P.304)。

■ 専用フラッシュの機能比較

型名	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)	対応ワイヤレスシステム
FL-700WR	TTL-AUTO、MANUAL、 FP TTL AUTO、 FP MANUAL、MULTI、 RC、SL MANUAL	GN42 (75mm<150mm>*1時) GN21 (12mm<24mm>*1時)	CMD、  CMD、RCV、 X-RCV、RC
FL-900R	TTL-AUTO、 AUTO、MANUAL、 FP TTL AUTO、 FP MANUAL、MULTI、 RC、SL AUTO、 SL MANUAL	GN58 (100mm<200mm>*1時) GN27 (12mm<24mm>*1時)	RC
STF-8	TTL-AUTO、 MANUAL、RC*2	GN8.5	RC*2
FL-LM3	カメラ設定による	GN9.1 (12mm<24mm>*1時)	RC*2

*1 カバーできるレンズ焦点距離(<>の数値は35mmフィルムカメラ換算)

*2 コマンダー (発信側)としてのみ働きます。

ワイヤレスRCフラッシュ対応の専用フラッシュを使うとワイヤレスフラッシュ撮影ができます。カメラに装着したフラッシュで他のフラッシュをリモート制御します。3つのグループのフラッシュを別々に発光制御できます。

カメラとリモート操作するフラッシュの双方をRCモードに設定する必要があります(P.303)。

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定して、配置します。

- 専用外部フラッシュの電源を入れ**MODE**ボタンを押して、RCモードにします。
- 専用外部フラッシュのチャンネルとグループを設定します。

2 [⚡RCモード撮影]を[On]にします(P.121)。

- 撮影画面に戻ります。
- 画面に「RC」が表示されます。

RC



3 ボタンを押します。

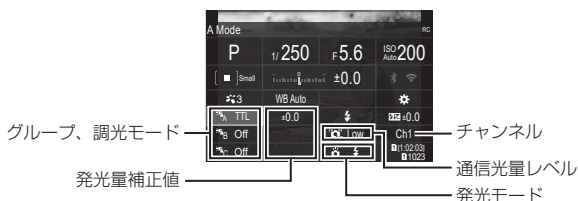
- RCモード用スーパーコンパネが表示されます。
- RCモードに設定されているときでも、**INFO**ボタンを押すと通常のスーパーコンパネを表示できます。表示は**INFO**ボタンを押すたびに切り換わります。



RCモード用
スーパーコンパネ

4 発光の設定をします。

- △▽<▷で項目を選択し、フロントダイヤルで設定を選択します。



グループ	コントロールするグループを示しています。グループ別に同時に複数のフラッシュをコントロールできます。カメラに装着したフラッシュは、グループAの設定で動作します。
調光モード	調光モードを選択します。
発光量補正值	発光量の補正值を選択します。発光モードをMANUALにしたときは発光量の選択をします。
通信光量レベル	通信をするためのフラッシュ光の強さを選択します。遠距離の場合は[High]を選択します。全てのグループに共通の設定です。
発光モード	⚡(通常の発光)かFP(スーパーFP発光)かを選択します。スーパーFP発光では、同調速度以上のシャッター速度でもフラッシュが使用できます。全てのグループに共通の設定です。
チャンネル	通信に使用するチャンネルを選択します。周囲に光るものなどが混信するときは、チャンネルを変更してください。

5 カメラに装着したフラッシュの設定を[TTL AUTO]にします。

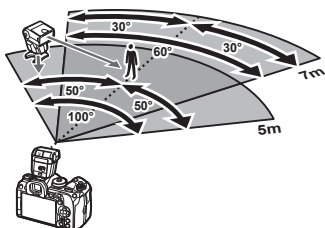
- FL-LM3をお使いのときは、カメラの設定のみです。

- ① ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置してください。
- ② フラッシュの充電完了を確認してから撮影してください。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

図は設置範囲の目安です。カメラ側に装着したフラッシュや周辺環境により異なります。

FL-LM3装着時



- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影や低振動モードの場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 低振動撮影時および静音撮影時の撮影待ち時間は4秒に制限されます。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。カメラ側フラッシュをディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

市販のフラッシュについて

ホットシューか外部フラッシュ端子にシンクロコードを接続して使います。外部フラッシュ端子を使わないときは必ずキャップを取り付けてください。

市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- X端子に約250V以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 当社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを**M**にして、シャッター速度をフラッシュの同調速度以下にして、**[ISO感度]**を**[Auto]**以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラのISO感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は35mmフィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

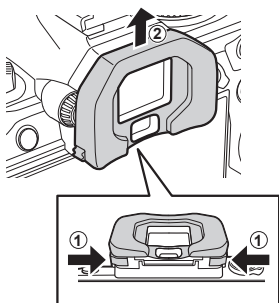
主なアクセサリーについて

■ コンバーターレンズ

レンズに取り付けることで、手軽に魚眼撮影やマクロ撮影ができます。組み合わせ可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

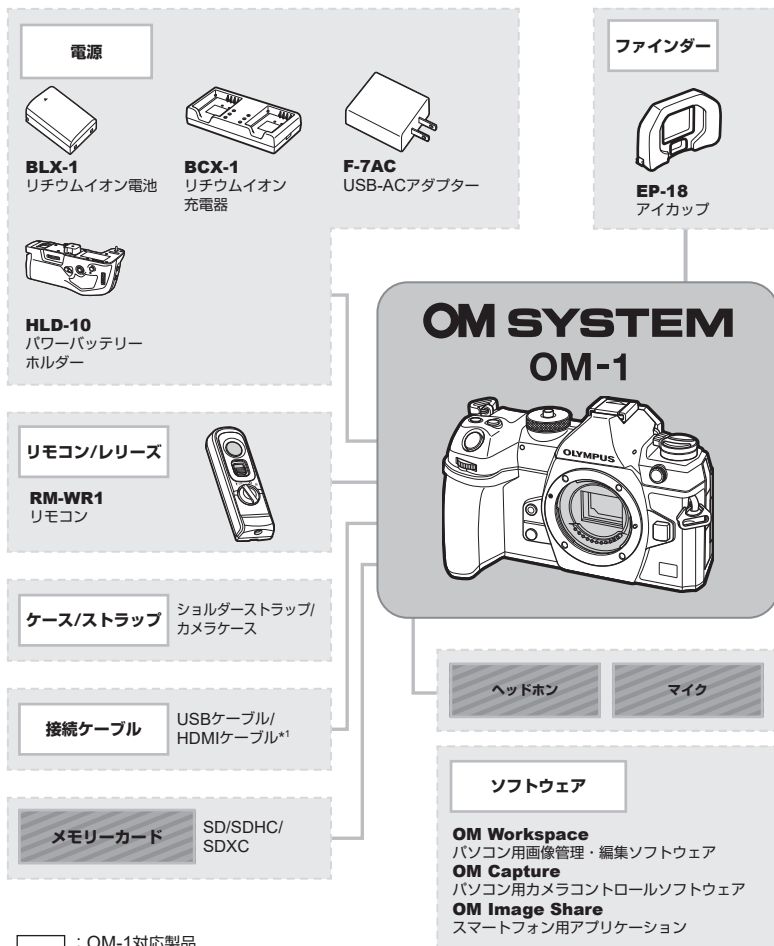
■ アイカップ(EP-18)

取り外し



左右のレバーを内側に押し込んで、アイカップを持ち上げます。

システムチャート



最新情報は当社ホームページをご確認ください。

*1 HDMIケーブルは市販製品をお求めください。

*2 アダプターと組み合わせて使用できるレンズには制限があります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

*3 取り付け可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

レンズ



マイクロフォーサーズシステムレンズ群



MMF-2/MMF-3*2
フォーサーズアダプター



フォーサーズシステム
レンズ群

コンバーター レンズ*3

MC-20
テレコンバーター

MC-14
テレコンバーター

FCON-P01
フィッシュアイ
コンバーター

MCON-P02
マクロコンバ
ーター

フラッシュ



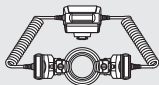
FL-LM3
エレクトロニックフラッシュ



FL-900R
エレクトロニックフラッシュ



FL-700WR
エレクトロニックフラッシュ



STF-8
マクロフラッシュ



FC-WR
電波式ワイヤレスコマンダー



FR-WR
電波式ワイヤレスレシーバー

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源をオフにして、電池を取り外します。

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使った場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- 市販のレンズブローアードでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使わないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ボディキャップ、リアキャップはゴミやほこりを落としてから装着してください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。また、必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確かめてください。

撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが付着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやほこりを超音波振動により、払い落とす機能を備えています(ダストリダクション機能)。ダストリダクション機能は、カメラの電源をオンにしたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを動かせる際にも同時に作動します。カメラの電源をオンにするときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1 [ピクセルマッピング] (P.261)を選択します。

2 [実行]を選択して、**OK**ボタンを押します。

- ピクセルマッピング実行中の[処理中]バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。
- 誤って処理中にカメラの電源をオフにしてしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 同梱の保証書は、日本国内向けに出荷された商品にのみ有効です。
- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、7年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間(製造打ち切り後7年間を目安に保有いたします)等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換(製品交換)のいずれかにて対応させて頂きます。
- 交換が行われた部品(もしくは製品)の所有権は当社に帰属し、返却は致しません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

10

資料

こんなときは？

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- USB-ACアダプターで電池を充電してください。

低温下であり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

言語の設定を促す画面が表示される

以下の場合に、図の画面が表示されます。

- 初めてカメラの電源を入れた
- 言語の設定が終了していない
「初期設定をする」(P.28)をご覧ください、言語の設定を行ってください。



シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- 【低消費電力撮影】(P.258)を【On】にすると、設定した時間何も操作しないとスリープモードになります。シャッターボタンを半押しすると復帰します。
- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。🔋【スリープ時間】(P.257)
さらに、スリープモード中に設定した時間が経過するとカメラの電源がオフになります。【自動電源Off】(P.257)

フラッシュが充電中である

- モニターの🔋マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待つてからシャッターボタンを押してください。

ピント合わせができなかった

- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません(モニターの合焦マークが点滅します)。被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

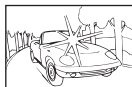
オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

合焦マーク点滅
このようなものにはピントが合いません。



コントラストがはっきりしない被写体

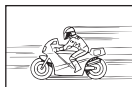


画面中央に極端に明るいものがある場合

合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの



被写体がAFターゲット内にならない

長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。【長秒時ノイズ低減】は【Off】に設定することもできます。

🔍 【長秒時ノイズ低減】(P.115)

AFターゲットの数が少なくなった

【デジタルテレコン】(P.162)、【アスペクト】(P.140)、グループターゲット(P.73)、【ドライブ/セルフタイマーの設定】、【上手ぶれ補正】などの設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。🔍 「初期設定をする」(P.28)

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります(当社試験条件による)。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

設定した機能が元に戻ってしまう

カスタムモード(C1～C4)を使用しているときに設定を変更しても、撮影モードを変更したりカメラの電源を切ると、登録されている設定内容に戻ります。【カスタム保持設定】を【保持する】にすると、カスタムモードを呼び出した状態で設定を変更したとき、変更した内容を自動で登録することができます。🔍 「カスタムモードで変更した設定を保持する」(P.53)

撮影した画像が全体的に白っぽい

逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光があたらないようにします。レンズフードでも効果がない場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。🔍「交換レンズについて」(P.297)

被写体でない明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性があります。【ピクセルマッピング】を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。🔍「画像処理機能をチェックするーピクセルマッピング」(P.311)

メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、設定できない項目はグレーで表示されます。グレーの項目を選択中にⓂ️ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。画面に表示される内容を参考に、設定を見直してください(P.61)。

スーパーコンパネで設定できない機能がある

設定した機能の組み合わせによっては、設定できない場合があります。メニューで同じ機能がグレーで表示されていないかご確認ください(P.61)。

被写体が歪んで写る

以下の機能では電子シャッターを使います。

ムービー撮影(P.55) / 静音撮影(P.129) / プロキャプチャー撮影(P.130) /
ハイレゾショット(P.152) / フォーカスブラケット撮影(P.175) /
深度合成(P.157) / ライブND撮影(P.154) / HDR撮影(P.159)

動きの速い被写体の撮影やカメラを激しく動かした撮影をすると画像に歪みが出ます。カメラを激しく動かした撮影は避けるか、通常の連写で撮影してください。

画像にすじが写る

電子シャッターを使った以下の機能では、蛍光灯やLED照明の光源下では、フリッカーなどにより画像にすじが写ることがあります。

ムービー撮影(P.55) / 静音撮影(P.129) / プロキャプチャー撮影(P.130) /
ハイレゾショット(P.152) / フォーカスブラケット撮影(P.175) /
深度合成(P.157) / ライブND撮影(P.154) / HDR撮影(P.159)

シャッター速度を遅くして撮影すると軽減できる場合があります。また、フリッカーキャンを使って撮影すると軽減される場合があります。🔍【📷フリッカーキャン】、【📷フリッカーキャン】(P.106)

モニターに被写体のみが表示され、撮影情報が何も表示されない

情報表示が「情報表示無し」に切り換わっています。INFOボタンを押して、他の表示に切り換えてください。

MF (マニュアルフォーカス)から変更できない

お使いのレンズによっては、マニュアルフォーカスクラッチ機構が搭載されており、フォーカスリングが手前に引かれているとマニュアルフォーカスになります。レンズの状態を確認してください。

📖 「MFクラッチを搭載したレンズについて」 (P.298)















モニターに何も表示されない


ファインダーに顔や手、ストラップなどが近づくと、自動的にモニターは消灯し、ファインダーの表示に切り換わります。

📖 「表示の切り換え」 (P.32)

エラーコード

モニター表示	原因	対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。 または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 ①このカードは 使用できません	カードスロット1のカード に問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 ②このカードは 使用できません	カードスロット2のカード に問題があります。	
 ①書き込み禁止に なっています	カードスロット1のカード が書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください(P.23)。
 ②書き込み禁止に なっています	カードスロット2のカード が書き込み禁止になっています。	

モニター表示	原因	対処方法
 ①撮影可能枚数が0です	カードスロット1のカードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	
 ②撮影可能枚数が0です	カードスロット2のカードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 ①カード残量がありません	カードスロット1のカードに十分な空き容量がありません。	【  カードスロット設定】(P.244)で、【  記録設定】が【振り分け】、【同一書き込み】の場合は、設定を変更してください。
 ②カード残量がありません	カードスロット2のカードに十分な空き容量がありません。	
 ①画像が記録されていません	カードスロット1のカードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。
 ②画像が記録されていません	カードスロット2のカードに記録画像がないため画像が再生できません。	
 ①この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 ②この画像は再生できません		
 ①この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
 ②この画像は編集できません		
日時を設定してください	日時が未設定です。	日時を設定してください(P.260)。
 Heat		カメラの電源をオフにして、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。	しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。

モニター表示	原因	対処方法
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。
 接続されていません	カメラがパソコンやHDMI機器に正しく接続されていません。	正しく接続しなおしてください。
ズームリングを回し 繰り出してください	沈胴式レンズの、レンズが沈胴したままになっています。	レンズを繰り出してください。
レンズの状態を確認してください	レンズとの間でエラーが発生しています。	カメラの電源をオフにして、レンズとの接続状態を確認してから電源を入れなおしてください。

機能と初期設定一覧

*1: [カスタム登録]が登録可能な機能

*3: [撮影設定リセット]で初期設定に戻る機能

*2: [カメラ初期化]で初期設定に戻る機能

LVスーパーコンパネ

撮影モード	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍
P/A/S/M/B	撮影モード	P	—	—	—	39
	シャッター速度	1/250秒(S/M設定時)、 Bulb (B設定時)	✓	✓	✓	43
	絞り値	F5.6	✓	✓	✓	41
	📷ISO感度	ISO Auto	✓	✓	✓	111
	📷AFターゲットモード	[#]Small	✓	✓	✓	73
	露出補正	±0.0	✓	✓	✓	103
	Wi-Fi/Bluetooth	—	—	—	—	264
	📷ピクチャーモード	🐾3 Natural	✓	✓	✓	141
	📷ホワイトバランス	WB Auto	✓	✓	✓	145
	📷色温度	5400K ([📷WBモード]を [CWB]に設定時)	✓	✓	—	145
	📷ボタン機能	—	✓	✓	—	207
	📷AF方式	S-AF	✓	✓	✓	68
	顔・瞳検出	☹Off	✓	✓	—	85
	フラッシュモード	⚡	✓	✓	✓	118
	フラッシュ補正	±0.0	✓	✓	✓	121
	マニュアル発光量	⚡Full (フラッシュを[⚡Manual]に 設定時)	✓	✓	✓	119
	ドライブ📷/🔍	☐	✓	✓	✓	123
	測光	☀	✓	✓	✓	107
	アスペクト比設定	4:3	✓	✓	✓	140
	📷手ぶれ補正	S-IS Auto	✓	✓	✓	132
	📷カードスロット設定	標準	✓	✓	—	244
	①📷画質モード	📷L F (ハイレゾショット設定時: 📷F+RAW)	✓	✓	✓	136
	②📷画質モード	📷L F (ハイレゾショット設定時: 📷F+RAW)	✓	✓	✓	136
📷画質モード	4K60p L-8	✓	✓	✓	137	

撮影モード	機能	初期設定	*1	*2	*3	
M (ムービー)	Mモード	P	—	✓	—	55
	シャッター速度	1/250秒	—	✓	✓	43
	絞り値	F5.6	—	✓	✓	41
	ISO感度	ISO Auto	—	✓	✓	111
	AFターゲットモード	[]Middle	—	✓	✓	73
	露出補正	±0.0	✓	✓	✓	103
	Wi-Fi/Bluetooth	—	—	—	—	264
	Mピクチャーモード	 3 Natural	✓	✓	✓	144
	Mホワイトバランス	WB Auto	—	✓	✓	145
	M色温度	5400K ([ WBモード]を[CWB]に設定時)	—	✓	—	145
	Mボタン機能	—	—	✓	—	207
	M AF方式	C-AF	✓	✓	✓	68
	顔・瞳検出	 Off	✓	✓	—	85
	M手ぶれ補正	M-IS1	—	✓	✓	132
	M画質モード	4K 60p L-8	✓	✓	✓	137
	録音レベル調整	±0	—	✓	—	58
ヘッドホン音量	8	—	✓	—	58	
RCモード	撮影モード	P	—	—	—	39
	シャッター速度	1/250秒(S/M設定時)、 Bulb (B設定時)	✓	✓	✓	43
	絞り値	F5.6	✓	✓	✓	41
	ISO感度	ISO Auto	✓	✓	✓	111
	AFターゲットモード	[]Small	✓	✓	✓	73
	露出補正	±0.0	✓	✓	✓	103
	Wi-Fi/Bluetooth	—	—	—	—	264
	RCピクチャーモード	 3 Natural	✓	✓	✓	141
	RCホワイトバランス	WB Auto	✓	✓	✓	145
	RC色温度	5400K ([ WBモード]を[CWB]に設定時)	✓	✓	—	145
	RCボタン機能	—	✓	✓	—	207
	A mode	TTL	✓	✓	✓	304
	B mode	Off	✓	✓	✓	
	C mode	Off	✓	✓	✓	
	発光量補正值	±0 (TTL、Auto時)	✓	✓	✓	
	発光量	1/1 (Manual時)	✓	✓	✓	
	フラッシュモード		✓	✓	✓	
	 /FP	 (通常発光)	✓	✓	✓	
	 レベル	Low	✓	✓	✓	
Channelチャンネル	Ch1	✓	✓	✓		

ページ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
1. 基本設定/画質								
10 資料	カスタムモード	C1	カスタム呼出	—	—	—	51	
			カスタム登録	撮影モード: P 画質モード: L F+RAW	—	—		—
			カスタム保持設定	保持しない	—	✓		—
		C2	カスタム呼出	—	—	—		—
			カスタム登録	撮影モード: P 画質モード: L F+RAW	—	—		—
			カスタム保持設定	保持しない	—	✓		—
		C3	カスタム呼出	—	—	—		—
			カスタム登録	撮影モード: P 画質モード: L F+RAW	—	—		—
			カスタム保持設定	保持しない	—	✓		—
		C4	カスタム呼出	—	—	—		—
			カスタム登録	撮影モード: P 画質モード: L F+RAW	—	—		—
			カスタム保持設定	保持しない	—	✓		—
	画質モード			L F	✓	✓	✓	136
	画質モード詳細設定		◀:1	ピクセルサイズ: L 圧縮率: SF	✓	✓	—	136
			◀:2	ピクセルサイズ: L 圧縮率: F	✓	✓	—	
			◀:3	ピクセルサイズ: L 圧縮率: N	✓	✓	—	
		◀:4	ピクセルサイズ: M1 圧縮率: N	✓	✓	—		
アスペクト比設定			4:3	✓	✓	✓	140	
撮影画像の確認時間			Off	✓	✓	—	38	
シェーディング補正			Off	✓	✓	✓	140	
2. ピクチャーモード/WB								
ピクチャーモード			3 Natural	✓	✓	✓	141	
ピクチャーモード表示			すべて✓	✓	✓	—	145	
ホワイトバランス			WB Auto	✓	✓	✓	145	
全WBモード補正	A-B	0	✓	✓	—	149		
	G-M	0	✓	✓	—			
WBオート 電球色残し			On	✓	✓	✓	150	
+WB連動			Off	✓	✓	—	150	
色空間			sRGB	✓	✓	✓	151	

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
3. ISO/ノイズ低減							
	ISOオート上限/基準値	上限値	25600	✓	✓	✓	113
		基準値	200	✓	✓	✓	
		ISOオート低速限界	オート	✓	✓	✓	113
		ISOオート有効	P/A/S/M	✓	✓	—	114
		ISO感度ステップ	1/3EV	✓	✓	✓	112
		高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	114
		低感度画像処理	連写優先	✓	✓	✓	115
	長秒時ノイズ低減	オート	✓	✓	✓	115	
4. 露出							
	フリッカースキャン		Off	✓	✓	✓	106
	露出ステップ		1/3EV	✓	✓	✓	105
	露出基準調整 		±0	✓	✓	—	105
			±0	✓	✓	—	
		±0	✓	✓	—		
5. 測光							
	測光		✓	✓	✓	107	
	 時の測光モード	オート	✓	✓	✓	108	
	 の撮影後解除	しない	✓	✓	✓	108	
	 半押し時のAEロック	S-AFのみする	✓	✓	✓	109	
	連写中の測光	する	✓	✓	✓	110	
	 連動スポット測光	すべて✓	✓	✓	✓	110	
6. フラッシュ							
	 RCモード撮影	Off	✓	✓	✓	121	
	 同調速度	1/250秒	✓	✓	✓	122	
	 低速制限	1/60秒	✓	✓	✓	122	
	 +  連動	Off	✓	✓	✓	122	
	バランス調光設定		Off	✓	✓	✓	122
	フラッシュモード設定	赤目軽減発光	しない	✓	✓	✓	121
		シンクロ設定	先幕	✓	✓	✓	

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍
7. ドライブモード						
	ドライブ	<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓	123
	フリッカーレス撮影	Off	✓	✓	✓	131
	連写設定	<input checked="" type="checkbox"/>	✓	✓	—	126
		連写速度 10fps	✓	✓	✓	
		枚数リミッター Off	✓	✓	✓	
	♥	連写速度 20fps	✓	✓	—	
		枚数リミッター Off	✓	✓	✓	
	♥ SH1	連写速度 120fps	✓	✓	—	
		枚数リミッター Off	✓	✓	✓	
	♥ SH2	連写速度 50fps	✓	✓	—	
		枚数リミッター Off	✓	✓	✓	
	ProCap	連写速度 20fps	✓	✓	—	
		プリ連写枚数 10	✓	✓	✓	
		枚数リミッター 50	✓	✓	✓	
	ProCap SH1	連写速度 128fps	✓	✓	—	
		プリ連写枚数 28	✓	✓	✓	
		枚数リミッター 50	✓	✓	✓	
	ProCap SH2	連写速度 50fps	✓	✓	—	
		プリ連写枚数 12	✓	✓	✓	
		枚数リミッター 50	✓	✓	✓	
	セルフタイマー設定	🕒12	✓	✓	—	127
	♥ 🕒12	<input type="checkbox"/> (✓なし)	✓	✓	—	
	🕒2	✓	✓	✓	—	
	♥ 🕒2	✓	✓	✓	—	
	🕒C	✓	✓	✓	—	
		コマ数 3コマ	✓	✓	✓	
		セルフタイマー時間 1秒	✓	✓	✓	
		撮影間隔 0.5秒	✓	✓	✓	
		各コマAF Off	✓	✓	✓	
	♥ 🕒C	<input type="checkbox"/> (✓なし)	✓	✓	—	
		コマ数 3コマ	✓	✓	✓	
		セルフタイマー時間 1秒	✓	✓	✓	
		撮影間隔 0.5秒	✓	✓	✓	
		各コマAF Off	✓	✓	✓	
	低振動[🔹]撮影設定	低振動[🔹]撮影 Off	✓	✓	—	128
		撮影待ち時間 0秒	✓	✓	—	
	静音[♥]撮影設定	撮影待ち時間 0秒	✓	✓	—	129
		長秒時ノイズ低減 Off	✓	✓	—	
		電子音 禁止	✓	✓	—	
		AF補助光 禁止	✓	✓	—	
		フラッシュ 禁止	✓	✓	—	

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍
8. 手ぶれ補正						
	📷手ぶれ補正	S-IS Auto	✓	✓	✓	132
	連写中手ぶれ補正	連写速度優先	✓	✓	✓	134
	半押し中手ぶれ補正	On	—	✓	✓	134
	手持ち撮影アシスト	Off	✓	✓	✓	135
	レンズ手ぶれ補正優先	Off	✓	✓	✓	135

📷2タブ

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍
1. コンピュータショナル撮影						
ハイレゾ ショット	ハイレゾショット	Off	✓	✓	✓	152
	🖼️画質モード	📷F+RAW	✓	✓	✓	
	撮影待ち時間	0秒	✓	✓	—	
	🔋充電待ち時間	0秒	✓	✓	—	
ライブND撮 影	ライブND撮影	Off	✓	✓	✓	154
	ND段数	ND8(3EV)	✓	✓	—	
	LVシミュレーション	On	✓	✓	—	
深度合成撮 影	深度合成撮影	Off	✓	✓	✓	157
	撮影枚数	8	✓	✓	—	
	フォーカスステップ	5	✓	✓	—	
	🔋充電待ち時間	0秒	✓	✓	—	
HDR撮影		Off	✓	✓	✓	159
多重露出撮 影	多重露出撮影	Off	—	✓	✓	160
	自動ゲイン補正	Off	—	✓	✓	
	再生画+多重	Off	—	✓	✓	
2. その他の撮影機能						
	📷デジタルテレコン	Off	✓	✓	✓	162
インターバル 撮影	インターバル撮影	Off	—	✓	✓	163
	コマ数	100	—	✓	✓	
	撮影開始待ち時間	00:00:01	—	✓	✓	
	撮影間隔	00:00:01	—	✓	✓	
	撮影動作	撮影間隔優先	—	✓	✓	
	露出平準化	On	—	✓	✓	
	タイムラプス動画	Off	—	✓	✓	
	タイムラプス動画設定	ムービーサイズ フルHD フレームレート	FullHD 10fps	—	✓	
デジタルシフト撮影		Off	✓	✓	✓	165
フィッシュア イ補正撮 影	フィッシュアイ補正撮影	Off	✓	✓	✓	167
	画角	1	✓	✓	—	
	水中補正	Off	✓	✓	—	
BULB/ TIME/ COMPの設 定	BULB/TIME中MF	On	✓	✓	✓	
	BULB/TIMEリミッター	8分	✓	✓	✓	
	COMPリミッター	3時間	✓	✓	✓	
	BULB/TIME輝度設定	-7	✓	✓	—	
	ライブBULB設定	Off	✓	✓	—	
	ライブTIME設定	0.5秒	✓	✓	—	
コンボジット撮影設定	1/2秒	✓	✓	—		

ページ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
3. ブラケット撮影							
	AE BKT		Off	✓	✓	✓	170
	WB BKT	A-B	Off	✓	✓	✓	171
		G-M	Off	✓	✓	✓	
	FL BKT		Off	✓	✓	✓	172
	ISO BKT		Off	✓	✓	✓	173
	ART BKT	ART BKT	Off	✓	✓	✓	174
		ART BKT選択	ARTのみ✓ (タイプが複数あるARTは■のみ✓)	✓	✓	✓	
	Focus BKT	Focus BKT	Off	✓	✓	✓	175
		撮影枚数	99	✓	✓	✓	
		フォーカスステップ	5	✓	✓	✓	
		⚡充電待ち時間	0秒	✓	✓	✓	

AFタブ

ページ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
1. AF							
	AF方式		S-AF	✓	✓	✓	68
	AF+MF		Off	✓	✓	✓	79
	星空AF設定	AF動作モード	速度優先	✓	✓	✓	82
		AF操作	AF-ON/Start/ Stop	✓	✓	✓	
		リリース優先	Off	✓	✓	✓	
	半押し時のAF	S-AF	AFする	✓	✓	✓	80
		C-AF/C-AF+TR	AFする	✓	✓	✓	
	MF時のAF-ON動作		AFしない	✓	✓	✓	81
	リリース優先	S-AF	Off	✓	✓	✓	81
		C-AF/C-AF+TR	On	✓	✓	✓	
2. AF							
	AF補助光		On	✓	✓	✓	93
	AFターゲット表示		On1	✓	✓	✓	93
	顔・瞳検出		Off	✓	✓	—	85
	顔・瞳AFのボタン設定		◎優先	✓	✓	✓	86
		AF-ON	◎優先	✓	✓	✓	
	被写体検出		Off	✓	✓	—	87
	瞳検出枠表示		On	✓	✓	—	88

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
3. AF							
	 C-AF追従感度	±0	✓	✓	✓	84	
	 C-AF中央優先	[#]Cross	✓	✓	✓	83	
		[≡]Mid	✓	✓	✓		
		[≡]Large	✓	✓	✓		
		[≡]IC1	□ (✓なし)	✓	✓		
		[≡]IC2	□ (✓なし)	✓	✓		
		[≡]IC3	□ (✓なし)	✓	✓		
	[≡]IC4	□ (✓なし)	✓	✓	✓		
	 AFリミッター	AFリミッター	Off	✓	✓	89	
		On1の距離設定	5.0 - 999.9m	✓	✓		✓
		On2の距離設定	10.0 - 999.9m	✓	✓		✓
		On3の距離設定	50.0 - 999.9m	✓	✓		✓
		リリース優先	On	✓	✓	✓	
	 AFスキャン		On	✓	✓	✓	91
	 AF微調節	AF微調節	Off	✓	✓	—	92
		調節量	±0	—	—	—	
4. 動画AF							
	 AF方式	C-AF	✓	✓	✓	68	
	 C-AF動作速度	±0	✓	✓	✓	84	
	 C-AF追従感度	±0	✓	✓	✓	84	
5. AFターゲットの設定/操作							
	 AFターゲットモード設定	[≡]All	✓	✓	✓	—	76
		[.]Single	✓	✓	✓	—	
		[#]Cross	✓	✓	✓	—	
		[≡]Mid	✓	✓	✓	—	
		[≡]Large	✓	✓	✓	—	
		[≡]IC1	□ (✓なし)	✓	✓	—	
		[≡]IC2	□ (✓なし)	✓	✓	—	
		[≡]IC3	□ (✓なし)	✓	✓	—	
	[≡]IC4	□ (✓なし)	✓	✓	—		
	 [::]縦位置/横位置切換	AFターゲットモード	□ (✓なし)	✓	✓	—	94
		AFターゲット位置	□ (✓なし)	✓	✓	—	
	 [::]HOME登録	AFターゲットモード	✓ ([≡]All)	✓	✓	✓	95
		AFターゲット位置	✓	✓	✓	✓	
	[::]選択画面設定	 ダイヤル	[::] Mode変更	✓	✓	✓	96
		 ボタン	 Pos変更	✓	✓	✓	
	[::]循環設定	[::]循環選択	Off	✓	✓	✓	97
		[≡]All経由	しない	✓	✓	✓	
	AFターゲットパッド	Off	✓	✓	✓	98	

ページ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
6. MF							
MFアシスト	拡大	Off	✓	✓	—	99	
	ピーキング	Off	✓	✓	—		
	フォーカス距離指標	Off	✓	✓	—		
ピーキング表示設定	ピーキング色	赤	✓	✓	—	100	
	ピーキングレベル	標準	✓	✓	—		
	ピーキング背景の輝度調整	Off	✓	✓	—		
プリセットMF距離		999.9m	✓	✓	✓	101	
MFクラッチ		有効	✓	✓	✓	101	
フォーカスリング		C	✓	✓	—	101	
レンズリセット		Off	✓	✓	—	102	

タブ

ページ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
1. 基本設定/画質							
	記録コーデック		H.264	✓	✓	✓	140
	画質モード		4K 60p L-8	✓	✓	✓	136
	モード		P	—	✓	—	55
	フリッカーキャン		Off	—	✓	✓	106
	デジタルテレコン		Off	—	✓	✓	162
2. ピクチャーモード/WB							
	ピクチャーモード		と同じ	✓	✓	✓	141
	ビューアシスト		Off	—	✓	—	151
	WBモード		WB Auto	—	✓	✓	145
	全WBモード補正	A-B	0	—	✓	—	149
		G-M	0	—	✓	—	
	WBオート 電球色残し		On	—	✓	✓	150
3. ISO/ノイズ低減							
	MISOオート上限/基準値	上限値	12800	—	✓	✓	113
		基準値	200	—	✓	✓	
	MISOオート有効		On	—	✓	—	114
	高感度ノイズ低減		標準	—	✓	✓	114
4. 手ぶれ補正							
	手ぶれ補正		M-IS1	—	✓	✓	132
	手ぶれ補正強度		±0	—	✓	✓	134

ページ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
5. 録音/接続							
録音の設定	録音レベル調整	内蔵MIC	±0	—	✓	—	177
		MIC	±0	—	✓	—	
	入力リミッター	On	—	✓	—		
	風切り音低減	Off	—	✓	—		
	録音レート	48kHz/16bit	—	✓	—		
	MICプラグインパワー	Off	—	✓	—		
ヘッドホン音量		8	—	✓	—	178	
タイムコード設定	タイムコードモード	DF	—	✓	—	178	
	カウントアップ方式	レックラン	—	✓	—		
	タイムコード値設定	—	—	✓	—		
HDMI出力	出力モード設定	モニターモード	—	✓	—	179	
	RECトリガー	Off	—	✓	—		
	タイムコード	On	—	✓	—		
6. 撮影アシスト							
	センターマーカー		Off	—	✓	—	180
ゼブラパターン表示	ゼブラパターン表示		Off	—	✓	—	180
	輝度1		80	—	✓	—	
	輝度2		Off	—	✓	—	
	動画記録中の赤枠表示		On	—	✓	—	181

▶ タブ

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
1. ファイル						
	プリント予約	—	—	—	—	196
	全コマ一括解除	—	—	—	—	197
	全コマコピー	—	—	—	—	190
	全コマ消去	—	—	✓	—	191
2. 操作						
	ボタン機能	<input checked="" type="checkbox"/>	—	✓	—	204
	ダイヤル機能		—	✓	—	204
	再生拡大倍率設定	前回倍率	—	✓	—	205
	ワンブッシュ消去	Off	—	✓	✓	192
	RAW+JPEG消去	RAW+JPEG	—	✓	—	192
	RAW+JPEGシェア予約	JPEG	—	✓	—	193
3. 表示						
	回転再生	On	—	✓	✓	205
	Info表示	すべて✓	—	✓	✓	205
	Info表示	すべて✓	—	✓	—	206
	表示	[25]と[カレンダー表示]に✓	—	✓	—	206
	レーティング設定	すべて✓	—	✓	—	194

★タブ

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍		
1. 操作								
1. 操作	📷 ボタン機能		露出補正	✓	✓	—	207	
			ハイレゾ ショット	✓	✓	—		
			ISO感度	✓	✓	—		
			AF-ON	✓	✓	—		
			AEL	✓	✓	—		
			IC 切換	✓	✓	—		
			Off	✓	✓	—		
			Off	✓	✓	—		
			ワンタッチ WB	✓	✓	—		
			プレビュー	✓	✓	—		
		PBH	露出補正	✓	✓	—		
			PBH	ISO感度	✓	✓		—
			PBH	AF-ON	✓	✓		—
			PBH	AF-ON	✓	✓		—
			L-Fn	AF停止	✓	✓		—
	📷 ボタン機能		露出補正	—	✓	—	207	
			📷REC	—	✓	—		
			ISO感度	—	✓	—		
			AF-ON	—	✓	—		
			AEL	—	✓	—		
			IC 切換	—	✓	—		
			Off	—	✓	—		
			Off	—	✓	—		
			ピーキング	—	✓	—		
			拡大	—	✓	—		
		PBH	露出補正	—	✓	—		
			PBH	ISO感度	—	✓		—
	PBH	AF-ON	—	✓	—			
	PBH	AF-ON	—	✓	—			
	L-Fn	AF停止	—	✓	—			
	📷 シャッターボタン機能	Off	—	✓	—	215		

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍				
ダイヤルの設定	🔍ダイヤル機能	P	レバー 1	☀️: 露出補正 ☁️: Ps	✓	✓	215			
			レバー 2	☀️: ISO感度 ☁️: WBモード						
		A	レバー 1	☀️: 露出補正 ☁️: 絞り						
			レバー 2	☀️: ISO感度 ☁️: WBモード						
		S	レバー 1	☀️: 露出補正 ☁️: シャッター速度						
			レバー 2	☀️: ISO感度 ☁️: WBモード						
		M/B	レバー 1	☀️: 絞り ☁️: シャッター速度						
			レバー 2	☀️: 露出補正 ☁️: ISO感度						
		🔍ダイヤル機能	P	レバー 1	☀️: 露出補正 ☁️: 露出補正	—		✓	215	
				レバー 2	☀️: 📢VOL ☁️: 📢VOL					
			A	レバー 1	☀️: 露出補正 ☁️: 絞り					
				レバー 2	☀️: 📢VOL ☁️: 📢VOL					
	S		レバー 1	☀️: 露出補正 ☁️: シャッター速度						
			レバー 2	☀️: 📢VOL ☁️: 📢VOL						
	M		レバー 1	☀️: 絞り ☁️: シャッター速度						
			レバー 2	☀️: 📢VOL ☁️: ISO感度						
	👉メニュータブ内循環		しない	—	✓	—	240			
	ダイヤル方向		露出設定	ダイヤル1	✓	✓	—	217		
			Ps設定	ダイヤル1	✓	✓	—			
	マルチセレクトの設定		🔍中央ボタン機能	Off	✓	✓	—	217		
		🔍方向キー機能	[::]	✓	✓	—				
Fnレバーの設定	🔍Fnレバー機能	mode2	—	✓	—	219				
	🔍Fnレバー機能	mode2	—	✓	—	219				
	Fnレバー /電源レバー	Fn	—	✓	—	221				
電動ズームの設定	🔍電動ズーム速度	標準	✓	✓	—	222				
	🔍電動ズーム速度	標準	—	✓	—					
🔍ロック		Off	✓	✓	—	223				

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
2. 操作						
	LV拡大モード	mode2	✓	✓	—	223
	ロック	Off	✓	✓	—	224
	実行優先設定	中止優先	—	✓	—	240
	メニューカーソル設定	ページ毎のカーソル位置	記憶しない	—	✓	239
		メニュー開始位置	前回位置	—	✓	
		Bモード設定ショートカット	On	✓	✓	
	ボタン長押し時間調整	LV拡大枠/拡大表示	0.7秒	✓	✓	224
		LV拡大枠位置	0.7秒	✓	✓	
		露出補正值	0.7秒	✓	✓	
		設定値	0.7秒	✓	✓	
		WB補正值	0.7秒	✓	✓	
		モニター調整/EVF調整	0.7秒	✓	✓	
		設定値	0.7秒	✓	✓	
		◎設定値	0.7秒	✓	✓	
		AFターゲット位置	0.7秒	✓	✓	
		EVF自動切替呼出し	0.7秒	✓	✓	
		デジタルシフト	0.7秒	✓	✓	
		デジタルシフト設定値	0.7秒	✓	✓	
		ロック	0.7秒	✓	✓	
		フリッカースキャン	0.7秒	✓	✓	
		WB BKT設定呼出し	0.7秒	✓	✓	
		ART BKT設定呼出し	0.7秒	✓	✓	
		Focus BKT設定呼出し	0.7秒	✓	✓	
		深度合成設定呼出し	0.7秒	✓	✓	
3. ライブビュー表示						
	LV表示モード	標準	✓	✓	—	225
	ナイトビュー	Off	✓	✓	—	225
	フレームレート	標準	✓	✓	—	225
	アートLVモード	mode1	✓	✓	—	226
	フリッカーレスLV	Off	✓	✓	—	226
	自分撮りアシスト	On	—	✓	—	227
4. Info表示						
	EVF表示スタイル	スタイル2	—	✓	—	228
	Info表示	[情報表示無し]と[情報表示1]と[情報表示2]に✓	✓	✓	—	230
	半押し中の表示	On2	✓	✓	—	
	Info表示	[情報表示無し]と[情報表示1]と[情報表示2]に✓	✓	✓	—	233
	半押し中水準器表示	On	✓	✓	—	
	Info表示	[情報表示無し]と[情報表示1]に✓	—	✓	—	231

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
5. 罫線/その他の表示						
☑ガイド線表示設定	表示色	プリセット1	✓	✓	—	235
	表示罫線選択	Off	✓	✓	—	
	プリセット1の色設定	R/G/B: 38 α: 75%	✓	✓	—	
	プリセット2の色設定	R: 180 G/B: 0 α: 75%	✓	✓	—	
ガイド線表示設定	専用設定	Off	✓	✓	—	236
	表示色	プリセット1	✓	✓	—	
	表示罫線選択	Off	✓	✓	—	
	プリセット1の色設定	R/G/B: 38 α: 75%	✓	✓	—	
	プリセット2の色設定	R: 180 G/B: 0 α: 75%	✓	✓	—	
ガイド線表示設定	専用設定	Off	—	✓	—	235
	表示色	プリセット1	—	✓	—	
	表示罫線選択	Off	—	✓	—	
	プリセット1の色設定	R/G/B: 38 α: 75%	—	✓	—	
	プリセット2の色設定	R: 180 G/B: 0 α: 75%	—	✓	—	
マルチFn表示設定		ISO感度以外すべて✓	✓	✓	—	237
ヒストグラム警告設定	ハイライト表示 シャドウ表示	255 0	✓	✓	—	238

タブ

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
1. カード/フォルダ/ファイル						
	カード初期化	—	—	—	—	243
☑カードスロット設定	記録設定	標準	✓	✓	—	244
	記録スロット		✓	✓	—	
	スロット		✓	✓	—	
カードスロット設定			✓	✓	—	245
記録フォルダ指定		指定しない	—	✓	—	246
ファイルネーム		リセット	—	✓	—	246
ファイルネーム編集	sRGB	M <u>D</u> D	—	✓	—	247
	Adobe RGB	M <u>D</u> D	—	✓	—	
2. 情報記録						
レンズ情報登録		Off	—	✓	—	248
dpi設定		350dpi	✓	✓	—	249
著作権情報記録	著作権情報記録	Off	✓	✓	—	249
	撮影者入力	—	—	—	—	
	著作権者入力	—	—	—	—	

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
3. モニター /音/接続						
	タッチパネル設定	On	—	✓	—	251
	モニター調整  (明るさ)	±0	✓	✓	—	251
	 (色温度)	A0, G0	✓	✓	—	
	EVF調整  (明るさ)	Auto	✓	✓	—	252
	 (色温度)	A0, G0	✓	✓	—	
	アイセンサーの設定	EVF自動切換設定	On	—	✓	253
		EVF自動切換時の動作	画面を維持	—	✓	—
		モニター引き出し時の動作	無効	—	✓	—
	電子音	On	✓	✓	—	254
	HDMI接続設定	出力サイズ	4K優先	—	✓	254
		出力フレームレート	60p優先	—	—	—
	USBの設定	USB接続モード	毎回確認	—	✓	255
		USB通信中給電	する	—	✓	—
4. Wi-Fi/Bluetooth						
	機内モード	Off	—	✓	—	263
	Bluetooth	Off	—	✓	—	265
	アクセサリリモコン設定	—	—	—	—	282
	Wi-Fi接続	—	—	✓	—	274
	スマートフォン接続の設定	バックグラウンド通信	Off	—	✓	266
		スマートフォン接続パスワード	—	—	—	270
		スマートフォン接続設定リセット	—	—	—	269
	Wi-Fi PC接続の設定	Wi-Fi MACアドレス	—	—	—	279
		Wi-Fi PC接続設定リセット	—	—	—	—
5. 電池/スリープ						
	 ステータス表示	—	—	—	—	256
	 使用順序設定	PBH側優先	—	✓	—	256
	 残量表示	min	—	✓	—	256
	バックライト時間	Hold	✓	✓	—	257
	スリープ時間	1分	✓	✓	—	257
	自動電源Off	4時間	✓	✓	—	257
	低消費電力撮影	低消費電力撮影	Off	✓	✓	258
		バックライト時間	8秒	✓	✓	—
		スリープ時間	10秒	✓	✓	—
6. リセット/日時/言語/その他						
	リセット/カメラ初期化	撮影設定リセット	—	—	—	260
		カメラ初期化	—	—	—	—
	日時設定	日時	—	—	—	260
		タイムゾーン	—	—	—	—
		—	—	—	—	260
	水準器調整	—	—	✓	—	261
	ピクセルマッピング	—	—	—	—	261
	ファームウェアバージョン	—	—	—	—	261
	認証マーク表示	—	—	—	—	261

画質設定と記録枚数／記録時間

静止画撮影枚数

SDXCカード64GB、アスペクト比設定4:3の場合

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能 枚数
80M F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約183.6	(三脚) 323
	10368×7776	1/4	JPEG		
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI		
50M F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約170.4	(三脚) 350
	(手持ち) 8160×6120				
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI	約122.9	
25M F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約159.7	(三脚) 376
	(手持ち) 8160×6120				
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI	約112.2	
80M F	10368×7776	1/4	JPEG	約35.2	1564
50M F	8160×6120	1/4	JPEG	約22	2503
25M F	5760×4320	1/4	JPEG	約11.2	4882
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF	約22.4	2727
L SF		1/2.7	JPEG	約13.4	4103
L F		1/4		約9.2	5954
L N		1/8		約4.9	11355
M1 SF	3200×2400	1/2.7	JPEG	約5.4	10172
M1 F		1/4		約3.8	14360
M1 N		1/8		約2.2	24413
M2 SF	1920×1440	1/2.7	JPEG	約2.3	24413
M2 F		1/4		約1.7	32551
M2 N		1/8		約1.1	48827
S1 SF	1280×960	1/2.7	JPEG	約1.3	40689
S1 F		1/4		約1.1	48827
S1 N		1/8		約0.4	122067

10

資料

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能 枚数
S2 SF	1024×768	1/2.7	JPEG	約1.1	54252
S2 F		1/4		約0.5	122067
S2 N		1/8		約0.3	162756

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。

ムービー総記録時間

SDXCカード64GBの場合

ハイスピードムービー以外

ムービー サイズ	フレーム 間圧縮	再生 フレーム レート	最大録画可能時間			
			[H.264] 設定時		[H.265] 設定時	
			[録音レート]： [48kHz/16bit] 設定時	[録音レート]： [96kHz/24bit] 設定時	[録音レート]： [48kHz/16bit] 設定時	[録音レート]： [96kHz/24bit] 設定時
C4K	L-GOP	59.94p	約41分	約41分	約54分	約54分
		50.00p	約41分	約41分	約54分	約54分
		29.97p	約81分	約80分	約108分	約105分
		25.00p	約81分	約80分	約108分	約105分
		23.98p	約81分	約80分	約108分	約105分
4K	L-GOP	59.94p	約41分	約41分	約54分	約54分
		50.00p	約41分	約41分	約54分	約54分
		29.97p	約81分	約80分	約108分	約105分
		25.00p	約81分	約80分	約108分	約105分
		23.98p	約81分	約80分	約108分	約105分
FHD	A-I	59.94p	—	—	約51分	約51分
		50.00p	—	—	約51分	約51分
		29.97p	約41分	約41分	約101分	約98分
		25.00p	約41分	約41分	約101分	約98分
		23.98p	約41分	約41分	約101分	約98分
	L-GOP	59.94p	約160分	約152分	約199分	約187分
		50.00p	約160分	約152分	約199分	約187分
		29.97p	約312分	約281分	約384分	約338分
		25.00p	約312分	約281分	約384分	約338分
		23.98p	約312分	約281分	約384分	約338分


ハイスピードムービー

ムービー サイズ	フレーム 間圧縮	再生 フレーム レート	撮影 フレーム レート	最大録画可能時間	
				【H.264】記録コーデック : 【H.264】設定時	【H.265】記録コーデック : 【H.265】設定時
FHD	L-GOP	59.94p	240fps / 200fps / 120fps / 100fps	約149分	約178分
		50.00p		約149分	約178分
		29.97p		約290分	約324分
		25.00p		約290分	約324分
		23.98p		約367分	約324分

- 設定可能な最大フレームレート時。フレームレートの組み合わせや撮影シーンによって、実際に記録されるビットレートは異なります。
- ハイスピードムービー撮影では、【録音レート】の設定に関わらず最大録画可能時間は同じになります。
- SDXCカード使用時は、撮影中のムービーの記録時間が3時間を超えると、ファイルは自動的に分割して記録されます(撮影条件によっては、3時間未満で分割される場合があります)。
- SD/SDHCカード使用時は、撮影中のムービーのファイルサイズが4GB以上になると、ファイルは自動的に分割して記録されます(撮影条件によっては、4GB未満で分割される場合があります)。

仕様

■ カメラ

型式	
型式	マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
35 mmフィルムカメラ 換算焦点距離	レンズ焦点距離の約2倍
撮像素子	
型式	4/3型Live MOSセンサー
総画素数	約2293万画素
カメラ部有効画素数	約2037万画素
画面サイズ	17.4 mm (H) × 13.0 mm (V)
アスペクト比	1.33 (4:3)
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	約576万ドット
視野率	100%
アイポイント	約21 mm (-1m ⁻¹ 時)
ライブビュー	
センサー	Live MOSセンサー使用
視野率	100%
モニター	
型式	3.0 型TFTカラー液晶、可動式、タッチパネル
総画素数	約162万ドット(アスペクト比 3 : 2)
シャッター	
型式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/8000 ~ 60秒、バルブ撮影、タイム撮影
フラッシュ同調速度	1/250秒以下
オートフォーカス	
型式	ハイスピードイメージャ AF
測距点	1053点
測距点選択	自動選択・任意選択
露出制御	
測光方式	TTL測光方式(イメージャ測光) デジタルESP測光/中央重点平均測光/スポット測光
測光範囲	EV -2 ~ 20 (F2.8レンズ、ISO100相当)
撮影モード	P : プログラムAE (プログラムシフト可能) / A : 絞り優先AE / S : シャッター優先AE / M : マニュアル / B : バルブ(バルブ、タイム、 コンボジット) / C1~C4 : カスタムモード /  : ムービー
ISO感度	L80、L100、200~102400 (1/3、1ステップ)
露出補正	±5.0EV (1/3、1/2、1EVステップ)

ホワイトバランス	
設定方式	オート/プリセット(7種) / カスタムWB / ワンタッチWB (4件登録可)
記録	
記録媒体	SD / SDHC / SDXC UHS-II対応
記録方式	デジタル記録、JPEG (DCF2.0)、RAWデータ
対応規格	Exif 2.31、DPOF
静止画音声	Waveフォーマットに準拠
ムービー	MOV(H.264/MPEG-4 AVC, H.265/HEVC) に準拠
音声	ステレオリニアPCM/16bit、サンプリング周波数48kHz ステレオリニアPCM/24bit、サンプリング周波数96kHz
再生	
表示形式	1コマ表示 / 拡大表示 / インデックス表示 / カレンダー表示
ドライブ関係	
ドライブモード	1コマ撮影 / 連写 / 低振動撮影 / 静音撮影 / プロキャプチャー / セルフタイマー
連写性能	最高10コマ/秒 (📷時) 最高20コマ/秒 (♥📷 / ProCap時) 最高50コマ/秒 (♥📷SH2 / ProCap SH2時) 最高120コマ/秒 (♥📷SH1 / ProCap SH1時)
セルフタイマー	12秒後撮影 / 2秒後撮影 / カスタム
省電力機能	スリープモード移行：1分、電源OFF：4時間 (カスタマイズ可)
外部フラッシュ	
調光方式	TTL-AUTO (TTLプリ発光式) / MANUAL
同調速度	1/250秒以下
無線LAN	
対応規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412–2472MHz (1～13ch) 5180–5320MHz (36/40/44/48/52/56/60/64ch) 5500–5700MHz (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/ 140ch)
Bluetooth®	
対応規格	Bluetooth Version 4.2 BLE
外部コネクタ	
USB端子(タイプC) / HDMIマイクロコネクタ(タイプD) / 外部フラッシュ端子 / リモートケーブル端子(φ2.5ミニジャック) / マイク端子(φ3.5ステレオミニジャック) / ヘッドホン端子(φ3.5ステレオミニジャック)	
電源	
電池	リチウムイオン電池 1個
大きさ・質量	
大きさ	約134.8 mm (幅) × 91.6 mm (高さ) × 72.7 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約599 g (電池 / カードを含む)
動作環境	
温度	–10℃～40℃ (動作時) / –20℃～60℃ (保存時)
湿度	30%～90% (動作時) / 10%～90% (保存時)
防滴性能	保護等級3級(IPX3)：当社のIPX3以上の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します。

■ フラッシュ

MODEL NO.	FL-LM3
ガイドナンバー	9.1 (ISO100・m) 12.7 (ISO200・m)
照射角	12mmレンズ(35mmフィルム換算24mm相当)の画角をカバー
大きさ	約43.6 mm (幅) × 49.4 mm (高さ) × 39 mm (奥行き)
質量	約51 g
防滴機能	種類 保護等級1級(IPX1) : JISC0920/IEC60529

■ リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLX-1
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
公称容量	2280 mAh
充放電回数	約500回(使用する条件により異なります。)
使用周囲温度	0°C ~ 40°C (充電)
大きさ	約40 mm (幅) × 22 mm (高さ) × 55 mm (奥行き)
質量	約86 g

■ USB-ACアダプター

MODEL NO.	F-7AC-1/F-7AC-2
定格入力	AC100 V ~ 240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC5V 3A, DC9V 3A
使用周囲温度	0°C ~ 40°C (動作時) / -20°C ~ 60°C (保存時)

- ・ 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

11 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この内容をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠ 危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高压容器で加熱しない
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

USB-ACアダプター / 充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

USB-ACアダプター / 充電器が、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- USB-ACアダプター / 充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- USB-ACアダプター / 充電器を布などで覆った状態で使用しない
- USB-ACアダプター / 充電器を分解・改造しない
- USB-ACアダプター / 充電器は指定の電源電圧で使用する

⚠ 警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- ファインダーでの撮影時は、定期的に休憩をとる

目の疲労や気分が悪くなったり、乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。疲労感、不快感などの異常を感じたときには、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

- フラッシュやLED（AFイルミネーター含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供の手の届く場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部だけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをすることがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器、USB-ACアダプター以外は使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可

能性があります。専用品以外の使用により生じた傷は補償しかねますので、ご了承ください。

- 通電中のUSB-ACアダプター / 充電器、充電中の電池に長時間触れない
通電中のUSB-ACアダプター / 充電器や充電中の電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない
- 濡れた手で触ったり持ったりしない
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 膨れた電池を無理に機器に取り付けない
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- USB-ACアダプター / 充電器や機器に接続時、無理に接続しない
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高压容器などに入れない
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける
火災・感電の原因となります。

お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 発熱、発火、爆発の可能性があるため、低温環境下でリチウムイオン電池を使用しないでください。

USB-ACアダプターの取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ずUSB-ACアダプター本体を持つ
USB-ACアダプター本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線LAN / Bluetooth®機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方から15cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。必ず無線LAN / Bluetooth®機能もオフにしてください(P.263)。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。必ず無線LAN / Bluetooth®機能もオフにしてください(P.263)。
- 付近のレーダーシステムの動作に影響を与えないように使用する

⚠ 注意

製品の取扱いについて

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触ら

ないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。)

- 濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。
- カメラをストラップで掲げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン充電電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

USB-ACアダプターの取扱いについて

- お手入れの際は、USB-ACアダプター本体をコンセントから抜いて行う
USB-ACアダプター本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。
- 付属のUSB-ACアダプター F-7ACはこのカメラ専用です。
他のカメラに接続して電池を充電することはできません。
- 付属のUSB-ACアダプター F-7ACは当社製品以外の機器に使用しないでください。
- プラグインタイプのUSB-ACアダプター F-7ACは、コンセントに垂直に正しく据え付けてください。

- ACアダプタの電源プラグはACアダプタを主電源から切り離すために使用されるため、簡単に取り外しできるコンセントに接続してください。

交換レンズの取り扱いについて

- レンズまたは光学ビューファインダー（外

付け）で直接太陽や強い光を見ない

失明や視力障害を起こすことがあります。

- 使用しないときはレンズキャップを付けて保管する

太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶついたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- ファインダーを直射日光や強い光源に向けて放置しないでください。焼きつきを起こすことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- SD/SDHC/SDXCカード以外は、絶対にカメラに入れしないでください。その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 大切なデータは万一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外（三脚など）は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- 水につけたり水をかけたりしないでください。
- 落下したり強い力を加えないでください。
- 各カバーの開け閉めや電池の交換時は、本機の水分を十分拭き取ってから行ってください。
- レンズの可動部で保持しないでください。
- レンズ面に直接触れないでください。
- 電気回路接点部に直接触れないでください。
- 急激な温度変化をかけないでください。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。

- 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
- 長時間、モニターで画像を表示する。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるに従って一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池の排出協力店・排出協力自治体にお持ちください。
- 詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(<https://www.jbrc.com>)をご覧ください。



Li-ion

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

本製品を分解、または改造すること

本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定省電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

無線LAN機能

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS/OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m以下です。

2.4DS/OF4

対応規格と周波数帯域

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52

W53

W56

Bluetooth®機能

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するその他変調方式を採用しており、与干渉距離は、10 m以下です。

2.4 XX 1

無線LAN/Bluetooth®機能の使用について

本製品を購入した地域以外での無線LAN/Bluetooth®機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任は負えません。

電波法令により、W52、W53の帯域を利用した無線LAN機能の屋外使用は禁止されています。W52、W53を利用した無線LAN機能は屋内でのみご使用ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。本装置は、VCCI協会の運用規程に基づく技術基準に適合した文言、又はマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、取扱説明書の[各種認証マークを表示する(認証マーク表示)] (P.261)に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-ACアダプター (USB-ACアダプター対応機種のみ)は、必ず、当製品指定のものをお使いください。

指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

ApicalロゴはApical Limitedの登録商標です。



Micro Four Thirds / Four Thirdsおよび
Micro Four Thirds / Four Thirds

ロゴマークはOMデジタルソリューションズ株式会社の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。

Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、OMデジタルソリューションズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会 (JEITA) で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下のURLのウェブサイトに必要な応じて準備されたsoftware notice PDFファイル内に見出すことができます。

<https://support.jp.omsystem.com/en/support/imsg/digicamera/download/notice/notice.html>

カメラのファームウェアのアップデートにより、以下の機能が追加・変更されます。

ファームウェア Ver1.6の追加・変更機能		🔍
スマートフォン接続のセキュリティ設定		346
機能と初期設定一覧		347
ファームウェア Ver1.7の追加・変更機能		🔍
ムービー撮影時の対応カード		347
🗑️ボタンでメニューを操作する		347
機能と初期設定一覧		348

ファームウェア Ver1.6の追加・変更機能

スマートフォン接続のセキュリティを設定する (スマートフォン接続セキュリティ)

スマートフォンとWi-Fi接続時のセキュリティを設定します。

メニュー	MENU ➔ 📶 ➔ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➔ スマートフォン接続の設定 ➔ スマートフォン接続セキュリティ
------	--

- ① **[WPA2/WPA3]**に設定するとスマートフォンとWi-Fi接続できない場合があります。その場合は**[WPA2]**に設定してください。
- ① 設定を変更すると、**Wi-Fi**接続のパスワードと**Bluetooth®**接続のパスコードが両方とも変更されます。
- ① パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。🔍「スマートフォンとの接続設定をする(Wi-Fi接続)」(P.264)
- ① **[スマートフォン接続設定リセット]** (P.269)を行うと、**[スマートフォン接続セキュリティ]**は初期化されます。

機能と初期設定一覧

*1: [カスタム登録]が登録可能な機能

*3: [撮影設定リセット]で初期設定に戻る機能

*2: [カメラ初期化]で初期設定に戻る機能

タブ

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3
4. Wi-Fi/Bluetooth					
	スマートフォン接続の設定	スマートフォン接続セキュリティ WPA2/WPA3	—	—	—

ファームウェア Ver1.7の追加・変更機能

ムービー撮影時の対応カード

UHS-II または UHS-I の UHS スピードクラス 3 以上のカードの使用を推奨するムービー撮影の条件に、ハイスピードムービーを追加しました。

🗑️ ボタンでメニューを操作する (🗑️ ボタンでのメニュー操作)

MENU ボタンの代わりに 🗑️ ボタンを押して、メニューの操作を行うように設定できます。撮影時の状況によって、右手で **MENU** ボタンの操作をしたいときに使えます

メニュー	MENU → ✨ → 1. 操作 → ボタンの設定 → 🗑️ ボタンでのメニュー操作
------	---

する	🗑️ ボタンが、撮影待機中やメニュー画面では MENU ボタン、再生画面では 🗑️ ボタンとして動作します。
しない	🗑️ ボタンが、🗑️ ボタンとしてのみ動作します。


機能と初期設定一覧

*1: [カスタム登録]が登録可能な機能

*3: [撮影設定リセット]で初期設定に戻る機能

*2: [カメラ初期化]で初期設定に戻る機能

☆タブ

ページ	機能	初期設定	*1	*2	*3
1. 操作	ボタンの設定  ボタンでのメニュー操作	しない	—	✓	—

索引

記号

⚡+WB連動	150
⚡低速制限	122
⚡同調速度	122
⇐半押し時のAEロック	109
⇐半押し中の表示	232
[AEL]時の測光モード	108
[AEL]の撮影後解除	108
[表示]	206
☑メニュータブ内循環	240
☑AF+MF	79
☑AFスキャン	91
☑AFターゲットモード設定	76
☑AF微調節	92
☑AFリミッター	89
☑⇐半押し時のAF	80
☑C-AF中央優先	83
☑ISOオート低速限界	113
☑LV表示モード	225
☑[::]Home登録	95
☑[::]縦位置/横位置切換	94
☑顔・瞳AFのボタン設定	86
☑画質モード詳細設定	139
☑記録設定	245
☑ナイトビュー	225
☑ピクチャーモード表示	145
☑C-AF動作速度	84
☑HDMI出力	179
☑[残量表示]	256
☑記録コーデック	140
☑シャッターボタン機能	215
[::]循環設定	97
[使用順序設定]	256
[ステータス表示]	256
[::]選択画面設定	96
☑手ぶれ補正強度	134
☑(ムービー撮影)	55
☑モード(ムービー露出モード)	56
[::]連動スポット測光	110

☑QInfo表示	206
☑Info表示	205
☑[ボタン機能]	204
☑[ダイヤル機能]	204
☑[Info表示]	233
☑[ガイド線表示設定]	236
☑半押し中水準器表示	234
☑[ロック]	223
☑[言語切り換え]	260
☑[ロック]	149
☑[+]連動	122
☑[ロック]	224

英数

1コマ消去	191
AEロック	107
AF-ONボタン	80
AFターゲット位置	72
AFターゲットパッド	98
AFターゲット表示	93
AFターゲットモード	73
AF方式	
静止画	68
ムービー	68
AF補助光	93
A (絞り優先撮影)	41
Bluetooth	265
BULB	47
BULB/TIME/COMPの設定	169
B (長秒時撮影)	47
C-AF追従感度	
静止画	84
ムービー	84
CALL機能	299
dpi設定	249
DPOF	196
EVF調整	252
EVF表示スタイル	228

Fnレバー機能	
静止画	219
ムービー	219
Fnレバーの設定	218
HDMI	292
HDMI接続設定	254
HDR撮影	159
INFO	33, 61, 183
Info表示	
静止画	230
ムービー	231
ISOオート上限/基準値	
静止画	113
ムービー	113
ISOオート有効	
静止画	114
ムービー	114
ISO感度	111
ISO感度ステップ	112
LIVE BULB	47
LIVE TIME	47
LV拡大モード	223
LV スーパーコンパネ	65
MFアシスト	99
MFクラッチ	101, 298
MF時のAF-ON動作	81
M (マニュアル撮影)	45
P (プログラム撮影)	39
RAW+JPEGシェア予約	193
RAW+JPEG消去	192
RCモード	304
S-AF	68
SET機能	299
S (シャッター優先撮影)	43
TIME	47
USB給電	291
USB充電	20, 21
USBの設定	255
WBオート 電球色残し	
静止画	150
ムービー	150
Wi-Fi PC接続の設定	279

Wi-Fi接続	
スマートフォン	264
パソコン	271

あ

アートLVモード	226
アイセンサーの設定	253
赤枠表示	182
アスペクト比設定	140
圧縮率	136, 333
位置情報	269
色空間	151
インターバル撮影	163
インデックス再生	186
音声の再生	198

か

カード	22, 243
カード初期化	243
カードスロット設定	
静止画	244
ムービー	245
回転	189
回転再生	205
ガイド線表示設定	
静止画	235
ムービー	235
顔・瞳検出	85
拡大AF / 拡大枠AF	77
拡大再生(Q)	186
画質モード	
静止画	136
ムービー	136
カスタム呼出	54
カスタム登録	51
カスタムモード(C1/C2/C3/C4)	51
画像合成	202
画像サイズ	136, 333
カレンダー再生	186
機内モード	263
記録フォルダ指定	246
ケーブルクリップ	17

ケーブルプロテクター	17
言語	29, 260
高感度ノイズ低減	
静止画	114
ムービー	114
交換レンズ	297
コピー	
1コマコピー	190
全コマコピー	190
コンティニューAF (C-AF)	68

さ

再生	
静止画	184
ムービー	185
再生拡大倍率設定	205
再生フレームレート	137, 138, 334
撮影画像の確認時間	38
撮影フレームレート	138
撮影モード	35
シェア予約	193
シェーディング補正	140
実行優先設定	240
自動電源Off	257
視度調整	32
自分撮りアシスト	227
絞り優先撮影(A絞り優先撮影)	41
シャッター優先撮影 (Sシャッター優先撮影)	43
充電	20, 21
充電器	300
シングルAF (S-AF)	68
深度合成撮影	157
水準器調整	261
水準器表示	34
スーパーコンパネ	65
スーパースポットAF	77
スリープ	27
スリープ時間	257
静音[♥]撮影設定	129
静音操作	58
静止画切り出し	204

接続	
スマートフォン	263
パソコン	270, 286
ゼブラパターン表示	180
セルフタイマー	123
セルフタイマー設定	127
全WBモード補正	
静止画	149
ムービー	149
全コマ一括解除	197
全コマ消去	191
センターマーカー	180
選択コマコピー	195
選択コマシェア予約	195
選択コマ消去	195
選択コマプロテクト	195
選択コマレーティング	195
専用フラッシュ	116
測光	107

た

タイムコード設定	178
ダイヤル機能	
静止画	215
ムービー	215
ダイヤル方向	217
ダイレクトボタン	62
多重露出撮影	160
タッチパネル	
再生	187
撮影	37
タッチパネル設定	251
試し撮り撮影	209
長秒時撮影(B BULB/TIME撮影)	47
長秒時ノイズ低減	115
著作権情報記録	249
追尾AF (C-AF+TR)	69
低感度画像処理	115
低消費電力撮影	258
低振動[♦]撮影設定	128
デジタルシフト撮影	165

デジタルテレコン	
静止画	162
ムービー	162
手ぶれ補正	
静止画	132
ムービー	132
手持ち撮影アシスト	135
電子音	254
電池残量表示	27, 256
電動ズームの設定	222
動画撮影中の赤枠表示	181
トリミング	203

な

日時設定	260
認証マーク表示	261

は

バージョン	261
ハイスピードムービー	138
ハイレゾショット	152
バックグラウンド通信	266
バックライト時間	257
バランス調光設定	122
パワーバッテリーホルダー	301
半押し中手ぶれ補正	134
ピーキング表示設定	100
比較明合成撮影 (Bライブコンポジット撮影)	49
ピクセルマッピング	261, 311
ピクチャーモード	
静止画	141
ムービー	141
被写体検出	87
ヒストグラム警告設定	238
ヒストグラム表示	33
瞳検出枠表示	88
ビューアシスト	
(👁️👁️ビューアシスト)	151
ファイル形式	136, 333
ファイルネーム	246
ファイルネーム編集	247
フィッシュアイ補正撮影	167


フォーカスリング	101
ブラケット撮影(BKT)	
AE BKT	170
ART BKT	174
FL BKT	172
Focus BKT	175
ISO BKT	173
WB BKT	171
フラッシュ	116, 303
フラッシュ撮影	116
フラッシュ補正	121
フラッシュモード設定	121
プリセットMF (Pre MF)	69
プリセットMF距離	101
フリッカーキャン	
静止画	106
ムービー	106
フリッカーレスLV	226
フリッカーレス撮影	131
プリント予約	196
フレーム間圧縮	137, 138, 334
フレームレート	225
プロキャプチャー撮影	130
プログラム撮影(Pプログラム撮影)	39
プログラムシフト	40
ヘッドホン音量	178
編集	
JPEG	201
RAW	199
星空AF設定	82
星空AF (🌠AF)	69
ボタン機能	
静止画	207
ムービー	207
ボタン長押し時間調整	224
ホワイトバランス	145
ま	
マイメニュー	241
登録	241
内容の整理	242
マニュアル撮影(Mマニュアル撮影)	45

マニュアルフォーカス(MF).....	68
マルチFn.....	214
マルチFn表示設定.....	237
マルチセレクターの設定.....	217
ムービーサイズ.....	137, 138, 334
ムービー撮影.....	55, 57
ムービー露出モード.....	56
メニュー.....	59
メニューカーソル設定.....	239
モニター調整.....	251

ら

ライブND撮影.....	154
ライブビューリモコン.....	268
リセット/カメラ初期化.....	260
リモコン.....	282
レーティング.....	194
レーティング設定.....	194
レリーズ優先.....	81
連写.....	123
連写設定.....	126
連写中手ぶれ補正.....	134
連写中の測光.....	110
レンズ情報登録.....	248
レンズ手ぶれ補正優先.....	135
レンズリセット.....	102
録音.....	198
露出基準調整.....	105
露出ステップ.....	105
露出補正.....	103

わ

ワイヤレスフラッシュ撮影 ( RCモード撮影).....	121, 304
ワイヤレスレリーズリモコン.....	268
ワンタッチホワイトバランス.....	148
ワンプッシュ消去.....	192

MEMO

MEMO

発行日 2021.11.



OMデジタルソリューションズ株式会社

インターネットでの情報入手 各種お問合せについて

<https://jp.omsystem.com>

製品仕様、パソコン接続、Q&A、各種お問合せ先などの最新情報は、OM デジタルソリューションズホームページでご確認いただけます。「OM デジタル」でインターネット検索するか、上記 URL よりご確認ください。

※記載内容は変更されることがあります。